T2R2 東京科学大学 リサーチリポジトリ
Science Tokyo Research Repository

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	駅建物およびその周辺環境の複合形式からみた現代都市東京の空間特性
Title(English)	
著者(和文)	稲用隆一
Author(English)	Inamochi Ryuichi
出典(和文)	学位:博士（工学）, 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第9699号, 授与年月日:2015年1月31日, 学位の種別:課程博士, 審査員:奥山　信一,篠野　志郎,大野　隆造,中村　芳樹,那須　聖,熊倉　洋介
Citation(English)	Degree:, Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第9699号, Conferred date:2015/1/31, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Type(English)	Doctoral Thesis

Powered by T2R2 (Science Tokyo Research Repository)

博士学位申請論文

論文題目

駅建物およびその周辺環境の複合形式からみた現代都市東京の空間特性

指導教員：奥山信一 教授　　論文提出者：稲用隆一

目次

第１章　序論 — 5
１節　研究の背景と目的 — 6
1-1　現代都市東京
1-2　東京の都市空間の現象的な側面－立面と場所
1-3　立面と場所との複合により形成される東京の状景
1-4　状景からみた東京の空間特性－表層性・付帯性・積層性
1-5　東京の空間特性が凝縮された駅および周辺環境
1-6　東京の空間特性把握のための認識単位－駅建物
２節　研究の概要 — 22
2-1　研究の資料と分析単位および方法
2-2　論文の構成
2-3　用語の定義
３節　本論に関連する既往の研究 — 31

第２章　建物立面の複合形式からみた都市空間の表層性 — 39
１節　本章の目的と概要 — 40
1-1　目的
1-2　概要
２節　駅建物の立面の外形スケールと分割スケール — 45
2-1　近接する建物立面との外形スケールの連続
2-2　近接する建物立面との分割スケールの連続
３節　駅建物の立面の連続パタン — 47
４節　立面帯の複合形式からみた都市空間の表層性 — 49
4-1　連続パタンからみた立面帯の表層性
4-2　駅建物の立面帯にみられる特徴的な表層性
５節　小結 — 54

第３章　通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性 — 57
１節　本章の目的と概要 — 58
1-1　目的
1-2　概要
２節　通過空間の端部における都市空間との接続 — 61
2-1　通過空間の分岐の形式
2-2　通過空間の端部における都市空間との接続
３節　通過空間を構成する単位空間 — 62
3-1　単位空間と付帯空間
3-2　単位空間の付帯パタン
４節　連続単位からみた通過空間の性格 — 64
4-1　付帯パタンの複合による通過空間の記述
4-2　通過空間における連続単位の性格
4-3　連続単位からみた通過空間の性格
５節　通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性 — 68
６節　小結 — 70

第４章　駅領域の複合形式からみた都市空間の積層性 ― 73
１節　本章の目的と概要 ― 74
1-1　目的
1-2　概要
２節　駅領域の構成面 ― 78
2-1　駅領域における構成面の種類と組合せ
2-2　近接する構成面との関係からみた分割場
３節　分割場の複合からみた構成面 ― 82
3-1　分割場の複合による構成面の記述
3-2　構成面の複合の水準
3-3　分割場どうしの位相関係と複合パタン
3-4　構成面における集中場
3-5　分割場の複合からみた構成面の分節パタン
４節　駅領域の複合形式からみた都市空間の積層性 ― 88
4-1　構成面のネットワークとその形状
4-2　ネットワークの基点とその領域的性格
4-3　構成面のネットワークと分節パタンからみた都市空間の積層性
５節　小結 ― 95

第５章　駅建物およびその周辺環境における状景の複合形式からみた東京の空間特性 ― 99
１節　本章の目的と概要 ― 100
1-1　目的
1-2　概要
２節　駅建物およびその周辺環境における状景タイプ ― 102
３節　駅建物およびその周辺環境における状景の複合形式 ― 107
3-1　状景タイプの相互関係
3-2　駅建物の通過空間における状景タイプの組合せ
3-3　状景の複合形式からみた東京の空間特性
４節　小結 ― 113

第６章　結論 ― 115

付録　資料編

第1章　序論

1 節　研 究 の 目 的 と 背 景

1 節 1 項　現代都市東京

資本経済の跳梁する現在社会において、世界各地に資本の凝縮した都市が形成されており、日本においても地域経済を基盤とした主要都市が各地に形成されている。特に、首都東京は、世界において最も資本の凝縮した都市のひとつとして位置づけられており、世界都市を代表する都市景観が形成されている（図 1-1）。



図 1-1　現在の東京の都市空間

経済資本の凝縮による世界都市の形成については、社会学の分野で様々な研究がなされており、世界都市における経済的な中枢管理機能の大量集積が、単なる世界的な規模の大都市という意味を超えて、歴史的に多様な文化やそれを支える多様な人種・民族を抱え込み、それらが共存するための社会空間を形成してきたといわれている。

社会学者の町村敬は、1980 年代以降の東京の構造転換とその社会的意味を、都市形成史や都市計画の観点を含めて明らかにしており、そのなかで東京を世界都市として位置づけ、そこに内在する多数の異なる社会的・文化的クラスターが新しい階層構造を生み出しつつあることを指摘している [1-1)]。

> 「東京を含め、近代資本制社会が作り上げてきた巨大都市が共通に直面している構造転換を説明する大きな枠組み、そしてその中で東京がもつに至った個性を明らかにする明快な分析、必要なのはこの２つであるように思えた。

そんな折に出会ったのが、『世界都市』論であった。・・・『世界都市』論の印象はきわめて強いものだった。西洋世界と非西洋世界、近世、近代そして現代、空間と時間を超えて都市をつくる『力』あるいは『意志』が香港というひとつの都市に結実する様子は、まさに『世界都市』のイメージにふさわしかった。そして、東京もまた、まさにこうした都市のひとつであることに気がつくまで、そう時間はかからなかった。」

東京は、この町村の指摘にもあるように、市街化のプロセスのなかで、世界的な規模のみでなく多様性も醸成してきた世界都市のひとつであり、ときに華麗さを加え、ときに醜悪さを増しながら、その姿を大きく変えてきた。

こうした東京の空間特性の把握は、今後一層の集中化と多様化が進むといわれる都市の空間的な様相のあり方を議論する土台となる現代的な題材である。また、グローバリゼーションの進行による場所の均質化も指摘されるなかで、東京が今後どのように世界都市としての固有性を示しうるかは現代的な意義の深い課題であるといえる。

東京は、関東大震災と第二次世界大戦による壊滅的な被害を受けながらも、戦後の高度経済成長のプロセスのなかで飛躍的に発展してきた。その都市空間は、欧米の主要都市でみられるような明確なマスタープランが不在のまま、局所的に個別の開発が繰り返されることで、部分優位のパッチワーク状の構造を有するものとして形成されてきた。

そこでは、資本の凝縮により、建替えや増改築、用途の複合などの更新が漸次的になされ、俯瞰的な視点からでは把握の困難な空間特性が、アイレベルでの局所的な眺めのなかに過激に表出している。こうした東京の眺めは、中世の都市とも近代主義的な都市計画のなされた都市とも異なる独自の現代的な様相を呈している。

こうした東京の都市空間の現象的な側面は、都市の現代性を検討する対象として、国内外問わず数多く注目されてきた。現代を代表する世界的な建築家の一人であるB･チュミは、現代建築のための６つのコンセプトに関する論文[1-2)]のなかで、東京の都市空間における眺めや空間体験に新しい都市性を見出している。

「東京とニューヨークの状況はたんにカオスとしてしか目に映らないでだろう。ところが、これらの都市は新たな都市構造、新しい都市性を呈している。」

一方、日本においては、世界的にも高く評価される建築家である篠原一男が、東京の混乱した景観に対する否定的な意見[注1-1)]が主調あった1960年代という比較的早い時点に、渋谷駅前の繁華街におけるカオス的な状況に現代的な美を見いだし、様々なかたちやスケールの建物の集密が創り出す眺めを価値づけている[1-7)]。

「今日の光景はもはや必然的なものというべきだ。ここにどのような混乱があろうと現代の集落の《美》はこれなのである。・・・現代の集落が表現するものは、しかし、調和した美ではなく、混乱した美であっていいのである。」

また、近年東京に関する様々な研究を展開する建築家の塚本由晴は、 住宅の更新に代表される常に変化する都市空間こそ東京の特徴であり、その変化を今後も維持しながら発展することが、現代における東京独自の新しい都市像の提示につながると述べている[1-8)]。

「こうした現象を生み出す東京の都市原理を、無理矢理ヨーロッパ型、あるいはアメリカ型に修正して行くべきだと考えるのは、むしろナンセンスだろう。むしろ１９世紀のパリ、２０世紀初頭のニューヨークに匹敵する卓越した都市モデルに、東京はなりかけていると考えた方がよい。何よりも住宅の更新周期を内蔵することによって、変化する都市を体現することは東京の大きな特徴となっている。この周期を内蔵したまま、都市としての卓越に至ることが、２１世紀の東京が目指すべき姿ではないだろうか。」

これらの東京の都市空間に対する様々な議論や評価を概観すると、東京では啓蒙や規制による都市空間の秩序づけの試みが、高度経済成長に伴う資本の集中や社会の変化のなかで局所的な成果にとどまるなかで、むしろ、常に漸次的な更新のなされる都市空間の現象的な側面に、世界都市東京としての先駆的で新しい現代都市像が見出され、評価されていると言える。

本論は、こうした資本の凝縮が実体的な水準で過激に表出する東京の都市空間を研究対象とし、常に漸次的な更新を続けることで発展してきたその空間特性を現象的な側面から明らかにすることを試みるものである。そして、グローバリゼーションの進行による場所の均質化が指摘されるなかで、東京が今後どのように都市としての固有性を示しうるかを議論する枠組みのひとつを提示する。

1 節 2 項　東京の都市空間の現象的な側面―立面と場所

東京の都市空間の現象的な側面を明らかにする試みは、その定量的把握や心理量との比較検討など、これまで数多くなされてきた。例えば、本論との関連が強い記述法の開発に関するものでは、近代主義建築の方法論に対する反省から、1960 ～ 70 年代頃に集落や都市で盛んに行われたデザインサーベイにおける試みがある。なかでも東京の都市空間を調査対象とするものでは、元倉らによる渋谷やアメヤ横丁に関する調査や宮脇らによる千駄ヶ谷に関する調査などが挙げられ、当時の一連のデザインサーベイにおけ

る代表的な功績のひとつとなっている。また、都市形成史家の陣内秀信は、1980 年頃の東京の都市空間のユニークさに着目し、その空間や景観の構造を歴史的観点から考察することから、今後の東京のあり方を議論する土台の構築や、表情豊かな都市建築を設計する指針の獲得を試みている [1-9)]。

> 「東京では、変化に富む立地条件と、その上に江戸以来つくられた都市の構造とが歴史的、伝統的な空間の骨格を根底において形づくっているのであり、それと都市の中身を構成する新旧織り混ぜた様々な要素とが巧みに混淆し、世界にも類例のないユニークな都市空間を生み出しているといえるのである。・・・
>
> はなやかな国際都市へと発展をとげ、エネルギッシュな現代の層のみが目に映る東京。本書ではこの東京を対象に、これまでのべてきたような認識に立ちながら様々な角度から解剖のメスを入れ、その深層にまで降りたって空間構造の特徴をできるだけ立体的に描き出してみたい。こうして東京の都市空間の成り立ちや、景観の上に現われた都市の個性を掘り下げて認識することは、今後の東京のあり方を議論する上で、最も基本的な共通の土台を築いてくれるものと思われる。そしてかくちいきにおいて、それぞれの特性を生かした個性的な町づくりをおし進めるためにも、あるいはまた個々の街角において表情豊かな建築の設計を考える上でも、有力な指針を与えてくれることはまちがいないのである。」

これらの先行研究は、混乱の様相を呈する東京の都市空間の現象的な側面を把握するための調査・記述方法の開発や、歴史的な観点などの導入による視点の多角化を成し遂げたものであり、その成果は本論にとって大変参考になるものである。

本論は、こうした東京の現象的な側面の把握のなかでも、東京の繁華街にみられるような資本の凝縮が実体的な水準で過激に表出する眺めの物的な構成の検討から試みるものである。なぜなら、東京の現象的な側面は、空間特性が視覚的に表出する眺めを通して主に体験されていると言え、その物的な構成を検討することは、眺めが気候や社会状況、心情などにより変化するなかで、比較的に安定性が高く、その特性を第一義的に特徴づけていると考えられるからである。

また、本研究を通して、一見混沌とした東京の都市空間における典型的な眺めや、視覚的あるいは体験的な特性を物的な構成の検討から明らかにすることは、今後の東京の都市景観の形成や都市建築の外観デザインに有効な知見を与えてくれるものと言える。

一見混沌とした東京の都市空間に内在する秩序を見出す試みは、これまで数多くなされており、そこでは西欧の歴史的な市街地にみられる空間的な秩序と異なった、東京独自の秩序と無秩序とが混在した空間的な秩序があることが様々な場面で指摘されている。

例えば、世界各地での設計活動に並行して、資本主義の導入により急速に成長するア

ジアの都市調査も行っている建築家のR・コールハースは、東京の都市空間がカオス的ではないこと、そしてそれは未来のプロトタイプとなりうること、さらに多様な部分的な秩序の連なりとして体験されうる空間的な特徴を有していることを指摘している[1-10)]。

> 「私はこの都市を、重要なプロトタイプ、未来のための都市だと思った。・・・東京を見て、私は、ある状態を確かに愉快だと思った。しかしカオス的だとは思わなかった。東京は、多数的で共時的なアイデンティティのストップモーションだった。」

また、建築家の竹山実は、新宿歌舞伎町界隈において形成された不思議と連帯的な光景に着目し、資本主義による競争の末に相互依存による共存関係が自然に生まれ、不秩序のなかに土着的な秩序が自然に発芽していることを指摘している[1-11)]。

> 「表通りの混乱は、いわば、『秩序』を奪い合う真っ最中の状況に等しかった。多元に重複する光景の中では、すべての形態がこちら側に向けて同時的に発言する。・・・それにひきかえ、この最も過激な戦闘地、新宿歌舞伎町には、台風の眼にもたとえられそうな静けさが支配していた。それは空間のスケールがもたらす、親密さだけではなく、あり種の落ち着きである。商売という競争がここではむしろ共存という相互の依存に変わり、不思議とそれが連帯的で相互的な信用の世界をつくり上げていた。だから、こちら側もそうした無言の共存の輪にまきこまれてしまう。僕の自由を安住できる或る種の『秩序』ー不秩序の末に自然に発芽して土着した秩序—が支配していた。それは与えられたものではなく、相互の関係に自然に生まれつつあるものだったのかもしれない。」

こうした建物あるいは要素の相互関係による秩序は、要素そのものの個別の特徴とは別に都市空間の眺めの連続性を特徴づけるものである。特に、移動を伴って体験される都市空間では、個々の形態的な特徴が希薄化する一方で、類似や差異といった要素同士の関係が主調となり、そこでの空間体験は、そうした関係の総体として認識されるところが大きいと考えられる。

建築家の磯崎新は、日本における都市のパノラマ表現としての「雲煙の技法」の特殊性を指摘しながら、日本における都市空間の認識において、実体的な把握に対する相対的な把握の優位性を述べている[1-12)]。

> 「現実の都市は、アイソメトリックな銅版画がみせるように、集積されたエレメントの連続によって成立している。こういうエレメントの連続を示した空間を実体的空間と呼ぶとするならば、雲煙などで省略された不連続なエレメントの配列を、颯太的な関係空間と呼ぶことができるであろう。・・・

日本の空間表現のなかにも、いくたびかパースペクティブ的手法が侵入しながら、ついに否定されつづけたのは、やはり空間を実体的な解析によって把握したのではなく、空間があくまでエレメントを相対的に配置することによって浮かびあがる《間》であったからにほかならない。」

また、都市計画家のG・カレンは、並置された建物同士の関係やその間の空間に着目することがタウンスケープの創出に有効であること、さらに、建物相互間の関係を都市スケールまで拡大することが良い都市環境の創出につながることを述べており[1-13)]、これらの関係の検討は、都市空間の特性を把握や新たな空間体験の創出に寄与しうると言える。

「＜タウンスケープ＞の定義を求められたら、私は、ひとつの建物は建築だが二つの建物はタウンスケープであると答えるであろう。二つの建物が並置されると、そこにタウンスケープの技法が生じる。それと同時に、建物相互間の関係とその間のスペースが重要になってくる。これを都市スケールまで拡大したものが環境の技法である。」

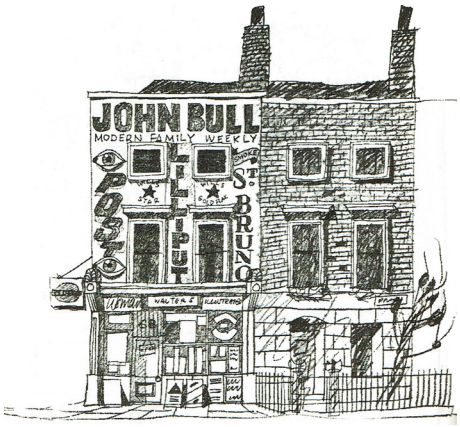


図1-2　2つの建物立面によるタウンスケープの例

ここで述べたような都市空間の秩序のあり方や、それを捉えうる要素どうしの関係への着目は、東京という都市のイメージの形成や空間特性の把握に関する視座を与えるものである。しかし、その眺めがどのような物的な構成として成立しているかは、十分には明らかにされていない。特に、建物がある密度をもって集合することで形成される都市的な活性が、アイレベルでどのように見えるかを捉えることは、現代都市の空間特性を解明する上で重要である。

そこで本論では、アイレベルにおける東京の都市空間の物的な構成から、東京の現象的な側面が凝縮して表出しうる典型的な眺めを検討する。

1節3項　立面と場所との複合により形成される東京の状景

建築や都市の眺めについては、景観工学分野において様々な研究がなされている。

景観工学者の中村良夫は、「風景の立ち現れ方」として、空中からの眺めに比して地上からの視点で得られる「個性的な風貌」の魅力について言及している[1-14)]。そして、目に映る地表上の断片が視覚的に繋ぎ合わされた現象を「風景」として把握でき、それが断片的かつ表層的であるが故に生成できる価値（例えば視点の位置によって変わる構図といった観点）を景観論の意義としている。さらに、同じく景観工学者の柴田久は、中村の言及を受け、「景観論は視覚を中心として隣り合う空間の接続関係を重視する空間論である」と述べている[1-15)]。

ここで中村のいう「目に映る地表上の断片」は、身体のおかれる場所によって様々な要素により規定されうるものであるが、建物が集密して建つ東京では、その建物立面と視点となる場所によって規定されていると言える。また、それらは複数連続して並ぶことで視覚的に繋ぎ合わされ、さらに移動により互いに相乗することで建物立面と場所とが複合した視覚状態を形成し、空間体験を特徴づけている。

本論では､こうした建物立面と場所との複合により形成される眺めを「状景」と定義し、東京の空間特性を捉える分析対象として位置づける。

現在のわが国において、眺めを示す用語には、「風景」、「景観」、「情景」など様々なものがみられる。中村良夫によると、「風景」は、中国の唐の時代から使われる古い言葉であり、風合いなど元来主観的な価値判断が、何かしらの形で共同化されることで成立するものであるとされている。一方で「景観」は、明治期にドイツ語の地理学の用語であるランドシャフト（Landschaft）に対して与えられた訳語であるとされ、近代社会の進展により特定の価値に頼らない客観的・普遍的な眺めの価値を示すものとされている[1-16)]。これらに対して「情景」は、ありさまや光景を示す一般的な言葉であり、趣きと景色とが一体となった眺めとされている。また、景観用語事典では、これらの用語にかかる上のような区別が、必ずしも確定したものではなく、ほぼ同義に用いられる場合も多く、眺めの認識の水準や価値の判断基準によって大まかに使い分けられているとされている[1-17)]。

本論で用いる「状景」は、「情景」と同義の同訓異字である[1-18)]。本論においてこの用語を用いるのは、本論が東京の現象的な側面を、眺める人の心情的な水準ではなく、都市空間を規定する建物立面と場所という物的な水準に着目し、それらが集密し複合することで形成される視覚状態の連鎖から把握するものであるからである。

これらの景観研究や前項のG・カレンの成果を踏まえると、都市の空間特性を現象的な側面から把握することを試みる際、構成する個々の建物の特徴とは別に、構成する要

素相互の関係の集積から検討することが有効であり、なかでも建物立面と場所との複合により形成される眼前の局所的な状景とその連鎖としての空間体験の総合が重要であると考えられる。

そこで本論は、現代都市東京の現象的な側面に関する議論や、都市景観に関する研究を背景として、資本経済が跳梁し、常に漸次的な更新がなされることで形成されてきた現代都市東京の空間特性を、建物立面と場所という物的な要素に構成された状景の複合の形式から把握するものである。

1節4項　状景からみた東京の空間特性ー表層性・付帯性・積層性

建物立面と場所との複合により形成される状景には、建物立面により形成される「表層性」、「付帯性」と、視点場となる場所により形成される「積層性」という、大きく3つの東京の空間特性が表出している。

まず「表層性」は、様々な外観デザインの建物が密に並ぶことで形成されるものである。これは、かたちやスケール、開口形式、素材の切り替え、看板の有無といった分節表現がなされることで、都市空間を規定する建物立面の表面的な性質を特徴づけている。例えば、高密に建物が建ち並ぶ都市空間では、同様の建物立面が並ぶ銀座や秋葉原の中央通りの街並みや、住商の混在などにより異なる性質の建物立面が並ぶ商店街の街並みなど、特徴的な都市空間の表層性が形成されている。建築家の芦原義信は、建物立面により特徴づけられる日本の街並みについて下記にように述べている[1-19)]。

> *「街並みの形成にあたっては建築の外壁が重要な役割を果たしていることは論をまたない。・・・わが国の商店街等の街並みを観察すると、そで看板のような建築の外壁から突出しているものが非常に多く、視覚構造としての街並みを決定しているものは建築の外壁ではなく、これら突出しているものである場合が多い。その上、その突出しているものの中には一時的な目的のものや、ひらひら動くものまであって、固定的で安定した街並みの視覚構造をつくることをますます困難にしている。」*

芦原は、こうした特徴をもつ日本の街並みに関する一連の研究のなかで、建築の本来の外観を決定する形態を建築の「第一次輪郭線」、建築の外壁以外の突出物や一時的な附加物による形態を建築の「第二次輪郭線」とを定義し、日本などのアジア諸国の街並みにおける「第二次輪郭線」の優位性を指摘している。この芦原の分析は、建築の外形的な特徴から街並みの特徴を捉えるものであるが、商業資本の集中がみられる東京の繁華街では、同一の建物立面の内側に開口形式や仕上げの異なる部分に形成され、そうし

た分節された面の集合により街並みが特徴づけられる状況も見られる。

例えば新宿（図 1-3）では、外形的な水準では異なる高さや間口の建物立面が並ぶ一方で、建物立面の内側では、低層部の小さなテナント店舗群にそれぞれ異なる外観デザインがなされることで、大規模の建物の間口が細かく分節され、隣接する小規模の建物立面と間口のスケールが近似し、個々の建物の輪郭が曖昧化した都市空間の表層性が形成されている。

奥山信一らは、こうした建物立面の分節表現に着目し、日本を代表する繁華街のひとつである銀座における大通り沿いに連続する建物立面や、主要幹線道路の交差する角地で重層する建物立面の連続性を検討することから、個々の設計条件や意図が優先されたデザインが乱立する東京の都市空間において、建物の輪郭が消失し連続した都市の立面が形成されていることを指摘している[注 1-2)]。



図 1-3　建物立面の連続により形成される表層性

次に「付帯性」は、奥行きの異なる空間が付帯した建物立面が密に並ぶことで形成されるものである。これは、付帯する内部空間の規模や通り抜けの有無、境界面の透過性、用途上の公益化といった建物内部を都市空間化する表現によって、都市空間を規定する建物立面の奥行きに関する性質を特徴づけている。例えば、銀座や秋葉原の中央通りでは、同様の規模の建物が建ち並びながらも、内部への行き来が不可能な空間や街区の反対側へ通り抜け可能な空間が混在して付帯しており、外観デザインに特徴づけられる表層性とは異なる、都市空間の付帯性が建物立面によって形成されている。

上述した新宿では（図 1-4）、道路に面して奥行きの浅い店舗や、裏通りへ通り抜け可能な 2 層吹き抜けの通路など、様々な規模の店舗や自由通路が付帯している。またここでは、図 1-4 の紀伊国屋書店のように、店舗空間、通り抜け通路、地下入り口といった

異なる奥行きをもった空間が、同一の建物の間口を分割して付帯する事例もみれ、建物立面の境界が曖昧化した都市空間の付帯性が形成されている。

建築家の槇文彦は、宇佐見英治の「迷路の奥」を引用しながら、日本独特の空間概念としての「奥」を指摘し、今後の都市論を構築する上で不可欠な空間観であると述べている[1-24)]。

> 「都市空間の形成において、ある安定したイメージが長い期間にわたって、地域社会特有の集団深層意識の篩を通して記憶され、自律的に作動しているが、＜奥＞はまさしく日本独特の空間概念であり、そのよい例の一つであろう。そして今後の都市論の構築のためにこうした空間観の存在を理解することが必要であると思う。・・・
>
> ＜奥＞という表現は、万葉集、伊勢物語、徒然草、そして江戸時代の歌舞伎に至るまで、日本人にとって特有の場所性の指示という形でわれわれの日常空間体験のなかに定着している。・・・こうした＜奥＞の存在を日本の空間のなかに発見し、論評した最初のもののひとつに宇佐見英治の「迷路の奥」がある。彼は観光地や温泉場の、外観はさほどでもないが内部に入ると広い旅館の屈折する廊下がつくり出す迷路的な空間の演出のなかから＜奥性＞を見出していく。彼は、こうした複雑な空間の分節はあながち次々別屋を建て増したり、地勢や景観がそうした配置を要求するばかりでなく、われわれに迷路に対する好みがあるのを知っているのではないかと設問する。」



図 1-4　建物立面に付帯する異なる奥行きの空間

一方で「積層性」は、視点となる場所によって形成され、都市空間における身体的な活動を保障する様々な用途の領域が立体的に積層することで形成されるものである。そ

れは、街路やペデストリアンデッキ、高速道路、プラットホームといった領域の形状、大きさ、高さレベル、歩行空間の有無といった場所の領域的な特徴と、交差・積層といった領域同士の位相関係によって、都市空間の視点となる場所の立体的な性質を特徴づけている。

例えば芝浦湾岸（図 1-5）では、運河の上にかかる道路橋に、東京モノレールの高架が交差して積層おり、さらにその奥には、上空を横断するレインボーブリッジが見えている。これらは、それぞれ同様の用途上のまとまりをもった領域でありながらも、立体的に交差・積層することで、図 1-5 の道路のように、その内側で、左右に運河、正面に高架とレインボーブリッジの見える場所（写真手前）、上部を高架があり地上レベルで交差する道路のみ見える場所（高架下）、高架とレインボーブリッジとが反対方向に見える場所（写真奥）といった、異なる断面構成の場に分節されている。

また、ここでは、船やモノレールといった移動手段を利用することで、運河や高架においても眺めを獲得でき、そうした視点となる場ごとに異なる断面構成が混在した都市空間の積層性が形成されている。

景観工学者の窪田陽一は、1960 年代から 70 年代にかけて構想されながらも実現されることの少なかった新しい都市空間の構成が、現代のターミナルにおける交通空間の重層・交差の積層構造のなかに、迷路的でトポロジカルな空間構造として現象していることを指摘している[1-25)]。

> 「1960 年代から 70 年代にかけて、建築家や都市計画家の一部で、大規模な構造物で主体とする複合的建築物によって都市空間の構成を行おうとする発想が流行したことがある。それらを総称してメガストラクチャー（mega-structure）という。・・・もともと理想的な都市を追求する意向はいつの時代にも存在したものであり、それらも同根の着想ではあったが、実現されたものはそう多くはなかった。
>
> しかし、現代のターミナル空間、特に大都市内の鉄道駅を中心とする複合的ターミナル空間はますます大規模化する傾向にあり、重層・交差の積層構造によって、迷路的でトポロジカルな空間構造を形成しつつある。・・・このような交通ターミナル施設と、異なる機能を有する建築物を合体させて、新しい空間構成を創出する試みは、特に土地に余裕のない都市内部およびその周辺の鉄道駅で数多く行われるようになった。」



図 1-5　立体的に構成された領域によって形成される積層性

ここで述べた建物立面により形成される「表層性」と「付帯性」は、商業資本が集中し多様な外観デザインが成立しながらも、モダニズムを経験した構成原理や、異なる用途の複合、度重なる増改築、身体に即した慣習的なスケールなどにより、近接する建物立面どうしが形態的な自律性と共通性とを同時にもち、視覚的な認識単位が曖昧化することによるところが大きいと考えられる。また、場所により形成される「積層性」は、起伏のある地形を下地としながら、空間の高機能・高度利用化や利用の円滑化、徒車の分離、不特定多数の利用を目的とした他用途との複合や度重なる増改築などにより、領域どうしが積層して分離あるいは連続することで、用途上のまとまりとは別に、様々な断面構成の場に分節されることによるところが大きいと考えられる。

本論は、これら建物立面により形成される「表層性」、「付帯性」と、場所により形成される「積層性」とについて検討し、それらの複合として東京の都市空間の現象的な側面の凝縮した状景の典型を明らかにする。

1 節 5 項　東京の空間特性が凝縮された駅およびその周辺環境

こうした状景は、都市の至る所で現象し得るものであるが、東京の繁華街のなかでも特に資本の凝縮がみられ、都市要素の混在する駅およびその周辺では典型的な事例を見いだすことが可能である。

東京では、明治 5 年の鉄道開業以来、都市圏の拡張の伴い鉄道網ネットワークが次第に整備され、それと同時に数多く建設された駅は、市街地形成の中心となる都市基盤施設の一翼を担ってきた[1-26)]。そうした駅およびその周辺は、戦後の高度経済成長のプロ

セスの中で、公共事業などの大型資本の投入による一体的な開発と、闇市などの個別の資本による自然発生的な開発とが併行してなされ、明確な秩序を形成しないまま発達してきた[1-27)]。この発達段階における開発の主体や空間単位の混在は、利用者の急増や多用途・多機能化も相まって、駅およびその周辺を公益性の高い都市空間として位置づけている。さらに近年においても、鉄道関連施設の老朽化や郊外移転に伴う再開発事業、エキナカなどの駅内空間の商業化、バリアフリー化などの円滑利用化事業が進められるなど、社会の情勢に合わせて常に漸次的な更新がなされている[1-28)]。そして、こうした更新には、高架などの交通インフラストラクチャーの長周期的なものと、商業テナントなどの短周期的なものとがあり、この異なる時間軸の混在は、建物や土木構築物の新旧の技術やデザインの混在として都市空間に表出している。

また駅の周辺には、鉄道路線に加えて、広場や交通路、ペデストリアンデッキなどの都市交通要素も集積・交錯しており、立体的な都市空間が形成されている。このような駅および周辺は、都市生活の拠点として日常的に利用され、不特定多数の人々が自由に行き来できる公益性の高い空間として、東京における空間体験のなかに組み込まれている。さらに、駅およびその周辺の状景は、様々なメディアによって日々取り上げられており、多くの人々が共通して目にすることで、東京のイメージと直結するものとして位置づいていると言える。

こうした複合した空間的な特徴を有する東京の駅について、記号学者ロラン・バルトは、日本の駅が交通のためだけの場ではなく、様々な用途の複合した広大な有機体であること、そのなかには無数の通路が突き刺さっており多様な通り抜けがあることなどを指摘し、商業、通過、旅立ちなどの目的が一つの建造物に納められ、都市における世俗的な符牒として成立していると述べている[1-29)]。

> 「駅。遠距離列車、近郊電車、地下鉄、デパート、地下商店街、これらが結集している広大な有機体である駅、これが地区の符牒のようなものとなる。この符牒のおかげで、都市は人々に何ごとかを語りかけ、読みとられうるものとなると、ある都市計画家たちはいっている。日本の駅には、旅行から買い物、衣料から食料品にいたるまで、さまざまに利用される無数の通路が突っきっている。列車から靴の売り場へ通りぬけられるのである。商業、通過、旅立ちなどの目的にかなうようにつくられていて、しかもたった一つの建造物のなかに納められている駅は（しかし、この新しい複合体は、はたして駅と呼ぶべきだろうか）、通常わたしたちの都市の偉大な符牒、たとえば大伽藍、教会、市役所、歴史的記念碑などを特徴づけているあの神聖な性格を少しももちあわせてはいない。ここでは、符牒は完全に世俗的なものである。確かに市場もまた、しばしば西洋の都会の中心にある場所である。だが、東京では、駅に恒常性がなく、

ために市場商品というものがなりたたなくなっている。絶えざる発車が商品の集中を妨げる。商品はこれから荷物となるものにすぎず、荷物そのものは、無賃乗車券、出発を許してくれる乗車券にすぎない感じなのである。」

また、建築家Ｅ・ベネダーは、以下のように述べ、東京において独自の発展をみせた交通機関における公共空間を見出している[1-30)]。またベネダーは、渋谷駅を例としてウィーンなどとも類似する都市空間が成立していることを指摘しており、それは東京に限らない都市の様相の一端を駅に見出している点で興味深いものである。

「東京のような都市のインフラストラクチャーは、新しくかつユニークなタイプの公共空間を生み出した。それは交通機関における公共空間である。本来、運搬の手段にすぎない交通機関に、通常交通機関とは無縁の様々な都市機能が統合されている。ウィーンでは、地下鉄は依然として行きたいところに行く交通手段でしかなく、デパートやレストラン、または事務所といった、交通とは直接には関係のない要求に応える機能は、交通システムとは独立して設けられている。東京の交通機関は、場所によってはすべての目的地を内包しており、都市の『アーティファクト（人工物）』として、一般的な建築との差を広げ､区別をより鮮明にしている。これはほとんど自立的なサブ - シティを形成し、最終的には複合的なランドマークとなる。その典型としての渋谷駅は、細い通路や路地と、それに面した店舗があり、残された希少な空間をきわめて効率的に活用しており、中世ヨーロッパの都市からほど遠くない。」

このように東京の駅およびその周辺では、人・モノ・資本の集中によって、主体や構成単位、時間の混在したダイナミックな都市空間が形成されており、前項で述べた表層性・付帯性・積層性といった東京を代表する空間特性が凝縮してみられると位置づけることができる。そして駅およびその周辺は、そこで諸要素を並存させながら繰り返された漸次的な更新により、急速な都市環境の変化がみられた東京において比較的安定した存在として成立しており、成熟を迎えようとする現代都市東京の空間特性を呈する分析対象であると言える。さらに、駅は広域に広がる東京の都市圏に密なネットワークを形成しており、東京各地の異なる立地環境を反映しうる網羅性も有する資料である。

このような特徴を有する駅を鑑みると、東京ほど鉄道交通が都市空間の現象的な側面を特徴づけている都市はないと言え、さらに駅にみられる活性の中には、現代都市東京の本質が現れていると言える。また、駅およびその周辺を資料とすることは、用途や公共性、建物や交通路の混在などの基本条件をそろえた範列的な比較検討を可能にし、各地域の個別性を越えた東京の都市空間の特徴を捉えうると考える。そして、そこでみられる多様な状景の典型を抽出し、それらを相互比較することから、東京において状景が

複雑化するメカニズムを明らかにし、都市空間の現象的側面がどのように特徴づけられうるかを考察できると考えられる。

1節6項　東京の空間特性把握のための認識単位ー駅建物

東京において駅の建物群は、様々な用途や規模の建物が複合して成立しており、構造的に一体化するもの、連絡通路やエキスパンドジョイントなどにより連結されるものなど様々なものがみられる。さらにそれらは、日常的な利用における空間体験としても連続的に成立しており、駅として認識しうる建物や範囲を用途や所有のみから判別することは必ずしも容易ではない。

駅の建物は、本来的に旅客輸送のためのプラットホームと街とをつなぐ駅舎のみで成立しうるものである。しかし、東京では、駅舎が街に直接面しておらず、街との間に介在する駅舎以外の建物の自由通路を経由することなしには改札口に至ることができない事例がみられる。その多くは、高度経済成長に伴う鉄道利用者の増加や商業資本の集積により増改築が繰り返された結果、欧米でみられるような街の顔として都市に面する駅舎となりがたく、様々な用途や規模の建物が複合した建物群として、その多様な複合が実体的な水準において表出した独自のビルディングタイプとなっている（図 1-6）。



図 1-6　新宿駅西口の駅の建物群

そこで本論では、駅舎と改札口へ至る経路を有する建物を駅建物と定義し、その集合体としての駅とその周辺環境を分析の範囲とする。このような都市空間の認識単位を設定することは、都市空間を構成する建物立面や領域が形成する状景とその連鎖としての空間体験を検討し、東京の空間特性を把握する上で有効であると考える。

また駅は、産業革命における鉄道機関の発明とともに誕生し、都市環境の形成と併せて発展してきた現代独特のビルディングタイプであるといえることから、その建物や周辺環境の複合の形式を明らかにすることは、現代の新たな都市建築を構想する上の知見の獲得につながると考えられる。

さらに、本論における都市空間を構成する要素どうしの関係の集積の検討は、用途や規模に関わらず成立しうる偶発性を有する体験を創出するメカニズムを明らかにし、建

築と都市空間との新たな関係性の枠組みを示す重要な視点となると考えられる。

例えば、先述した建築家のB・チュミは、都市空間における異なるプログラムの偶発的な出会いから、豊かな空間体験の創出のメカニズムを分析し、自身の建築プロジェクトに応用し、実践している（図 1-7）。

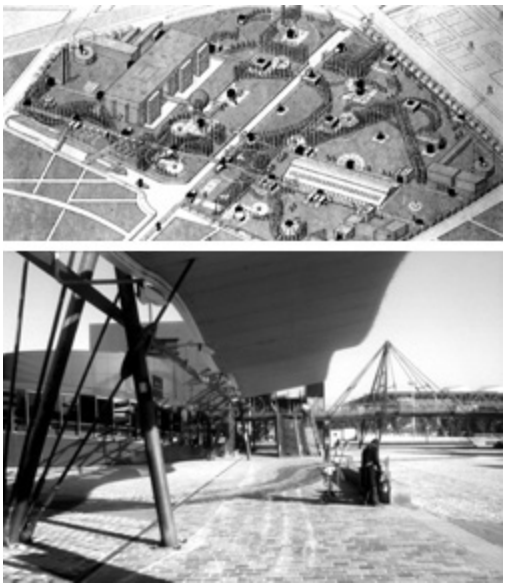


図 1-7　都市空間における偶発的な空間体験の創出をめざした建築プロジェクト
ラヴィレット公園（パリ、フランス）／バーナード・チュミ

以上より、本論では、駅建物およびその周辺環境を東京の空間特性の凝縮した資料対象と位置づけ、そこでみられる建物立面と場所により形成される状景の典型とその複合の形式を検討することから、現象する都市の空間構造の把握の一方法を提示し、資本経済が跳梁するなか常に漸次的な更新がなされることで形成されてきた現代都市東京において敷衍化しうる空間特性の一端を明らかにすることを目的とする。

2 節　研 究 の 概 要

2節1項 研究の資料と分析単位および方法

本論では、東京において市街地化が進行するプロセスのなかで鉄道ネットワークが継続的に形成されてきた東京23区にあるJR山手線とJR中央・総武線の50駅と、都心近郊の私鉄ターミナル駅などの主要駅およびその周辺を資料対象とする（図1-8）。これらは、都心部の様々な立地環境のなかに配された日本を代表する鉄道路線であり、資本の凝縮した都市空間を形成している主要駅を多く含むものであることから、東京の空間特性を捉える上で、妥当な資料対象であると考えられる。各章では、それらを対象に2006年から2012年までの期間で随時フィールドワーク調査をおこない、そこで得られた地図、アクソメ図などの資料をもとに分析を行っている。このような資料の限定より、現代都市東京の空間特性のすべてを把握できたとは言えない。しかし、東京の全体を網羅することが研究上、限界のあるなかで、駅およびその周辺では、前節で述べたように、東京を代表する状景の多様かつ主要なヴァリエーションがみられると言えることから、本論での検討は学術的な試みのひとつとして有意義なものと考える。

No.	駅名	駅建物数	立面帯数	建物立面数
1	東京	4	3	4
2	有楽町	2	1	4
3	新橋	2	1	3
4	浜松町	5	3	5
5	田町	2	2	2
6	品川	5	2	6
7	大崎	4	3	4
8	五反田	3	3	4
9	目黒	5	3	5
10	恵比寿	3	2	4
11	渋谷	8	4	12
12	原宿	4	2	4
13	代々木	3	3	3
14	新宿	9	4	9
15	新大久保	1	1	1
16	高田馬場	6	2	8
17	目白	1	1	1
18	池袋	12	4	13
19	大塚	1	2	2
20	巣鴨	3	1	3
21	駒込	4	3	5
22	田端	3	2	3
23	西日暮里	1	1	2
24	日暮里	7	6	11
25	鶯谷	2	2	2
26	上野	6	3	7
27	御徒町	2	1	2
28	秋葉原	7	4	9
29	神田	2	2	3
30	小岩	2	2	4
31	新小岩	2	2	2
32	平井	2	2	2
33	亀戸	4	3	4
34	錦糸町	2	1	2
35	両国	2	1	2
36	浅草橋	2	3	3
37	御茶ノ水	2	2	2
38	水道橋	3	2	3
39	飯田橋	3	2	3
40	市ヶ谷	1	1	1
41	四ツ谷	4	2	5
42	信濃町	1	1	1
43	千駄ヶ谷	1	1	1
44	大久保	2	2	2
45	東中野	2	4	5
46	中野	2	1	2
47	高円寺	2	1	3
48	阿佐ヶ谷	3	1	5
49	荻窪	3	3	5
50	西荻窪	2	1	2
▼近郊の主要駅（通過空間のみの資料）				
51	吉祥寺			
52	三鷹			
53	武蔵境			
54	国分寺			
55	西国分寺			
56	立川			
57	八王子			
58	北千住			
59	南千住			
60	大井町			
61	蒲田			
62	川崎			
63	鶴見			
64	横浜			
65	溝ノ口			
66	武蔵小杉			
67	町田			
68	長津田			
69	二子玉川			
70	あざみ野			
71	中央林間			

199駅建物立面
/ 109立面帯
541単位空間
/88通過空間
445構成面/
44ネットワーク
計　/ 71駅

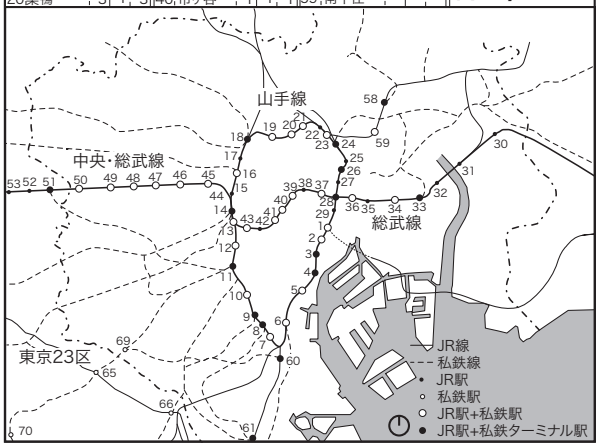


図1-8　資料リスト

本論では、駅およびその周辺環境について、それを構成する要素の性格を近接する同様の要素との関係から明らかにした上で、それらの要素どうしの関係の集積として局所から全体へと検討することから、構成する要素どうしの関係の総体としての空間特性を明らかにしている。このような分析の方法をとることにより、各駅およびその周辺環境でみられる個別の特徴を論じるのではなく、資本経済が跳梁し、常に漸次的な更新がなされることで形成されてきた現代都市東京において敷衍化しうる景観構造を把握すること意図している。

本論で検討する東京の空間特性は、前節で述べたように、都市空間を規定する建物立面により形成される特性（表層性、付帯性）と、それに面し立体的に構成された場所により形成される特性（積層性）との複合により特徴づけられている。

そこでまず、２章から４章では、各特性を検討する分析対象として、表層性を特徴つける駅建物の立面（２章)、付帯性を特徴づける駅建物の通過空間（３章)、及び、積層性を特徴づける駅建物とそれに近接する建物群とに囲まれた領域（４章）に着目する。そして、それら要素どうしの関係を検討することから、各要素の典型的な複合のパタンを抽出し、各特性が資料とする駅においてどのように形成されているかを記述し、その特徴を考察する。

続く５章では、東京において典型的な状景を明らかにするために、通過空間の出入口のある建物立面とそれに面する場所に着目し、２～４章で得られた各要素の複合パタンの組合せを検討する。さらに、得られた典型的な状景どうしの相互関係や、通過空間により接続される状景の組合せを検討することから、都市空間における状景の複合のメカニズムを総合的に考察し、東京の空間特性の一端を明らかにする。

これらの分析は、資料とする駅およびその周辺環境に限られるものではあるが、建物立面と場所に関する近接する要素どうしの関係の複合の形式という、個別の特徴によらない相対的な関係を中心に比較検討しており、抽出するパタンを東京の他の繁華街においても見出しうる典型的なものとして位置づけることを目的としている。さらに、ここで見出す典型的なパタンを相互比較し、それらがどのように組み合わさり連鎖するかといった複合形式を検討することで、東京の都市空間において単純な状景が複雑化するメカニズムを検討することができると考える。

こうした前提のもと、様々な都市要素が混在し、多様な形態や用途の複合がみられる駅およびその周辺環境の分析をするにあたり、本論では以下のように各章における分析単位を設定する。

まず、東京において駅は、駅舎に加えて様々な用途や規模の建物が複合した建物群として成立していることから、駅舎とその改札口へ至る経路を有する建物を「駅建物」と定義し、その集合として駅を位置づける。

そして、その定義により資料とした駅から抽出できる駅建物ごとに都市空間に表出す

る建物立面の連続として駅建物の立面帯（２章の分析対象）を位置づけ、さらにそれを貫通し不特定多数の人の自由な行き来が可能な通過空間（３章の分析対象）と、駅建物及びプラットホームとそれらに近接する建物とに囲まれた駅領域（４章の分析対象）とを定義し、各章での分析対象とする。

このような分析単位の定義より、２章から４章では、その分析対象ごとに、立面帯を構成する建物立面（２章の分析単位）、通過空間を構成する単位空間（３章の分析単位）、駅領域を構成する構成面（４章の分析単位）を分析単位とする。５章では、前章までに検討した空間特性を総合的に検討するために、資料とする駅建物における立面帯（２章）とそれを貫通する通過空間（３章）の組合せを分析単位とし、それらごとに面する構成面の性格（４章）を併せて検討することから典型的な状景を抽出し、駅建物およびその周辺環境における複合形式からみた空間特性を考察している。

以下、具体例をもとに各章における空間特性の分析の方法を示し、本論文における研究の方法を述べる。

２章において検討する都市空間の表層性は、建物立面の連続により特徴づけられている。例えば、渋谷駅ハチ公広場口では、図 1-9 にみられるように、複数の駅建物の立面が、高さは異なりながらも間口のスケールが近似した立面帯を形成している、さらに、それらの建物立面は、開口の構成や仕上げの切り替えにより分節され、外形スケールとは異なる細やかなスケールの連続を形成している。例えばここでは、店舗のショーウインドウが並ぶ建物立面の下層部に、コンコースなどの出入口が設けられることで、間口が様々な幅のスケールをもった面に分割され、建物立面の分割されたスケールの連続がみられる。そうした建物立面の外形スケールの連続と分割スケールの連続との連鎖は、立面帯に強弱のある連続性を形成し、この都市空間の表層性を特徴づけている。

そこで２章では、駅建物の立面の連続性について、隣接する建物立面どうしの外形スケールの連続と分割スケールの連続から分析し、他の建物立面も含めて検討することから、その複合としての都市空間の表層性を把握する。



図 1-9　都市空間に表出する駅の建物立面群（渋谷駅ハチ公広場口）

３章において検討する都市空間の付帯性は、建物立面に付帯する空間の奥行きの連続により特徴づけられている。例えば、品川駅のアトレ口では、図 1-10 にみられるように、駅建物の立面の下層部にある店舗の開口が、ラチ外コンコース[注 1-3)]（以下、通過空間）の内部まで回り込んで連続することで、通過空間の端部における建物内外の連続が形成されている。さらに、通過空間の内部では、通過空間の壁面に奥行きの深い商業施設の空間が次々と付帯することで、通過空間の内部での壁面の連続が形成されている。そうした通過空間の端部における建物内外の連続と通過空間の内部で付帯する空間の連続は、駅建物の立面に通過空間の内部まで貫入する連続性を形成し、この都市空間の付帯性を特徴づけている。

そこで３章では、通過空間と都市空間との連続性を、駅建物の立面を貫通する通過空間に着目し、その端部における建物内外との連続と、通過空間の壁面に付帯する空間の連続を検討することから、その複合としての都市空間の付帯性を把握する。



図 1-10　駅建物の通過空間（品川駅ラチ外コンコース　アトレ口）

４章において検討する都市空間の積層性は、立体的に交差・積層された場所の連続により特徴づけられている。例えば、上野駅広小路口ロータリーでは、図 1-11 にみられるように、駅前広場やペデストリアンデッキ、高速道路といった領域が交差して積層することで、視線的な領域のネットワーク形成している。さらに、個々の領域では、他の領域が重なることで、上下両方向に他の領域が見える場や、上部が限定され下方のみ見える場などに分割され、同じ領域でありながらも異なる断面構成の場の複合がみられる。そうした領域どうしの視線的なネットワークや、個々の領域における異なる断面構成の場の複合は、駅建物の立面をみる視点となる場所に多様で立体的な連続性を形成し、この都市空間の積層性を特徴づけている。

そこで４章では、駅領域の領域的な連続性を、駅領域において立体的に積層する構成

面に着目し、構成面における他の構成面との断面構成の複合の形式と、駅領域の構成面の視線的なネットワークの集中や離散とを検討することから、その複合としての都市空間の積層性を把握する。



図 1-11　様々な領域が積層する都市空間（上野駅広小路口広場）

５章において検討する建物立面と場所の複合により形成される状景は、２章から４章で検討した空間特性の複合により特徴づけられている。例えば渋谷駅南口広場では、図 1-12 にみられるように３つの建物立面で構成される駅建物の立面帯（写真右側）が、上方に線路やペデストリアンデッキのある駅前ロータリーに面しおり、さらにこの立面帯に接続する通過空間により、建物立面を境界に、建物内部と駅前ロータリーとが一体化した状景が形成されている。これは、駅建物の立面の形成する建物立面の連続性、通過空間の壁面の形成する建物内外の連続性、断面構成の混在が形成する構成面の連続性が複合した、すなわち建物立面と場所とが複合した状景をと位置づけられる。



図 1-12　建物立面と場所とが複合する都市空間（渋谷駅南口広場）

そこで５章では、２章から４章での検討の結果をもとに、通過空間と接続する駅建物の立面とそれに面する駅領域の構成面に着目し、建物立面の他の建物立面や通過空間内部との連続と、構成面の断面構成や領域的な連続とを検討する。そして、東京における典型的な状景を抽出し、さらに通過空間における状景の組合せや連続性を検討することから、その複合としての東京の空間特性を把握する。

２節２項　論文の構成

本論は「駅建物およびその周辺環境の複合形式からみた現代都市東京の空間特性」と題し、以下の６章により構成されている（図 1-13）。

第１章「序論」では、研究の背景と目的、資料と分析の方法、および論文の構成と概要について述べている。ここでは、本論が、資本経済が跳梁する現代社会において、世界都市を代表する資本の凝縮がみられる現代都市東京の空間特性を題材とするものであること、そして東京の空間特性のなかでも都市の現代性を検討する対象として国内外で注目されてきた東京の現象的な側面を把握する上で、都市空間を規定する建物立面により形成される表層性と付帯性、及び、それに面し立体的に構成された場所により形成される積層性の３つの水準が重要であること、そうした特性の複合した東京の典型的な状景を見出しうる資料として、東京の市街化とともに継続的に発達してきた都市基盤施設であり、資本の凝縮が顕著な東京都区内及び近郊の主要駅およびその周辺の都市空間が妥当であること、さらに、上述した３つの空間特性に関する分析の対象として、度重なる増改築や他用途との複合により成立している駅建物、それを貫通する通過空間、それらの周囲を取り巻く駅領域を取り上げることを述べている。そして、こうした空間特性の把握が、現代における都市建築を構想する上での新たな知見となり得ることを述べた上で、駅建物およびその周辺環境を対象に、構成する要素どうしの複合の形式を検討することで、資本経済が跳梁するなか常に漸次的な更新がなされることで形成されてきた現代都市東京において敷衍化しうる空間特性を把握するための枠組みを示すという本論文の目的を述べている。

第２章「建物立面の複合形式からみた都市空間の表層性」では、駅建物の立面を対象に、隣接する建物立面どうしの外形スケールと分割スケールの連続とを分析し、それらの複合としての立面帯の連続性および隣接する他の建物立面との連続を検討している。その結果、駅建物の立面が隣接する建物立面と視覚的に同化する定型的なパタンを位置づけられること、さらに駅建物の立面帯の連続性が形成される仕組みについては、駅建物およびその周辺環境において隣接する建物立面の形態的な性格の共通性により建物を横断した局所的なまとまりが偶発的に形成され、個々の建物立面が埋没し、そうした局所的

なまとまりが連鎖することで強弱のある連続性が形成されているという傾向を明らかにしている。

第３章「通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性」では、ラチ外コンコースなどの駅建物を自由に通り抜け可能な通過空間を対象に、通過空間に同様の奥行きの空間が付帯することによる連続と端部における都市空間との連続とを分析し、それらの複合としての通過空間の連続性を検討している。その結果、通過空間を構成する単位空間については、奥行きの異なる空間が多方向に付帯するものが多いこと、さらに通過空間の連続性が形成される仕組みについては、通過空間において奥行きの異なる空間が付帯する単位空間が連鎖することで部分的に強い連続性が形成されおり、その壁面の性質が端部において駅建物の立面と連続し、都市空間に表出するという傾向を明らかにしている。

第４章「駅領域の複合形式からみた都市空間の積層性」では、駅建物とそれに近接する建物群に囲まれた駅領域を対象に、用途上の面的なまとまりとして構成面を抽出し、そこでの近接する他の構成面との断面構成の複合と、構成面どうしの視線的なネットワークとを検討している。その結果、駅領域の構成面においては、近接する構成面が上方にある場合に異なる断面構成が混在し強い領域的な分節がみられること、さらに構成面のネットワークについては、構成面どうしの断面構成の違いにより分節された場を単位とした階層的なネットワークが形成されており、そこでは特に同一レベルでの基点となる構成面の分節の度合いが強く、その中心性が認識されにくいという傾向を明らかにしている。

第５章「駅建物およびその周辺環境における状景の複合形式からみた東京の空間特性」では、第２章から第４章で得られた結果を横断的に検討するために、立面帯、通過空間、駅領域のすべてがみられる駅を対象に、まず立面帯とそれを貫通する通過空間との連続を分析し、さらにそれらが面している構成面の領域的な性格を検討することから、東京の都市空間における典型的な状景を抽出し、その空間特性を総合的に考察している。その結果、都市空間において立面と場所との複合により形成される状景について１１の構成類型が成立していること、そして東京の都市空間では、建物立面の連続性を介することで立体的に構成された外部空間と建物の内部空間とに連続性が形成されることを明らかにしている。さらに、通過空間に接続される状景の組合せを検討することから、東京では異種の状景を通り抜ける空間体験が多く、同種の状景の組合せに比べて、建物内外の連続的な空間体験を形成しやすいという東京の空間特性の一端を指摘している。

第６章「結論」では、以上各章で得られた結果をまとめ、本論で得られた知見を総括している。

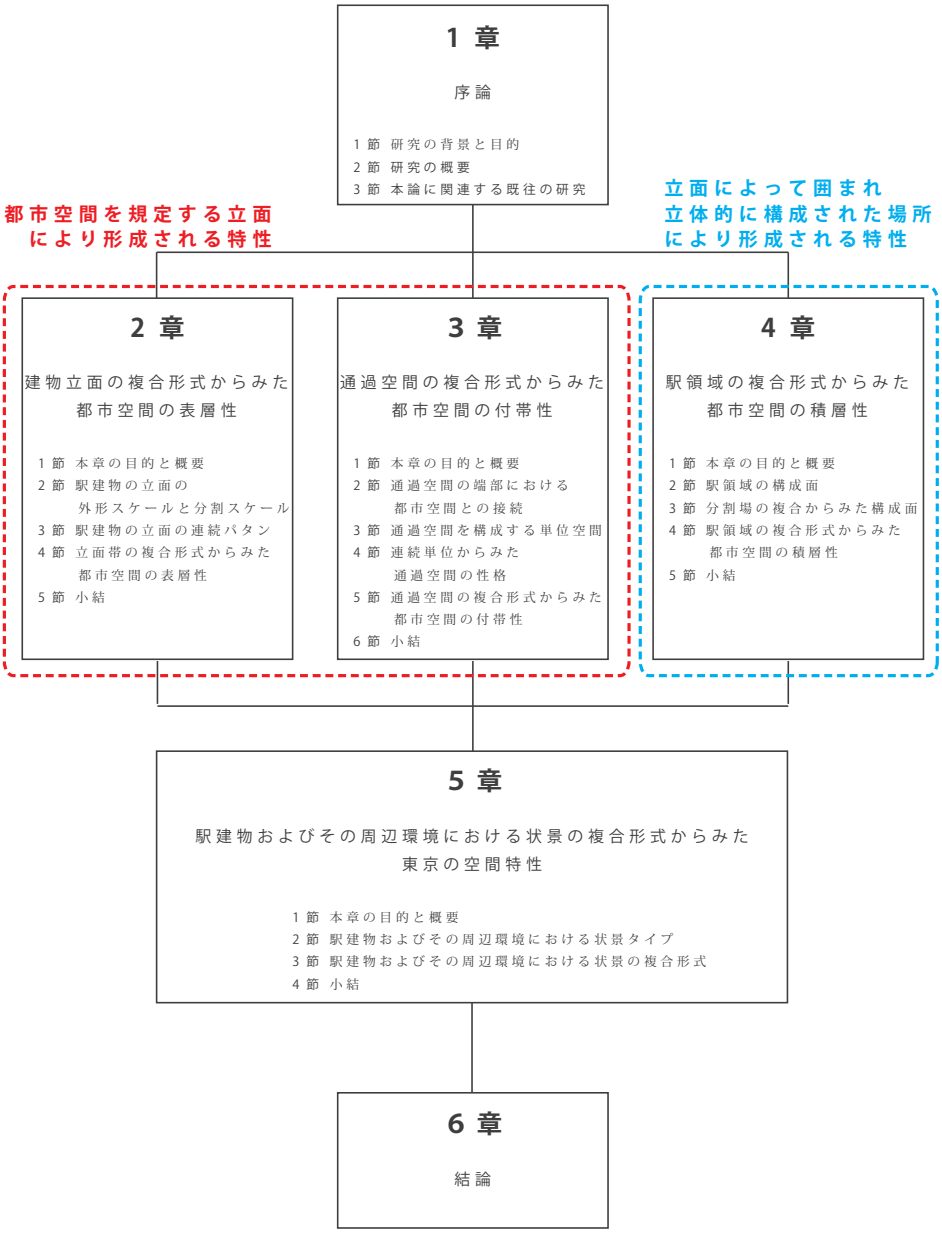

1 章
序論
1 節 研究の背景と目的
2 節 研究の概要
3 節 本論に関連する既往の研究
都市空間を規定する立面
により形成される特性
立面によって囲まれ
立体的に構成された場所
により形成される特性
2 章
建物立面の複合形式からみた
都市空間の表層性
1 節 本章の目的と概要
2 節 駅建物の立面の
外形スケールと分割スケール
3 節 駅建物の立面の連続パタン
4 節 立面帯の複合形式からみた
都市空間の表層性
5 節 小結
3 章
通過空間の複合形式からみた
都市空間の付帯性
1 節 本章の目的と概要
2 節 通過空間の端部における
都市空間との接続
3 節 通過空間を構成する単位空間
4 節 連続単位からみた
通過空間の性格
5 節 通過空間の複合形式からみた
都市空間の付帯性
6 節 小結
4 章
駅領域の複合形式からみた
都市空間の積層性
1 節 本章の目的と概要
2 節 駅領域の構成面
3 節 分割場の複合からみた構成面
4 節 駅領域の複合形式からみた
都市空間の積層性
5 節 小結
5 章
駅建物およびその周辺環境における状景の複合形式からみた
東京の空間特性
1 節 本章の目的と概要
2 節 駅建物およびその周辺環境における状景タイプ
3 節 駅建物およびその周辺環境における状景の複合形式
4 節 小結
6 章
結論

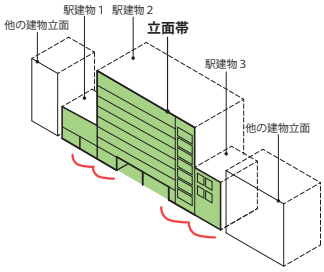
図 1-13　論文の構成

２節３項　用語の定義

本論における主要な用語は、以下の通り定義する。

駅建物　　駅舎および改札口へ至る経路を有する建物

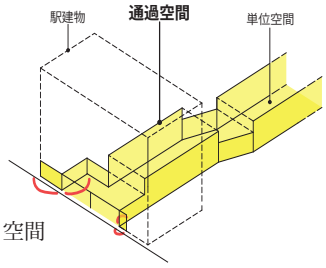
立面帯　　都市空間に表出する駅建物の立面の連なり



分割スケール　分節表現が異なることで分割された
建物立面の間口方向のスケール

通過空間　ラチ外コンコースなどの駅建物を貫通し、
不特定多数の人が利用可能な自由通路

単位空間　天井高さや幅などの空間のかたちの変化により
抽出した通過空間を構成する空間

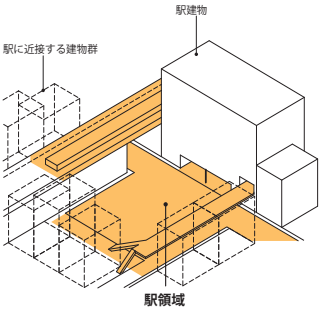


付帯空間　キオスクや改札口などの通過空間の壁面に付帯する空間

駅領域　　駅（駅建物とプラットホーム）に近接する
建物群に囲まれた範囲

構成面　　駅前広場などの用途上の面的なまとまりを
有する駅領域を構成する領域

分割場　　構成面において他の構成面との断面構成が
異なることで分割された場



3 節　本論に関連する既往の研究

各論に関連する既往の研究

また、駅建物およびその周辺の現象する都市空間を題材とする研究のうち、本論の２章から４章の各論に関連する既往の研究として、以下のものがあげられる。

２章と関連した既往研究

２章に関連して、建物立面からみた都市空間に関する既往研究には、まず駅を中心とした都市空間の現象的側面に関するものとして、その景観評価を目的とするもの[1-34)、1-35)]が挙げられる。これは駅およびその周辺の街並みに関する知覚構造を、物理量と心理量との関係から明らかにするものであり、どのような駅前空間が豊かな空間性をもつと人々によって知覚されているかなどを把握し、成果を挙げている。

また、駅を中心とした都市空間を題材にするものとして、その空間構成を明らかにするもの[1-36)]が挙げられる。これは都市の特徴的な外部空間のひとつである駅前広場の構成的な性格を、建物等の構成要素の組合せと配列の形式から検討するものであり、多様な要素が混在する都市のオープンスペースに内在する形式性を見いだし、その性格を把握するための枠組みが提示されている。

建物の立面構成の記述法に関するものとして、建物立面およびその部分を街並みを構成する要素とみなし、景観における記号現象を明らかにするもの[1-37)]が挙げられる。これは、日本の伝統的な街並みを対象に、建物立面の類似性と差異性とを記号論の観点から検討するものであり、個別の建物を検討することのみでは明らかにすることが不可能な街並みの全体的な佇まいやアイデンティティなどを捉えるための様々な記述法が開発されている。

また、駅舎の外観表現に関するものとして、その意匠的特徴やその歴史的意義を明らかにするもの[1-38)]が挙げられる。これらは建築家が設計した特定の駅舎を対象とし、そのデザインを作品論あるいは作家論として検討するものであり、その駅舎のデザインのがどのように生み出されたかが明らかにされている。

これらの研究にたいして本論は、建物立面の物的な構成の連続を検討することから、都市空間の表層性という東京の現象的な側面を明らかにすることを試みるものであり、一線を画すものである。

建物立面の連続を検討する既往研究には、奥山らの研究[1-20)、1-21)、1-22)、1-23)]、及川・原らの研究[1-39)]、奥の研究[1-40)]、橋本・山本ら[1-41)]の研究などがあり、本章は奥山らの研究方法に倣いながら、建物立面の外形スケールと分割スケールの連続を検討するものである。これらの既往研究は、様々な観点から建物立面の連続性を明らかにすることを試みるものであるが、建物立面の連続の条件を定量的に明らかにしたものはみられなかった。そのうち橋本・山本らは、奥山らの研究に倣いながら、隣り合う建築物間について、「歩

行者がその違いを感じない程度と考えられる範囲の値を経験的に検討し、間口長さでは5m以内の差」のように経験的に数値を設定することから連続を検討している。しかし、本論の資料対象である東京の駅周辺では、異なる規模や用途の混在がより顕著であること、駅ごとにも差異がみられること、建物立面の外形スケールと分割スケールという異なる２つの水準の複合を検討することから、一定の数値を連続の基準とすることは適切でないと考え、隣接する建物立面の間口のスケールの比に着目する点で異なる研究であると言える。

３章と関連した既往研究

３章に関連する既往研究として以下のものが挙げられる。まず、駅建物の機能の複合化に関するものとして、武田ら[1-42)]や臼井ら[1-43)]や研究が挙げられる。これらは、前者が機能複合化が駅らしさに与える影響などを検討するものであり、後者が駅機能複合化と周辺都市との相関などを検討するものであり、都市拠点施設としての駅の施設計画の可能性などを評価している。本研究は、駅建物の機能の複合化を前提としながらも、駅建物の通過空間に着目している点で異なる研究と言える。

また、駅建物の通過空間に関するものとしては、大野ら[1-44)]やホーら[1-45)]の空間の環境認知に関するもの、鄭ら[1-46)]のコンコースの使われ方に関する実態調査に関するものなどがみられ、前者が通過空間の経路構成やサインなどが人間の心理に及ぼす影響などを評価しており、後者は通過空間における群集密度や行為などを明らかにしている。本研究は、駅建物の通過空間の現象的な側面を検討する点でこれらの研究と類似していると言えるが、これらが心理や行為といった人間側から検討しているのに対し、通過空間の物的な構成を検討する点でこれらと異なる研究である。

通過空間の物的な構成を検討するものに、貝島ら[1-47)、1-48)]や古賀ら[1-49)]の駅建物の通過空間における外部空間や商業空間の付帯構成に関するものなどが挙げられるが、これらは通過空間における要素の構成形式を評価しているのに対し、本論は付帯構成の同一や差異による通過空間の分節性と都市空間との連続性を明らかにする点で異なる研究であると言える。

４章と関連した既往研究

４章に関連する既往研究として以下のものが挙げられる。まず、東京の都市景観に関するものとして、その景観評価を目的とするもの[1-34)]やその立体化の度合いの評価を目的としたもの[1-50)]が挙げられる。前者には、景観に関する知覚構造を、景観を構成する要素の物理量とそれに対する心理量との関係から明らかにしたものなどがあり、どのような駅前空間が豊かな空間性をもつと人々によって知覚されているかなどが評価されている。後者には、近年高層化が進行する都市再生緊急整備地域を対象に、上下層に配される場所相互のアクセシビリティを見た目の移動距離と実際の移動距離との定量的な比較から捉え、デザイン誘導方法の可能性を検討したものなどがある。

また、都市空間の構成原理に関するものとして、その立体的な空間構成を明らかにする安森・坂本ら[1-51)、1-52)]や、高桑・小川ら[1-53)]のものや、その形成プロセスを明らかにする松浦[1-54)]ものが挙げられる。前者には、都市の特徴的な外部空間のひとつである交通路が交錯する空間の構成的な性格を、それを構成する建物や土木構築物といった要素の組合せと配列から検討するのものがあり、多様な要素が混在する都市空間に内在する形式性を見いだし、その性格を把握するための枠組みが提示されている。後者には、近代日本の官庁街を描いた鳥瞰図を資料とし、そこに描かれた立体的な空間構成を検討することから、都市空間の形成プロセスを歴史的な側面から明らかにするものなどがある。

これらの研究に対して本論は、都心部主要の駅建物およびその周辺環境を資料対象に、それを構成する物的な要素どうしの構成を検討する点で、安森・坂本らなどの都市空間の構成原理に関する一連の研究などに類似した研究であると言えるが、それらが特定の空間構成を有する都市空間を、それを規範づける主調となる要素の組合せと配列から位置づける静的な特性の分析を行うのに対して、本論は建物立面や領域といった都市の至る所で見出し得る都市の構成要素どうしの関係の総体として分析することで、近接する状景から状景へと体験し得る動的な特性を検討する点で異なる研究であると言える。

本論は、以上のような既往研究を参考にしながらも、多様な都市要素の混在から把握の困難であった東京の都市空間の現象的な側面を、都市空間を規定する建物立面とそれに面する場所との複合により形成される状景の物的な構成に着目し、その近接する要素どうしの差異と同一といった関係の集積のパタンを検討することから、常に漸次的な更新がなされることで形成されてきた現代都市東京において敷衍化し得る景観構造の把握を試みるものであり、既往研究とは一線を画すものである。

1章注

注 1-1) 近代日本を代表する建築家のひとりである谷口吉郎は、参考文献 3）において、「『駅頭風景』・・・その立て看板やポスターの集合状態は、いかにも乱雑で、醜い。」と述べ、東京の駅前の都市空間の雑然とした状況を否定している。また近年でも、和田幸信は、参考文献 4）において、「日本の現況からするならフランスの景観もこれを規制する制度も、比較できないほど遥か彼方にある道標である。」と述べ、日本の視覚障害ともいわれる「ジャンクな景観」を否定し、制度的な側面を整備し景観規制を行うべきであるとしている。また、文学界においても東京の都市空間に対する様々な評価を見出すことができる。例えば、谷崎潤一郎は参考文献 5)において、「今ノ東京ヲコンナ浅ましい乱脈ナ都会ニシタノハ誰ノ所業ダ」と述べ、その乱雑さに怒りを表している。一方で、田山花袋は参考文献 6）において、「大通も殆ど渾て江戸時代の面影を失ってしまった。破壊と建設との縮図は、一次東京の市街に不思議な、不統一な光景を示したが、今ではそれも一段落ついたように、不統一のままに落付いてしまった。」と述べ、その不統一な状態を必ずしも否定せず、そのなかに落ちついた状態（秩序）を見出している。これらの否定的な意見は、近代化のなかで西欧に範をとり、秩序ある街並みの形成などの試みが多くなされてきた日本において基調となるものであると言えるが、田山の論考にもみられるように、その評価は確定的なものではなく、常に批判と再評価を繰り返されてきたと言える。

注 1-2) 奥山信一らは、様々な開口形式のみられる商業建築の街並みを形成する銀座（参考文献 20)、建物立面が広告看板等で覆われた街並みを形成する秋葉原（参考文献 21)、様々な高さの建物が重層的な街並みを形成する駅前広場（参考文献 22)、建物立面の並列的な関係と重層的な関係の複合する主要幹線道路交差点の角地建築群（参考文献 23）など、東京の繁華街における建物の連続立面に着目し、建物立面の分節により形成される都市の立面の独自の連続性を明らかにしている。本論の建物立面の複合により形成される表層性に関する分析は、これら奥山らの研究成果を下地とするものである。

注 1-3) ラチは、参考文献 31）広辞苑では、「らち【埒】①馬場の周囲の柵。②物事の定限」とされ、参考文献 32）建築大辞典では「らち　埒　①馬場の周囲に設けられた木製の低い垣。②低い垣を表す語」とある用語で、柵などで囲まれた一定の範囲をさす語である。そして現在では、その派生として駅の改札を意味するものとして利用されている。さらに、駅に関してより専門な参考文献 33）鉄道技術用語辞典では、駅におけるラチについて、「改札柵。改集札を行うためのボックス・柵・自動改札機、およびそれらから隣接する施設までの柵の総称。駅利用者が改札柵を通ってから動くことのできる範囲を柵（ラチ）内といい、それ以外の部分を柵（ラチ）外という。」と定義されており、本研究においても同様の意味で用いている。また、同参考文献 33）鉄道技術用語辞典では、駅のコンコースは「駅本屋内の流動施設で、駅本屋の出入口からホームに至るまでに旅客・駅利用者が通り主要な通路のこと。旅客流動のための通路としての機能のほかに、旅行準備や待合せを行う滞留スペースとしての機能をもつ。」ものとされており、さらにラチと関連させ、「また、出入口から改札柵までを柵（ラチ）外コンコース、改札柵からホームまでを柵（ラチ）内コンコースと区別する。」とされている。これらの定義を前提に、本論では、ラチ外コンコースのうち、駅建物を貫通し、不特定多数の人が自由に利用可能なもの通過空間と定義し、分析対象とする。

参考文献

1-1)　町村敬：「世界都市」東京の構造転換 , pp. ⅰ - ⅱ , 東京大学出版 , 第 3 版 , 2010.10.22
1-2)　B・チュミ : 六つのコンセプト , a+u 別冊 バーナード・チュミ , p. 17, 新建築社 , 1994.3
1-3)　谷口吉郎：清らかな意匠 , 朝日新聞社 , 1948
1-4)　和田幸信：フランスの景観を読む－保存と規制の現代都市計画 , 鹿島出版会 , 2007.5.30
1-5)　谷崎潤一郎：痴癲老人日記 , 中央公論者 , 1962
1-6)　田山花袋：東京の三十年 , 岩波文庫 , 1917
1-7)　篠原一男：生産と技術―現代の集落 , 住宅建築 , p.103, 紀伊国屋書店 , 1964
1-8)　北山恒 , 塚本由晴 , 西沢立衛：非寛容なスパイラルから抜け出すためにーヴォイド・メタボリズムにおける第 4 世代住宅ー , TOKYO METABOLIZING, pp.28-31, TOTO 出版 , 2010.7.25
1-9)　陣内秀信：東京の空間人類学 , pp.7-13, 筑摩書房 , 初版第 11 刷 , 1987.3.11
1-10)　R・コールハース : Two New Tokyos, OMA レム・コールハースのジェネリック・シティ , vol.2, p. 25, TN Probe ／大林組 , 1995
1-11)　竹山聖：秩序と不秩序－「錯雑不統一」新宿歌舞伎町界隈 , 街路の意味 , pp.123-124, 鹿島出版会 , 第二刷 , 1981.4.20
1-12)　磯崎新：日本の都市空間－雲煙の技法 , 空間へ , p.130-132, 鹿島出版会 , 第二刷 , 2007.5.30
1-13)　G・カレン : 景観のスタディー大草原計画 , 都市の景観 , p.174, 鹿島出版会 , 第 4 刷 , 1981.3.25
1-14)　中村良夫：風景学・実践編－風景を目ききする , 中公新書 , p.3, 2001.5.25
1-15)　柴田久 , 齋藤潮 , 土肥真人 , 永橋為介 : 景観論における領域と主体の位置づけ , 環境都市に向かう景観の訴求力 , 環境と都市のデザイン , pp.53-55, 学芸出版社 , 200411.10
1-16)　中村良夫（分担執筆）：環境と景観 , 環境の解釈 , pp.132-133, 学芸出版社 , 2003.12.30
1-17)　齋藤潮（分担執筆）：景観 , 景観の概念 , 景観用語事典 , pp.12-13, 彰国社 , 増補改訂版 , 2007.3.10
1-18)　デジタル大辞泉
1-19)　芦原義信：建築の外観の見え方に関する考察－第一次輪郭線と第二次輪郭線－ , 街並みの構成 , 街並みの美学 , pp.120, 岩波現代文庫 , 第 3 刷 , 2004.11.15
1-20)　中谷豪 , 奥山信一 , 山田秀徳 : 街路型建築のファサードの連続性　ファサードの連続性により形成された都市空間に関する研究（2）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.623-624, 1999

1-21) 山田秀徳 , 奥山信一 , 谷川大輔 , 加藤拓郎 : 屋外広告によるファサードの連続性　ファサードの連続性により形成された都市空間に関する研究（5）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.875-876, 2000
1-22) 浅田真理 , 横山天心 , 奥山信一 : 現代都市空間における重層的立面の構成　ファサードの連続性により形成された都市空間に関する研究（7）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.387-388, 2003
1-23) 山本友丘森 , 奥山信一 , 横山天心 , 中島俊明 : 現代都市空間の角地建築群におけるファサードの連続性　ファサードの連続性により形成された都市空間に関する研究（9）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.653-654, 2006
1-24) 槇文彦：空間の襞 , 日本の都市空間と＜奥＞ , 記憶の形象－都市と建築との間で , pp.247-249, 筑摩書房 , 1993.4.20
1-25) 中村良夫 , 樋口忠彦 , 北村眞一 , 窪田陽一共著 : 重合 , 交通ターミナル空間 , 交通空間の構成 , 土木学会編　新体系土木工学 58　都市空間論 , 1 版 1 刷 , p.177, 技報堂出版 , 1993.10
1-26) 中村英夫・家田仁編著 , 東京大学社会基盤工学教室著 : 鉄道網の整備と「東京」の形成 , 東京のインフラストラクチャー 巨大都市を支える（第 2 版）, pp.53-72, 技報堂出版 , 1997
1-27) 越沢明 : 大東京の成立と副都心の形成 , 東京の都市計画 , pp.87-114, 岩波新書 , 1991
1-28) 鹿島出版会編：駅再生 , 鹿島出版会 , 2002.11.30
1-29) ロラン・バルト：駅 , 表徴の帝国 , pp.63-64, ちくま学芸文庫 , 第九刷 , 2002.9.15
1-30) E・ベネダー（分担執筆）：都市、ピース（断片）、ロゴ、Z 軸、空虚な舞台、寛容、そしてカーレンスベルグからの眺め , 篠原一男経由　東京発東京論 , pp.87-88, 鹿島出版会 , 第 2 刷 , 2003.4.30
1-31) 新村出　編 , 広辞苑 , 第 18 刷 , p.2217, 岩波書店 , 1966.1.10
1-32) 下出源七　編 , 建築大辞典 , 第 1 版 , p.1589, 彰国社 , 1974.10.10
1-33) 鉄道総合技術研究所　編 , 鉄道技術用語辞典 , 第 2 版 , p.94, p.237, p.714, 丸善出版 , 2006.12.10
1-34) 志水英樹 , 鈴木信弘 , 山口満 : 駅舎及び周辺街並の知覚構造に関する研究 , 日本建築学会計画系論文報告集第 433 号 , pp.41-51, 1992.3
1-35) 竹澤晋一 , 上浦正樹 , 臼井幸彦 : 鉄道駅における「駅らしさ」に関する基礎的研究 , 日本建築学会計画系論文集第 553 号 , pp.177-184, 2002.3
1-36) 安森亮雄 , 坂本一成 , 横山志穂 , 寺内美紀子 : 建築ヴォリュームの配列による駅前広場の空間構成 東京都 23 区 JR 線におけるケーススタディー 現代日本の都市空間における空地の構成形式に関する研究（2）, 日本建築学会計画系論文集第 622 号 , pp.83-90, 2007.12
1-37) 守山基樹 , 門内輝行 : 京都の街並み景観の記号化と記号のネットワークの記述　街並みの景観における関係性のデザインの分析　その 1, 日本建築学会計画系論文集第 652 号 , pp.1507-1516, 2010.6
1-38) 大内田史郎 : 帯形からみた丸ノ内本屋の意匠に関する考察　東京駅丸ノ内本屋の意匠に関する研究 , 日本建築学会計画系論文集第 589 号 ,pp. 201-205, 2005.3、臼井敬太郎 : レッジョ・カラブリア駅のデザインについて　イタリア人建築家アンジョロ・マンツォーニの駅舎建築研究 , 日本学会計画系論文集第 621 号 , pp.223-228, 2007.11
1-39) 及川清昭、原広司、藤井明「都市景観の定量的把握—その３　連続立面による街路景観の分析」、日本建築学会大会学術講演梗概集（北陸）、pp.2323-2324、1983 年 9 月
1-40) 奥俊信「２戸連続建物景観の視覚形態評価」、日本建築学会計画系論文集第 403 号、pp.87-96、1989 年 9 月
1-41) 橋本麻里奈、山本直彦、真木梨華子、北山めぐみ、城戸杏里、杉山亜里紗「主要街路の景観を形成する立面意匠表現とその連続性－御堂筋沿道建築物を事例として」、平成 23 年日本建築学会近畿支部研究発表会、pp.657-660、2011 年
1-42) 武田嘉雄 , 天野光一 : 駅における機能と駅らしさに関する基礎的研究 , 日本都市計画学会学術研究論文集 No.31, pp.187-192, 1996
1-43) 臼井幸彦 , 上浦正樹 : 鉄道駅の機能複合化とその変遷に関する基礎的研究―札幌駅を事例として―, 日本都市計画学会学術研究論文集 No.29, pp.589-594, 1994
1-44) 大野隆造 , 小倉麻衣子 , 添田昌志 , 片山めぐみ : 地下鉄駅における主観的な移動距離および深さに影響する環境要因 , 日本建築学会計画系論文集第 610 号 , pp.87-92, 2006.12
1-45) ホーヴァンゴック , 栗生明 , 鈴木弘樹 : 都市型駅の公共空間における内外連続空間の心理評価と空間分析 , 日本建築学会技術報告集第 17 巻 , 第 37 号 , pp.977-982, 2011.10
1-46) 鄭姫敬 , 渡辺仁史 : ソウル駅のコンコースの使われ方に関する研究 , 日本建築学会計画系論文報告集第 443 号 , pp.87-97, 1993.1
1-47) 中村紀章 , 貝島桃代 , 志村真紀 , 一ノ瀬彩 , 田熊拓也 : 複雑性、開放性及び都市環境との近接性から見た乗換空間の要素 - 山手線を中心とした乗換空間における要素の構成に関する研究（1）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.757-758, 2007
1-48) 中村紀章 , 貝島桃代 , 志村真紀 , 一ノ瀬彩 , 田熊拓也 : 乗換空間の要素の構成的性格 - 山手線を中心とした乗換空間における要素の構成に関する研究（2）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.759-760, 2007
1-49) 古賀良子 , 齋藤潮（指導教官）：私鉄ターミナル駅における交通動線への商業空間の付帯形式 , 東京工業大学大学院社会理工学研究科修士課程修士論文 , 2005.2
1-50) 佐藤栄治 , 吉川徹 : 都市再生緊急整備地域汐留におけるアクセシビリティに着目した都市の立体空間構成に関する研究 , 日本建築学会計画系論文集第 593 号 , pp.153-158, 2005.7
1-51) 貝島桃代 , 米華さとみ , 寺内美紀子 , 安森亮雄 , 坂本一成 , 久野靖広 , 中井邦夫 : 交通路の位相的配置と隣接環境 現代日本の都市空間の立体構成（1）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.677-678,

2000
1-52) 米華さとみ , 貝島桃代 , 寺内美紀子 , 安森亮雄 , 坂本一成 , 久野靖広 , 中井邦夫 : 交通路と隣接環境による都市空間の立体構成の形式 現代日本の都市空間の立体構成（2）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.679-680, 2000
1-53) 高桑広太郎 , 小川次郎 , 小山大吾 : 東京都区部における都市デルタ領域の構成 建築と都市環境要素の混成による構成形式に関する研究 , 日本建築学会計画系論文集第 668 号 , pp.2003-2011, 2011.11
1-54) 松浦健治郎 : 吉田初三郎鳥瞰図に描かれた昭和初期の官庁街の立体的空間構成 近世城下町を基盤とする県庁所在都市 18 都市を対象として , 日本建築学会計画系論文集第 602 号 , pp.105-112, 2006.4

関 連 論 文 目 録

本論に関係する審査論文

・駅およびその周辺環境における建物立面の複合形式からみた都市空間の表層性

稲用隆一 , 奥山信一 , 日本建築学会計画系論文集 No.670, pp.2299-2306, 2011 年 12 月

……（第 2 章に対応）

・駅建物の通過空間における周辺環境の複合形式からみた都市空間の付帯性

稲用隆一 , 猪股和広 , 塩崎太伸 , 奥山信一　（投稿準備中）

……（第 3 章に対応）

・駅およびその周辺環境における領域の複合形式からみた都市空間の積層性

稲用隆一 , 上原絢子 , 塩崎太伸 , 日本建築学会計画系論文集 No.694, pp.2499-2506, 2013 年 12 月

……（第 4 章に対応）

本論に関係する口頭発表論文

・駅のプラットホームから見る都市空間の広がりに関する研究

奥山信一 , 稲用隆一 , 横山天心 , 塩崎太伸 , 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.671-672, 2006

・隣接建物との対比関係からみた駅建物のヴォリューム構成

－ファサードの連続性により形成された都市空間に関する研究（10）

稲用隆一 , 上原絢子 , 奥山信一 , 塩崎太伸 , 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.765-766, 2007

・都市空間における表出形式からみた駅建物の複合性

－ファサードの連続性により形成された都市空間に関する研究（11）

稲用隆一 , 奥山信一 , 塩崎太伸 , 上原絢子 , 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.767-768, 2007

・都心部主要駅及び駅周辺の断面構成からみた領域的枠組み

－現代都市空間における領域の複合性に関する研究（1）

上原絢子 , 稲用隆一 , 奥山信一 , 日本建築学会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.765-766, 2008

・現代都市東京における立体的に構成された領域の複合性

－現代都市空間における領域の複合性に関する研究（2）

上原絢子 , 稲用隆一 , 奥山信一 , 日本建築学会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.767-768, 2008

・付帯空間の性格からみた駅建物における通過空間の分節性

－駅建物の複合性により形成された都市空間に関する研究（1）

猪股和広 , 稲用隆一 , 奥山信一 , 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.763-764, 2009

・駅建物における通過空間の分節性からみた建築と都市空間の関係性

－駅建物の複合性により形成された都市空間に関する研究（2）

猪股和広 , 奥山信一 , 稲用隆一 , 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.765-766, 2009

その他の口頭発表論文

19 編（日本建築学会大会学術講演梗概集（共著））

第２章　建物立面の複合形式からみた都市空間の表層性

1 節　本章の目的と概要

1 節 1 項　目的

本章では、都市空間を規定する立面により形成される空間特性のうち、建物立面の連続により形成される表層性を、駅建物の立面を分析対象に、隣接する建物立面どうしの外形スケールの連続と分割スケールの連続とを分析し、さらにそれらの複合としての立面帯の連続性および隣接する他の建物立面との連続とから検討する。

東京では、明治 5 年の鉄道開業以来、都市圏の拡張に伴い路線網が次第に整備され、それと同時に数多く建設された駅は、市街地形成の中心となる都市基盤施設の一翼を担ってきた[注 2-1)]。このような駅の建物は、本来的に旅客輸送のためのプラットホームと街とをつなぐ駅舎のみで成立しうるものであるといえるが、鉄道利用者の増加やそれに伴う商業資本の集積により増改築が繰り返された結果、駅以外の用途との多様な複合がその実体的な水準において表出した駅建物として成立している（図 2-1）。

駅建物は、単一の建物として成立している西欧の主要ターミナル駅とは異なり、様々なスケールの建物の集合体として成立している。さらにこれらの建物立面は、戦後の高度経済成長に伴い漸次的に開発が進められ様々なスケールや用途の建物が高密に建ち並ぶ都市空間において、近接する周辺の建物群の隙間から断片的に都市環境へ表出しており、そこではその全体を把握し難いという特徴がみられる。このような高密に建物が建ち並ぶ都市空間においては、隣り合う建物立面や向かい合う建物立面が、高さや間口などの建物の外形スケールや建物立面の分節によるスケールといった共通した形態的な性格をもつことで偶発的なまとまりを形成し、そのことにより個々の建物を単体として認識することが視覚的に困難な状景が現象していると考えられる。



図 2-1　JR 渋谷駅ハチ公口にみられる建物立面群

また、こうした建物立面の表現を近接する建物立面との相対的な関係から検討することは、都市環境における自律性や連続性といった建物の視覚的な特徴を把握するうえで重要であるといえ、都市建築の外観を構想する新たな知見をもたらすと考えられる[注2-2)]。

本章ではこのような認識のもと、駅建物の立面の複合の形式を、建物の外形スケールの連続と建物立面の分割スケールの連続といった近接する建物立面との物的な関係から捉えることで、現代都市空間を記述する新しい方法を提案するとともに、その駅建物の立面の連続により形成される都市空間の表層性の一端を明らかにすることを目的とする。

1節2項　概要

本章の概要を述べると、本章では市街地化が進行するプロセスのなかで鉄道ネットワークが継続的に形成されてきた東京都23区において、主要な駅を多く含むJR山手線とJR中央・総武線の50駅を調査対象とした（表2-1）[注2-3)]。

No.	駅名	駅建物数	立面帯数	建物立面数	No.	駅名	駅建物数	立面帯数	建物立面数	No.	駅名	駅建物数	立面帯数	建物立面数	No.	駅名	駅建物数	立面帯数	建物立面数
1	東京	4	3	4	15	新大久保	1	1	1	29	神田	2	2	3	43	千駄ヶ谷	1	1	1
2	有楽町	2	1	4	16	高田馬場	6	2	8	30	小岩	2	2	4	44	大久保	2	2	2
3	新橋	2	1	3	17	目白	1	1	1	31	新小岩	2	2	2	45	東中野	2	4	5
4	浜松町	5	3	5	18	池袋	12	4	13	32	平井	2	2	2	46	中野	2	1	2
5	田町	2	2	2	19	大塚	1	2	2	33	亀戸	4	3	4	47	高円寺	2	1	3
6	品川	5	2	6	20	巣鴨	3	1	3	34	錦糸町	2	1	2	48	阿佐ヶ谷	3	1	5
7	大崎	4	3	4	21	駒込	4	3	5	35	両国	2	1	2	49	荻窪	3	3	5
8	五反田	3	3	4	22	田端	3	2	3	36	浅草橋	2	3	3	50	西荻窪	2	1	2
9	目黒	5	3	5	23	西日暮里	1	1	2	37	御茶ノ水	2	2	2					
10	恵比寿	3	2	4	24	日暮里	7	6	11	38	水道橋	3	2	3		199駅建物の立面			
11	渋谷	8	4	12	25	鶯谷	2	2	2	39	飯田橋	3	2	3		/109立面帯			
12	原宿	4	2	4	26	上野	6	3	7	40	市ヶ谷	1	1	1		/164駅建物			
13	代々木	3	3	3	27	御徒町	2	1	2	41	四ツ谷	4	2	5	計	/ 50駅			
14	新宿	9	4	9	28	秋葉原	7	4	9	42	信濃町	1	1	1					

表2-1　資料リスト

本章では、序論で述べたように、駅舎およびその改札口へ至る際に経由する建物を駅建物と定義して、駅ごとに抽出し[注2-4)]、分析対象とする。

例えば渋谷駅（図2-2、2-3）では、JR山手線の駅舎である駅建物3や、東京メトロ銀座線の改札口を有し商業の用途と複合した駅建物4など、8つの駅建物が集合することによって駅全体が構成されている。こうした駅建物が集合した状況では、それらの建物立面が連なって都市空間に表出しており、隣接する建物立面どうしで連続することで特徴的な状景を形成している。例えば、駅建物3と4は、駅前広場（ハチ公口広場）に連なって面しており、さらに、駅建物1や駅建物6、7、8の立面と連なることでひとつながりの建物立面群を形成している。本論では、このような駅建物の立面の集合体を立面帯[注2-5)]と定義する。

立面帯は、他の建物立面や高架、道路などと隣接せず、駅建物の立面の連なる範囲を

抽出している（図 2-2）。例えば、図 2-3 の渋谷駅において、駅建物 6 の南側では、東京メトロ銀座線の高架線路があり、駅建物 4 と駅建物 7 の南立面は切れているため、それぞれ立面帯 D と立面帯 C という別の立面帯として抽出できる。ただし、異なる駅建物の立面帯が同一の他の建物立面を介して連なる場合や、高架下に駅建物の立面が回り込む場合は、ひとつながりの立面帯と抽出する。例えば、図 2-3 の渋谷駅において、駅建物 2 と駅建物 3 の建物立面は、高架下にある他の建物立面を介して連なると捉え、一帯の立面帯 A として抽出している。

このような定義のもと、本章の資料対象を検討すると、50 駅において 164 の駅建物と 109 の立面帯がみられた。ここで、立面帯を構成する駅建物の立面は 199 資料あり、これを 2 節以降の分析単位とする。

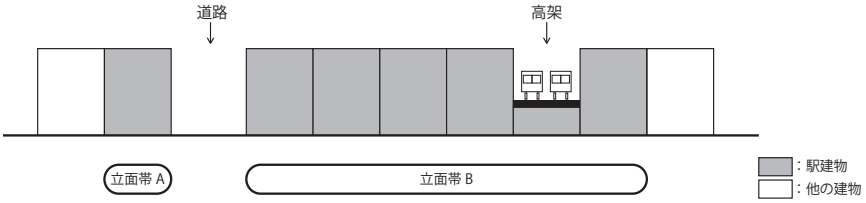


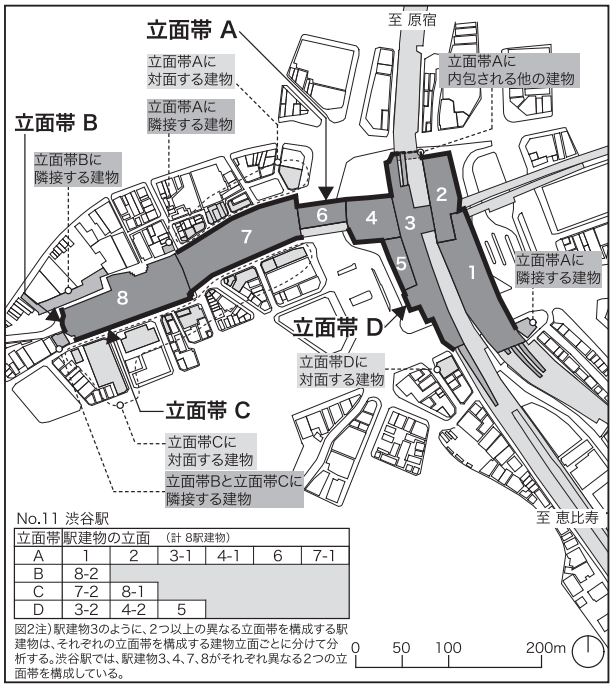
図 2-2　駅建物の立面帯の抽出例

こうして抽出できた駅建物の立面帯の連続性は、建物立面の外形スケールや分節によりに建物立面内に形成されたスケール（以下、分割スケール）が、構成する建物立面同士で近似し連続することによって特徴づけられている。例えば、図 2-3 及び図 2-4 の渋谷 4-1 は、左右に隣接する駅建物（3-1、6-1）と、建物の外形スケールが高さに関しては異なるが間口に関しては近似し連続している。さらに、左に隣接する渋谷 3-1 とは、ラチ外コンコースの出入口があることで分割された建物立面の間口に関する分割スケールが近似し連続している。

本論は、こうした隣接する建物立面どうしの外形スケールの連続と分割スケールの連続がそれぞれどのように形成され、どのように連続の連鎖や重なりを形成しているかという二つの連続の水準の複合から検討する。

ここで、建物立面の分割スケールの捉え方について定義する。駅建物の立面には、同様の分節表現が反復することで、その一部に均質な面が形成されるものがみられる。そうした同様の分節表現の反復によるまとまりは、外形スケールとは異なるスケールを建物立面内に形成している（図 2-5）。

本論では、野上、奥山らの既往研究[注 2-6)] を参考とし、建物立面を同様の分節表現が反復する均質な面の集合として捉え、そうした面どうしの切替りを立面の分割と定義する。なかでも、建物立面を一義的に分割する線を分割線[注 2-7)] と定義し、分割された建物立面



立面帯	駅建物の立面 （計 8駅建物）					
A	1	2	3-1	4-1	6	7-1
B	8-2					
C	7-2	8-1				
D	3-2	4-2	5			

図2注）駅建物3のように、2つ以上の異なる立面帯を構成する駅建物は、それぞれの立面帯を構成する建物立面ごとに分けて分析する。渋谷駅では、駅建物3、4、7、8がそれぞれ異なる2つの立面帯を構成している。

図 2-3　駅建物と立面帯（例：JR 渋谷駅）

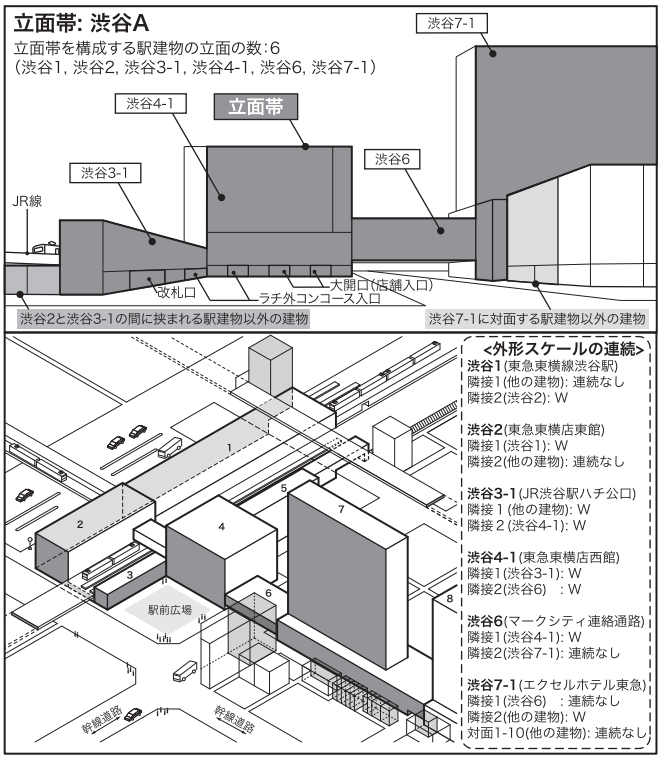


図 2-4　分析例 (立面帯 渋谷 A 渋谷 4-1 周辺)

の間口方向のスケールを分割スケールと定義する。こうした建物立面において分割された面を単位とした間口のスケールを比較検討することで、建物の個別の特徴を相対化し、絶えず増改築の繰り返される東京の都市建築の建物立面が形成する連続性の把握を試みる。

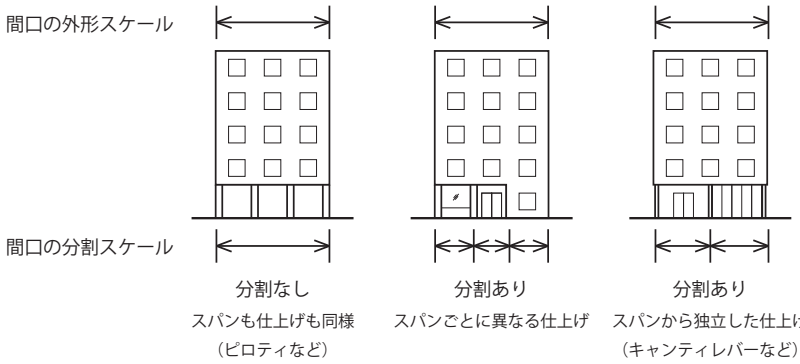


図 2-5　建物立面の分割

また、近接する建物立面の連続の条件について、建物立面の連続を検討する既往研究には、及川・原らの研究[2-8)]、奥の研究[2-9)]、橋本・山本らの研究[2-10)]などがあるが、連続の条件を定量的に明らかにしたものはみられない。そのうち橋本・山本らは、隣り合う建築物間について、「歩行者がその違いを感じない程度と考えられる範囲の値を経験的に検討し、間口長さでは 5m 以内の差」のように経験的に数値を設定することから連続を検討している。

しかし、本論の資料対象である東京の駅周辺では、異なる規模や用途の混在がより顕著であること、駅ごとにも差異がみられること、建物立面の外形スケールと分割スケールという異なる 2 つの水準の複合を検討することから、一定の数値を連続の基準とすることは適切でないと考えられる。そこで本論では、隣接する建物立面の間口のスケールの比に着目し、それが一定の範囲内の場合を、スケールが近似し連続していると捉えるものとする。

これらのことを踏まえ本章では、まず 2 節において駅建物の立面を、それに近接する建物立面との外形スケールの連続および分割スケールの連続という 2 つの水準から検討する。続く 3 節では、2 節でそれぞれ個別に捉えた外形スケールの連続と分割スケールの連続とをあわせて検討することから、駅建物の立面が近接する建物立面と連続するパタンを位置づける。4 節では、3 節で導いたパタンの組合せによって、駅建物の立面帯の複合の形式を検討することから、都市空間の表層性の一端を明らかにする。

2節　駅建物の立面の外形スケールと分割スケール

2節1項　近接する建物立面との外形スケールの連続

まず、駅建物の立面について、近接する建物立面[注2-8)]の有無と位置を縦軸に、外形スケールの連続の有無と種類を横軸に整理し、建物立面どうしの関係ごとに該当する数を示したものが表2-2である。ここで、近接する建物立面の位置は、駅建物の立面に対する位置から、隣接、対面で整理した。また、外形スケールの連続の種類は、建物立面の相対的な関係[注2-9)]から間口のみが連続するもの、高さのみが連続するもの、その双方が連続するものとで整理した。これより、隣接では外形スケールの連続ありが多く、すべての種類の連続がみられるのに対して、対面では外形スケールの連続なしが多く、連続ありの場合は高さに関する連続が多くみられた。また、高さのみが連続するものは、隣接する建物立面との連続と、対面する建物立面との連続が同数程度みられたのに対し、間口のみが連続するものと間口と高さの両方が連続するものは、隣接する建物立面との連続が多いという傾向が見いだせた。

ここで、近接する建物立面の種類を、駅建物の立面と他の建物立面との2つにわけ、検討した結果を表2-2の各マスごとに示した（○：駅建物の立面 / ●：他の建物立面）。これより、駅建物の立面どうしで隣接する場合、間口のみが連続するものが多く、他の建物立面と隣接する場合、高さのみが連続するものが比較的多いことがわかった。

近接する建物立面の有無と位置		近接する建物立面との外形スケールの連続の有無と種類			
		連続あり			連続なし (252)
		間口	間口＋高さ	高さ	
		W (85) width continuity	WH (62) width&height continuity	H (184) height continuity	
あり	隣接 (271)	○: 55 ●: 15 **70**	○: 27 ●: 23 **50**	○: 44 ●: 46 **90**	○: 37 ●: 24 **61**
あり	対面 (312)	○: 0 ●: 15 **15**	○: 2 ●: 10 **12**	○: 2 ●: 92 **94**	○: 0 ●:191 **191**
なし		**11**			

表注）表中の数字は該当する近接する建物立面の数を示しており、ひとつの駅建物の立面が複数の建物立面と近接する場合は、その近接する建物立面ごとに分けて分析している。

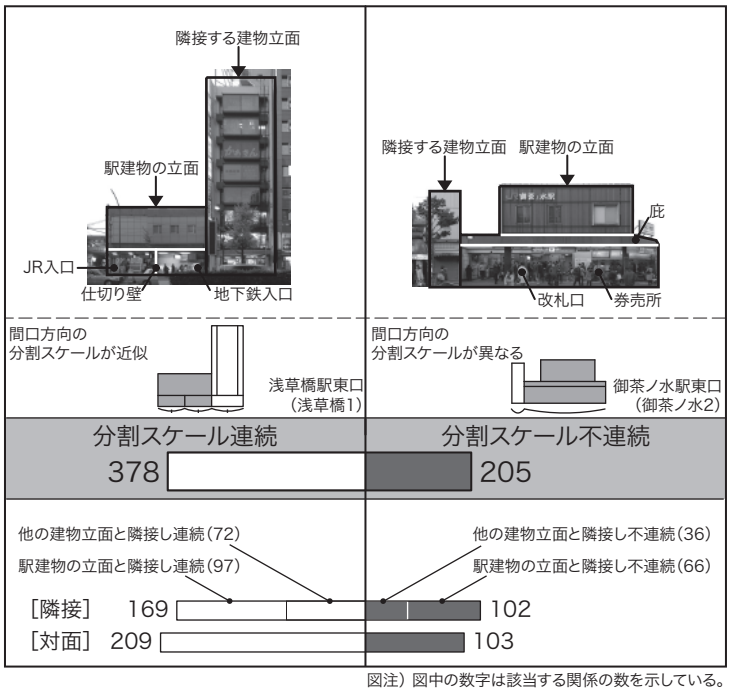
駅建物の立面に近接（○:167）
他の建物立面に近接（●:416）　計594

表2-2　建物立面の外形スケールの連続

２節２項　駅建物の立面の分割スケールの連続

次に、駅建物の立面の分割スケールの連続について検討する（図 2-5）。駅建物の立面には、様々な分節表現がみられる。例えば図 2-5 上の浅草橋駅東口（浅草橋 1）の建物立面は、キャンティレバーのヴォリュームが張り出すことで上下に分節されている。さらにその下部は、中央に JR 入口と地下鉄入口の仕切り壁があることによって左右に分節され、その２つに分割された間口方向のスケールが隣接する建物立面の間口のスケールと近似している。一方、御茶ノ水駅東口（御茶ノ水 2）では、改札口と券売所とを覆う庇があることで、浅草橋駅東口と同様に建物立面が上下に分節されながらも、その庇は間口いっぱいに広がり、その下部でさらに細かい間口の分節はみられず、隣接する建物立面との間口方向のスケールの近似はみられない。

そこで本論では、浅草橋駅東口の例でみられたような用途を区分する仕切り壁の端部やその他の駅建物でみられるようなラチ外コンコースの出入口などにより建物立面を第一義的に分節するラインを、建物立面の分割線と定義する。分割線は、建物立面をまず２つに分割する１次分割線を始めとして、一次分割線により分割された面をさらに２つに分割する２次分割線というように、より細かく分割する低次の分割線が見出せるが、ここでは１次分割線と２次分割線に着目する。そして、駅建物の立面の間口方向の分割スケールを、近接する建物立面のそれと比較し、それらが近似する場合に、駅建物の立面の分割スケールが連続[注 2-10)]と定義する。これを、近接する建物立面どうしの関係ごとに該当する数を検討した結果、分割スケールの連続するものが多くみられた。



図注）図中の数字は該当する関係の数を示している。

図 2-5　駅建物の立面の分割スケールの連続

3節　駅建物の立面の連続パタン

本節では、前節でそれぞれ個別に捉えた駅建物の立面の外形スケールの連続と分割スケールの連続という2つの水準を併せて検討することから、駅建物の立面が近接する建物立面と連続する際に、どのような定型が成立しているかを位置づける。そこで前節において、駅建物の立面の分割スケールが連続する事例が多くみられたことから、都市空間において駅建物の立面は、建物の間口の外形スケールがそろうことで形成される連続が、それより細かい分割スケールによって強調あるいは打ち消されて表出していると考えられる。特に、隣接する建物立面どうしの連続は、個々の建物を単体として認識することが視覚的に困難な状景をつくりだし都市空間の連続性を特徴づけていると考えられる。そこで、建物立面との連続を、左右に隣接する建物立面ごとに間口の外形スケールの連続と分割スケールの連続との組合せから検討し、駅建物の立面の連続パタンを整理したものが表2-3[注2-10)]である。

パタンDBは、隣接する建物立面と間口の外形スケールがそろったうえで、さらに分割スケールが連続するものである。**パタンD**は、隣接する建物立面と間口の外形スケールが異なりながらも、分割スケールが連続するものである。**パタンB**は、隣接する建物立面と間口の外形スケールがそろうことで連続しながらも、分割スケールが異なるものである。これらはその連続の水準の組合せから異なる連続の度合いを示しており、分割スケールが間口の外形スケールより細かいスケールでの連続であることから、その連続の強い順に、**パタンDB**、**パタンD**、**パタンB**と位置づけることができる。

ここでパタン間の数的傾向を検討すると、間口の外形スケールは異なるが、分割スケールにより連続する**パタンD**が最も多くみられた。この時、他の建物立面と隣接するものが多く、さらに、高さの外形スケールが連続するか否かを含めて検討すると、建物の高さの外形スケールも連続するものが多い。このことは、プラットホームを有する駅の性格から、一般的な他の建物よりも間口が長大になりやすい駅建物が、隣接する他の建物立面と間口の外形スケールの対比を形成しながらも、駅建物の立面がより細かいスケールに分割されることで、体験的な水準においてその対比が曖昧化され、駅建物の大きさを把握しにくいことを示すと考えられる。

一方で、隣接する建物立面と間口の外形スケールが連続する事例は、駅建物の立面どうしで多く、同時に分割スケールも連続するものが多くみられた。このことから、原則的には様々な可能性があり得る建物立面の分節表現が、低層部に多くの自由通路の出入口や店舗を有する駅建物の高い公共性や商業性による用途的な規範から定型化されており、そうした定型化した間口方向のスケールに分割されることで、建物立面が連続する傾向にあると考えられる。

分割スケールの連続	○	○	×	×
間口の外形スケールの連続	○	×	○	×

パタンDB (70)

池袋4_左	wh	●	WH	池袋12	w	●	WH	目黒3_左	h	●	WH	有楽町1-3_左	H	●	W	浅草橋1_右	/	●	WH
秋葉原4_左	wh	●	WH	秋葉原4_右	w	●	W	荻窪2-1_右	h	●	W	有楽町2	H	●	H	浅草橋1_左	/	●	WH
渋谷7-2	wh	●	H	恵比寿3	w	●	H	有楽町1-3_右	h	●	H	御徒町1_左	H	●	H	巣鴨3	/	●	H
御徒町1_右	wh	●	H	両国2	w	●	H	品川3	h	●	/	御徒町2_右	H	●	H	荻窪2-1_左	/	●	H
秋葉原1	wh	●	H	目黒4	w	●	/	新橋1-2	h	●	/	神田1_右	H	●	H	渋谷7-1_左	/	●	/
渋谷8-1_右	wh	●	/	恵比寿1-2_右	w	●	/	阿佐ヶ谷3-3_右	h	●	/	神田1_左	H	●	H	池袋2_右	/	●	/
池袋11_左	wh	●	/	高田馬場4-2	w	●	/	阿佐ヶ谷3-3_左	h	●	/	神田2-2	H	●	H	日暮里5-1_右	/	●	/
御徒町2_左	wh	●	/	高田馬場5_左	w	●	/	浜松町3	h	○	wh	小岩2-3_右	H	●	H	日暮里5-1_左	/	●	/
池袋3_右	wh	○	H	渋谷3-2	w	○	/	新橋2_右	h	-	-	西荻窪1_左	H	●	H	秋葉原7_右	/	●	/
池袋8	wh	○	/	目黒5	w	-	-	浜松町2_左	h	-	-	亀戸4_右	H	●	/	秋葉原7_左	/	●	/
新橋1-1	wh	-	-	渋谷1_右	w	-	-	品川2_左	h	-	-	亀戸4_左	H	●	/	東京3	/	○	W
新橋2_左	wh	-	-	渋谷2_左	w	-	-	大崎3_右	h	-	-	大久保1	H	○	H	東京4	/	○	W
品川1	wh	-	-	渋谷3-1_右	w	-	-	目黒2	h	-	-	恵比寿1-1	H	○	H	代々木1	/	○	H
品川2_右	wh	-	-	渋谷4-1_右	w	-	-	新宿2_右	h	-	-	錦糸町2_右	H	○	/	池袋3_左	/	○	H
新宿1_右	wh	-	-	渋谷4-1_左	w	-	-	新宿3_左	h	-	-	西日暮里1-2_左	H	○	/	秋葉原5-3_右	/	○	/
新宿2_左	wh	-	-	渋谷4-2	w	-	-	高田馬場3_左	h	-	-	有楽町1-1	H	-	-	秋葉原5-3_左	/	○	/
高田馬場2_左	wh	-	-	渋谷5_左	w	-	-	高田馬場4-1_右	h	-	-	有楽町1-2_左	H	-	-	品川5-2右	/	-	-
高田馬場3_右	wh	-	-	新宿5_右	w	-	-	小岩1_左	h	-	-	大崎3_左	H	-	-	五反田1-2	/	-	-
池袋9_右	wh	-	-	新宿6_左	w	-	-	小岩2-1	h	-	-	大崎4_右	H	-	-	五反田2	/	-	-
秋葉原2_右	wh	-	-	巣鴨1_右	w	-	-	阿佐ヶ谷1_右	h	-	-	目黒1	H	-	-	渋谷2_右	/	-	-
秋葉原5-1	wh	-	-	巣鴨2	w	-	-	阿佐ヶ谷1_左	h	-	-	代々木3_右	H	-	-	渋谷6_右	/	-	-
目黒3_右	WH	●	WH	田端1	w	-	-	阿佐ヶ谷2_右	h	-	-	池袋9_左	H	-	-	新宿1_左	/	-	-
東中野1-1	WH	●	W	田端2	w	-	-	阿佐ヶ谷2_左	h	-	-	池袋10_右	H	-	-	新宿3_右	/	-	-
東中野1-2	WH	●	W	秋葉原3_左	w	-	-	阿佐ヶ谷3-1_右	h	-	-	西日暮里1-1	H	-	-	新宿4_右	/	-	-
浅草橋2-1_右	WH	●	H	亀戸2_右	w	-	-	大崎4_左	h	-	-	日暮里5-3_左	H	-	-	新宿4_左	/	-	-
浅草橋2-1_左	WH	●	H	亀戸3_左	w	-	-					新小岩1_左	H	-	-	新宿5_左	/	-	-
浅草橋2-2_右	WH	●	H	両国1	w	-	-					平井1	H	-	-	高田馬場1_右	/	-	-
浅草橋2-2_左	WH	●	H	荻窪3-1_左	w	-	-					亀戸3_右	H	-	-	池袋10_左	/	-	-
神田2-1_右	WH	●	/	荻窪2-2_右	w	-	-					錦糸町1_左	H	-	-	巣鴨1_左	/	-	-
神田2-1_左	WH	●	/	五反田3	W	○	WH					千駄ヶ谷1	H	-	-	日暮里5-2_右	/	-	-
高円寺1-1_右	WH	●	/	阿佐ヶ谷3-2_右	W	○	H					高円寺1-2_左	H	-	-	日暮里3_左	/	-	-
新小岩2	WH	○	W	阿佐ヶ谷3-2_左	W	○	H					荻窪2-2_左	H	-	-	日暮里4-1	/	-	-
鶯谷1	WH	-	-	新宿6_右	W	-	-					西荻窪2_右	H	-	-	秋葉原6	/	-	-
秋葉原3_右	WH	-	-	荻窪3-2_右	W	-	-					西荻窪2_左	H	-	-	水道橋3_右	/	-	-
亀戸2_左	WH	-	-	荻窪3-2_左	W	-	-									市ヶ谷1	/	-	-
																高円寺1-2_右	/	-	-
																高円寺2_左	/	-	-
																阿佐ヶ谷3-1_左	/	-	-
																荻窪1	/	-	-
																荻窪3-1_右	/	-	-

パタンD (99)

パタンB (50)

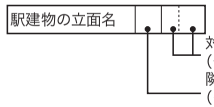
高田馬場2_右	wh	-	-	上野1	w	●	W	上野4-1_左	h	●	H	駒込3	/	●	WH				
日暮里1	wh	-	-	恵比寿1-2_左	w	●	/	小岩2-2_右	h	●	H	池袋4_右	/	●	WH				
飯田橋2	wh	-	-	高田馬場5_右	w	●	/	小岩2-2_左	h	●	H	高円寺1-1_左	/	●	H				
飯田橋1_左	wh	-	-	池袋5-1_右	w	●	/	浜松町5	h	●	/	池袋2_左	/	●	/				
高田馬場1_左	wh	-	-	錦糸町2_左	w	●	/	水道橋2	h	●	/	池袋5-1_左	/	●	/				
日暮里2_右	wh	-	-	池袋6	w	○	/	浜松町4	h	○	wh	日暮里4-2_右	/	●	/				
西荻窪1_右	WH	●	H	品川4_右	w	-	-	原宿2_右	h	-	-	中野2	/	●	/				
小岩2-3_左	WH	●	H	品川4_左	w	-	-	原宿3	h	-	-	池袋1	/	○	/				
駒込4-1	WH	○	WH	品川5-1	w	-	-	日暮里2_左	h	-	-	日暮里6-2	/	○	/				
西日暮里1-2_右	WH	○	/	品川5-2_左	w	-	-	日暮里3_右	h	-	-	代々木2	/	○	/				
有楽町1-2右	WH	-	-	恵比寿2	w	-	-	上野2_右	h	-	-	駒込2_右	/	-	-				
渋谷8-2_右	WH	-	-	渋谷5_右	w	-	-	上野3_右	h	-	-	日暮里5-2_左	/	-	-				
渋谷8-2_左	WH	-	-	渋谷6_左	w	-	-	上野3_左	h	-	-	日暮里5-3_右	/	-	-				
原宿1_右	WH	-	-	原宿1_左	w	-	-	上野4-2	h	-	-	日暮里6-1_右	/	-	-				
飯田橋1_右	WH	-	-	原宿2_左	w	-	-	上野5	h	-	-	中野1	/	-	-				
				高田馬場4-1_左	w	-	-	小岩1_右	h	-	-	高円寺2_右	/	-	-				
				池袋5-2	w	-	-	水道橋3_左	h	-	-	浜松町2_右	/	-	-				
				池袋7	w	-	-	四ッ谷1_右	h	-	-	五反田1-1	/	-	-				
				駒込1	w	-	-	四ッ谷1_左	h	-	-	渋谷1_左	/	-	-				
				駒込2_左	w	-	-	四ッ谷2-1_左	h	-	-	代々木3_左	/	-	-				
				上野2_左	w	-	-	四ッ谷2-2_右	h	-	-	目白1_右	/	-	-				
				四ッ谷2-1_右	w	-	-	日暮里4-2_左	H	●	H								
				四ッ谷2-2_左	w	-	-	上野4-1_右	H	●	H								
				四ッ谷3_右	w	-	-	渋谷7-1_右	H	●	/								
				四ッ谷3_左	w	-	-	渋谷8-1_左	H	●	/								
				錦糸町1_右	w	-	-	御茶ノ水1	H	○	H								
				池袋11_右	W	●	/	大崎2	H	-	-								
				東京2	W	-	-	大塚1-2	H	-	-								
				渋谷3-1_左	W	-	-	秋葉原2_左	H	-	-								
				新大久保1	W	-	-	平井2	H	-	-								
				目白1_左	W	-	-	御茶ノ水2	H	-	-								
				日暮里6-1_左	W	-	-												
				秋葉原5-2	W	-	-												
				亀戸1	W	-	-												
				東中野2-1	W	-	-												

パタン (52)

隣接する建物立面なし

大崎1	●	WH	東中野1-3	●	WH	東中野2-2	●	/	田町1	○	WH	対面のみ (12)
信濃町1	●	WH	高田馬場6	●	W	駒込4-2	●	/	浜松町1	○	WH	
大久保2	●	WH	田町2	●	H	鶯谷2	●	/	水道橋1	○	H	
東京1			新宿8			上野6			飯田橋3			近接する建物立面なし (11)
原宿4			新宿9			大塚1-1			四ッ谷4			
新宿7			田端3			日暮里7						

〈凡例〉



●:分割スケール連続
○:分割スケール不連続

表注）外形スケールの連続があるものについて、建物立面の種類を、他の建物立面を大文字で、駅建物の立面を小文字で示している。また対面の連続については、連続ありを優先して表記している。

表 2-3　駅建物の立面の連続パタン

4節　立面帯の複合形式からみた都市空間の表層性

4節1項　連続パタンからみた立面帯の表層性

前節では、個々の駅建物の立面について、隣接する建物立面との間口の外形スケールの連続と分割スケールの連続とを合わせて検討し、駅建物の立面の連続パタンを位置づけた。本節では、前節での結果を踏まえ、立面帯を駅建物の立面の連続パタンの組合せで記述し、その複合の形式を立面帯の内側での連続と、隣接する他の建物立面との連続から検討することで、駅建物の立面帯の表層性の一端を明らかにする[注2-12)]（表2-4）。

まず、立面帯の内部での連続を、立面帯が単数の駅建物の立面からなるか、あるいは、複数の駅建物の立面で構成されるかで整理したものが表2-4縦軸である。複数の駅建物の立面で構成される場合、その連続パタンの組合せから、パタンDBのみが反復するもの、パタンDのみが反復するもの、パタンBのみが反復するもの、パタンDとパタンBが混在するものとで捉えた。

次に、立面帯の端部で隣接する他の建物立面との連続を検討する。これより、駅建物の立面帯が、それのみで完結しているか、周囲の街並みに連続しているかを示す。そこで、立面帯の端部に位置する駅建物と隣接する他の建物立面との連続を、間口方向のスケールの連続があるか否かで大別し、表2-4横軸に示した。他の建物立面との間口方向のスケールの連続がある場合、それが分割スケールによるものであるか、間口の外形スケールによるものであるか、あるいはその双方であるかを捉えている。

これらを整理し、立面帯の内側での連続を縦軸に、端部における他の建物立面との連続を横軸に示したものが表2-4である。まず、単数の駅建物の立面からなる立面帯は、他の建物立面と連続するものが多く、特に分割スケールのみで連続するものが多くみられた。これより、単数の駅建物のみからなる立面帯は、都市空間において間口の外形スケールが異なることで際立って存在しながらも、建物立面の分割により街並みの連続のなかに埋没していると言える。また、これは前節での検討において最も多くみられたパタンであることから、駅建物の立面が、隣接する建物立面との複合により形成する表層の基本的なものであると言える。

次に、複数の駅建物の立面で構成される立面帯について検討すると、パタンDBのみが反復するものと、パタンDとパタンBが混在するものとが比較的多くみられることがわかる。

まず、パタンDBが反復するものは、端部で隣接する他の建物立面と連続するものが少なく、2つあるいは3つの駅建物によって構成される比較的単純な立面帯であり、対面する建物立面と分割スケールが連続する事例が多くみられた。

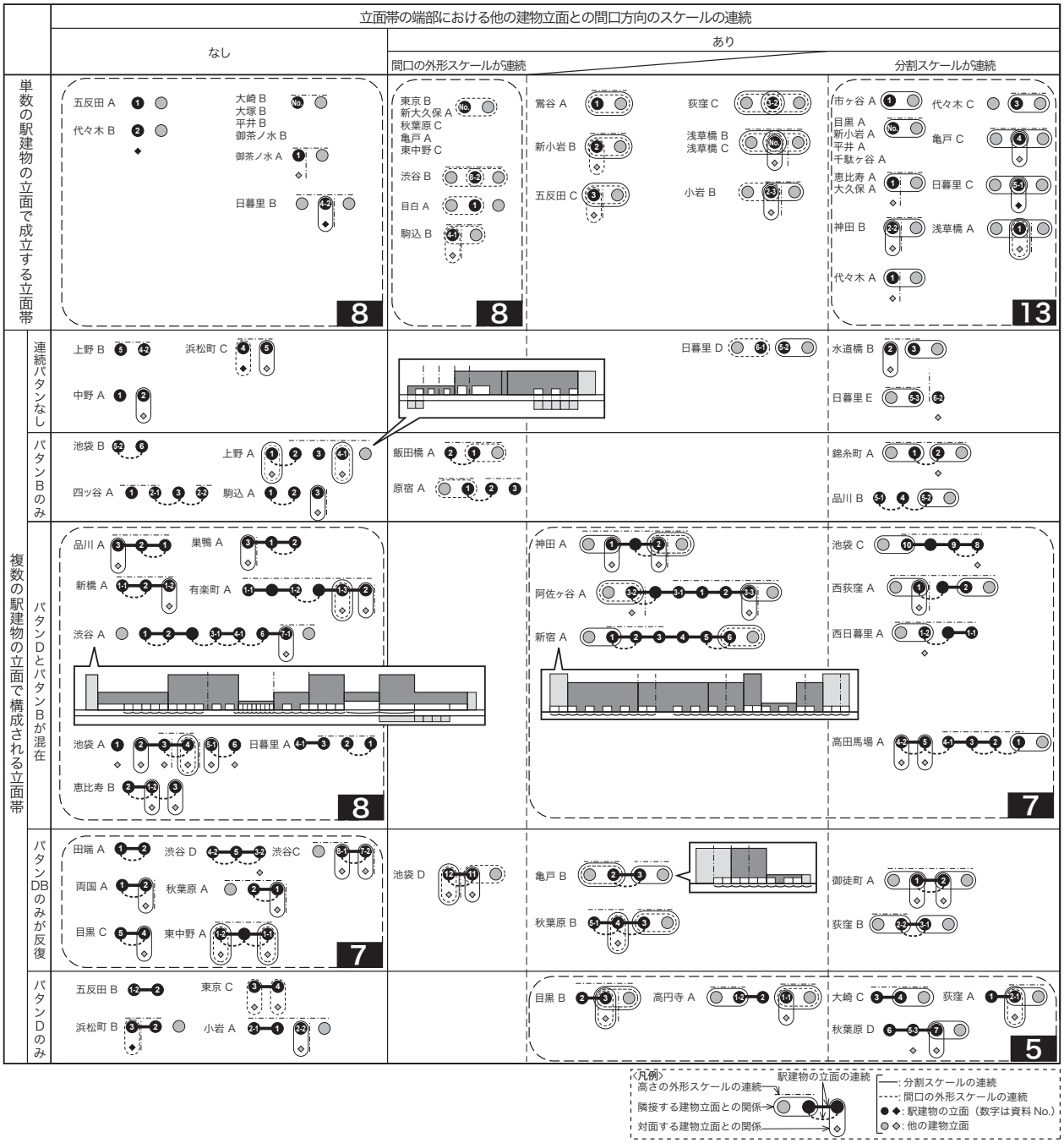


表 2-4　連続パタンの組合せからみた駅建物の立面帯の表層性

次に、パタンDとパタンBが混在するものは、他と比較して構成する駅建物の立面の数が多いことから、その立面帯における間口の外形スケールの連続と分割スケールの連続との重なりを検討すると、分割スケールの連続が主調となるものが多く、それに部分的に間口の外形スケールの連続が加わることで、それらの連続が重層あるいは連鎖し、強弱のある連続性が形成されいることが分かった。またこれらの立面帯は、端部において他の建物立面と間口の外形スケールでのみ連続するものがなく、分割スケールによって連続するものが多くみられた。これより、複数の駅建物によって構成された立面帯が、連続性の強弱によりその内側で２つあるいは３つの駅建物の立面による局所的なまとまりに分節され、端部で連続する他の建物立面を含んだ強弱のある連続性を形成していることがわかった。

一方で、**パタンD**のない立面帯は、その約半数で**パタンB**が連続するものが見られるものの、立面帯の全体で反復するものは比較的少なかった。ここでは、隣接あるいは対面する他の建物立面と個別に連続するものは見られるものの、それらが連鎖せず、周囲の街並みの連続性のなかに位置づきにくいと言える。

以上、連続パタンの組合せによって駅建物の立面帯の表層性を検討した。その結果、まず単数の駅建物の立面からなる立面帯は、都市空間において隣接する他の建物立面と間口の外形スケールが異なることで際立って存在しながらも、建物立面の分割により街並みの連続のなかに埋没する傾向を指摘し、駅建物の立面が隣接する建物立面との複合により形成する表層の基本形を見出した。さらに、複数の駅建物の立面で構成される立面帯は、異なる間口の外形スケールの建物立面が集合にする場合に分割スケールが近似することで連続しやすいこと、その際、連続の強弱により立面帯がその内側で分節され、端部で隣接する他の建物立面を含んだ強弱のある連続を形成する傾向を明らかにした。

これらの傾向から、駅建物およびその周辺環境において、立面帯の連続は、異なる間口の外形スケールの建物立面が集合する場合により形成されやすく、その際、建物立面の間口の外形スケールの近似する偶発性と建物立面の分割スケールの近似する規範性とにより強弱のある連続性が形成されることで、立面帯の内側では比較的単純な局所的なまとまりに分節されると同時に、端部では隣接する他の建物立面と連続しており、駅建物の立面が都市景観のなかで埋没していると考えられる。

これより、駅建物およびその周辺環境では、間口の外形スケールの対比と分割スケールの連続とが複合することにより、用途上のまとまりを越えたより拡張性のある連続性が形成され、都市空間の表層性が特徴づけられていると考えられる。

４節２項　駅建物の立面帯にみられる特徴的な表層性

以下、ここでみられた特徴的な立面帯を具体例として挙げる。

まず新宿 A は、間口の外形スケールの異なる建物により構成された立面帯が、その低層部にラチ外コンコースの出入口や店舗の大開口などがあり、間口方向に細かく分割されることで連続しており、先程述べた異なる間口の外形スケールの建物立面が分割スケールにより連続するという基本的な複合が反復するものである。これはさらに、両側の端部において間口の外形スケールの連続と分割スケールの連続とが同時にみられ、それが隣接する他の建物立面とも連続することで、立面帯の端部が視覚的に曖昧化し、周囲の街並みの連続のなかに一体化する拡散的な性格の表層性を形成している立面帯である。



図 2-6　JR 新宿駅西口

一方で上野 A は、構成する駅建物の数は多くないにも関わらず、部分的に間口の外形スケールが連続しているのみであり、分割スケールも異なることから、個々の駅建物が単体として比較的認識しやすいといえるが、駅建物の立面帯としては離散的な性格の表層性を形成している立面帯である。



図 2-7　JR 上野駅広小路口

また渋谷 A は、高さや間口の外形スケールの異なる建物の集合として成立している立

面帯が、部分的に間口の外形スケールの連続や分割スケールの連続が重層・交差した強弱のある連続を形成しており、その連続が他の建物立面と連続せず独立することで、駅建物の立面どうしのみの連続による一体化と分裂化とが同時にみられる凝集的な性格の表層性を形成している立面帯である。



図 2-8　JR 渋谷駅ハチ公口

5 節　小 結

以上、本章では、まず駅建物の立面とそれに隣接する建物立面との外形スケールの連続と分割スケールの連続とを検討することから、駅建物の立面が、基本的には都市空間において間口のスケールが異なることで差異化されながらも、立面の分節表現により間口が分割され隣接する建物立面と連続する傾向を明らかにし、それを考察することから高い公共性や商業性を有する駅建物の立面にみられる定型化した分節表現を指摘した。

次に、駅建物の立面帯の連続を、上記の分析で捉えた連続パタンの組合せによって記述し、駅建物の立面どうしの連続と隣接する他の建物立面との連続とから検討し、考察した。

その結果、駅建物の立面帯の連続は、間口の異なる建物が集合する場合に形成されやすいこと、またそれは分割スケールの連続によるものが多く、部分的に間口の外形スケールの連続が重なることで強弱のある連続が形成されること、さらにそうした強弱のある連続により駅建物の集合体という機能的なまとまりが、その内側では分節され、端部では他の建物立面と連続することで都市景観のなかで埋没していることを明らかにした。さらに、特徴的な立面帯を検討することから、駅建物の立面の複合により形成される、拡散的なもの、凝縮的なもの、離散的なものといった３つの性格の表層性を記述した。

2章注

注 2-1) 東京の都市形成における都市基盤施設としての駅と駅前広場の重要性は、多くの文献において述べられている。参考文献 1 においては、都市計画史の視点から、戦前の駅前広場の整備計画と今日の東京の副都心形成との関連性が検証されており、そのなかで 1934 年に都市計画決定された新宿駅西口の都市改造プランにおいて、単に交通網の整備のみではなく新都心の形成が意図されていたと述べられている。また、参考文献 2 においては交通計画の視点から、戦後の東京の鉄道整備が、住宅地需要や旅客輸送需要に対処することを意図して進めてこられたとしながらも、現在、あるべき都市の姿と交通機関のあり方に立ち返って必要な政策と制度を確立し、さらなる整備を進めていく段階になっていると述べられている。

注 2-2) 参考文献 3 においてG・カレンは、「＜タウンスケープ＞の定義を求められたら、私は、ひとつの建物は建築だが二つの建物はタウンスケープであると答えるであろう。二つの建物が並置されると、そこにタウンスケープの技法が生じる。それと同時に、建物相互間の関係とその間のスペースが重要になってくる。これを都市スケールまで拡大したものが環境の技法である。そこでは関係の可能性が豊富になり、作戦と楽しみも増加する。建物のごく小さな集まりでも、ドラマと空間的な刺激を生み出すことができる。」と述べている。本研究は、東京の都市景観の特性が、それを構成する個々の建物の特徴とは別に、こうした建物相互の関係の集積から特徴づけられているということを前提とし、そこでの複合のメカニズムを検討することで、建築と都市空間との新たな関係性を創出するための知見を得ることができると考えている。

注 2-3) 本章は拙稿（参考文献 4、5）をもとに、分析方法などを修正し発展させたものである。その過程において、資料とした駅およびその周辺環境に変化が見られたものがあったため、2010 年 10 月から 12 月の期間において再調査し、ここでの資料とした。ここでは、フィールドワークにより、駅の建物とそれに近接する建物を調査し、アイソメトリック図及び立面図を作成した。

注 2-4) 駅建物には、駅舎のみで成立しているものや、他用途と複合することで駅ビルとして成立しているもの、鉄道高架と一体化し高架下駅として成立しているものなど様々みられる。また、駅建物の抽出の根拠とした改札口の有無は、JR のものに限定せず、資料とした駅に乗り入れするすべての路線の改札口も含めて検討しており、それら改札口および改札口へのラチ外コンコースを有する建物を駅建物として抽出した。さらにここでは、原則的にゼンリン住宅地図をもとに駅建物の抽出を行っているが、外装の違いやエキスパンドジョイントによる連結が目視によって確認でき、それらが明らかに異なる建物であると判別可能である場合は、それぞれ別の駅建物として抽出した。高架下の駅建物には、高架と一体化しその外形を把握しにくいものがみられたが、その外壁が確認でき、内部空間を有する部分を駅建物として抽出した。大きさの異なる建物ヴォリュームが積層するような構成の駅建物は、単一の駅建物として捉えた。また、改札口へのラチ外コンコースには、地下街と連絡することで広域の地下道ネットワークを構成し、さまざまな建物と接続するものがいくつかみられるが、これらのように地下街を介して改札口と連絡される建物は、駅建物として扱っていない。

注 2-5) 原則的に駅建物の立面の連なりは、線路や高架をまたいで成立しないものと考え、建物立面の連なりがそれらと交差する場合、立面帯を分けて捉えいる。ただし、駅建物の立面が、高架と幹線道路の交差部に面しており、それを視認できる十分な高さや引きを有して連なる場合は一帯の立面帯として捉えた。ここでは、単数の駅建物の立面のみで成立しているものも立面帯として捉えている。また、駅建物の立面帯には、駅建物以外の建物立面を介することでより大きな立面帯を形成するものがみられる。そこで本章では、異なる立面帯が同一の駅建物以外の建物立面を介して隣り合う場合、その駅建物以外の建物立面も含めて単一の立面帯として捉えている。ただし、本章 2 節と 3 節における個々の建物立面に関する分析では、そうした駅建物以外の建物立面は分析の対象とはせず、駅建物の立面のみを検討する。

注 2-6) 野上、奥山ら（参考文献 6、7）は、建物立面を、壁の端部や外装材の目地などの面に現れる分節線と、バルコニーや小さな開口部などの付加要素の集合であると捉え、それら分節線や付加要素の組合せによってつくられた部分の反復の形式から都市型中高層建築のファサード表現を捉えている。

注 2-7) ここで第一義的に分節する線とは、例えば建物立面を上下に分節し、基壇部、中層部、頂部といった三層構成を表現する際の立面全体を水平に横切る線や、建物立面を左右に分節し、片方に縦動線をまとめる際の立面全体を垂直に横切る線、あるいは、エントランスなどを明示するために、立面全体に対して部分を強調するように囲む線など、素材や構成部材の種類などの個別性とは別に捉えうる建物立面の表現を特徴づける分節線である。野上、奥山ら（参考文献 6、7）の研究では、建物立面の分割線は、細かい分節線や付加要素の組合せによってつくられた均質な面の集合として建物立面を捉えた際に、建物立面全体を大きく 2 つに分ける分節線と定義されている。例えば、建物のラーメン構造の柱の反復する部分は、原則的に柱による同様の分節が反復する面として抽出し、間口方向の分割はないと捉えている。このような立面の分割は、コストや構法上の制約などから決定される構造体の慣習的なスケールの影響のあるものもみられるが、表層のデザインにおけるものであり、原則的には構造形式に関わらず捉えうるものであり、そうした多様な表層のデザインがつくりだす都市空間の表層性を捉えるものである。また本論では、立面表現そのものが独自の意図でなされうる建築作品とは異なり、アノニマスな建物立面で構成される都市空間を検討していることから、構造などの慣習的なスケールの影響を受ける建物立面も含めた分析は、有効であると考える。本研究では、原則的に立面の分割をこれと同様に建物立面を大きく 2 つの部分に分けることと捉えているが、野上・奥山らは立面全体での分割の形式を明らかにすることを目的として分析されているのに対して、ここでは、店舗やラチ外コンコースの出入口があることで、独自の連続性を形成している駅建物の立面の低層部の分割を主に検討している。また、建物立面の分割には、高さ方向のものと間口方向のものとがあるが、ここでは都市空間での体験的な水準に着目すること、建物立面の高さ方向の関係はその前面に十分な引きがなければ視認しにくいことから、間口方向の分割のみを検討している。

注 2-8) ここで近接する建物立面は、本節以降で検討する外形スケールの連続や分割スケールの連続を形成しうる距離にあるものと考え、一般的な幹線道路の幅員を参考にした 16m を基準として、その距離内で駅建物の立面に直接隣り合う、あるいは、向かい合う建物立面とした。

注 2-9) まず、間口に関する外形スケールの連続では、その幅を住宅地図から把握し、それらの間口の幅の比が、1/2 倍以上かつ 2 倍以下となる場合を連続としている。ただし、高さに関する外形スケールの連続では、間口同様に比で捉えると、ある高さ以上になると実際の違いに反して連続となること、さらに、建物立面の形状が矩形とは限らず、複雑なものもみられることから、建物の階数の違いをその判断基準としており、原則として階数の差が一階以下となる場合を連続とした。

注 2-10) 前節における建物立面の間口の外形スケールの連続と同様、駅建物の立面の分割された間口方向のスケールと、近接する建物立面の分割された間口方向のスケールの比が、1/2 倍以上 2 倍以下の場合、分割スケールが連続としている。ここで、分析の対象とした建物立面には、分割がないものもみられたことから、もとの建物立面同士の間口の外形スケールが近似している場合においては、建物立面の分割がみられる場合のみ、分割スケールの連続と不連続とを検討し、分割がみられないものは、その間口方向のスケールの近似は分割によるものではないとして、分割スケールが不連続として扱った。

注 2-11) ここで英字略 D と B は、それぞれ連続する水準である Divided scale（分割スケール）と Building's scale（間口の外形スケール）の頭文字を示している。両水準で連続する場合は、パタン DB と表記する。

注 2-12) ここでは、隣接する建物立面をもつ 86 の立面帯のみを検討しており、単数の駅建物により成立している立面帯のうち、近接する建物立面を対面にのみもつものと近接する建物立面がないものは検討から除いている。

参考文献

2-1) 越沢明 : 東京の都市計画 , pp.87-114, 岩波新書 , 1991

2-2) 中村英夫・家田仁編著 , 東京大学社会基盤工学教室著 : 東京のインフラストラクチャー 巨大都市を支える（第 2 版）, pp.53-72, 技報堂出版 , 1997

2-3) G・カレン : 都市の景観 , 第 4 刷 , p.174, 鹿島出版会 , 1975

2-4) 稲用隆一 , 上原絢子 , 奥山信一 , 塩崎太伸 : 隣接建物との対比関係からみた駅建物のヴォリューム構成 ファサードの連続性により形成された都市空間に関する研究（10）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.765-766, 2007

2-5) 稲用隆一 , 奥山信一 , 塩崎太伸 , 上原絢子 : 都市空間における表出形式からみた駅建物の複合性 ファサードの連続性により形成された都市空間に関する研究（11）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.767-768, 2007

2-6) 中島俊明 , 野上真太郎 , 奥山信一 , 横山天心 : 都市型中高層建築のファサードの分割 , 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.707-708, 2004

2-7) 野上真太郎 , 奥山信一 , 横山天心 , 中島俊明 : 都市型中高層建築のファサードにみられる分節表現 , 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.709-710, 2004

2-8) 及川清昭 , 原広司 , 藤井明：都市景観の定量的把握—その 3　連続立面による街路景観の分析 , 日本建築学会大会学術講演梗概集（北陸）, pp.2323-2324, 1983 年 9 月

2-9) 奥俊信：２戸連続建物景観の視覚形態評価 , 日本建築学会計画系論文集第 403 号 , pp.87-96, 1989 年 9 月

2-10) 橋本麻里奈 , 山本直彦 , 真木梨華子 , 北山めぐみ , 城戸杏里 , 杉山亜里紗：主要街路の景観を形成する立面意匠表現とその連続性－御堂筋沿道建築物を事例として , 平成 23 年日本建築学会近畿支部研究発表会 , pp.657-660, 2011 年

第３章　通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性

1 節　本 章 の 目 的 と 概 要

1 節 1 項　目的

本章では、都市空間を規定する立面により形成される空間特性のうち、建物立面に付帯する空間の連続により形成される付帯性を、駅建物の通過空間を分析対象に、通過空間に同様の奥行きの空間が付帯することによる連続と端部における都市空間との連続とを分析することから、それらの複合としての通過空間の連続性を検討する。

都市空間の付帯性は、東京の街路空間において両側を規定する立面の背後に様々な奥行きを有する空間が付帯することにより偶発的な空間体験を創出するものとして代表される。このような立面に付帯する空間によって特徴づけられる空間体験の魅力は、様々な方向へ分岐をもつ街路形状のみならず、街路沿いに建ち並ぶ異なる用途や形状の建物の立面や内部空間などが多数隣接することにより、同一の街路空間のなかに様々な付帯構成を有する場が混在することで生じるものと考えられる。

こうした体験は、異なる機能の複合がみられる駅建物を貫通し、不特定多数の人が自由に行き来できる通過空間における、都市空間から建築内部を通り抜ける一連の体験において体験可能である。特にここでは、天井により上部が限定されることにより奥行き方向の空間的な広がりが特化され、都市空間の付帯性に特徴づけられる典型的な状景が抽出可能である（図 3-1）。こうした状景の特性は、付帯する商業空間などがその規模や機能に関わらず壁面に等価・並列に現れ、通過空間に多様な分節が生じ、構成する空間単位が視覚的に曖昧化するという現象的な側面によるところが大きい。



図 3-1　様々な奥行きの空間が付帯する JR 八王子駅の通過空間（ラチ外コンコース）

また、駅建物の通過空間は、その端部に加えて、通過空間の壁面に付帯する空間（以下、付帯空間[注3-1)]）を介して駅建物の内側にいながらも都市空間と接続するという特徴的な関係性を形成しており、その駅建物の通過空間と都市空間との連続性を明らかにすることは、東京の都市景観固有の空間特性を捉えることのみならず、異なる機能が複合する建築における豊かな空間体験の創出を構想する上での新たな知見になりうると考えられる。

本章ではこのような認識のもと、駅建物の通過空間に付帯空間の複合の形式を、付帯する空間との関係からみた通過空間の分節性と都市空間との関係性とから捉えることで、現代都市空間を記述する新しい方法[注3-2)]を提案するとともに、建物立面が形成する都市空間の付帯性の一端を明らかにすることを目的とする。

1節2項　概要

本章では東京都の主要な駅を多く含むJR山手線とJR中央・総武線と都心部近郊の主要私鉄駅のうち、駅建物の通過空間を有する57駅を調査対象とした。

品川駅を分析例（図3-2）に本章の概要を述べる。品川駅は、５つの駅建物によって構成され、ラチ外コンコースがその中央を南北に貫通しており、そこは大小規模の商業施設や改札口が付帯する通過空間となっている。通過空間は。様々な規模や形状の空間が連鎖したひとつながりの空間であるが、それを構成する空間のかたちの変化[注3-3)]から通過空間を構成する単位空間を抽出することができる。また、同分析例の通過空間の端部（単位空間9）では、庇による通過空間の高さ方向のスケールの維持や、付帯する店舗の壁面開口の回り込みによる通過空間の壁面の性質の維持がみられ、通過空間とそれに面する都市空間が連続している。

そこで本章では、まず２節において、駅建物の通過空間の分岐の形状を検討することから、都市空間との接触面である端部をどのようにもっているかを検討し、端部それぞれにおける都市空間との連続の状態を整理する。次に３節では、通過空間を構成する単位空間を抽出し、その付帯空間を検討することから、通過空間を構成する単位空間における付帯の形式を位置づける。4節では、通過空間を単位空間の複合により記述し、そこで形成される連続単位の有無と位置から通過空間の連続を位置づける。そして5節では、2節で位置づける端部における都市空間との連続と、4節で位置づける空間の付帯の形式からみた通過空間の連続とを併せて検討し、総合的に考察することから、通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性の一端を明らかにし、6節で小結を述べる。

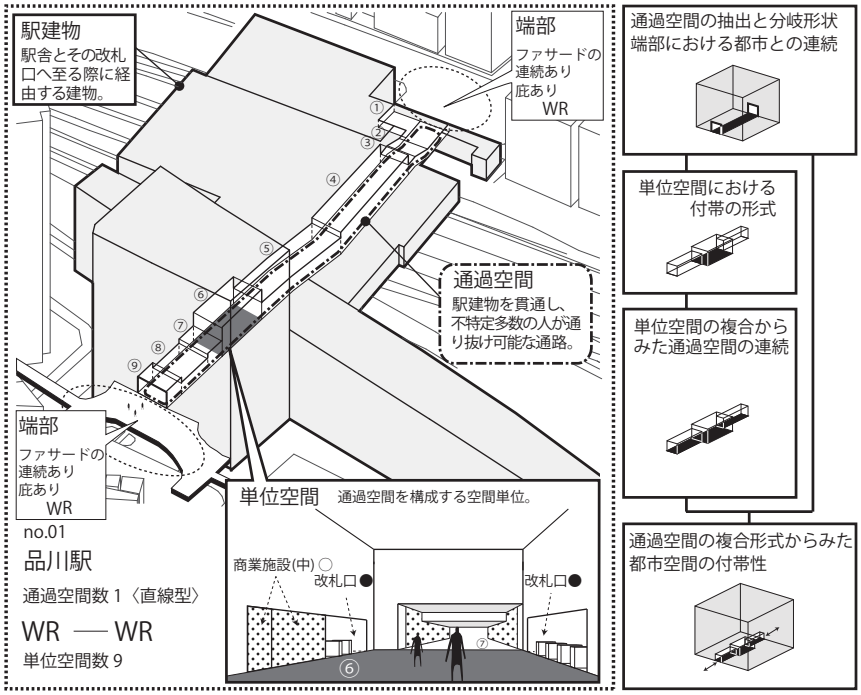


図 3-2　3 章の研究の概要（分析例：JR 品川駅の通過空間）

2節　通過空間の端部における都市空間との接続

2節1項　通過空間の分岐の形式

駅建物の通過空間は、都市空間と接続する出入り口を原則2つ有しているが、資料とした通過空間には、3つ以上の出入口をもつものがみられた。そこで、その接続の形式を通過空間における分岐[注3-4)]の有無と数から整理し（表3-1）、駅建物の通過空間が、どのように都市空間との接続面をもっているかを位置づけた。

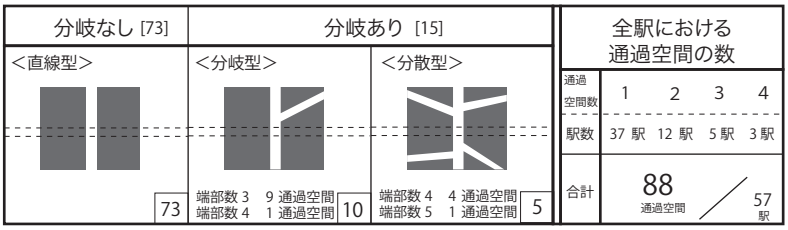


表3-1　通過空間の分岐の形式

2節2項　通過空間の端部における都市空間との接続

通過空間の端部においてどのように都市空間と連続しているかを、壁面の性質の連続（ファサードの連続、かたちの連続）と空間スケールの連続（高さスケールの連続、幅スケールの連続）の2つから捉えた（図3-3）。ファサードの連続は、通過空間の端部に位置する単位空間の壁面の開口が駅建物の立面まで連続するものである。かたちの連続は、通過空間の壁面が外にある建物などの壁面と連続するものである。高さスケールの連続は、庇があることで上部が限定され、街路と通過空間との高さスケールが連続するものである。幅スケールの連続は、対面する壁面が近接し、街路と通過空間の幅スケールが連続するものである。これより、通過空間の端部で都市空間と高さスケールの連続が多くみられた。また、壁面の性質が連続する場合、それ単独ではあまりみられず、空間のスケールの連続を伴うものが多くみられることが分かった。

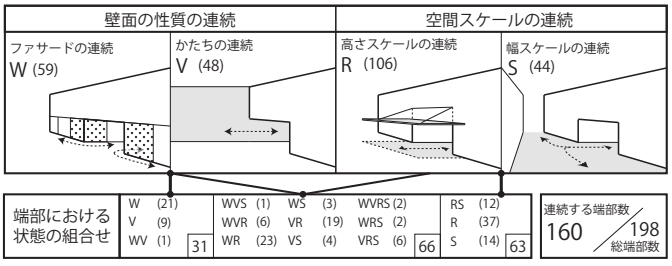


図3-3　通過空間の端部における都市空間との連続

3節　通過空間を構成する単位空間

3節1項　単位空間と付帯空間

資料対象とした駅建物の通過空間（全88資料）における空間のかたちの変化を検討することから、541の単位空間を抽出できた。そして、単位空間の形状[注3-5)]を面状と線状とに整理した（図3-4）。また、階段あるいは斜路となっているものの数を図中の（）内に示した。

線状は、進行方向に細長いもの（―）と幅方向に細長いもの（｜）とを分けて捉えた。その結果、通過空間の単位空間は、奥行き方向に細長い形状を有するものと面状のものとがほぼ同数みられた。

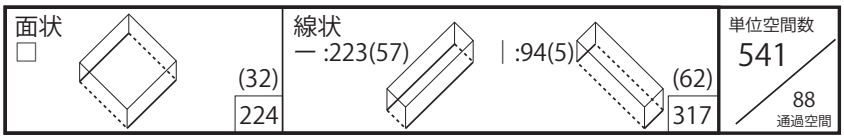


図3-4　通過空間を構成する単位空間の形状

通過空間の付帯空間は、他に出入り口を有する商業施設などそれを介して駅建物の外と行き来できるものや、キオスクなどの壁面のみでの利用が可能なものなど、異なる空間的な深度を有するものがあり、通過空間の現象的な性格を特徴づけている。

そこで付帯空間の用途と、それと動線的あるいは視線的な接続であるかから7つで整理し、さらに付帯空間を都市空間との接続[注3-6)]があるか否かによって、深度大と深度中小の2つに大別し、整理した（図3-5）。

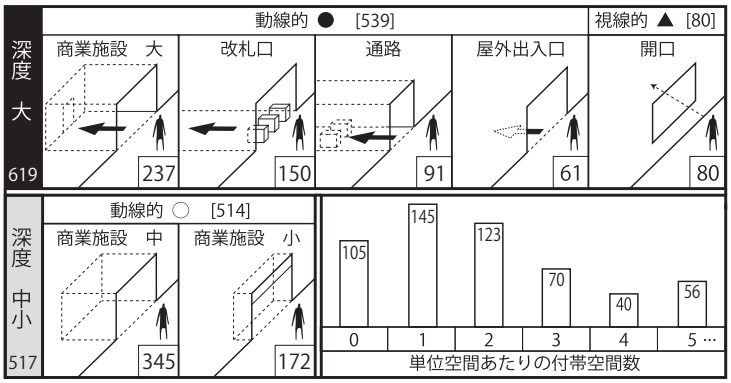


図3-5　通過空間における付帯空間の性格

深度大のものは、その空間を介して都市空間にでることができるもの（改札、商業施設　大、通路、屋外出入口）と、開口などを介して視線的に都市空間と直接しているもの（開口）とがある。深度中小のものは､コンビニなど店舗に入ることができるもの（商業施設　中）と、キオスクなど視線的には空間が接続しているが中に入ることができないもの（商業施設　小）とがある。これらについて、その数的傾向を検討した結果、付帯空間には深度大のものと深度中小のものが同数程度みられ、単位空間あたり１つもしくは２つの付帯空間があることが多いことがわかった。

３節２項　単位空間の付帯パタン

通過空間を構成する単位空間における付帯の形式を､付帯空間の深度（表 3-2 縦軸）と、付帯空間の数と位置（表 3-2 横軸）との関係を検討することから、駅建物の通過空間の単位空間における９つの付帯パタンを位置づける（表 3-2)。これより、複数の付帯空間を有する単位空間は、深度の異なる付帯空間が、単位空間の左右両壁面に位置するものが最も多くみられることが分かった。また、単数の付帯空間を有する単位空間は、深度大の付帯空間のみのものが多くみられた。

さらに、単位空間の進行方向に付帯空間がみられる場合（表中◇）と、壁面全体に付帯空間がある場合（表中◆）とを検討した結果、深度の異なる付帯空間が、左右両壁面に現れる場合にそうした状況となる事例が多いことがわかった。

これより、駅建物の通過空間を構成する単位空間は、奥行きの異なる空間が多方向に付帯するものが多いといえる。

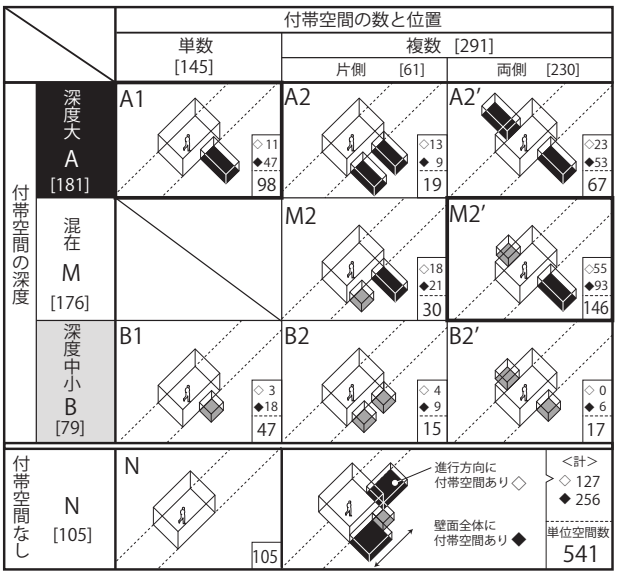


表 3-2　単位空間における付帯パタン

4 節　連続単位からみた通過空間の性格

4 節 1 項　付帯パタンの複合による通過空間の記述

通過空間は、前節で得られた付帯パタンの複合により、図 3-6 の分析例（八王子駅）のように、単位空間の連鎖として記述できる。

八王子駅では、分岐をもつ通過空間が 9 つの単位空間によって構成されている。この通過空間において、隣接する単位空間①、④、⑤は、深度の異なる付帯空間が左右両壁面（付帯パタン M2'）にみられ、動線方向に強いまとまりを形成している。また、単位空間⑤（付帯パタン M2'）と⑥（付帯パタン B2'）や、単位空間⑦（付帯パタン A2）と⑧（付帯パタン B2）は、付帯空間の深度は異なるが、数と位置が一致しており、弱いまとまりを形成している。このことから八王子の通過空間では、単位空間①、④、⑤、⑥による連続性に強弱のあるまとまりと、単位空間⑦、⑧による連続の弱いまとまりとが形成されいていると把握することができる。このような同じ付帯パタンが連なる単位空間群及び、同じ深度あるいは同じ数と位置の付帯空間をもつものが連なる単位空間群は、他の単位空間と異なる連続を形成していると言える。

そこで本節以降、これらのように同じ性格で連なる単位空間群を通過空間における連続単位と定義し、これをもとに通過空間の連続を検討する。

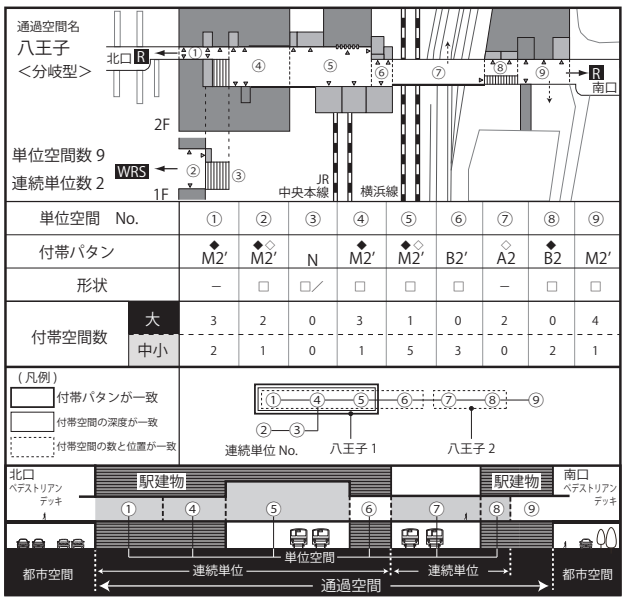


図 3-6　通過空間の記述と連続単位の抽出（分析例：八王子駅）

4節2項　通過空間における連続単位の性格

全88通過空間を検討した結果、92の連続単位を抽出[注3-7]することができた。それら連続単位の性格を、構成する単位空間の付帯パタンを検討することから、同様の付帯パタンが連鎖し強い連続を形成する基調連続（**イ**）、付帯空間の深度のみあるいは数と位置のみが一致し弱い連続を形成する属性連続（**ロ**）、それらが複合し強弱を伴った連続性を形成する基調・属性連続（**イロ**）の3つで捉えた。それらと付帯空間の深度の組合せとの関係を示したものが図3-7である。

ここで、付帯空間の深度の組合せは、まず深度大のみ、深度混在のみ、深度中小のみで整理した。そして、深度大と深度中小が並ぶものは深度混在、深度大と深度混在が並ぶものは深度大、深度中小と深度混在が並ぶものは深度中小として整理した。

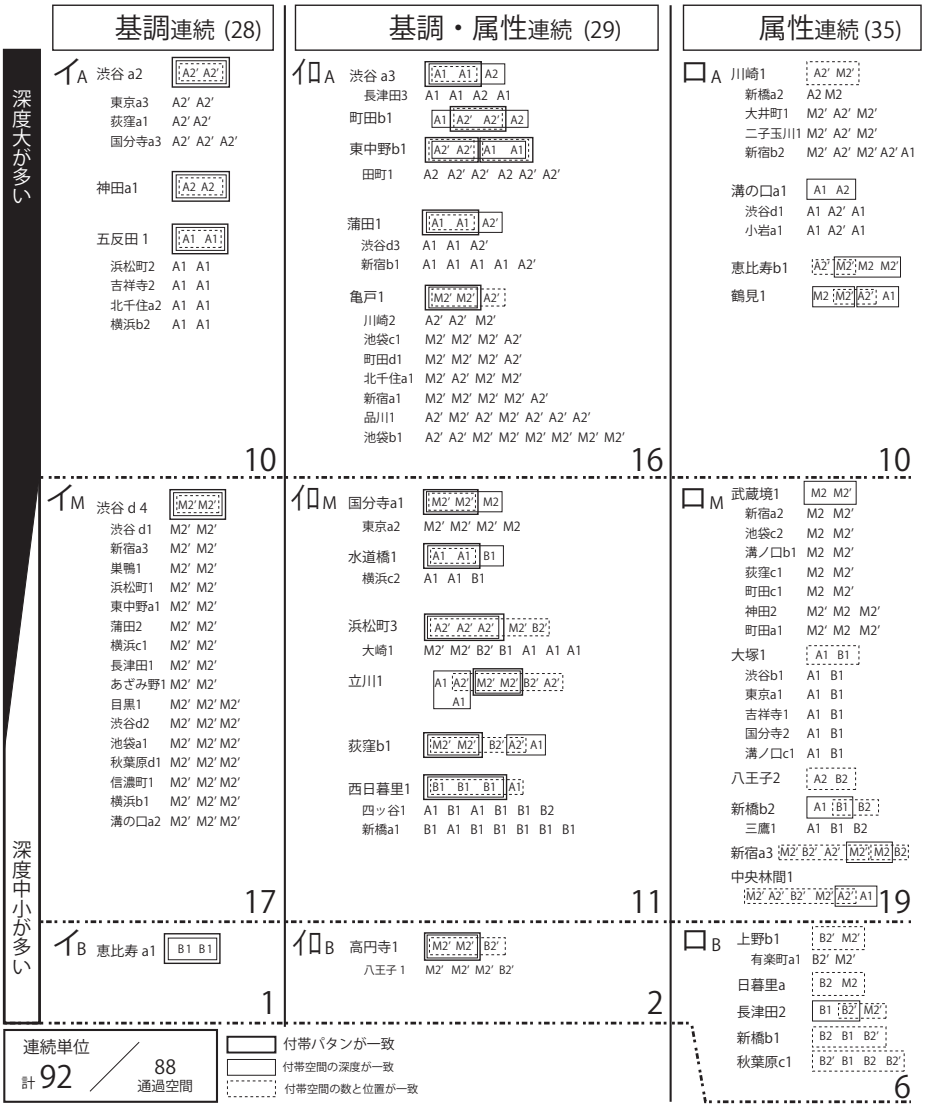


図3-7　連続単位の性格

これより、まず連続単位には、基調連続、基調・属性連続、属性連続がほぼ同数みられ、２つの単位空間で構成されるものが多くみられた。また、付帯空間の深度の組合せを検討すると、深度中小の付帯空間のみの連続単位は少なく、深度混在の付帯空間が並ぶ基調連続（イ M）と、深度大と深度混在の付帯空間とが混ざって並ぶ基調・属性連続（ロ A）が多くみられた。

さらに、３つ以上の単位空間が連なる連続単位をみると、深度の異なる付帯空間が左右両壁面にあるものや、深度大の付帯空間が左右両壁面にあるものが多くみられ、特に池袋 c1 のように、前者の基調連続に後者が連続することで強弱のある連続性が形成されるものが多くみられた。また、深度の異なる単位空間が並ぶ連続単位は、基調連続（イ M）の約半数は３つの単位空間からなるのに対し、属性連続（ロ M）では、単位空間が３つ以上並ぶものが少なく、連続性の強さのみでなく、連続する単位空間の数においても弱い連続となっていることが分かった。

これらより、駅建物の通過空間において、深度の異なる付帯空間が並ぶことで連続性が形成されているが、それには深度混在の単位空間が並び強い連続を形成する基調連続と、深度大と深度混在の単位空間が連鎖し強弱のある連続性を形成する基調・属性連続とが多いこと、付帯空間の連なりの弱い属性連続は、３つ以上の単位空間が並ぶものが少なく、連続する単位空間の数においても弱い連続となることが分かった。

４節３項　連続単位からみた通過空間の性格

次に、通過空間全体における連続を捉えるために、通過空間における基調連続の位置[注 3-8)]を、通過空間の端部と端部以外の２つで整理し（表 3-3）、その組合せを基調連続を構成する付帯空間の深度と併せて検討する（表 3-4）。表 3-4 では、横軸に基調連続の位置の組合せから、端部のみ、端部と端部以外、端部以外のみに整理した。また縦軸は、基調連続を構成する付帯空間の深度の組合せから整理した。

表 3-3 より、基調連続は、端部以外で多く見られみられ、店舗などが設置されやすい都市空間に近い出入口付近に必ずしも形成されず、通過空間の中央部においても形成されうるということが分かった。

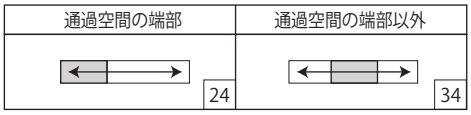


表 3-3　通過空間における連続単位の位置

次に表 3-4 より、全 88 通過空間のうち、約半数の 46 資料において基調連続がみられ、特に深度大の付帯空間を伴うものが多いことが分かる。さらに、基調連続が属性連

続と連鎖するかを含めて検討すると、基調連続が端部のみにある場合、深度の異なる付帯空間による基調連続（**イ M**）をもつものが幾分多くみられ、基調連続が端部以外のみにある場合､深度大の付帯空間による基調･属性連続（**ロ A**）が幾分多くみられた。また、基調連続が端部と端部以外の両方にある場合、異なる種類の連続単位が組合わさるものが多くみられ、端部に基調連続（**イ A**）があり、端部以外に基調・属性連続（**ロ M**）があるものが幾分多くみられた。

ここでの傾向から、通過空間において、端部では異なる深度の付帯空間による強い連続が形成され、他の単位空間から強く分節される一方で、端部以外では深度大の付帯空間による強弱のある連続性が形成され、他の単位空間と曖昧に分節されるという、基調連続の位置の違いによる通過空間の異なる分節性がみられることが分かる。また、通過空間において端部と端部以外の両方に基調連続がみられる場合、異なる性格の連続単位が組合わさるものが多く、連続性の強い部分と曖昧な部分とが混在し、通過空間における単位空間と連続単位との分節がより曖昧化しやすいと言える。

基調連続の位置 ＼ 深度の組合せ	端部のみ		端部と端部以外			端部以外のみ	
	18		8			19	
深度大(25)	五反田a 神田a 品川a 亀戸a 東中野a 大井町a 荻窪b	イA イA ロA ロA ロA ロA ロA 7	浜松町a 渋谷a 東京a 国分寺a 北千住a 横浜c 新宿a	ロA イA イA イA イA ロA ロA 7	イA イM ロM ロM ロM ロM イM イA	横浜b 蒲田a 池袋b 吉祥寺a 池袋c 新宿b 荻窪a 鶴見a 川崎a 町田b 町田d	イA イM ロA イM イA イA ロA ロA ロA ロA ロA ロA ロA 11
深度混在(17)	秋葉原d 東中野a あざみ野a 溝ノ口a 目黒a 信濃町a 田町 水道橋a	イM イM イM イM イM イM ロM ロM 8	渋谷d	イM	イM ロA 1	長津田a 池袋a 巣鴨a 大崎a 西日暮里a 新橋a 四ツ谷a 立川a	ロA イM ロB イM イM ロM ロM ロM ロM ロM 8
深度中小(3)	恵比寿a 高円寺a 八王子a	イB ロB ロB 3			0		0
基調連続なし	渋谷c 高田馬場a 高田馬場b 駒込a 駒込b 上野a	秋葉原a 秋葉原b 有楽町b 小岩b 小岩c 平井a 両国a 浅草橋a 大久保a	大久保b 西荻窪a 西国分寺a 北千住b 南千住a 南千住b 横浜a 武蔵小杉a	恵比寿b 渋谷b 大塚a 日暮里a 上野b 秋葉原c 神田b 有楽町a 新橋b	小岩a 荻窪c 三鷹a 武蔵境a 溝ノ口b 溝ノ口c 町田a 町田c 中央林間a	属性連続あり(18) 40	

表 3-4　連続単位からみた通過空間の性格

5節　通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性

本節では、2節で位置づけた通過空間の端部における都市空間との連続と、前節で検討した通過空間の連続を併せて検討する[注3-9)]ことを通して、駅建物の通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性の一端を明らかにする。

まず、通過空間の端部の状態を連続の有無で大別し、連続する場合、壁面の性質の連続であるか、空間スケールの連続であるか、あるいは、その両方で連続するかを縦軸に整理する（図3-8縦軸）。次に、通過空間の連続は、連続単位が端部にあるか否かで大別し、連続単位が端部にあるものは基調連続が端部にある《端部連続》と、基調連続が端部以外にある《端部＋中央連続》とに整理し、連続単位が端部にないものは、端部以外に基調連続のある《中央連続》と、基調連続のない《基調連続なし》とに整理した（図3-8横軸）。そして、通過空間全88資料のうち、複数の単位空間で構成され、連続単位のみられた66資料をプロットしたものが、図3-8である。

これより、《端部連続》では、壁面の性質と空間スケールの両方で都市空間と連続するものが多くみられ、基調連続の部分に属性連続がなく、他の単位空間から明確に分節された連続性を形成する傾向が見られた。これに対し、《端部＋中央連続》では、それらのどちらかのみで都市空間と連続するものが多くみられ、基調連続の部分に属性連続が連鎖し、他の単位空間から曖昧に分節された連続性を形成する傾向が見られた。

このことは、壁面の性質と空間スケールの両方により強い連続を形成する通過空間は、基調連続と接続し、通過空間と都市空間とが連続し一体化した空間を他の単位空間から独立して形成すること、壁面の性質あるいは空間スケールのどちらかのみによる弱い連続を形成する通過空間は、基調・属性連続と接続し、通過空間と都市空間とをまたいで強弱のある部分的な連続の連鎖する空間を他の単位空間も含んで形成すること、という通過空間と都市空間の2つの異なる連続性の形成のされ方を示していると考える。

また、端部に連続単位のない通過空間について、《中央連続》では、端部で連続するものが少なく、通過空間の内部で独立した連続性を形成していることが分かった。一方で《基調連続なし》では、端部で壁面の性質と空間スケールの両方で連続するものが多く、それらは通過空間の属性連続と接続するものが多くみられた。これらは、通過空間の端部の状態と通過空間の連続との組合せのうち、最も該当する資料が多い組合せであり、駅建物の通過空間において、こうした弱い連続性により建物内外の境界が曖昧化する傾向がわかった。

以上、通過空間の端部における都市空間との連続と通過空間の連続について検討

した結果、境界部における強い連続による他から独立した一体的な空間の形成と、強弱のある連続の連鎖による他の空間を含んだ曖昧な空間の形成という、通過空間と都市空間との連続性に関する異なる２つの複合形式を見出した。

これらは、駅建物の立面を貫通する通過空間の形成する都市空間の付帯性のあり方を示していると言え、東京において立面の形成する空間特性のひとつを示すものであると考える。

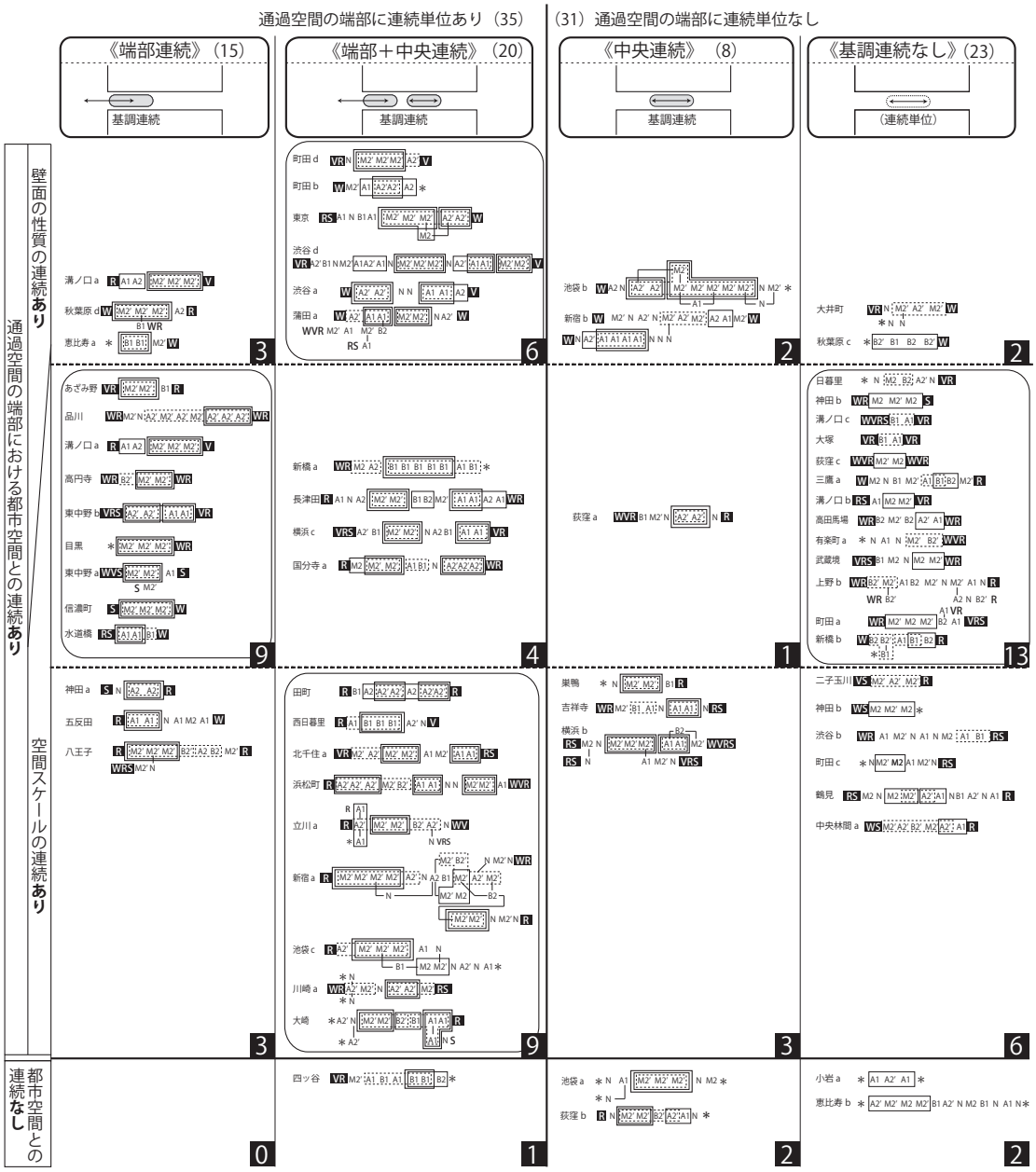


図 3-8　通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性

6 節　小 結

本章では、駅建物の通過空間を対象に、端部における都市空間との連続と、単位空間における空間の付帯の形式の連続から見出した連続単位による連続とを併せて検討した。その結果、まず通過空間の端部における都市空間との連続については、庇などがあることで、高さに関する空間スケールの連続の形成されるものが多いことが分かった。

次に、駅建物の通過空間を構成する単位空間については、都市空間と接続する深度の大きい空間が付帯することを基本として、深度の異なる空間が混在して付帯することが多いこと、そして、それらの付帯空間は多方向に等価に現れることが多いことがわかった。そして、単位空間の複合として通過空間の連続について検討した結果、駅建物の通過空間において、深度の異なる付帯空間が並ぶことで連続性が形成されており、深度混在の単位空間が並び強い連続を形成する基調連続と、深度大と深度混在の単位空間が連鎖し強弱のある連続性を形成する基調・属性連続とが多いこと、付帯空間の連なりの弱い属性連続は、３つ以上の単位空間が並ぶものが少なく、連続する単位空間の数においても弱い連続となることが分かった。

さらに、通過空間における単位空間の複合の形式を検討することから、通過空間において、端部では異なる深度の付帯空間による強い連続が形成され、他の単位空間から強く分節される一方で、端部以外では深度大の付帯空間による強弱のある連続性が形成され、他の単位空間と曖昧に分節されるという、基調連続の位置の違いによる通過空間の異なる分節性がみられることが分かった。また、通過空間において端部と端部以外の両方に基調連続がみられる場合、異なる性格の連続単位が組合わさるものが多く、連続性の強い部分と曖昧な部分とが混在し、通過空間における単位空間と連続単位との分節がより曖昧化しやすいことが分かった。

以上を踏まえ、通過空間の端部における都市空間との連続と通過空間の連続について検討した結果、境界部における強い連続による他から独立した一体的な空間の形成と、強弱のある連続の連鎖による、他の空間を含んだ曖昧な空間の形成という、通過空間と都市空間との連続性に関する異なる２つの複合形式を見い出した。

これらは、駅建物の立面を貫通する通過空間の形成する都市空間の付帯性のあり方を示していると言え、東京において立面の形成する空間特性のひとつを示すものであると考える。

3章注

3-1) 様々な用途や規模の建物が複合する駅建物の通過空間は、単に通過動線のための空間のみならず、経路上に改札口や店舗などを伴う多様な空間として成立している。そこで本研究では、駅建物の通過空間に隣接し、視線的に連続する空間を通過空間に付帯する空間として注目する。通過空間に付帯する空間には、電車で他の街へつながる改札口や通過空間以外に出入り口を有する大規模な店舗など都市空間に動線的に接続するものもみられ、こうした空間を介して駅建物の通過空間は都市空間に近接していると捉えられる。

3-2) 本論では、駅建物の通過空間の特性が、それを構成する個々の空間の物的な特徴とは別に、隣接する空間どうしの関係の集積によって特徴づけられているということを前提とし、そこでの複合の形式を検討する。

3-3) 度重なる増改築が行われた駅建物の通過空間は、様々な高さや幅の空間が連鎖することで構成されている。そこで、通過空間の高さや幅が 50 センチ程度以上の段差を伴って変化する場合、かたちの変化により空間が分割されていると捉え、通過空間の単位空間を抽出した。

3-4) 通過空間には、様々な方向に出入り口を有するものがみられる。そこで、経路が分岐し、複数の単位空間が連鎖する部分を有する通過空間を分岐ありと捉え検討した。ここで、階段の出入り口などの空間がひとつだけ分岐するものは、通過空間に付帯する屋外空間として捉え、経路の分岐とは捉えていない。

3-5) 単位空間の形状は、その平面の長辺と短辺の長さの比が 2:1 以内のものを面状として捉えた。線状のものは、その長辺を経路の進行方向にもつか否かから 2 つに分けて捉えた。

3-6) 付帯空間には、通過空間の内側にいながらも、その空間を介して都市空間に動線的に接続しているものがみられる。また、開口を介して外部空間が付帯するものもみられる。

3-7) 通過空間において、付帯空間のない単位空間が連続する部分もみられたが、本章では壁面に付帯する空間の奥行きがつくりだす連続性を検討することを目的としていることから、ここでは連続単位として抽出していない。

3-8) ここで基調・属性連続を有する通過空間は、その基調連続の部分の位置を検討している。また、通過空間に複数の基調連続がある場合は、それら分けて位置との関係を検討した。

3-9) 本章では、付帯空間の複合による通過空間の分節と端部での連続との関係を検討することを目的としているため、単一の単位空間からなるものや連続単位のみられない通過空間は分析していない。端部での連続は、端部ごとや端部どうしで様々な組合せがみられることから、端部ごとに壁面の性質のみ、空間スケールのみ、その両方に整理し、さらに端部どうしでの組合せから分類している。片方の端部で壁面の性質と空間スケールの両方の連続がみられる通過空間は、もう一方が壁面の性質のみの連続あるいは空間スケールのみの連続の場合、もう一方の端部の状態を優先して捉えた。

第 4 章　駅領域の複合形式からみた都市空間の積層性

1 節　本 章 の 目 的 と 概 要

1節1項　目的

本章は、２章と３章における都市空間を規定する建物立面に関する分析に対して、それに面する場所により立体的に構成された都市空間の積層性を検討するものである。

ここではその特性を、駅建物とそれに近接する建物群に囲まれた領域を対象に、用途上の面的なまとまりとして構成面を抽出し、近接する他の構成面との断面構成の複合と、構成面どうしの視線的なネットワークとを検討する。

東京の市街化にともない、都市交通ネットワークの基盤施設として継続に発達してきた駅の周辺では、鉄道、道路、ペデストリアンデッキなどの都市の構成要素が、起伏豊かな地形に立体的に交錯した状景が形成されている。

例えば図 4-1 の渋谷駅前では、交差点の上にペデストリアンデッキと高速道路が積層しており、ペデストリアンデッキ上では、下方に交差点が近接しながら、上方には高速道路が一部のみ覆うことで異なる断面構成の場が形成されている。

このような立体的に構成された都市空間では、近接する領域どうしの積層や交差によって様々な領域の複合がみられ、構成する領域は用途上のまとまりを有しながらも、性格の異なるいくつかの場に分節される場所や、異なる用途を有する領域群を横断する場所などが形成されることで都市空間の積層性を特徴づけている。

こうした都市空間の積層性は、都市空間における視点となる場所の位置や連続性、あるいは、その場所から見える視界の限定や広がりを形成しており、建物立面とは異なる水準で東京の空間特性を特徴づけている。

また、この積層して構成された領域の複合の形式を、構成する領域どうしの関係から明らかにすることは、東京の都市景観固有の空間特性を捉えることのみならず、立体的な空間構成をもつ建築を構想する上での新たな知見にもなりうると考えられる[注4-1)]。



図 4-1　渋谷駅東急南口のペデストリアンデッキ

このような認識のもと、駅建物とそれに近接する建物群に囲まれた駅領域を対象に、用途上の面的なまとまりとして構成面を抽出し、他の構成面との断面構成の複合を検討することから、建物立面の視点となる都市空間においてどのような積層性が形成されているかを明らかにする。また、立体的に構成された都市空間を、近接する領域どうしの断面構成の集積から捉えることで、現代都市空間を記述する新しい方法を提案する。

1節2項　概要

本章では2章同様、東京都23区にあるJR山手線とJR中央・総武線の50駅を調査対象とする[注4-2)]。これらの駅では、図4-2大塚駅のように幹線道路や駅前ロータリーなどが接続することで駅前の状景が特徴づけられている。また、駅のプラットホームは、改札内の場所ではありながらも、電車待ちや乗り換えなど日常的に利用され、地上レベルとは異なった状景を獲得できる場所となっている。駅周辺の領域は、これら様々な用途の領域が集積することで構成されている。そこで本章では、駅建物[注4-3)]およびホームを駅とし、それと近接する建物群とに囲まれた範囲を駅領域と定義し、分析範囲とする。

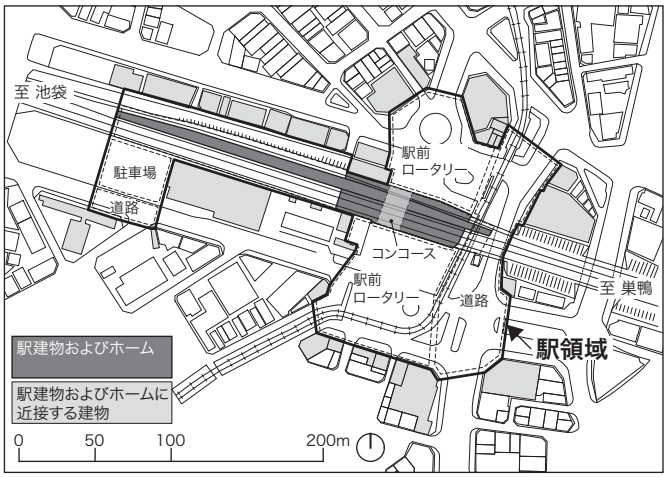


図4-2　駅領域の定義（分析例：大塚駅）

駅領域は、様々な用途上のまとまりを有する領域によって構成されている。各領域は、その用途上の制約や移動の効率性の確保から、互いに積層あるいは交差し、立体的に配置されている。

例えば図4-3の分析例（大塚駅）では、駅の東側の地上レベルに駅前ロータリー、道路、ラチ外コンコース（以下、コンコース）があり、その上方にJR山手線のプラットホーム（以下、ホーム）が積層している。またホームは、西側で同一高さレベルにある駐車場と近接しており、この駅領域の東西両端がホームを介して空間的に接続していると言える。

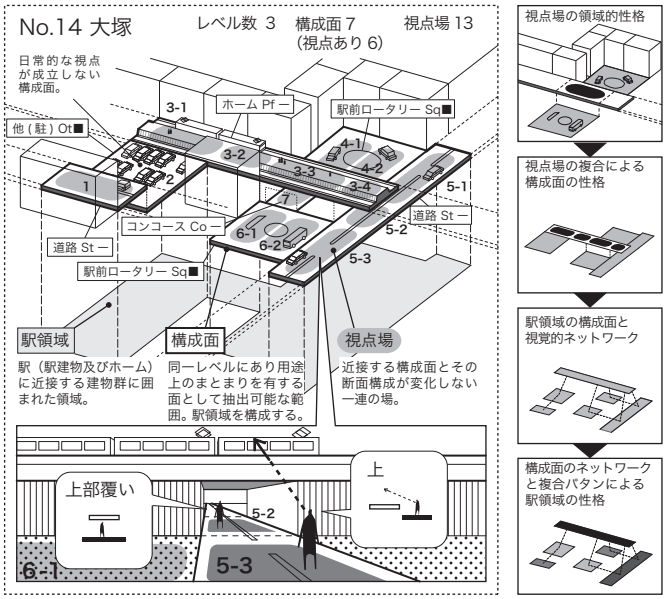


図 4-3　研究の概要（分析例：大塚駅）

このようにここでは、異なる用途や形状を有する７つの領域が、様々な高さレベルや方向に集積し、断面構成の複合した領域的なネットワークを形成している。こうした場所の複合により形成される都市空間の積層性を捉えるために、本章では、駅領域を構成し、同一高さレベルにあって用途上の面的なまとまりとして抽出できる範囲を構成面と定義し[注 4-4)]、駅領域の分析単位としている。

さらに構成面は、近接する他の構成面との断面構成の違いにより領域的な性格の異なる場が形成されている。例えば、図 4-2 と図 4-3 の分析例（大塚駅）の構成面 5（道路）は、構成面 4（駅前ロータリー）と構成面 3（ホーム）とに近接する場（5-1）、上方が構成面３によって限定され他の構成面から独立する場（5-2）、構成面 6（駅前ロータリー）と構成面 3 とに近接する場（5-3）といった３つの分割場で構成されており、それらが複合することで領域的な性格が特徴づけられている。

そこで、構成面における場の主要な性格を捉えるために、近接する他の構成面との断面構成を整理し（図 4-4）、構成面において同様の断面構成を有する場を分割場[注 4-5)]と定義し、構成面の領域的な性格を把握するための分析単位とする。

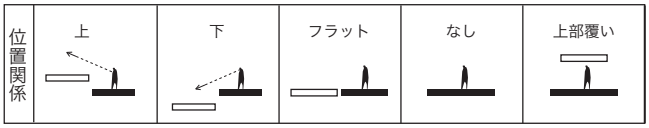


図 4-4　近接する構成面の位置関係

本章では、ここで設定した駅領域、構成面、分割場という３つの分析単位をもとに、構成面を複数の分割場の複合として捉え、さらにそれら構成面のネットワークを検討することから、立体的に構成された都市空間の積層性を局所から全体へと検討することを試みる。

まず２節では、各駅領域における構成面を抽出し、その組合せから駅領域の基本的な性格を整理し、さらに近接する構成面の位置関係を検討することから分割場を抽出し、その断面構成を検討する。３節では、分割場の複合として駅領域において主要な構成面を記述し、その領域的な性格を検討する。そして４節では、アイレベルで捉えうる局所的な断面構成の連鎖として、駅領域において主要な構成面が形成するネットワーク図を作成し、その性格を３節で位置づける構成面の性格と併せて考察することから、構成面が立体的に集積することによって形成される駅領域における都市空間の積層性を明らかにする。

以上のように、都市空間において立体的に積層する領域が形成する状景を検討することから、建物立面や通過空間の壁面とともに状景を構成すると同時に、移動を伴う際の視点となる場所の連続性から状景を体験的な水準で増幅させる都市空間の積層性を明らかにする。

2 節　駅 領 域 の 構 成 面

2節1項　駅領域における構成面の種類と組合せ

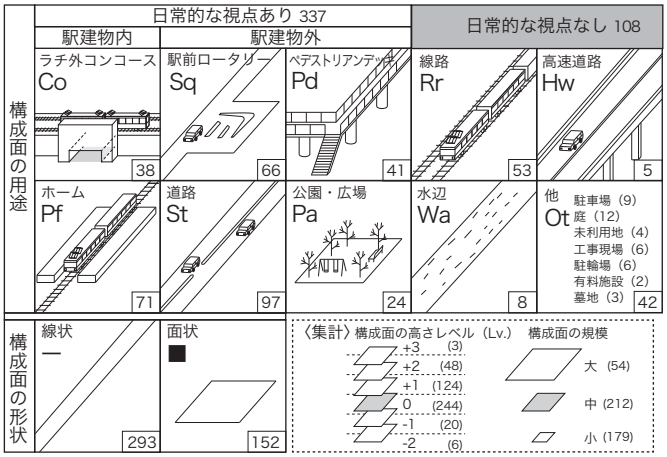
まず、全資料を検討し、駅領域の構成面を用途と形状から整理したものが表 4-1 である。

用途は、構成面において不特定多数の人の自由な通過や滞在が可能で、日常的な視点が存在するか否かから整理した。日常的な視点ありの構成面は、駅建物内の構成面（ホーム、コンコース[注 4-6)]）と、駅建物外の構成面（駅前ロータリー、道路、ペデストリアンデッキ、公園・広場）とに分類した。日常的な視点なしの構成面は、線路、水辺、高速道路、その他で捉えた。ここで、ホームとコンコースを日常的な視点のある構成面と捉えるは、鉄道への乗降の経路としての一般的な利用に加え、諸交通の乗り換えや線路の対岸への通り抜けの経路あるいは駅に併設する商業施設への経路などに利用され、駅の建物の内側に位置しながらも、誰にでも日常的に利用される公共性の高い都市空間として成立しているためである。

構成面の形状は、原則的に四角形平面で捉えられると考え、その長辺と短辺との長さの比が 2：1 を越える場合を線状と捉え、それ以外を面状と捉えた。

構成面の高さレベルは、地上レベル（Lv.±0）を基準として、より下方にあるか上方にあるかで、段階的に捉えた[注 4-7)]。すべての駅領域を検討した結果、駅領域の高さレベルは Lv. - 2 ～ +3 の範囲で捉えることができた。

構成面の規模は、絶対的な面積による設定では、小さい面積の駅領域ではすべての構成面が小規模となり、そこでの実感的な規模の差が捉えにくいことから、駅領域ごとに構成面の面積の平均を算出し、それに対する相対的な規模[注 4-9)]（大、中、小）から捉えた。



表注）全 50 駅のうち、445 の構成面がみられた用途はその領域的なまとまりを形成している主用途から、形状はその構成面の長手と短手の長さの比率から捉えている。またこれらに加えて構成面の規模を位置づける指標としてその面積を捉えたところ、109m2 から 45005m2 までの面積を有する構成面がみられた。

表 4-1　構成面の種類

次に、駅領域における構成面の組合せを検討する（図 4-5）。

駅領域の層構成は、2 層あるいは 3 層で構成されるものが多くみられた。構成面の用途の組合せは、駅建物内の構成面を有するか否かから整理した。構成面の形状の組合せは、線状のみ、線状と面状、面状のみで整理した。構成面の規模の組合せは、大規模と小規模のものが混在し規模の対比があるか否かから整理した。

これらより、駅領域は様々な用途や形状、規模の構成面が立体的に混在して構成されていると確認できる。

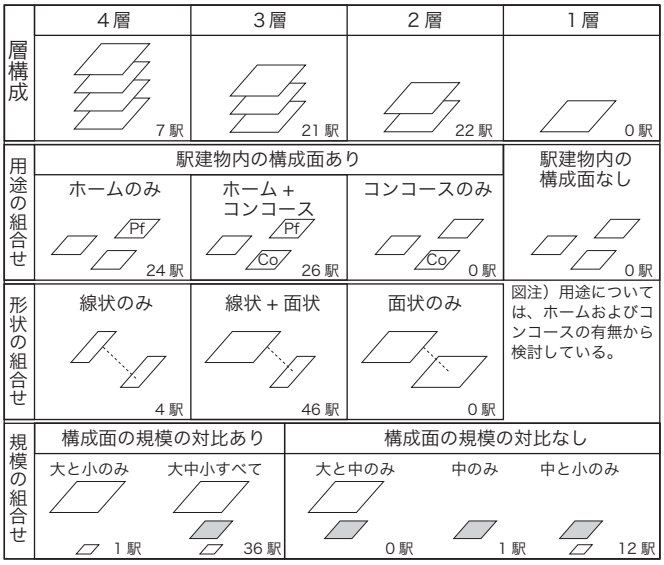


図 4-5　駅領域における構成面の組合せ

2 節 2 項 近接する構成面との関係からみた分割場

ここでは、分割場における断面構成を検討することから、その領域的な性格を位置づける。分割場は、日常的な視点ありの構成面の断面構成を検討することから 870 の分割場が抽出された。

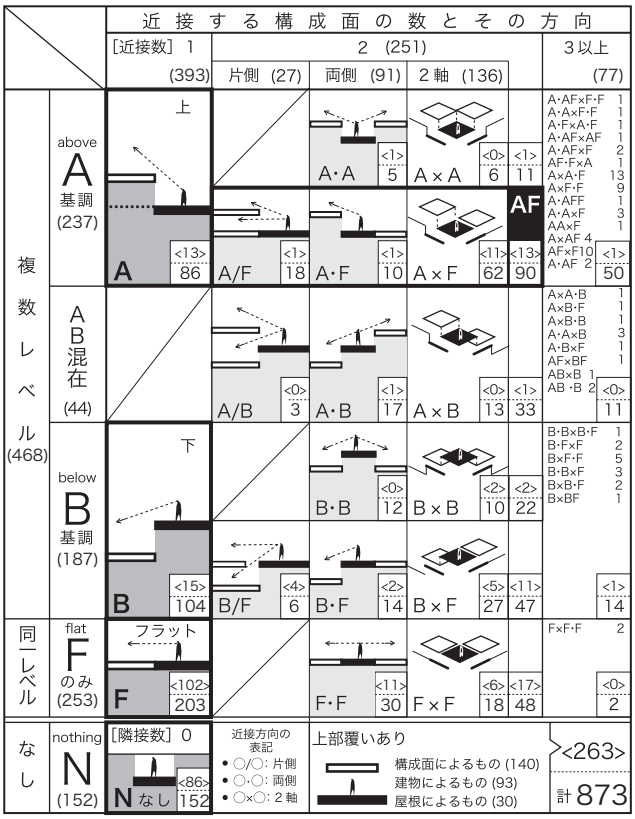
そして各分割場について、近接する構成面との高さ関係（表 4-2 縦軸）と、近接する構成面の数と方向（表 4-2 横軸）とを検討し、その断面構成を整理したものが表 4-2 である。

表 4-2 において、縦軸の近接する構成面との高さ関係ついては、近接する構成面がある場合、複数レベル（上、下）と、同一レベル（フラット）とで整理した。横軸の構成面の数と方向については、分割場に近接する構成面が 2 つある場合、それらが同一方向にある片側、反対方向にある両側、直交方向にある 2 軸で位置づけた。また、建物や構成面が真上にあり、上部覆いのある分割場の数を表 4 -2 中の各マスに併記した。

これより、複数レベルの断面構成となる分割場が半数以上となることがわかる。さらに、近接する構成面の数は、1つあるいは2つのものが大半であり、2つの場合は、その一方がフラットのものが多くみられた。

このことは、様々な用途や形状、規模が立体的に混在し、一見複雑な駅領域が、単純な断面構成の場の集合として成立しており、それを構成する構成面は、ここで整理した分割場の複合によりその領域的な性格を捉えうることを示していると考えられる。

そこで、該当する資料の多く見られたA、AF、B、F、Nの5つを分割場の基本形と位置づけ、次節以降の検討に用いる。



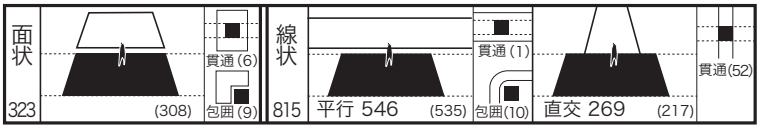
表注）視点ありの構成面（337 構成面）から、873 の分割場が抽出でき、分析の単位としている。表中の数字は該当する分割場の数を示している。ここで、それぞれのマスごとに、上部覆いがあるものを＜＞内に数字で示している。

表 4-2　分割場の断面構成

次に、分割場に近接する構成面の形状について検討する（図 4-6）。これは、分割場の領域的な性格が、構成面の形状により、道路など細長い領域が直交して遠くを見通せるような場所であったり、広場などの比較的等辺の領域が近接し視線的に囲まれた場所であったりと、近接する構成面の数や位置による断面構成とは別の水準で特徴づけられているからである。

ここでは、表 4-1 での分析より、近接する構成面が面状であるか線状であるかで大別して検討した。そして、それぞれの形状について、近接する構成面が分割場に対して、面状のものは領域同士の立体的な包含関係から、線状のものはどのような方向（平行、直交）にあるかも併せて検討し、整理したものが図 4-6 である。

これより、線状の構成面に近接するものが多く、特に平行して近接するものが多いことがわかる。またここでは、線状の構成面と直交し、視線的な抜けが形成されるものなど、構成面の立体的な交錯による特徴的な状景がみられた。



図注）ここでは、分割場に近接する構成面ごとにカウントし、その数を示しめしている。
総数 1138= 近接数 1× 393+ 近接数 2× 251+ 近接数 3× 67+ 近接数 4×8+ 近接数 5×2

図 4-6　分割場に近接する構成面の形状

3節　分割場の複合からみた構成面

3節1項　分割場の複合による構成面の記述

構成面の領域的な性格を、前節で位置づけた分割場の組合せにより検討する（図4-7）。図4-7 分析例のmeg7（目黒駅JR山手線ホーム）は、道路との立体交差や駅建物の上部積層により異なる断面構成の3つの分割場により構成されており、前節で捉えた分割場の基本形の組合せと上部覆いの有無から、図4-7 模式図のように記述することができる。

これより下方については、全ての分割場において近接する線路との断面構成（B）が同様である一方で、上方については、分割場2のみ上部覆いがなく立体交差する道路が見える断面構成（A）を有しており、分割場どうしの連続と不連続とが同時に生じていると捉えることができる。また、近接する構成面の形状や用途については、すべての分割場が同一形状の構成面（線状）と近接する一方で、分割場2のみが道路と線路の2種類の用途に近接しており他の分割場と異なっていると捉えることができる。

このように分割場という近接する構成面との関係から抽出した単位を設定することで、構成面における領域の複合の度合いを捉えることができる。こうした領域の複合は、他の構成面が多く近接する場合に、その多様なヴァリエーションを捉えうることから、次節では、近接する構成面が3つ以上となる主要な構成面に着目し、その特徴を検討する[注4-9)]。

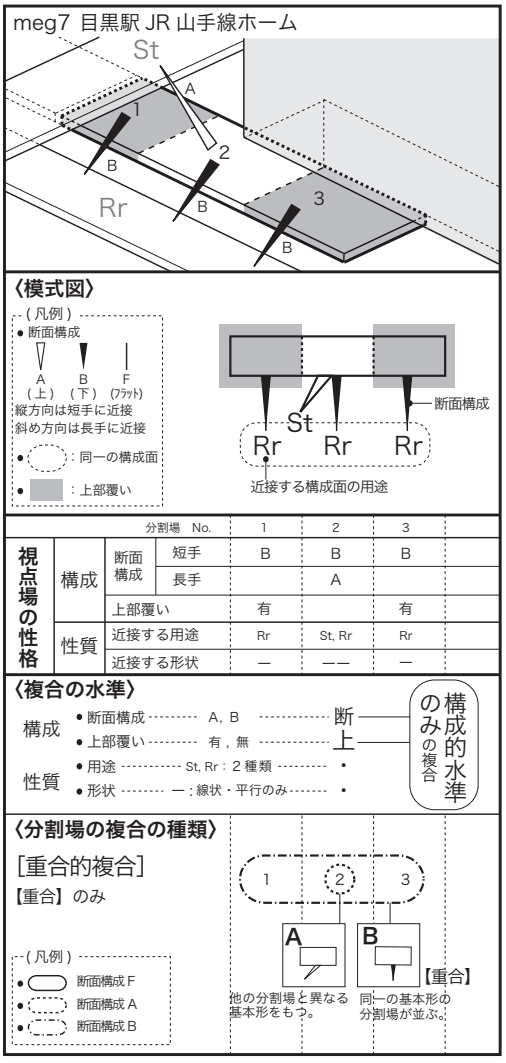


図4-7　分割場の複合による構成面の記述

3節2項　構成面の複合の水準

ここでは、主要な構成面における分割場の複合の水準を構成的水準と性質的水準との2水準に大別し、検討する（表 4-3）。構成的水準には、異なる基本形が混在するものと上部覆いの有無が混在するものとがある。性質的水準には、4 種以上の用途が近接するもの[注 4-10)] と異なる形状の構成面が近接するものとがある。これらを検討した結果、断面構成の複合が最も多く見られた。

構成的水準	断面構成	断	A, B, F が 2 種以上混在 (160)
	上部覆い	上	有 / 無が混在 (76)
性質的水準	用途	用	4 種以上の用途が近接 (59)
	形状	形	面状と線状の両方が近接 (122)

表 4-3　構成面の複合の水準

3節3項　分割場どうしの位相関係と複合パタン

ここでは、主要な構成面の領域的な性格が一様であるか多様であるかといった分割場の複合の程度を検討する。まず、構成面において隣り合う分割場どうしの関係を、同一の性格の分割場が並ぶ【重合】と、異なる性格の分割場が並ぶ【並列】との２つで位置づけた（表 4-4）。

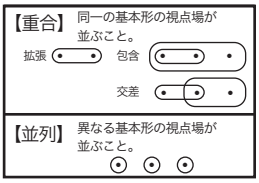


表 4-4　複合の種類

こうした隣り合う分割場どうしの関係は様々な水準で捉え得るが、本章が着目する都市空間の積層性は、視点となる場の断面構成により第一義的に特徴づけられること、また断面構成の複合が多くみられたことから、ここでは分割場どうしが同じ基本形を共有しているか否かで、主要な構成面における分割場の複合パタンを検討し、以下の 4 つで位置づけた（図 4-8）。

まず、主要な構成面が単数の分割場からなる複合パタン**イ**と複数の分割場からなる複合バタン**ロ**、**ハ**、**ニ**とに大別して捉えた。複合パタン**イは、分割場の複合がみられない**ものである。主要な構成面が複数の分割場からなるものについて、複合パタン**ロ**［重合的複合］は、全ての分割場で同じ基本形を共有し、重合的な関係で並ぶもので、複数の

分割場が抽出されながらもほぼ一様な性格となるものである。複合パタン**ニ**［並列的複合］**は**、分割場どうしで同じ基本形を共有することがなく、並列的な関係で並ぶもので、各分割場が独立し、同一の領域でありながらも断片的な性格となるものである。また、［重合的複合］と［並列的複合］の両方が組合わさる複合パタン**ハは、分割場どうしで同じ基本形を共有する箇所が部分的にあり、重合的な関係と並列的な関係が並ぶもので、同一の基本形をもつ分割場どうしで形成するまとまりが独立し、断片的な性格となりながらも、その断片化の度合いに強弱を有するものである**。これら分割場の複合パタンについて該当する資料の数的傾向を検討した結果、複合パタン**ニ**が最も多くみられた。

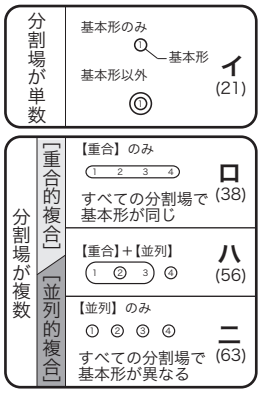


図 4-8　主要な構成面における分割場の複合パタン

３節４項　構成面における集中場

主要な構成面には、他の構成面が特定の分割場に集中して近接するものと、複数の分割場で分散的に近接するものがみられる。こうした他の構成面との近接関係の集中は、基本形の組合せとは別に、主要な構成面における分割場の複合の度合いを特徴づけているといえる。そこで、主要な構成面において３つ以上の構成面と近接する分割場を集中場として位置づけ、構成面の分節の度合いを検討する指標とする。

そこで、主要な構成面（全 202 資料）について、集中場を有無を検討した（表 4-5）。その結果、約 1/4 の主要な構成面において集中場が形成されていることがわかった。

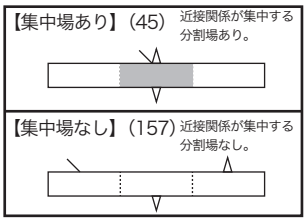


表 4-5　構成面における集中場

3節5項　分割場の複合からみた構成面の分節パタン

本節で整理した複合の水準、分割場の複合パタン、集中場の有無から主要な構成面の性格を位置づける（表 4-6）。まず、主要な構成面を日常的な視点の有無（複数、単数、視点なし）で大別し、分割場が複数の場合は並列的複合があるか否か、集中場があるか否かから整理することで、6つの分節パタン[注4-11)]（**FC**、**F**、**C**、**U**、**S**、**Z**）で位置づけた（表 4-6 横軸）。

パタン FC は、異なる基本形の分割場が並び、集中場のあるものである。
パタン F は、異なる基本形の分割場が並び、集中場のないものである。
パタン C は、共通の基本形を有する分割場が並び、集中場のあるものである。
パタン U は、共通の基本形を有する分割場が並び、集中場のないものである。
パタン S は、分割場が単数のものである。
パタン Z は、日常的な視点が成立しないものである。

これらについて構成する基本形の内容（近接する構成面との高さ関係）から整理し（表 4-6 縦軸）、該当する資料が一定数以上みられた 15 の組合せを主要な構成面の分節パタンの小分類として抽出した。また、主要な構成面の複合の水準を、断面構成（断）、上部覆い（上）、用途（用）、形状（形）それぞれで併記し、表 4-6 縦軸内に近接する構成面の高さレベルごとに内訳を示したものが表 4-6 である。また、構成面の分節パタンの小分類の具体例を示したものが、図 4-9 である。

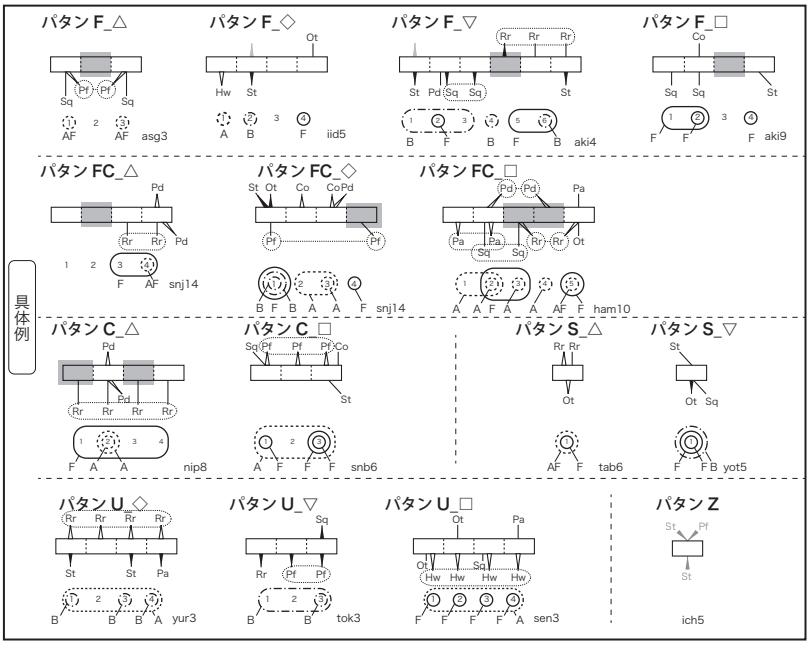
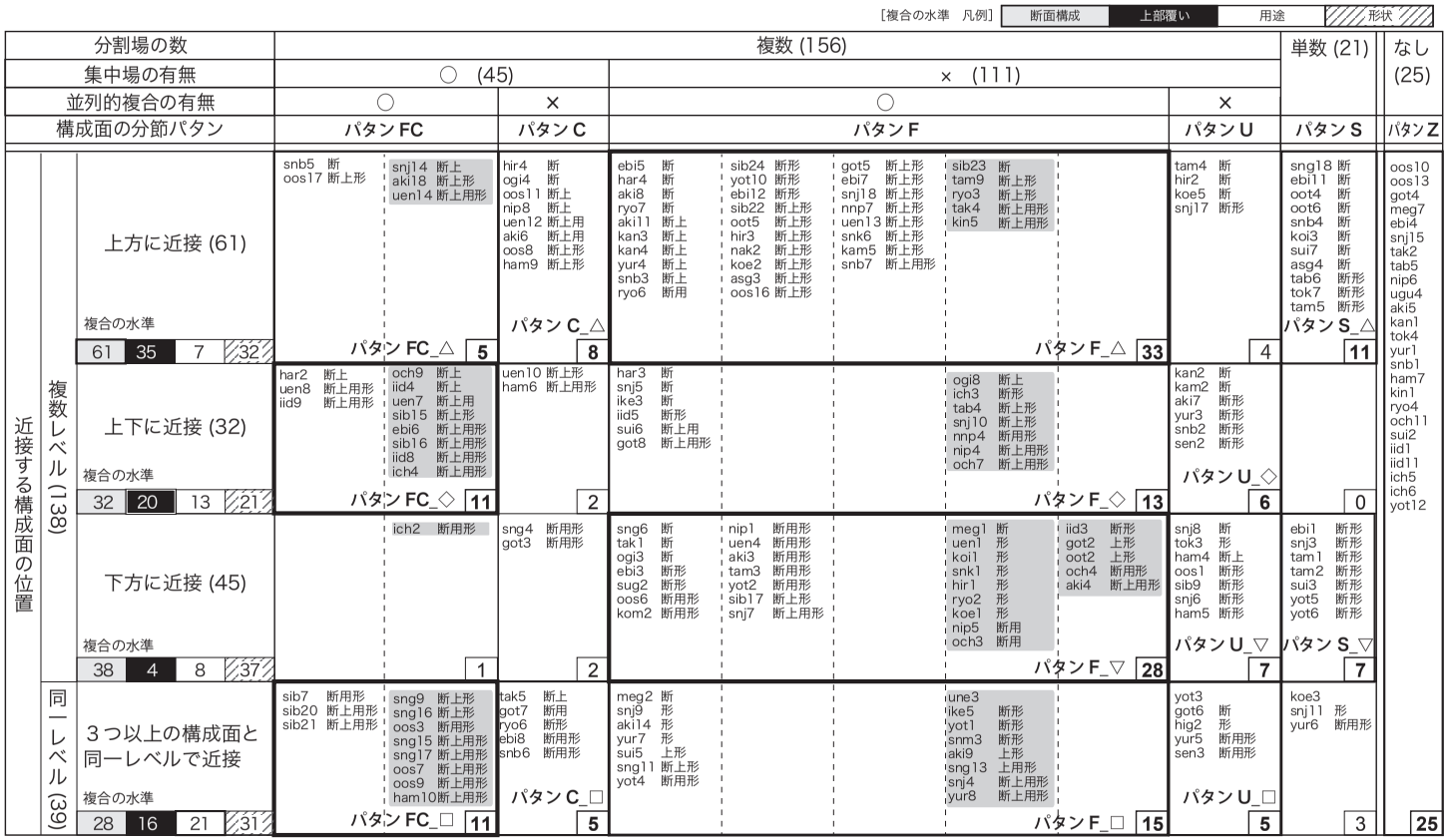


図 4-9　構成面の分節パタンの具体例



表注）ここでは資料名を sng1（品川駅・構成面１）のように略示している。また、表中の数字は該当する資料数を示す。マス内の　　は、並列的複合と重合的複合の両方がみられる資料を示している。同一レベルで３つ以上の構成面と近接するものは、上方あるいは下方に近接する構成面があっても、近接する構成面の位置を同一レベルと捉えた。

表 4-6　構成面の分節パタン

表 4-6 での検討でみられた数的な傾向より、まず**パタン S** は上下の両方向に構成面が近接するものがなく、単純な断面構成となる事例がみられた。このことは、本節 1 項で位置づけた分割場の基本形が主要な構成面の性格を捉えるための定型として成立することを示すと考えられる。

次に、分割場が複数のものは、下方で**パタン FC** や**パタン C** が少なくパタンの小分類として成立しないことが分かる。これより下方に近接する構成面のある主要な構成面は、特定の分割場のみで他の構成面と近接せず、主要な構成面全体で分散して近接する傾向にあると言える。

また、該当する資料が多くみられた**パタン F_** △と**パタン F_** ▽について重合箇所を有するか否かを比較検討すると、上方ではそれを含むものが少なく分節の度合いが強いのに対して、下方ではそれを含むものが約半数あり分節の度合いに強弱があることがわかった。

さらに、複合の水準について検討すると、上方では構成的水準が多いのに対し、下方では性質的水準が多いことがわかった。

これらの傾向より、上方では異なる断面構成の混在や近接関係の集中により分節の度合いの強い断片的な複合の傾向がみられるのに対し、下方では性質の異なる構成面の分散的な近接により分節の度合いに強弱のある複合の傾向がみられることが分かる。

このことは、近接する構成面の高さレベルの違いによる主要な構成面における分割場の２つの複合の形式を示すと考えられる。

4節　駅領域の複合形式からみた都市空間の積層性

4節1項　構成面のネットワークとその形状

まず、各駅領域における構成面のネットワーク図を作成し[注4-12)]、そのネットワークの構造を捉えるために、ここでも主要な構成面に着目し、形状を検討する。

例えば、図4-10分析例の両国駅の駅領域には、7つの構成面がある。これらは、構成面ryo5（駅前広場）にその他のすべての構成面が近接し積層したネットワークを形成しており、構成面ryo5（駅前広場）は両国駅における構成面のネットワークにおける基点であると位置づけられる。

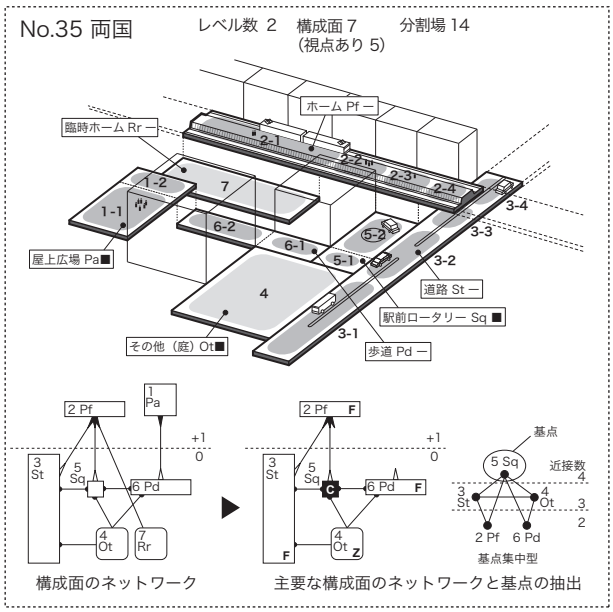


図4-10　構成面のネットワークの抽出（分析例：両国駅）

こうした構成面のネットワークにおける基点を、主要な構成面どうしの近接数の比較から抽出し、基点となる構成面の有無と数からネットワークの形状を位置づけた（表4-7）。

《基点集中型》は、基点となる構成面が一つあり、それにすべての構成面が近接するものである。

《基点階層型》は、基点となる構成面が一つありながらも、それにすべての構成面が近接せず独立するものがあり、副次的な基点となる構成面を介して近接するものである。

《基点分散型》は、基点となる構成面が複数あるものである。

《均質重層型》は、すべての構成面の近接数が同数で、基点を形成しないものである。

これらは中心性が強い《基点集中型》と弱い《均質重層型》とを対極として、さらに中心性を階層的に形成する《基点階層型》と分極化して形成する《基点分散型》とを位置づけることができる。

これらの該当する資料の数的傾向より、構成面がネットワークを形成する場合、基点を中心としたネットワークを形成しながらも、副次的な基点を形成するものや基点が複数あるものが多く、ネットワークの中心性が曖昧化していることがわかる。

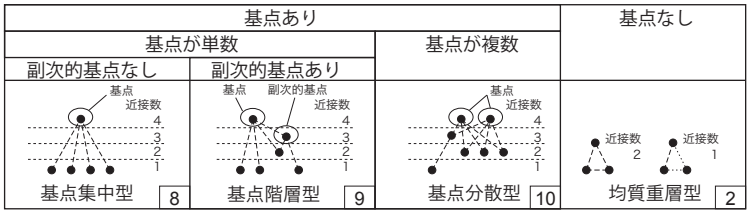


表 4-7　構成面ののネットワークの形状

４節２項　ネットワークの基点とその領域的な性格

次に、基点となる構成面の領域的な性格を検討する（表 4-8）。これより、基点となる構成面は地上より高いレベルにあり下方の構成面と近接することが多く、線形で小規模のものが多いことが分かる。また、構成面の分節パタンについてみると、上方あるいは下方では**パタン F** が多いのに対し、上下では**パタン FC** が多くみられた。一方で副次的な基点となる構成面は、地上にあり上方の構成面と近接し、**パタン FC** となるものが多くみられた。

これらより基点となる構成面は、小規模のものもあり、駅領域における規模の中心とネットワークの中心とが必ずしも一致しないこと、上下の両方向に近接する場合は集中的に統合しうること、同一レベルに近接する場合は副次的な基点となりやすいことを示していると考えられる。

		分節パタン						形状		規模			高さレベル（Lv.）		
		F	FC	C	U	S	Z	線	面	大	中	小	≦-1	±0	1≦
基点（45）	▲(7)	④	0	0	1	2		5	2	0	5	2	0	7	0
	◆(9)	2	⑤	0	2	0		8	1	4	4	1	0	4	5
	▼(12)	⑥	1	2	0	3		⑨	3	2	4	⑥	0	0	⑫
	■(9)	3	3	3	0	0		6	3	3	5	1	0	7	2
	●(8)						8	7	1	3	3	2	1	1	6
副次的基点（27）	▲(8)	⑧	0	0	0	0		⑧	0	1	2	⑤	0	⑧	0
	◆(5)	1	2	0	2	0		3	2	2	2	1	0	1	4
	▼(3)	2	0	0	1	0		3	0	0	2	1	0	0	3
	■(8)	0	⑥	0	0	2		⑥	2	1	⑤	2	0	⑥	2
	●(3)						3	3	0	0	3	0	0	1	2

表 4-8　構成面のネットワークの基点と副次的基点の性格

4 節 3 項　構成面のネットワークと分節パタンからみた都市空間の積層性

駅領域における都市空間の積層性を検討するために、構成面のネットワークをその形状から整理し（表 4-9 縦軸）、構成面のネットワークごとに層構成、形状の組合せ、規模の組合せ、用途の組合せ、分節パタンの組合せを併せて示したものが表 4-9 である。

まず、1 つの構成面からなるのものは、最も単純な駅領域であるといえ、巣鴨駅のように線状の**パタン F_** ▽が多くみられた。

また、2 つの構成面からなるものは、下方に近接する構成面を有する構成面が少なく、西日暮里駅のように線状の**パタン F_** △に、上方（△）や上下（◇）に構成面が近接する線状のものが連鎖するものが多くみられた。

これら構成面が少なく比較的単純な駅領域でみられた、周囲より高いレベルにある線状の構成面による構成面の統合や、線形の構成面が交差して積層する 2 つの構成面による構成面の統合は、駅領域において積層性が形成される基本的な領域の複合の形式であると考えられる。

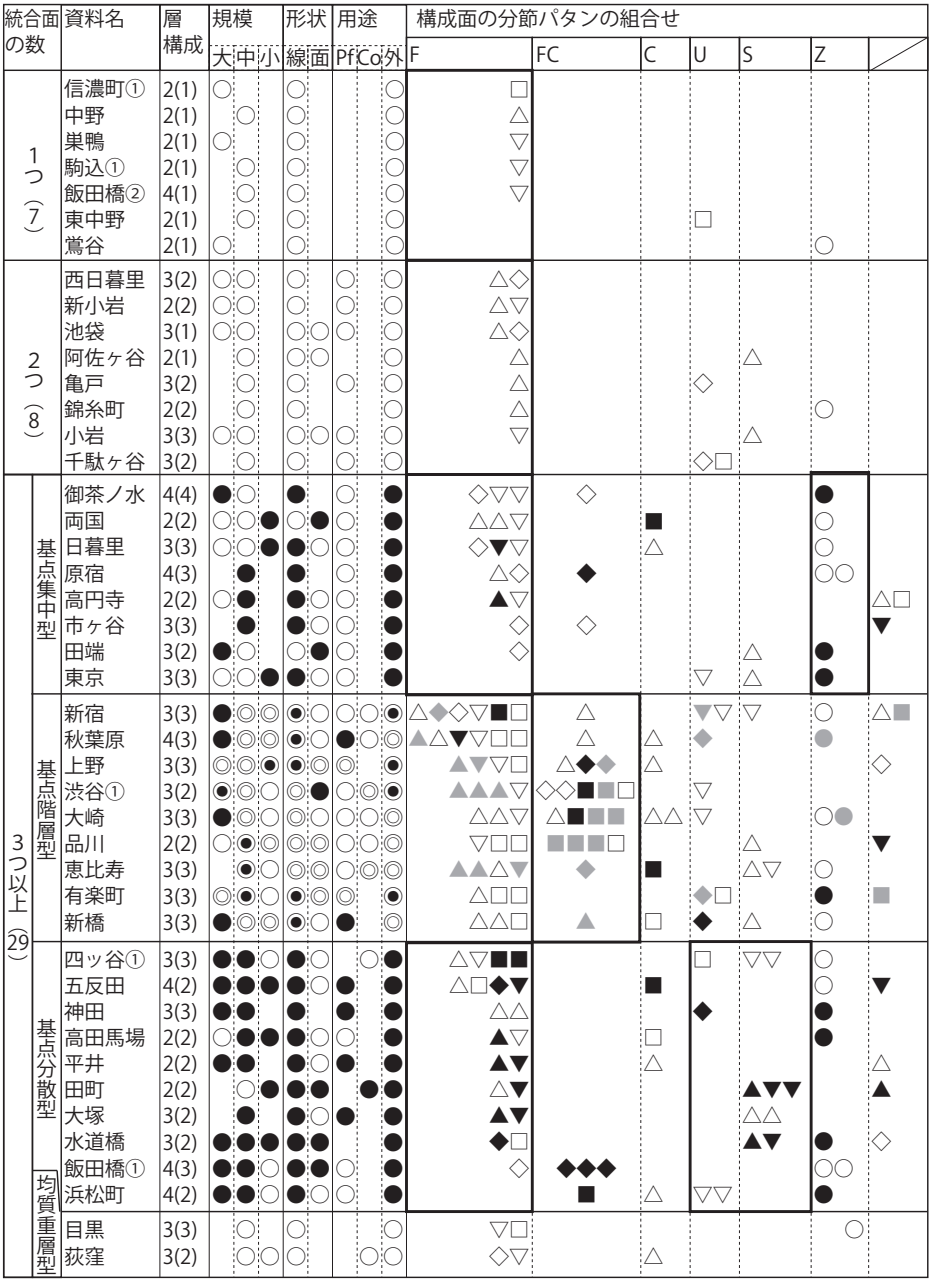
次に、3 つ以上の構成面からなるものについて検討すると、基本的に**パタン F** が多くみられるが、《基点階層型》では**パタン FC** が多く、ほぼすべてにおいて規模や形状の異なる構成面が混在しているものがみられた。

これより駅領域では、様々な規模や形状の構成面が混在することで、基点を中心とした階層的な構成面のネットワークが形成されており、その場合、構成面の分節の度合いが強く、ネットワークの単位が分割場となり、特に集中場どうしが視線的に連続するネットワークとなる傾向にあることがわかる。

ここでさらに、副次的な基点となる**パタン FC_** □が多くみられたことから、同一レベルに近接する構成面を有する構成面は、周囲の独立したネットワークを連結する基点となりながらも、その連結が集中場という局所的な場となることで領域的に断片化し、その中心性が認識されにくいことが分かった。

また、構成面のネットワークにおいて駅建物内の構成面（ホーム、コンコース）がどのように関わっているかを検討すると、《基点分散型》ではそれらが基点となるものが多く、特にホームが多くみられた。このとき比較的規模の小さな駅建物が多いことから、駅建物の内側の領域であるホームが外側に露出し、駅建物の周囲の構成面と視線的に連続することで、ネットワークの中心が分極化し、駅建物内外で均質な駅領域となっているといえる。

一方で、《基点階層型》では、それらが副次的な基点となりパタン FC となるものが多くみられた。これより、ホームやコンコースが駅建物の内側に位置しながらも、そこに基点を中心とした階層性の強いネットワークとそれから独立するネットワークとを連結



表注）この表では原則的に、主要な構成面のみ表記しており、構成のネットワークごとにその数や層構成、規模、形状、用途、分節パタンを記している。また、構成面の分節パタン Z の左欄は、分節パタンの小分類として回収されなかったものを表記している。

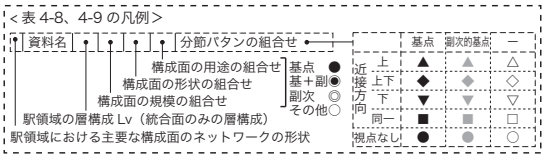
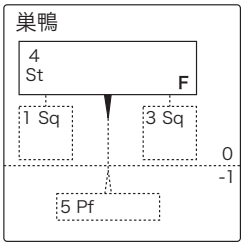


表 4-9　駅領域の構成面の分節パタンとネットワークからみた都市空間の積層性

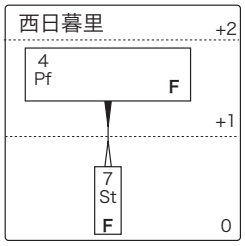
する集中場を形成し、より高次の階層的な積層性を形成していると言える。

以下、該当する資料が多くみられた《基点集中型》、《基点階層型》、《基点分散型》について、特徴的な駅領域を具体例として挙げ、基点となる構成面の性格を併せて検討する。



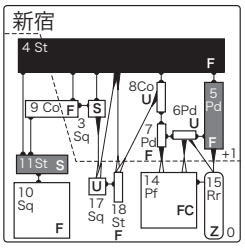
《基点集中型》では、**パタンZ**の基点が多くみられ、強い中心性を有する駅領域において、その中心では日常的な視点が成立しにくいことが分かった。

例えば東京駅では、上空で構成面のまとまりを形成している構成面（中央線ホーム）と地上で構成面のまとまりを形成している構成面（道路）が、互いに近接しながらも駅建物があることで視線的に連続せず、基点（線路）を介して線的に連続しており、広大な線路帯が中心とした駅領域となっている。

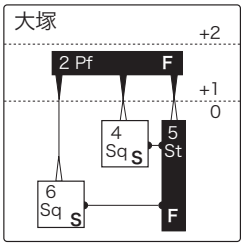


《基点階層型》は、**パタンFC**が基点となるものが多くみられた。これらは、基点と副次的な基点との位置関係によって異なる階層性を有するものがみられる。

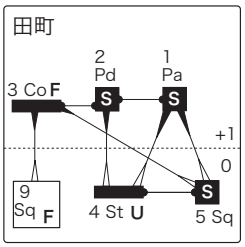
例えば上野駅では、駅建物の周囲に形成された副次的な基点による個別のまとまりを、駅建物をまたがる基点（歩道橋）が連結するネットワークとなっており、その小規模の基点の集中場を中心として段階的に重層する駅領域である。



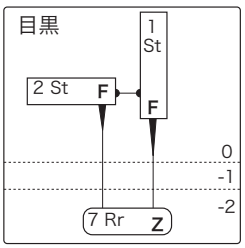
渋谷駅では、基点（西口広場）と副次的な基点（コンコースや道路）とをその他の構成面（ペデストリアンデッキ）も連結するネットワークとなっており、集中場を有する構成面が複数あることで、その集中場における局所的な重層が連鎖する駅領域である。



一方で新宿駅では、集中場を有していない基点と副次的な基点とが一列に並ぶネットワークとなっており、それら集中場をもたず分散的な基点を軸として重層する駅領域となっている。



《基点分散型》では、**パタンU**や**パタンS**の基点が比較的多く、小規模のものもみられ、分節の度合いの強い大規



模の基点と小規模の基点とが等価に並び、駅領域における規模の対比の曖昧化しやすいことが分かった。

例えば五反田駅では、比較的規模の大きい基点（道路、ホーム）が性格の異なる分割場に分割され、それらと小規模の基点（ペデストリアンデッキ）とが同時に存在することで、規模の対比が曖昧化しており、さらにそれら構成面に形成される集中場が局所的な中心となる駅領域となっている。

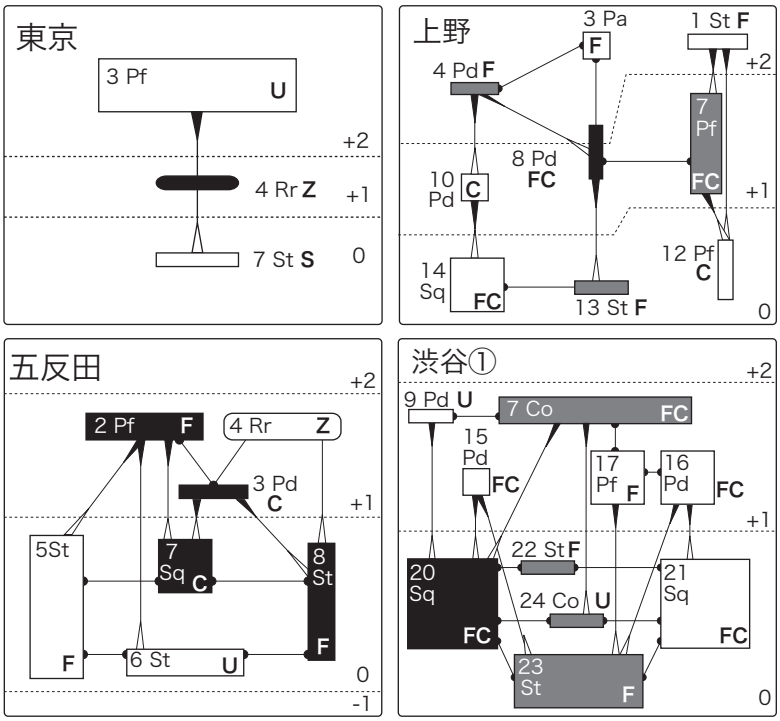


図 4-11　特徴的な駅領域でみられた都市空間の積層性の具体例

以上、構成面のネットワークと分節パタンより駅領域における都市空間の積層性を検討した。

その結果、まず周囲より高いレベルにある線状の構成面での重層や線形の構成面が交差して積層する２つの構成面での重層という駅領域において積層性が形成される２つの基本的な複合の形式を捉えた。

次にネットワークの基点となる構成面に着目することから、《基点集中型》、《基点階層型》、《基点分散型》、《均質重層型》という異なる中心性を有する駅領域を位置づけ、駅領域の構成面が複数化しネットワークが複雑化する際、その中心性が階層的あるいは分極的となることを示した。

さらに構成する構成面の性格を検討することから、それぞれで形成される積層性の特

徴を検討した。その結果、駅領域では様々な規模や形状の構成面が混在することで、分割場を単位とした階層的なネットワークが形成されており、特に同一レベルで構成面に近接する構成面が断片的な性格の領域となりやすく、その中心性が認識されにくいことが分かった。また、特徴的な駅領域を具体例として記述することから、そこで形成されている都市空間の積層性を把握した。

5 節　小 結

本章では、駅建物およびその周辺環境において、立体的に領域が積層する都市空間の特性を、分割場、構成面、駅領域という３つの領域的な枠組みから検討した。

まず、駅領域の構成面を近接する他の構成面との関係から抽出した場の断面構成を検討することから、様々な規模や形状の領域が混在し、一見複雑にみえる東京の都市空間が局所的には単純な断面構成の場の集積により構成されていることが分かった。さらに、そうした局所的な場の複合により構成面における分節の度合いが異なる６つのパタンを位置づけた。そして、それらの数的傾向を検討することから、近接する構成面の位置によって異なる２つの領域の複合の形式をがみられること、特に近接する構成面が上方にある場合に異なる断面構成が混在し、領域的な分節が強くみられることを明らかにした。また、同一平面上で多くの構成面が集積する領域では、近接関係が領域の一部に偏在してみられるのに対して、断面的に集積する領域では、近接関係が領域内の様々な場所で一様に形成されることが明らかになった。

次に、駅領域において構成面が形成するネットワークを、構成面の分節パタンと併せて検討することから、駅領域における都市空間の積層性が形成される基本的な２つの複合の形式と、複雑な駅領域における領域的な中心性の特徴を捉えた。

また、基点となる構成面の領域的な性格を検討することから、駅領域における都市空間の積層性の特徴を検討し、駅領域では様々な規模や形状の構成面が混在することで、構成面どうしの断面構成の違いにより分節された場を単位とした階層的なネットワークが形成されており、そこでは特に同一レベルでの基点となる構成面の分節の度合いが強く、その中心性が認識されにくいという傾向を明らかにした。

4章注

注 4-1) 参考文献 1 において建築家 B・チュミは、「東京とニューヨークの状況はたんにカオスとしてしか目に映らないであろう。ところが、これらの都市は新たな都市構造、新しい都市性を呈している。様々な要素との遭遇とそれらの組み合わせは、われわれにイヴェントやショックを与えてくれる。私はこれらが現在の都市における建築に文化的、社会的な転換を与える契機となることを望んでいる」と述べている。また、参考文献 2 において建築家 R・コールハースは、「一九八七年に初めて東京に来たとき、私はこの都市を、重要なプロトタイプ、未来のための都市だと思った。・・・そのとき、東京を見て、私は、ある状態を確かに愉快だと思った。しかしカオス的だとは思わなかった。・・・東京は、多数的で共時的なアイデンティティのストップモーションだった」と述べている。また、参考文献 3 では、「現代のターミナル空間、特に大都市内の鉄道駅を中心とする複合的ターミナル空間はますます大規模化する傾向にあり、重層・交差の積層構造によって、迷路的でトポロジカルな空間構造を形成しつつある。・・・このような交通ターミナル施設と、異なる機能を有する建築物を合体させて、新しい空間構成を創出する試みは、特に土地に余裕のない都市内部およびその周辺の鉄道駅で数多く行われるようになった。」と述べられている。

注 4-2) 本章は、拙稿（参考文献 4、5）をもとに分析方法などを修正し、発展させたものである。その過程において、駅およびその周辺環境に変化が見られたものは、2010 年 10 月から 12 月に再調査を行い、資料を更新した。

注 4-3) 前章までと同様に、駅舎および改札口へ至る経路を有する建物を駅建物と定義し、分析範囲を抽出する基準とした。

注 4-4) この定義により、全 50 駅の駅領域において 445 の構成面が抽出できた。

注 4-5) 構成面において視点が成立する場ごとに近接する構成面との断面構成を検討し、それが変化しない範囲を分割場として抽出した。本章では、東京の積層して構成された都市空間の特性が、それを構成する個々の領域の物的な特徴とは別に、近接する領域どうしの関係の集積によって特徴づけられることを前提とし、そこでの複合の形式を検討する。

注 4-6) コンコースは、ラチ内外の両方にみられるが、ラチ内コンコースは内部性が高いことから、本章ではラチ外コンコースのみ分析対象とする。

注 4-7) 半層（2m 程度）以上の高低差がある場合、異なるレベルとして捉えた。

注 4-8) 構成面の面積は、109 ㎡から 45005 ㎡までのものがあり、駅領域ごとの面積の平均は、1181 ㎡から 9175 ㎡までのものがみられた。また相対的な規模は、平均面積の 2 倍以上を大、1/2 以下を小、それ以外を中と捉えている。これは、3 節 3 項以降で検討する駅領域における主要な構成面のうち該当する規模の内訳が、およそ大：中：小＝ 1：3：1 となったことから妥当であると考える。

注 4-9) 構成面には、複数の構成面と近接し、駅領域において主要な構成面となるものや、端部に枝葉のように位置するものがある。そこで、全 445 構成面について近接する構成面の数を検討し、3 つ以上の構成面に近接するものを主要な構成面（202 構成面）として抽出した。ここで日常的な視点の成立しない構成面も、3 つ以上の構成面に近接するものは主要な構成面として抽出した。

注 4-10) 主要な構成面に近接する用途の数が平均 3.15 であったことから、4 種以上の異なる用途の構成面と近接するものを用途の複合ありとして捉えた。

注 4-11) 主要な構成面の分節パタンの名前は以下の英字の頭文字を示している。F（Fragmentary 断片的な）、C（Centralized 集中型の）、U（United 連合した）、S（Single 単数の）、Z（Zero なし）。

注 4-12) 一部の分割場どうしでのみ近接する場合も、それらが属する構成面どうしがネットワークを形成していると捉えている。コンコースなどにおいて壁面などの遮蔽物がある場合でも、資料としたコンコースの一般的な構造スパンを参考にし、幅 6m 以上の大開口を介して近接する場合は近接関係ありと捉えた。

参考文献

4-1) B・チュミ : 六つのコンセプト , a+u 別冊 バーナード・チュミ , p.17, 新建築社 , 1994.3

4-2) R・コールハース : Two New Tokyos, OMA レム・コールハースのジェネリック・シティ , vol.2, p.25, TN Probe ／大林組 , 1995.10

4-3) 中村良夫 , 樋口忠彦 , 北村眞一 , 窪田陽一共著 : 土木学会編　新体系土木工学 58　都市空間論 , 1 版 1 刷 , p.177, 技報堂出版 , 1993.10

4-4) 上原絢子 , 稲用隆一 , 奥山信一 : 都心部主要駅及び駅周辺の断面構成からみた領域的枠組み - 現代都市空間における領域の複合性に関する研究（1）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.765-766, 2008.7

4-5) 上原絢子 , 奥山信一 , 稲用隆一 : 現代都市東京における立体的に構成された領域の複合性 - 現代都市空間における領域の複合性に関する研究（2）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.767-768, 2008.7

4-6) 稲用隆一 , 奥山信一 : 駅およびその周辺環境における建物立面の複合形式からみた都市空間の表層性 , 日本建築学会計画系論文集第 670 号 , pp.2299-2306, 2011.12

4-7) 志水英樹 , 鈴木信弘 , 山口満 : 駅舎及び周辺街並の知覚構造に関する研究 , 日本建築学会計画系論文報告集第 433 号 , pp.41-51, 1992.3

4-8) 佐藤栄治 , 吉川徹 : 都市再生緊急整備地域汐留におけるアクセシビリティに着目した都市の立体空間構成に関する研究 , 日本建築学会計画系論文集第 593 号 , pp.153-158, 2005.7
4-9) 貝島桃代 , 米華さとみ , 他 5 名 : 交通路の位相的配置と隣接環境 現代日本の都市空間の立体構成（1）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.677-678, 2000.7
4-10) 米華さとみ , 貝島桃代 , 他 5 名 : 交通路と隣接環境による都市空間の立体構成の形式 現代日本の都市空間の立体構成（2）, 日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2 分冊 , pp.679-680, 2000.7
4-11) 高桑広太郎 , 小川次郎 , 小山大吾 : 東京都区部における都市デルタ領域の構成 建築と都市環境要素の混成による構成形式に関する研究 , 日本建築学会計画系論文集第 668 号 , pp.2003-2011, 2011.11
4-12) 松浦健治郎 : 吉田初三郎鳥瞰図に描かれた昭和初期の官庁街の立体的空間構成 近世城下町を基盤とする県庁所在都市 18 都市を対象として , 日本建築学会計画系論文集第 602 号 , pp.105-112, 2006.4

第５章　駅建物およびその周辺環境における状景の複合形式からみた東京の空間特性

1 節　本 章 の 目 的 と 概 要

1節1項 目的

本論では、駅建物およびその周辺環境を東京の空間特性が凝縮してみられる資料対象と位置づけ、前章までにおいて、立面により形成される空間特性を表層性（2章）と付帯性（3章）とから、場所により形成される空間特性を積層性（4章）から個別に検討を行った。序論で述べたように、実際の都市空間では、これらの各特性が複合することにより特徴的な状景が形成されている。

特に、通過空間の接続する建物立面が都市空間に表出することで形成される状景には、建物立面と場所との多様な複合形式を見出すことができる。さらに、これらの状景は、異なる建物や場所を通り抜ける、あるいは、横断するといった移動を伴って体験されており、状景の連続や対比により東京における空間体験を特徴づけている。

ここでみられる状景は、駅およびその周辺に限らず、個々の建物とその周辺環境が局所的に形成し、連鎖的に体験されうるものであり、繰り返しみられる状景やその組合せがあるならば、それは東京の典型的な状景として位置づけうるものである。そして、その典型的な状景の連続や接続を検討することは、様々な規模や用途の建物が集密し、常に更新しながら相互に周辺環境を形成する東京において敷衍化しうる空間特性を捉えるものであると考えられる。

そこで本章では、2章、3章、4章での結果を踏まえ、通過空間の出入口を有する駅建物について、建物立面の連続、通過空間の連続、面する構成面の断面構成を合わせて検討することから、東京における典型的な状景タイプを抽出する。ここでは、ひとつの建物立面を単位とした状景タイプとして抽出することで、資料対象とした駅周辺に限らず東京の至る所で見出しうる典型的な状景として位置づける。

そして、抽出する状景タイプの性格を相互に比較検討することから、立面により形成される空間特性（表層性、付帯性）と場所により形成される空間特性（積層性）との相互関係について検討し、東京の都市空間において状景が複雑化するメカニズムを考察する。

さらに、駅建物の通過空間ごとに接続される状景タイプの組合せを検討することから、東京の都市空間において建物を通り抜けるという一連の体験において、どのような状景が接続され、どのような連続性を形成しうるかを明らかにする。

以上のように本章では、これまでの分析を総合化して検討することから、建物立面と場所との複合により特徴づけられる現代都市東京の空間特性の一端を明らかにすることを目的とする。

1節2項 概要

本章では、東京23区内にあるJR山手線およびJR中央・総武線の50駅のうち、通過空間の出入口の少なくとも一方が駅領域の構成面に面する駅建物[注5-1)]を対象に、通過空間の出入口ごとに抽出した95の状景（建物立面、通過空間、構成面の組合せ）を資料とする。

まず2節では、通過空間の出入口を有する駅建物の立面の連続（2章）と通過空間の端部における壁面の連続（3章）から整理し、それぞれについてそれが面する構成面の断面構成（4章）を検討することから、建物立面と場所の複合により形成される状景タイプを抽出し、それぞれのタイプの特徴について述べる。

次に3節では、状景タイプの性格を相互に比較検討することで、東京の都市空間において単純な状景が複雑化するメカニズムについて考察する。また、2節で位置づける状景タイプについて、通過空間の両端部における組合せを通過空間内部の連続性と合わせて検討することから、都市空間における状景の複合の形式について考察する。

4節では、上記の分析を総合化し、駅建物およびその周辺環境における状景タイプとその組合せから東京の空間特性を考察し、小結を述べる。

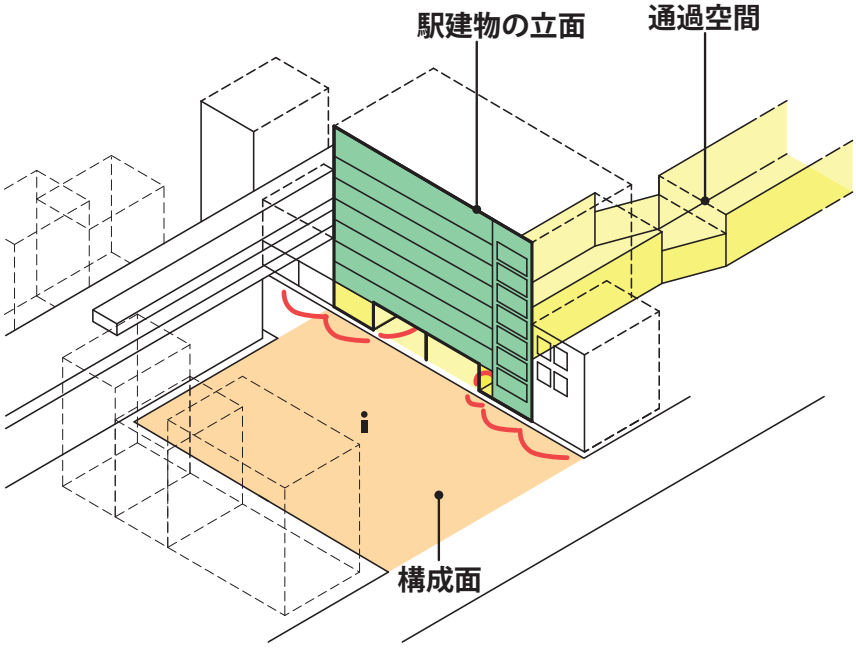


図5-1　状景の構成

2節　駅建物およびその周辺環境における状景タイプ

まず、立面により形成される空間特性について、通過空間の出入口を有する駅建物の立面の連続（2章）と通過空間の端部における壁面の性質の連続（3章）とから整理する。2章での分析より、駅建物の立面は、分割スケールの連続に偶発的に外形スケールの連続が重なることで強弱のある連続性を形成し、他の建物立面とも連続する傾向にあると位置づけられた。これより、建物立面の連続において、分割スケールの連続の有無が第一義的に重要であると考えられる。また、3章で検討した通過空間の端部における壁面の性質のうちファサードの連続は、2章で検討した建物立面を分節する開口が通過空間内部へ連続するものであり、建物立面に奥行き方向の連続性を形成している。

これらより、建物立面の分割スケールの連続と通過空間の端部のファサードの連続とが接続するか否かの検討により、都市空間に表出する建物立面の連続とそれが建物内部まで貫入する連続とが形成する空間特性を連続的に捉えうると考えられる。そこで、建物立面により形成される空間特性を、通過空間の出入口を有する駅建物の立面の分割スケールの連続（2章）と通過空間の端部におけるファサードの連続（3章）とから整理する（表5-1縦軸、左から1列目と2列目）。

次に、場所により形成される空間特性について、通過空間の出入口に面する構成面の断面構成（4章）から整理する。場所は、建物立面とともに状景を構成する要素であると同時に、視点となる場の連続性を形成するものである。特に、通過空間の出入口に面する構成面の分割場は、通過空間の出入口を有する建物立面をみる視点となると同時に、通過空間と地続きであり、建物内外を移動する経路となる場所である。そこでは、上方に構成面があり建物立面と重層するものや、多数の構成面が集積するものなどの状景が形成されている。また、視点となる分割場には、同様の性格の分割場と隣接し連続的な視点を形成するものや、異なる性格の分割場と隣接し断片的な視点を形成するものがある。

そこで、場所により形成される空間特性を、通過空間の出入口に面する分割場の断面構成と他の構成面の集積、構成面の複合パタンから整理する（表5-1縦軸、左から3列目）。ここで、分割場の断面構成は、上方に構成面がなく分割場が建物立面の地となるもの（下方・同一・なし）と、上方に構成面があり建物立面と共に立ち現れるもの（上方・上下）とで大別する。他の構成面の集積は、4章2節より分割場における近接数が1あるいは2のものが大半であったことから、3つ以上の構成面が近接するものを集積ありと捉えた。構成面の複合パタンは、並列的な複合がなく連続的なイ、ロと、並列的な複合があり断片的なハ、ニとに大別した。

以上の検討を踏まえ、建物立面により形成される特性と場所により形成される特性の

建物立面	場所	資料名		2章 表層性		3章 付帯性		4章 積層性				状景タイプ
		駅建物の立面名	通過空間	分割スケールの連続	外形スケールの連続	壁面連続の種類	基調連続の位置	分割場 断面構成	分割場 近接数	構成面 複合パタン	構成面 基点	
分割スケールの連続	壁面の性質の連続 上方への積層											
×	×	東京 1	a	-	-	-	中央	F	2	イ		
		信濃町 1	a1	-	-	-	接続	F	2	イ		
		四ッ谷 3	a	不連	B	-	中央	F	2	ロ		
		上野 4	a	不連	h	-	-	N	0	ニ		状景タイプ①（9）
		上野 5	a	不連	h	-	-	N	0	ニ		建物立面自律型
		新宿 9	a	-	-	-	中央	F	1	ニ		
		水道橋 2	a	不連	h	-	接続	F	1	ニ		
		東中野 2-2	b	-	-	V	接続	F	1	ニ		
		駒込 1	a	不連	B	-	-	B	1	ニ		
		四ッ谷 1	a	不連	h	V	中央	B	1	ニ	●	
		秋葉原 5-2	a	不連	B	-	-	F	2	ニ		
		池袋 5-1	c	不連	B	-	中央	B	2	ニ		
		田町 1	a1	-	-	-	-	BF	3	イ	●	
	○	田町 2	a	-	-	-	接続	AF	2	ハ		
		大崎 1	a	-	-	-	中央	AF	2	ハ	●	
		日暮里 1	a	不連	Bh	-	-	AB	2	ハ		
		大塚 1-1	a	-	-	V	-	AF	3	イ		状景タイプ②（5）
		大塚 1-2	a	-	h	V	-	AF	3	イ		領域積層型
		田町 1	a2	-	-	-	-	AF	3	イ	●	
		平井 1-1	a	不連	h	V	-	AF	3	ロ		
		五反田 1-1	a	不連	-	-	-	AF	4	ロ	●	
		上野 2	b2	不連	Bh	-	-	AF	3	ハ		
		上野 2	b1	不連	Bh	-	-	AF	4	ハ		
	○	駒込 3	a	不連	-	W	-	F	1	イ		
	×	上野 1	b2	不連	B	W	-	F	1	ニ		状景タイプ③（4）
		東京 2	a	不連	B	W	接続	F	1	ハ		立面貫入型
		信濃町 1	a2	-	-	W	接続	F	2	ハ		
	○	秋葉原 5-2	d	不連	B	W	接続	F	2	ハ		
		品川 4	a	不連	B	W	接続	BF	4	ロ	●	
	○											
○	×	巣鴨 3	a	駅	-	-	中央	F	1	イ		
		亀戸 2	a	駅他	Bh	V	-	F	1	イ		
		荻窪 3-2	a	他	B	-	-	N	0	ハ		状景タイプ④（9）
		大久保 1	a1	他	h	-	-	N	0	ニ		連続立面型
		池袋 9	c	駅他	Bh	-	中央	N	0	ニ		
		西日暮里 1-1	a	他	h	-	中央	N	0	ニ		
		東中野 1-2	a	駅	Bh	-	-	F	1	ニ		
		神田 1	a2	他	h	-	接続	F	1	ニ		
		秋葉原 1	c	駅	Bh	-	-	F	2	ニ		
		荻窪 1	b	駅	-	-	-	BF	2	ニ		
		大崎 3	a	駅	h	-	接続	BF	2	ニ		
	○	新宿 1	a2	駅	Bh	-	接続	A	1	イ		状景タイプ⑤（7）
		小岩 2-3	c	他	Bh	-	-	AF	2	イ		立面高架重層型
		小岩 1	b	駅	h	-	-	AF	2	イ		
		小岩 2-1	c	駅	h	-	-	AF	2	イ		
		西荻窪 1	a	他	Bh	-	-	AF	2	イ		
		秋葉原 7	d2	駅他	-	-	-	AF	2	イ		
		両国 2-1	a	駅	B	-	-	AF	2	ロ	●	
		有楽町 1-3	b	駅他	h	-	-	AF	2	ハ		
		日暮里 5-2	a	他	-	V	-	A	1	ニ		
		小岩 2-3	a	他	Bh	-	-	AF	3	イ		状景タイプ⑥（7）
		小岩 2-3	b	他	Bh	-	-	AF	3	イ		立面領域交錯型
		新橋 1-2	a2	駅	Bh	-	中央	AF	3	イ		
		恵比寿 1-1	a	他	h	-	接続	AF	3	イ		
		有楽町 1-1	b	駅	h	-	-	AF	5	イ	●	
		高田馬場 4-1	a	駅	Bh	-	-	AF	3	ロ		
		新橋 1-2	b2	駅	Bh	-	-	AF	3	ロ		
		新橋 1-1	b	駅	Bh	-	-	AF	3	ニ		状景タイプ⑦（4）
		渋谷 3-1	a	駅	B	V	-	AF	4	ニ	●	立面領域対比型
		渋谷 3-2	b	駅	B	-	-	AF	5	ニ	●	
		渋谷 5	c	駅	B	V	-	AF	5	ニ	●	
	○	品川 2	a	駅	Bh	W	-	F	2	イ		状景タイプ⑧（6）
		阿佐ヶ谷 2	a	駅	h	W	-	F	2	イ		連続立面空間型
		池袋 2	b	駅	-	W	中央	BF	2	イ		
		目黒 2	a	駅	h	W	接続	F	2	イ		
		荻窪 2-1	c	駅	h	WV	接続	F	2	イ		
		西荻窪 2	a	他	h	W	-	F	2	ロ		
	×	高田馬場 1	a	他	Bh	W	-	N	0	ハ	●	状景タイプ⑨（11）
		新宿 1	a1	駅	Bh	W	中央	N	0	ハ		連続立面貫入型
		秋葉原 5-3	a	駅	-	W	-	F	1	ハ		
		秋葉原 6	c	駅	-	W	-	F	1	ハ		
		新宿 2	b	駅	Bh	W	中央	BF	2	ハ		
		神田 2-1	b	他	Bh	W	-	F	1	ニ		
		秋葉原 7	d1	駅	-	W	-	F	1	ニ		
		池袋 8	a	駅	Bh	W	中央	F	1	ニ		
		池袋 9	b	駅他	Bh	W	中央	F	2	ニ		
		秋葉原 2	b	駅	Bh	W	-	F	2	ニ		
		目黒 1	a	他	h	W	接続	F	2	ニ		
	○	高円寺 2	a	駅	h	W	-	F	3	イ		
		新宿 6	b	駅他	B	W	中央	BF	3	イ		
		新宿 3	b	駅	-	W	中央	F	3	イ		
	○	平井 1-2	a	他	h	W	-	AF	2	ロ		
		恵比寿 1-2	a	駅	B	W	-	AF	2	ロ	●	
		高円寺 1-1	a	他	Bh	W	接続	AF	2	ロ		
		水道橋 3	a	他	h	W	-	A	1	ニ		
		亀戸 3	a	駅他	Bh	W	接続	A	1	ニ		
		五反田 1-2	a	駅	-	W	接続	AF	2	ハ		
		阿佐ヶ谷 1	a	駅	h	W	-	AF	3	イ		状景タイプ⑩（6）
		秋葉原 4	b	駅	Bh	W	-	AF	3	ロ		立面領域融合型
		新橋 1-2	b1	駅	Bh	W	-	AF	3	ロ		
		荻窪 3-1	a	駅他	Bh	WV	-	AF	3	ロ		
		荻窪 2-2	c	駅他	Bh	WV	接続	AF	3	ロ		
		有楽町 1-2	a	他	Bh	WV	-	AF	4	ロ	●	
		新橋 1-2	a1	駅	Bh	W	中央	AF	3	ハ		状景タイプ⑪（4）
		渋谷 2	a	駅他	B	W	接続	AF	3	ニ		立体領域貫入型
		渋谷 1	b	駅	B	W	-	AF	4	ニ		
		渋谷 4-1	c	駅	B	WV	-	AF	4	ニ		

表 5-1　状景タイプ

【凡例】

分割スケールの連続
一　：隣接する建物なし
駅　：駅建物の立面と連続
他　：他の建物立面と連続
不連：連続なし

外形スケールの連続
一　：外形スケールの連続なし
B　：間口の外形スケールの連続
h　：高さの外形スケールの連続

壁面の性質の連続
一：連続なし
V　：かたちの連続
W：ファサードの連続

基調連続
一　：基調連続なし
中央：通過空間の端部以外にあり
接続：通過空間の端部にあり

分割場の断面構成
N：近接する構成面なし
F：同一レベルに近接する構成面あり
A：上方に近接する構成面あり
B：下方に近接する構成面あり

構成面の複合パタン
イ：分割場が単数で複合なし
ロ：重合的複合
ハ：重合＋並列的複合
ニ：並列的複合

表 5－1 注）
ここでは通過空間の出入口を有する建物立面を分析単位としている。同一の通過空間の複数の出入口が分析対象となる場合、各通過空間（a、b、・・）の出入口に番号をふり資料名（a1、a2 など）とした。
分割場の近接数は、出入口で面する分割場に近接する他の構成面の数を示している。構成面の基点は、分割場の構成する構成面がネットワークの基点となる場合、●を記している。

組合せを示したものが表 5-1 である。そして、ここでみられた組合せのうち、該当する資料が４つ以上見られた１１の組合せを状景タイプとして抽出する。以下、各タイプについて、その特徴を述べる。

状景タイプ①建物立面自律型（以下、【自律】）は、分割スケールの連続がなく、通過空間とも連続しない建物立面が、平面的で断片的な性格（複合パタン二）の分割場に表出するものである（図 5-2）。これは、局所的な場所での眺めに限定されながらも、地上面に建物立面が周囲から自律的に現れる状景である。また、このタイプは通過空間に基調連続のあるものが多く、建物自身の複合によりその内部で独自の連続的な空間を形成しやすい傾向がみられた。

状景タイプ②領域積層型（以下、【積層】）は、分割スケールの連続がなく、通過空間とも連続しない建物立面が、立体的に領域の集積する連続的な性格（複合パタンイ、ロ）の分割場に表出するものである（図 5-3）。これは、周囲から独立して現れる建物立面に様々な領域的な要素が立体的に集積するもので、場所の積層が形成する典型的な状景である。

状景タイプ③立面貫入型（以下、【貫入】）は、分割スケールの連続がなく、通過空間とのみ連続する建物立面が、平面的で断片的な性格の分割場に表出するものである（図 5-4）。これは、建物立面により通過空間の出入口内外の連続が形成されており、建物立面が内部に貫入する典型的な状景である。またこのタイプは、隣接する建物立面がなく、通過空間の端部で基調連続があり奥行き方向の連続性が体験的に強調される傾向がみられた。

状景タイプ④連続立面型（以下、【連続】）は、分割スケールの連続があり、通過空間とは連続しない建物立面が、平面的で断片的な性格の分

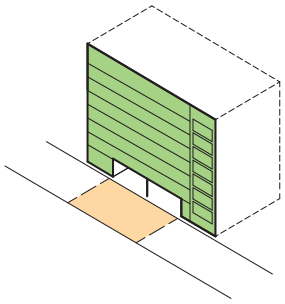


図 5-2　状景タイプ①建物立面自律型

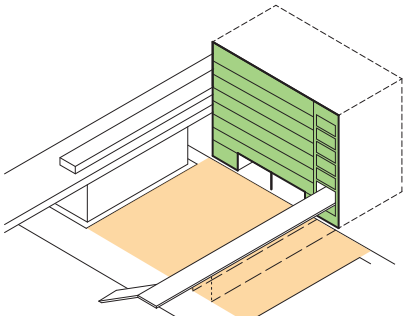


図 5-3　状景タイプ②領域積層型

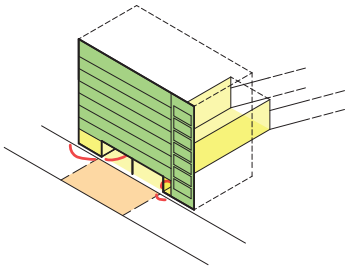


図 5-4　状景タイプ③立面貫入型

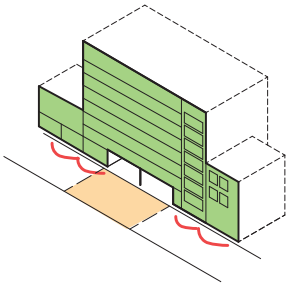


図 5-5　状景タイプ④連続立面型

割場に表出するものである（図 5-5）。これは、隣接する建物立面と連続し、個々の建物の輪郭が曖昧化する連続立面が形成する典型的な状景である。これは、全ての状景タイプのうち最も多くみられた。

状景タイプ⑤立面高架重層型（以下、【重層】）は、分割スケールの連続があり、通過空間とは連続しない建物立面が、上方に構成面がある連続的な性格の分割場に表出するものである（図 5-6）。これは、状景タイプ④に積層性が複合したものと位置づけられ、連続立面と高架が並走するなど、建物立面の連続と場所の連続とが重層する状景である。

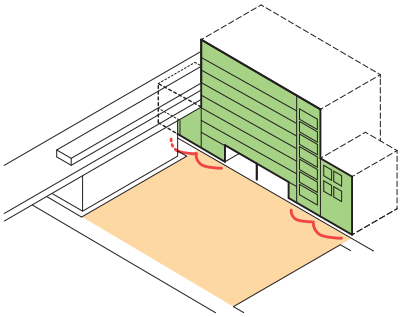


図 5-6　状景タイプ⑤立面高架重層型

状景タイプ⑥立面領域交錯型（以下、【交錯】）は、分割スケールの連続があり、通過空間とは連続しない建物立面が、立体的に領域の集積する連続的な性格の分割場に表出するものである（図 5-7）。これは、状景タイプ⑤の積層性がさらに高まり、状景タイプ②と状景タイプ④とが複合したものと位置づけられ、連続立面を背景に、様々な領域的な要素が立体的に交錯する状景である。

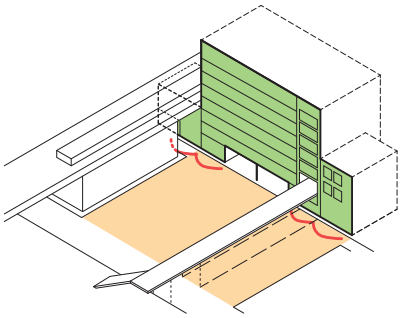


図 5-7　状景タイプ⑥立面領域交錯型

状景タイプ⑦立面領域対比型（以下、【対比】）は、分割スケールの連続があり、通過空間とは連続しない建物立面が、立体的に領域の集積する断片的な性格の分割場に表出するものである（図 5-8）。これは、状景タイプ⑥が局所的に凝縮して複合したものと位置づけられ、建物立面の連続性と局所的な場所の積層性とが対比をなす状景である。

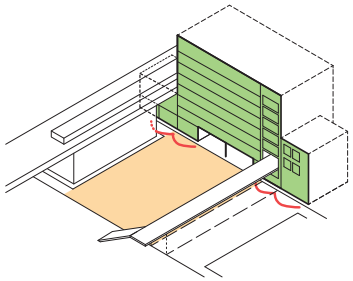


図 5-8　状景タイプ⑦立面領域対比型

状景タイプ⑧連続立面空間型（以下、【空間】）は、分割スケールの連続があり、通過空間とも連続する建物立面が、平面的で連続的な分割場に表出するものである（図 5-9）。これは、状景タイプ③と状景タイプ④とが複合したものが、まとまりのある一望可能な都市環境に表出するものと位置づけられ、連続立面が、通過空間と

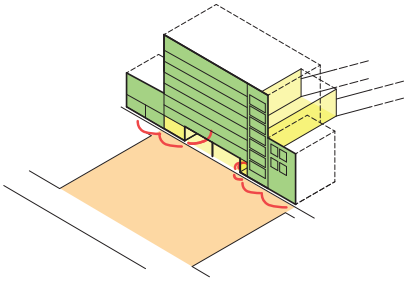


図 5-9　状景タイプ⑧連続立面空間型

連続することで奥行き方向に空間化し、立面空間を形成する状景である。

状景タイプ⑨連続立面貫入型（以下、【連続貫入】）は、分割スケールの連続があり、通過空間とも連続する建物立面が、平面的で断片的な分割場に表出するものである（図 5-10）。これは、状景タイプ③と状景タイプ④とが複合したもので、状景タイプ⑧が局所的に凝縮したものと位置づけられ、連続立面が、通過空間内部へも貫入して連続する状景である。

状景タイプ⑩立面領域融合型（以下、【融合】）は、分割スケールの連続があり、通過空間とも連続する建物立面が、立体的で連続的な分割場に表出するものである（図 5-11）。これは、状景タイプ⑥と状景タイプ⑧とが複合したものとして位置づけられ、立面の連続と場所の連続とが重層して増幅しあい、状景を構成する要素の輪郭が曖昧化し空間的に融合する状景である。

状景タイプ⑪立体領域貫入型（以下、【立体貫入】）は、分割スケールの連続があり、通過空間とも連続する建物立面が、立体的で断片的な分割場に表出するものである（図 5-12）。これは、状景タイプ⑦と状景タイプ⑨とが複合したもので、状景タイプ⑩が局所的に凝縮したものと位置づけられ、視点となる場所が限定されることで、連続立面を境界面とした、分割場と通過空間の奥行き方向の連続が強調され、立体的に構成された領域が建物内部へ貫入して連続する状景である。

以上、本節では、立面により形成される空間特性と場所により形成される空間特性との組合せを検討することから、１１の典型的な組合せを状景タイプとして抽出し、その特徴について記述した。

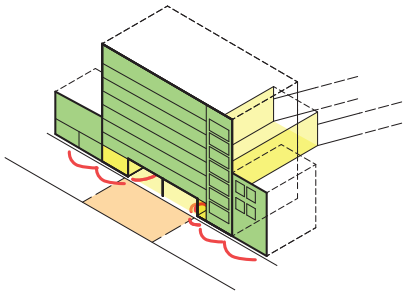


図 5-10　状景タイプ⑨連続立面貫入型

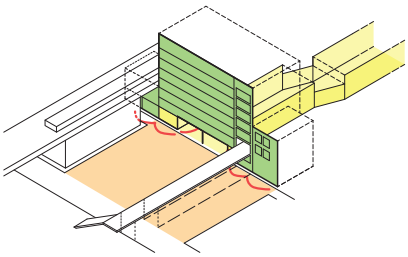


図 5-11　状景タイプ⑩立面領域融合型

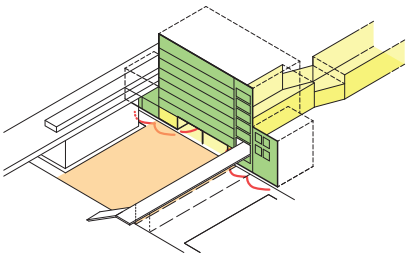


図 5-12　状景タイプ⑪立体領域貫入型

3節　駅建物およびその周辺環境における状景の複合形式

3節1項　状景タイプの相互関係

本項では、前節で抽出した状景タイプ同士の性格を相互比較することで、東京の都市空間の典型的な状景における表層性・付帯性・積層性の複合の形式を検討し、単純な状景が複雑化するメカニズムを考察する（図5-13）。

まず、最も単純な状景タイプである【自律】を基準に、各特性が典型的に現れた状景タイプである【積層】、【貫入】、【連続】を位置づけ、それらの複合としてさらに複雑なものを位置づけた。また図では、各状景タイプを視点となる分割場のある構成面が連続的であるか断片的であるかで大別し、さらに建物立面の連続と場所の連続との増幅関係も合わせて記した。

これより、付帯性と積層性のみで複合する状景タイプはみられず、東京の都市空間において、建物立面の連続による表層性を介することで、それらの特性が複合し、立体的に構成された領域と建物の内部空間とに連続性が形成されることが分かった。また、立面の連続と場所の連続との増幅関係から、連続立面に沿って場所も連続し、連続立面方向に表面的な連続が増幅されるものと、通過空間が周囲と断面構成の異なる局所的な場所と連続し、建物立面の奥行き方向に空間的な連続が増幅されるものという、立面と場所とによる状景の複合の2つの形式を見出した。

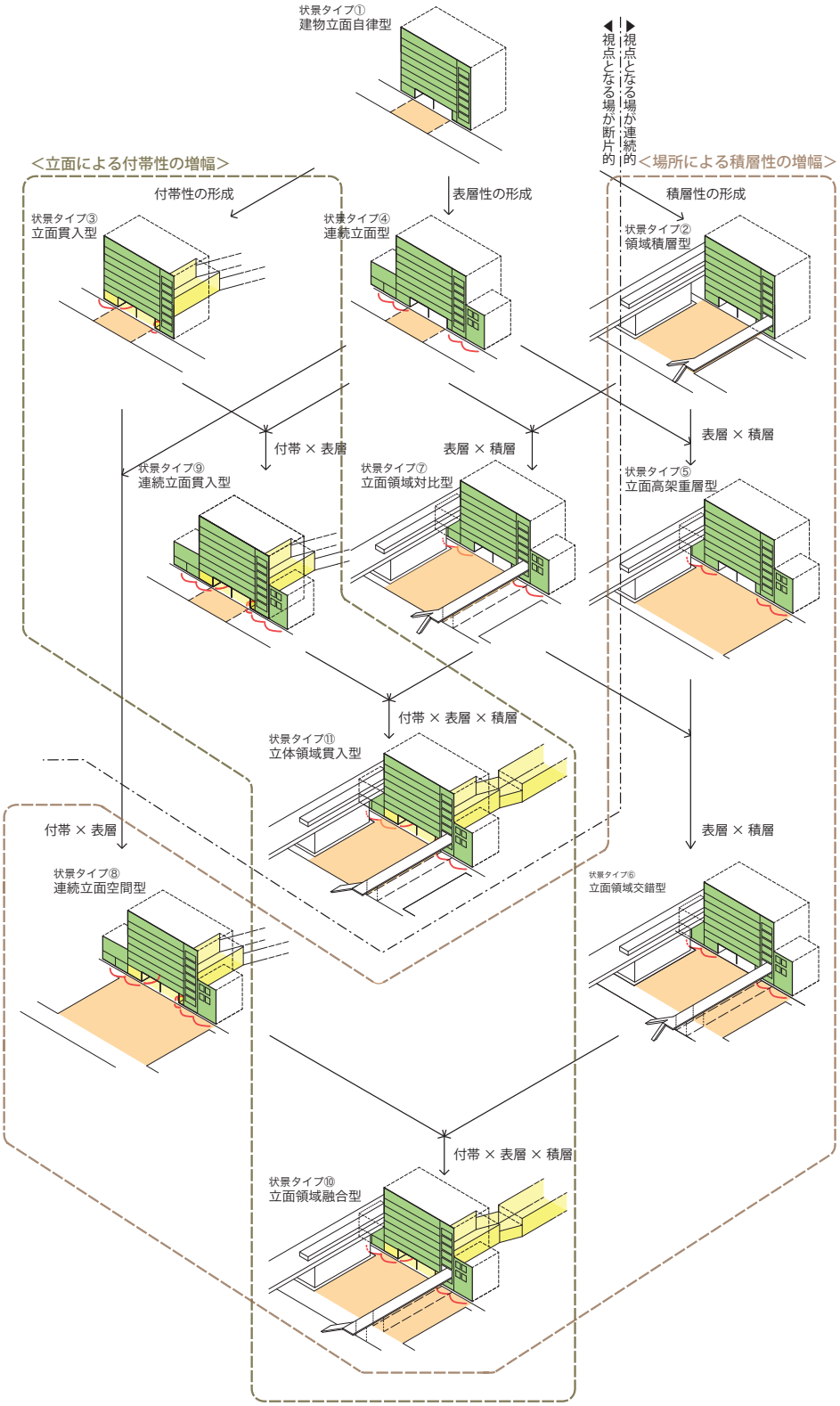


図 5-13　状景タイプの相互関係

３節２項　駅建物の通過空間における状景タイプの組合せ

本章１節で述べたように、東京の都市空間では、異なる状景が通過空間などの公益性の高い通路によって接続されている。本論で資料とした駅建物においても、通過空間の出入口ごとに建物立面、通過空間、構成面の複合した状景が形成されており、それらは多様な連続性を有する通過空間により接続されることで、建物を通り抜けるという一連の空間体験として成立している。

こうした建物を通り抜けて異なる状景を横断するという空間体験は、駅およびその周辺に限らず、公益性の高い自由通路を内包する建物が多くみられる東京の都市空間において代表的な空間体験のひとつである。そこでここでは、前節で状景タイプが抽出された駅建物の通過空間について、どのように状景が接続されているかを検討することから、東京における代表的な空間体験の一端を明らかにする。

まず、通過空間における状景タイプの組合せを検討する。資料とするJR山手線とJR中央・総武線の50駅において通過空間の出入り口の組合せ[注5-2)]は54資料みられ、そのうち46資料において前節で抽出できた状景タイプがみられた。これより、条件の成立する通過空間の大半のものにおいて、少なくともひとつの典型的な状景が形成されていると言える。

次に、上記の通過空間にみられる状景タイプの数を検討した結果（表5-2）、状景タイプが通過空間の片方の端部のみでみられるもの（23通過空間）と、両端部でみられるもの（23通過空間）とが同数みられた。そこで、両端部で成立しているものと片端のみで成立しているものに大別して分析する。

通過空間の両端部で状景タイプが成立しているものについては、まず両端部の状景タイプが同じであるか否かで大別し、その通過空間の内部に基調連続があるか否かを検討した。そして、異種の状景タイプの組合せについて、状景タイプの内容から、立面（建物立面と通過空間の壁面）と場所（構成面）のどちらの水準で異なるかを検討し、整理したものが表5-2である。また、表5-2には、状景タイプの組合せに加えて、基調連続の位置についても併記した。

表5-2より、まず両端部で状景タイプが成立している通過空間について検討すると、同種の状景タイプの組合せは少なく、異種の状景タイプの組合せが大半を占めた。また、それらを接続する通過空間の性格について検討すると、同種の状景の組合せの通過空間では基調連続のあるものがなく、異種の状景の組合せの通過空間では、基調連続ありとなしとが同数みられた。さらに、異種の状景タイプの組合せについて、立面の水準で異なるものか、場所の水準で異なるものか、あるいは、その両方で異なるものかを分けて検討した。その結果、異種の状景タイプの組合せは、立面の水準で異なるものが多く（15/20資料）、さらに場所の水準でも異なる状景

〈両端部で状景タイプが成立している通過空間(23)〉

状景タイプの組合せ	通過空間の性格	通過空間に接続される状景タイプの組合せ						立面の水準で異なる組合せ	場所の水準で異なる組合せ	
		通過空間名	連続パタン	端部 A		端部 B				
				建物立面名	状景タイプ	建物立面名	状景タイプ			
同種の組合せ (3)	基調連続なし	上野 a	なし	上野 4	①	上野 5	①			
		大塚 a	なし	大塚 1-1	②	大塚 1-2	②			
		小岩 c	なし	小岩 2-1	⑤	小岩 2-3/c	⑤			
								(8)	(7)	(5)
異種の状景タイプの組合せ (20)	基調連続あり (10)	池袋 c	端＋央	池袋 5-1	①	池袋 9/c	④	①④		
		新宿 a (1)	中央	新宿 9	①	新宿 1/a1	⑨	①⑨		
		秋葉原 d (1)	端部	秋葉原 5-2/d	③	秋葉原 7/d1	⑨	③⑨		
		渋谷 a	端＋央	渋谷 3-1	⑦	渋谷 2	⑪	⑦⑪		
		新宿 a (2)	端＋央	新宿 9	①	新宿 1/a2	⑤		①⑤	
		秋葉原 d (2)	端部	秋葉原 5-2/d	③	秋葉原 7/d2	⑤		③⑤	
		荻窪 a	中央	荻窪 3-2	④	荻窪 3-1	⑩		④⑩	
		新橋 a	端＋央	新橋 1-2/a2	⑥	新橋 1-2/a2	⑪		⑥⑪	
		目黒 a	端部	目黒 1	⑧	目黒 2	⑨			⑧⑨
		池袋 b	中央	池袋 2	⑧	池袋 9/b	⑨			⑧⑨
	基調連続なし (10)	秋葉原 a	なし	秋葉原 5-2/a	①	秋葉原 5-3	⑨	①⑨		
		秋葉原 c	なし	秋葉原 1	④	秋葉原 6	⑨	④⑨		
		渋谷 b	なし	渋谷 3-2	⑦	渋谷 1	⑪	⑦⑪		
		渋谷 c	なし	渋谷 5	⑦	渋谷 4-1	⑪	⑦⑪		
		西荻窪 a	なし	西荻窪 1	⑤	西荻窪 2	⑧		⑤⑧	
		高田馬場 a	なし	高田馬場 4-1	⑥	高田馬場 1	⑨		⑥⑨	
		新橋 b (1)	なし	新橋 1-1	⑦	新橋 1-2/b1	⑩		⑦⑩	
		小岩 b	なし	小岩 1	⑤	小岩 2-3/b	⑥			⑤⑥
		新橋 b (2)	なし	新橋 1-2/b2	⑥	新橋 1-1	⑦			⑥⑦
		荻窪 c	なし	荻窪 2-2	⑥	荻窪 2-1	⑧			⑥⑧

〈片方の端部のみで状景タイプが成立している通過空間(23)〉

通過空間の性格	通過空間に接続される状景タイプの組合せ					
	通過空間名	連続パタン	端部 A		端部 B	
			建物立面名	状景タイプ	建物立面名	状景タイプ
基調連続あり (15)	水道橋 a	端部	水道橋 2	①	水道橋 3	―
	東中野 b	端部	東中野 2-2	①	東中野 2-1	除外
	四ッ谷 a	端＋央	四ッ谷 1	①	四ッ谷 3	―
	五反田 a1	端部	五反田 1-1	②	五反田 1-2	―
	田町 a (2)	端＋央	田町 1/a2	②	田町 2	―
	信濃町 a	端部	信濃町 1/a2	③	信濃町 1/a1	―
	東京 a	端＋央	東京 2	③	東京 1	―
	神田 a	端部	神田 1/a2	④	神田 1/a1	除外
	大崎 a	端＋央	大崎 3	④	大崎 1	―
	西日暮里 a	端＋央	西日暮里 1-1	④	西日暮里 1-2	除外
	東中野 a	中央	東中野 1-2	④	東中野 1-3	除外
	荻窪 a	中央	荻窪 1	④	(除外)	除外
	恵比寿 a	端部	恵比寿 1-1	⑤	恵比寿 1-2	―
	品川 a	端部	品川 2	⑧	品川 4	―
	新宿 b (1)	中央	新宿 2/b1	⑨	新宿 3	―
	新宿 b (2)	中央	新宿 2/b2	⑨	新宿 3	―
	池袋 a	中央	池袋 8	⑨	池袋 1	除外
基調連続なし (8)	駒込 a	なし	駒込 1	①	駒込 3	―
	上野 b (1)	なし	上野 1/b2	③	上野 2/b1	除外
	上野 b (2)	なし	上野 1/b2	③	上野 2/b2	除外
	大久保 a	なし	大久保 1/a1	④	大久保 1/a2	除外
	小岩 a	なし	小岩 2-3/a	⑥	小岩 2-2	除外
	有楽町 b	なし	有楽町 1-1	⑥	有楽町 1-3/b	―
	神田 b	なし	神田 2-1	⑨	神田 2-2	除外
	有楽町 a	なし	有楽町 1-2	⑩	有楽町 1-3/a	除外

＜凡例＞

状景タイプ名

①: 建物立面自律型
②: 領域積層型
③: 立面貫入型
④: 連続立面型
⑤: 立面高架重層型
⑥: 立面領域交錯型
⑦: 立面領域対比型
⑧: 連続立面貫入型
⑨: 立面空間型
⑩: 立面領域融合型
⑪: 立体領域貫入型
―: 状景タイプの抽出なし
除外: 建物立面あるいは構成面が成立せず

通過空間の連続パタン

端部　: 端部に連続単位あり
端＋央: 端部に連続単位あり＋中央に基調連続あり
中央　: 中央にのみ基調連続あり
なし　: 基調連続なし

表 5-2　駅建物の通過空間における状景タイプの組合せ

タイプが組合さる場合、それらを接続する通過空間に基調連続のあるものが比較的多いことが分かった。また、同種の状景の組合せでは、基調連続のあるものがなく、空間的に連続せず個別に体験されやすいことが分かった。

ここで、各状景タイプの性格を詳細に比較すると、基調連続がある場合、立面の水準では表層性の異なる組合せ（分割スケールが連続せず自律した建物立面と分割スケールが連続する連続立面の組合せ）が多く、場所の水準では複合パタンの異なる組合せ（連続的な構成面と断片的な構成面の組合せ）が多くみられた。そしてこの傾向は、交通路が集積する駅や通過交通を複数有する駅に多くみられた。

このことは、自律的な建物立面による状景と連続立面による状景との対比が、視点となる場所の集積と連続により体験的に増幅されることを示しており、そうした空間体験は、交通ターミナル化に伴う継続的な都市の更新により立面と場所とが高度に複合することで形成されてきたと指摘できる。

そしてこれらは、都市空間において個々の要素が自律した認識単位の明快な街並みと個々の認識単位の曖昧化した連続的な街並みとを通り抜ける空間体験と言え、そうした都市の構成単位の集積の異なる状景が連続性を形成しやすい傾向は、東京の空間特性のひとつと考えられる。

次に、片方の端部でのみ状景タイプが成立している通過空間について検討すると、両端部で状景タイプの成立するものより基調連続のある通過空間が多くみられ、状景タイプ①【自律】や、状景タイプ②～④の【積層】、【貫入】、【連続】といった各特性が典型的に現れた比較的単純なものが多くみられた。特に、片端に状景タイプ④【連続】のみられる通過空間が多くみられ、その反対側の端部は建物立面と場所との組合せが成立せずに状景タイプの検討から除外となったものが多くみられた。これら除外となったものは、駅建物の立面が面する領域の幅が狭く、駅領域の構成面として成立しないものであったことから、既成市街地の部分的な都市化により形成される空間体験と言える。

これらは、連続立面の面する広い表通りと建物立面の視認が困難な狭い裏通りとを通り抜ける空間体験と言え、そうした都市の表と裏との接続が建物内外での立面の連続性を形成しやすい傾向は、東京の空間特性のひとつであると考えられる。

以上、本節では、前節で抽出した状景タイプについて、通過空間における接続関係を検討することから、東京の都市空間における代表的な空間体験を位置づけることを試みた。

その結果、東京では、駅周辺などのある一帯のエリアに異種の状景が並存することが多く、特に立面と場所の両方の水準で異なる状景が並存する場合、それらは空間的に連続して体験されやすい傾向があり、そこでは立面の形成する空間的な対比が視点となる場所により体験的に増幅されることを指摘した。

また、東京における立面と場所との複合による代表的な空間体験として、個々の要素が自律した認識単位の明快な街並みと個々の認識単位の曖昧化した連続的な街並みとを通り抜ける空間体験と、連続立面の面する広い表通りと建物立面の視認が困難な狭い裏通りとを通り抜ける空間体験とを抽出した。

これらより、東京では、交通路の集積によるターミナル化や既存市街地の部分的な都市化などの継続的な都市更新により立面と場所とが高度に複合し、異種の状景の並存とそれらの連続的な横断という独自の空間体験を形成していること、また、そこでは都市の表と裏や構成要素の認識単位の差異が曖昧化していることが指摘できる。

3節3項　状景の複合形式からみた東京の空間特性

本論で検討した状景やその複合は、都心部主要の駅およびその周辺から抽出されたものではあるが、それらは序でも述べたように、東京の都市空間において至る所で見出しうるものである。

例えば、周囲から自律的に建物立面が現れる【自律】は、比較的敷地に余裕があり、建物の特徴から増改築や他用途との複合の少ない国会議事堂や最高裁判所周辺の官庁街でみることができる。一方で、周囲の建物立面や通過空間の内部と連続する建物立面が、立体的に領域の集積する都市空間に現れる【立体貫入】は、鉄道や首都高速などの交通路が集積し様々な用途の混在するビル群が建ち並ぶ昭和通り沿いなどの主要幹線道路沿いにみることができる。

これらのエリアは、震災復興や戦災復興を契機に様々な計画がなされながらも、その後の高度経済成長のなかで計画の修正や空間的な更新を繰り返すことで、現在の状景を形成してきた。東京では、これらの状景を対照的な極としながら、その他の状景タイプも局所的に混在し複合することで、独自の多様な街並みが構成されていると言える。

以上より、本論において駅建物およびその周辺環境の分析により抽出した状景タイプは、東京の都市空間における典型的なものと言え、その集合や連鎖を検討することで東京の都市空間を記述し、その現象的な特性を把握することが可能であると考える。

4 節　小 結

本章は、前章までの結果を踏まえ、駅建物およびその周辺環境を東京の空間特性が凝縮してみられる資料対象と位置づけ、そこでの状景を立面と場所の複合形式から東京の空間特性を検討した。

まず、通過空間の出入口を有する駅建物の立面の連続（2 章）と通過空間の端部における壁面の連続（3 章）から整理し、それぞれについて面する構成面の断面構成（4 章）との組合せを検討することから、立面と場所の複合により形成される 11 の状景タイプを抽出した。

次に、状景タイプの性格を相互に比較検討することから、東京の都市空間において、建物立面の連続性を介することで、立体的に構成された領域と建物の内部空間に連続性が形成される傾向を明らかにした。また、連続立面を一望でき立面に対して平行な表面的な連続が増幅されるものと、分割された局所的な場所で通過空間と連続する立面に対して奥行き方向の空間的な連続が増幅されるものという、立面と場所とによる状景の 2 つの複合の形式を見出した。

そして、通過空間に接続される状景タイプの組合せを検討することから、東京では、交通路の集積によるターミナル化や既存市街地の部分的な都市化などの継続的な都市更新により立面と場所とが高度に複合し、異種の状景の並存とそれらの連続的な横断という独自の空間体験を形成すること、また、そこでは都市の表と裏や構成要素の認識単位の差異が曖昧化するという東京の空間特性の一端を指摘した。

さらに、本章で抽出した状景タイプを、東京における駅以外の繁華街と関連づけて論じることで、本論の分析により駅建物およびその周辺環境から抽出した状景タイプは、東京の都市空間における典型と言えること、そして、その集合や連鎖により都市空間の現象的な特性を把握可能であることを位置づけた。

5章注

注 5-1) 駅建物には、通過空間の出入り口が複数あるものが見られるため、まず２章で検討した駅建物の立面ごとに通過空間の出入り口の有無を調べ、駅領域の構成面に面する通過空間の出入り口を有する駅建物立面を本章の分析単位とした。同一の建物立面に複数の通過空間の出入り口がある場合は、出入りごとに分けて分析単位とした。また、駅建物の立面に面する道路などの幅が狭く構成面が成立していないものは、本章における分析対象から除外した。

注 5-2) 通過空間の内部に分岐があり３つ以上の出入り口が接続されている場合は、出入り口の組合せごとに資料を分けて分析している。本章の資料では、３つの出入り口を有するものが５通過空間、４つの出入り口を有するものが１通過空間みられた。ただし、出入り口の組合せのうち、線路を跨がない経路のものは通り抜ける体験と言えないため、本節の資料から除外している。また、通過空間を構成する単位空間が１つで連続単位を形成しないものについても本節の資料から除外している。

第6章　結論

以上、本論は、駅建物およびその周辺環境における複合形式からみた現代都市東京の空間特性について、以下の通り検討した。

第１章「序論」では、研究の背景と目的、資料と分析の方法、および論文の構成と概要について述べている。ここでは、本論が、資本経済が跳梁する現代社会において、世界都市を代表する資本の凝縮がみられる現代都市東京の空間特性を題材とするものであること、そして東京の空間特性のなかでも都市の現代性を検討する対象として国内外で注目されてきた東京の現象的な側面を把握する上で、都市空間を規定する建物立面により形成される表層性と付帯性、及び、それに面し立体的に構成された場所により形成される積層性の３つの水準が重要であること、そうした特性の複合した東京の典型的な状景を見出しうる資料として、東京の市街化とともに継続的に発達してきた都市基盤施設であり、資本の凝縮が顕著な東京都区内及び近郊の主要駅およびその周辺の都市空間が妥当であること、さらに、上述した３つの空間特性に関する分析の対象として、度重なる増改築や他用途との複合により成立している駅建物、それを貫通する通過空間、それらの周囲を取り巻く駅領域を取り上げることを述べている。そして、こうした空間特性の把握が、現代における都市建築を構想する上での新たな知見となり得ることを述べた上で、駅建物およびその周辺環境を対象に、構成する要素どうしの複合の形式を検討することで、資本経済が跳梁するなか常に漸次的な更新がなされることで形成されてきた現代都市東京において敷衍化しうる空間特性を把握するための枠組みを示すという本論文の目的を述べている。

第２章「建物立面の複合形式からみた都市空間の表層性」では、駅建物の立面を対象に、隣接する建物立面どうしの外形スケールと分割スケールの連続とを分析し、それらの複合としての立面帯の連続性および隣接する他の建物立面との連続を検討した。その結果、駅建物の立面が隣接する建物立面と視覚的に同化する定型的なパタンを位置づけられること、さらに駅建物の立面帯の連続性が形成される仕組みについては、駅建物およびその周辺環境において隣接する建物立面の形態的な性格の共通性により建物を横断した局所的なまとまりが偶発的に形成され、個々の建物立面が埋没し、そうした局所的なまとまりが連鎖することで強弱のある連続性が形成されているという傾向を明らかにした。

第３章「通過空間の複合形式からみた都市空間の付帯性」では、ラチ外コンコースなどの駅建物を自由に通り抜け可能な通過空間を対象に、通過空間に同様の奥行きの空間が付帯することによる連続と端部における都市空間との連続とを分析し、それらの複合としての通過空間の連続性を検討した。その結果、通過空間を構成する単位空間については、奥行きの異なる空間が多方向に付帯するものが多いこと、さらに通過空間の連続性が形成される仕組みについては、通過空間において奥行きの異なる空間が付帯する単位空間が連鎖することで部分的に強い連続性が形成されおり、その壁面の性質が端部に

おいて駅建物の立面と連続し、都市空間に表出するという傾向を明らかにした。

第４章「駅領域の複合形式からみた都市空間の積層性」では、駅建物とそれに近接する建物群に囲まれた駅領域を対象に、用途上の面的なまとまりとして構成面を抽出し、そこでの近接する他の構成面との断面構成の複合と、構成面どうしの視線的なネットワークとを検討した。その結果、駅領域の構成面においては、近接する構成面が上方にある場合に異なる断面構成が混在し強い領域的な分節がみられること、さらに構成面のネットワークについては、構成面どうしの断面構成の違いにより分節された場を単位とした階層的なネットワークが形成されており、そこでは特に同一レベルでの基点となる構成面の分節の度合いが強く、その中心性が認識されにくいという傾向を明らかにした。

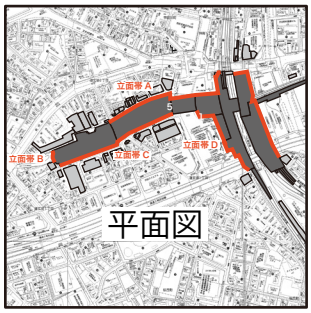
第５章「駅建物およびその周辺環境における状景の複合形式からみた東京の空間特性」では、第２章から第４章で得られた結果を横断的に検討するために、立面帯、通過空間、駅領域のすべてがみられる駅を対象に、まず立面帯とそれを貫通する通過空間との連続を分析し、さらにそれらが面している構成面の領域的な性格を検討することから、東京の都市空間における典型的な状景を抽出し、その空間特性を総合的に考察している。その結果、都市空間において立面と場所との複合により形成される状景について１１の構成類型が成立していることを明らかにした。そして、類型の性格を相互に比較検討することから、東京の都市空間において、建物立面の連続性を介することで、立体的に構成された外部空間と建物の内部空間とに連続性が形成される傾向を見出した。さらに、通過空間に接続される状景タイプの組合せを検討することから、東京では、交通路の集積によるターミナル化や既存市街地の部分的な都市化などの継続的な都市更新により立面と場所とが高度に複合し、異種の状景の並存とそれらの連続的な横断という独自の空間体験を形成すること、また、そこでは都市の表と裏や構成要素の認識単位の差異が曖昧化するという東京の空間特性の一端を指摘した。

以上で述べてきた本研究の結論は、経済資本の集中により、漸次的な更新が常に繰り返され、現代を代表する都市空間を形成してきた東京の現象的な側面について、立面と場所の複合から検討し、状景の構成類型が成立することを示した。そして、東京の都市空間において、建物立面の連続を介することで、建物内外の連続性は形成されること、さらに、周辺環境の立体的な構成の違い場所の接続が、立面と場所との複合による連続性を体験的に増幅させることを位置づけたものである。このことは、その複雑さや変貌の早さから物的な構成で捉えることが困難であった東京の景観構造を捉える枠組みを示すものであることから、現代都市の空間特性把握にとって有効な知見を与えるものであると考える。

資料編

2章　資料編

〈凡例〉



資料番号　駅名
No.○○　○○

no.：駅建物
：隣接建物
：立面帯

立面帯：渋谷 A

《模式図》



駅建物の立面			1	2		3-1	4-1	6	7-1
隣接 右側	同化パタン		DB	D		DB	B	D	-
	外形スケール		w	/		w	w	/	H
	分割スケール		○	○		○	＊	○	＊
隣接 左側	同化パタン		-	DB		D	DB	B	D
	外形スケール		/	w		/	w	w	/
	分割スケール		＊	○		＊	○	＊	○
対面	外形スケール		-	-		-	-	-	/
	分割スケール		-	-		-	-	-	○

立面帯：渋谷 B

《模式図》



駅建物の立面			8-2							
隣接 右側	同化パタン		B							
	外形スケール		WH							
	分割スケール		＊							
隣接 左側	同化パタン		B							
	外形スケール		WH							
	分割スケール		＊							
対面	外形スケール		-							
	分割スケール		-							

立面帯：渋谷 C

《模式図》



駅建物の立面			8-1	7-2						
隣接 右側	同化パタン		DB	-						
	外形スケール		w	-						
	分割スケール		○	-						
隣接 左側	同化パタン		-	DB						
	外形スケール		H	w						
	分割スケール		＊	○						
対面	外形スケール		/	H						
	分割スケール		○	○						

立面帯：渋谷 D

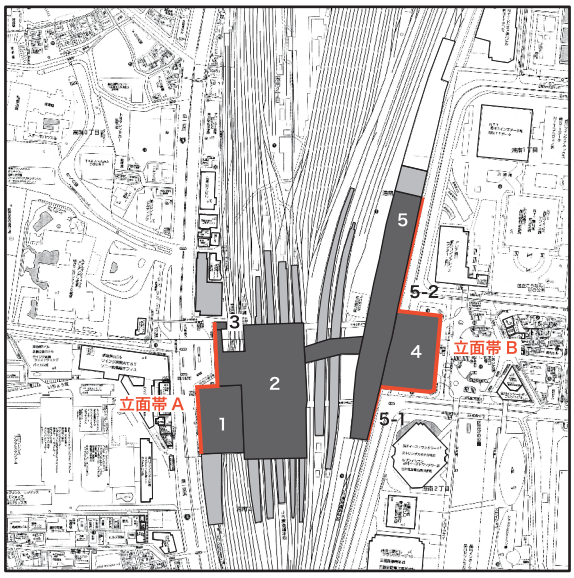
《模式図》



駅建物の立面			4-2	5	3-2					
隣接 右側	同化パタン		DB	DB	-					
	外形スケール		w	w	-					
	分割スケール		○	○	-					
隣接 左側	同化パタン		-	DB	DB					
	外形スケール		-	w	w					
	分割スケール		-	○	○					
対面	外形スケール		-	-	/					
	分割スケール		-	-	＊					

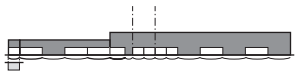
●：隣接する駅建物の立面（数字は資料 No.）
○：隣接する他の建物立面
◆：対面する駅建物の立面
◇：対面する他の建物立面
●—●：分割スケールの連続（駅建物の立面どうしの連続）
●○：分割スケールの連続（他の建物立面との連続）
●●：間口の外形スケールの連続（駅建物の立面どうしの連続）
●○：間口の外形スケールの連続（他の建物立面との連続）
○○：高さの外形スケールの連続

◎：分割スケール連続
＊：分割スケール不連続

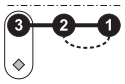


No.01　品川駅

立面帯：品川 A

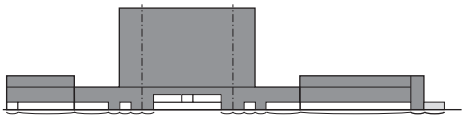


《模式図》



駅建物の立面			3	2	1					
隣接	右側	同化パタン	D	DB	-					
		外形スケール	h	wh	-					
		分割スケール	◎	◎	-					
	左側	同化パタン	-	D	DB					
		外形スケール	-	h	wh					
		分割スケール	-	◎	◎					
対面		外形スケール	/	-	-					
		分割スケール	◎	-	-					

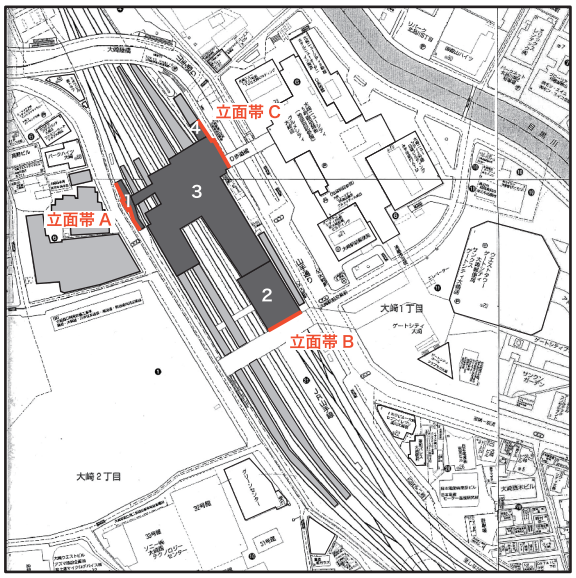
立面帯：品川 B



《模式図》



駅建物の立面			5-1	4	5-2					
隣接	右側	同化パタン	B	B	D					
		外形スケール	w	w	/					
		分割スケール	＊	＊	◎					
	左側	同化パタン	-	B	B					
		外形スケール	-	w	w					
		分割スケール	-	＊	＊					
対面		外形スケール	-	-	-					
		分割スケール	-	-	-					



No.02　大崎駅

立面帯：大崎 A



《模式図》



駅建物の立面		1							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	WH							
	分割スケール	◎							

立面帯：大崎 B

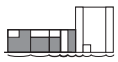


《模式図》

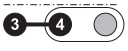


駅建物の立面		2							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	H							
	分割スケール	*							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							

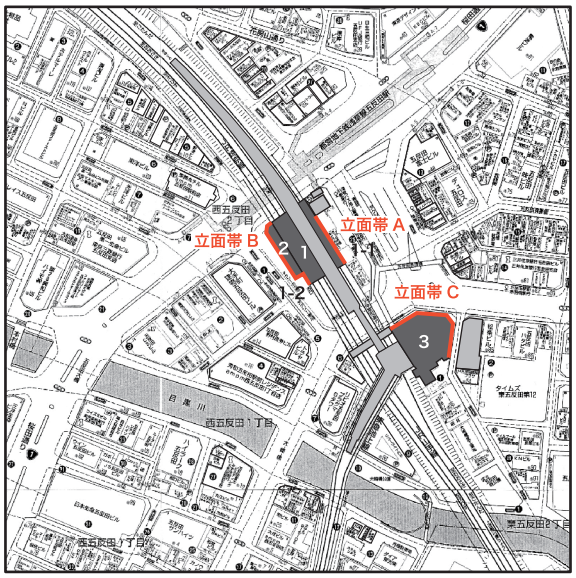
立面帯：大崎 C



《模式図》



駅建物の立面		3	4						
隣接 右側	同化パタン	D	D						
	外形スケール	h	h						
	分割スケール	◎	◎						
隣接 左側	同化パタン	-	D						
	外形スケール	-	h						
	分割スケール	-	◎						
対面	外形スケール	-	-						
	分割スケール	-	-						



No.03　五反田駅

立面帯：五反田 A

《模式図》



駅建物の立面			1-1							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	/							
		分割スケール	＊							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							

立面帯：五反田 B

《模式図》



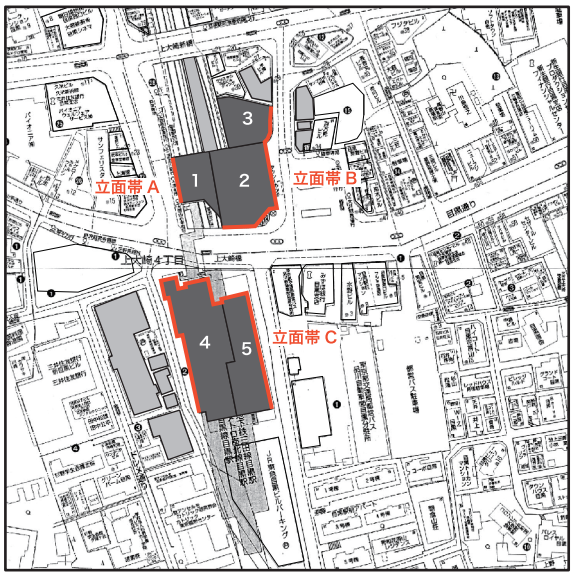
駅建物の立面			1-2	2						
隣接	右側	同化パタン	D	-						
		外形スケール	/	-						
		分割スケール	◎	-						
	左側	同化パタン	-	D						
		外形スケール	-	/						
		分割スケール	-	◎						
対面		外形スケール	-	-						
		分割スケール	-	-						

立面帯：五反田 C

《模式図》



駅建物の立面			3							
隣接	右側	同化パタン	DB							
		外形スケール	W							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	WH							
		分割スケール	＊							



No.04　目黒駅

立面帯：目黒 A

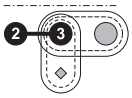
《模式図》



駅建物の立面		1							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	D							
	外形スケール	H							
	分割スケール	◎							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							

立面帯：目黒 B

《模式図》



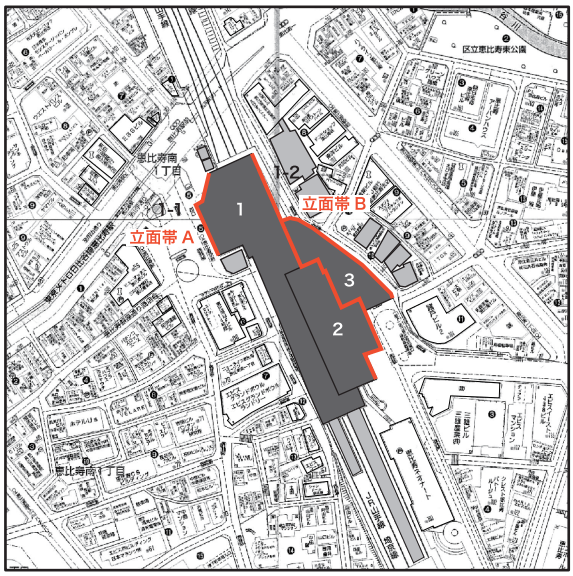
駅建物の立面		2	3						
隣接 右側	同化パタン	D	DB						
	外形スケール	h	WH						
	分割スケール	◎	◎						
隣接 左側	同化パタン	-	D						
	外形スケール	-	h						
	分割スケール	-	◎						
対面	外形スケール	-	W						
	分割スケール	-	◎						

立面帯：目黒 C

《模式図》



駅建物の立面		5	4						
隣接 右側	同化パタン	DB	-						
	外形スケール	w	-						
	分割スケール	◎	-						
隣接 左側	同化パタン	-	DB						
	外形スケール	-	w						
	分割スケール	-	◎						
対面	外形スケール	-	/						
	分割スケール	-	◎						



No.05　恵比寿駅

立面帯：恵比寿 A

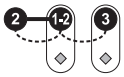
《模式図》



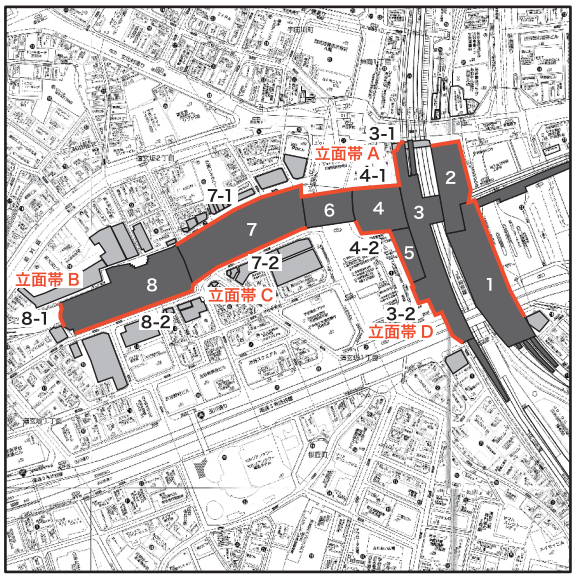
駅建物の立面			1-1							
隣接	右側	同化パタン	D							
		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	H							
		分割スケール	＊							

立面帯：恵比寿 B

《模式図》

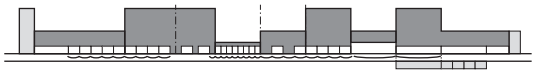


駅建物の立面			2	1-2	3					
隣接	右側	同化パタン	DB	B	-					
		外形スケール	w	w	-					
		分割スケール	◎	＊	-					
	左側	同化パタン	-	DB	B					
		外形スケール	-	w	w					
		分割スケール	-	◎	＊					
対面		外形スケール	-	/	/					
		分割スケール	-	◎	◎					



No.06　渋谷駅

立面帯：渋谷 A



《模式図》



駅建物の立面		1	2		3-1	4-1	6	7-1	
隣接 右側	同化パタン	DB	D		DB	B	D	-	
	外形スケール	w	/		w	w	/	H	
	分割スケール	◎	◎		◎	＊	◎	＊	
隣接 左側	同化パタン	-	DB		D	DB	B	D	
	外形スケール	/	w		/	w	w	/	
	分割スケール	＊	◎		＊	◎	＊	◎	
対面	外形スケール	-	-		-	-	-	/	
	分割スケール	-	-		-	-	-	◎	

立面帯：渋谷 B

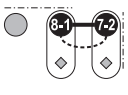
《模式図》



駅建物の立面		8-2							
隣接 右側	同化パタン	B							
	外形スケール	WH							
	分割スケール	＊							
隣接 左側	同化パタン	B							
	外形スケール	WH							
	分割スケール	＊							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							

立面帯：渋谷 C

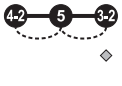
《模式図》



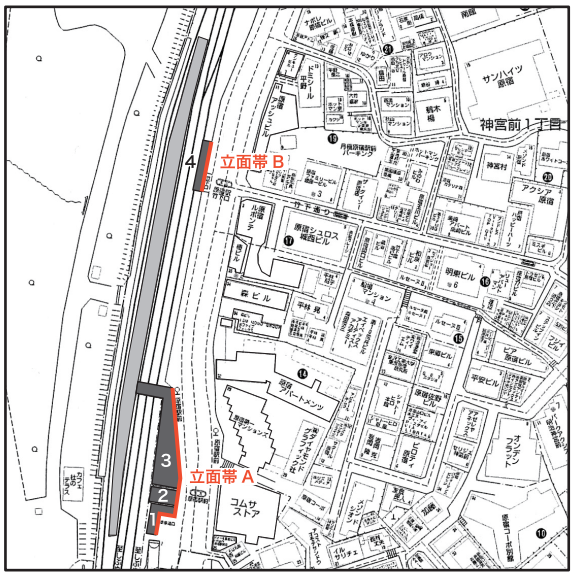
駅建物の立面		8-1	7-2						
隣接 右側	同化パタン	DB	-						
	外形スケール	w	-						
	分割スケール	◎	-						
隣接 左側	同化パタン	-	DB						
	外形スケール	H	w						
	分割スケール	＊	◎						
対面	外形スケール	/	H						
	分割スケール	◎	◎						

立面帯：渋谷 D

《模式図》



駅建物の立面		4-2	5	3-2					
隣接 右側	同化パタン	DB	DB	-					
	外形スケール	w	w	-					
	分割スケール	◎	◎	-					
隣接 左側	同化パタン	-	DB	DB					
	外形スケール	-	w	w					
	分割スケール	-	◎	◎					
対面	外形スケール	-	-	/					
	分割スケール	-	-	＊					



No.07　原宿駅

立面帯：原宿 A

《模式図》



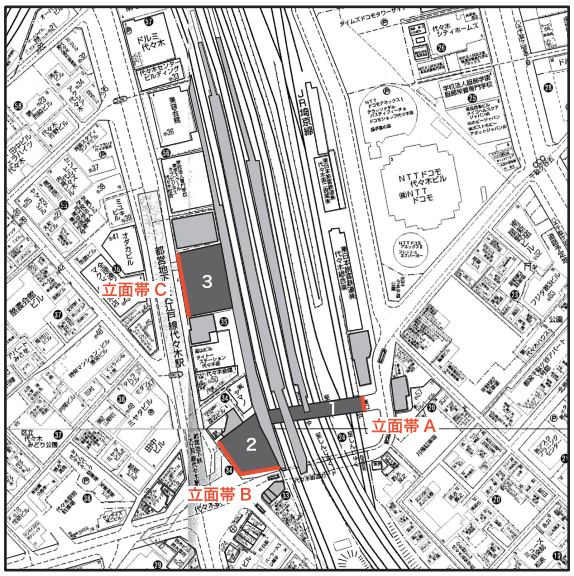
駅建物の立面			1	2	3					
隣接	右側	同化パタン	B	-	-					
		外形スケール	w	h	-					
		分割スケール	*	*	-					
	左側	同化パタン	B	B	-					
		外形スケール	WH	w	h					
		分割スケール	*	*	*					
対面		外形スケール	-	-	-					
		分割スケール	-	-	-					

立面帯：原宿 B

《模式図》



駅建物の立面			4							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.08　代々木駅

立面帯：代々木 A

《模式図》



駅建物の立面		1							
隣接 右側	同化パタン	D							
	外形スケール	/							
	分割スケール	◎							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	H							
	分割スケール	＊							

立面帯：代々木 B

《模式図》



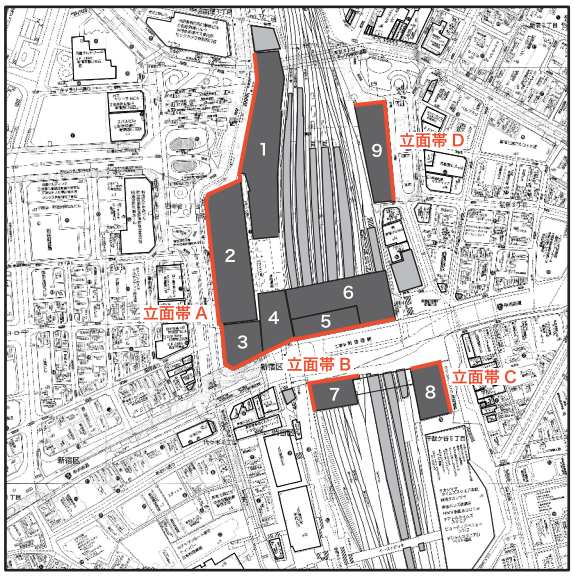
駅建物の立面		2							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	/							
	分割スケール	＊							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	/							
	分割スケール	＊							

立面帯：代々木 C

《模式図》



駅建物の立面		3							
隣接 右側	同化パタン	D							
	外形スケール	H							
	分割スケール	◎							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	/							
	分割スケール	＊							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							



No.09　新宿駅

立面帯：新宿 A

《模式図》



駅建物の立面			1	2	3	4	5	6		
隣接	右側	同化パタン	DB	D	D	D	DB	DB		
		外形スケール	wh	h	/	/	w	w		
		分割スケール	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	左側	同化パタン	-	DB	D	D	D	DB		
		外形スケール	-	wh	h	/	/	w		
		分割スケール	-	◎	◎	◎	◎	◎		
対面		外形スケール	-	-	-	-	-	-		
		分割スケール	-	-	-	-	-	-		

立面帯：新宿 B

《模式図》



駅建物の立面			7							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							

立面帯：新宿 C

《模式図》



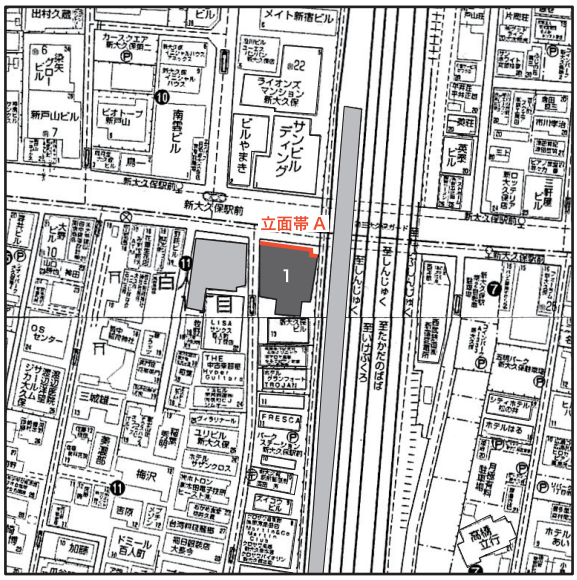
駅建物の立面			8							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							

立面帯：新宿 D

《模式図》



駅建物の立面			9							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



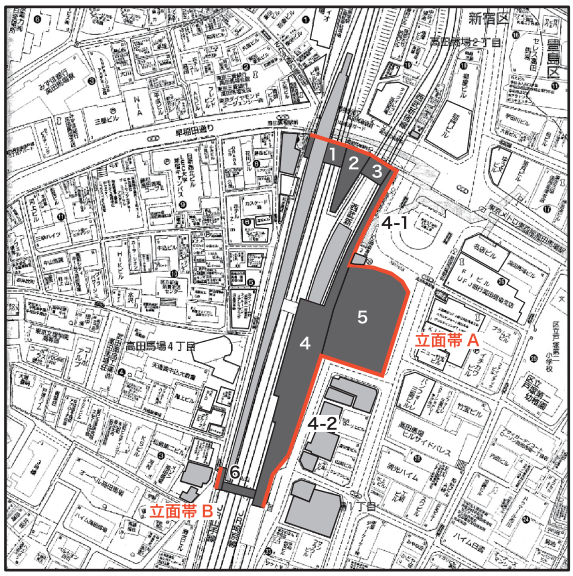
No.10　新大久保駅

立面帯：新大久保 A

《模式図》



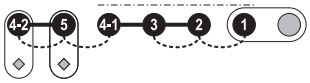
駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	B							
		外形スケール	W							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.11　高田馬場駅

立面帯：高田馬場 A

《模式図》



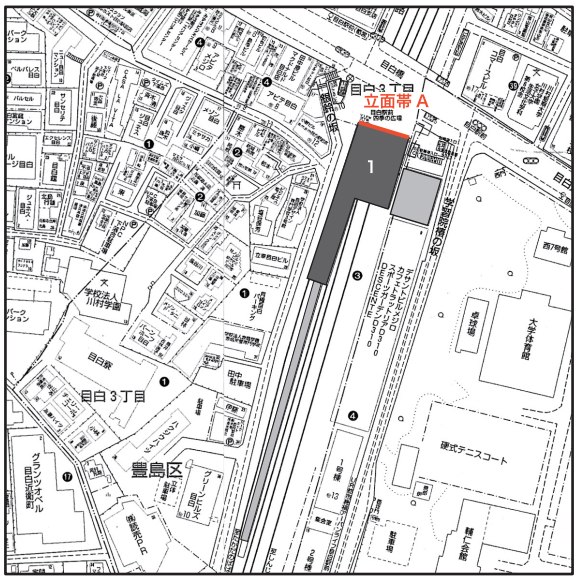
駅建物の立面			4-2	5	4-1	3	2	1		
隣接	右側	同化パタン	DB	B	D	DB	B	D		
		外形スケール	w	w	h	wh	wh	/		
		分割スケール	◎	＊	◎	◎	＊	◎		
	左側	同化パタン	-	DB	B	D	DB	B		
		外形スケール	-	w	w	h	wh	wh		
		分割スケール	-	◎	＊	◎	◎	＊		
対面		外形スケール	/	/	-	-	-	-		
		分割スケール	◎	◎	-	-	-	-		

立面帯：高田馬場 B

《模式図》



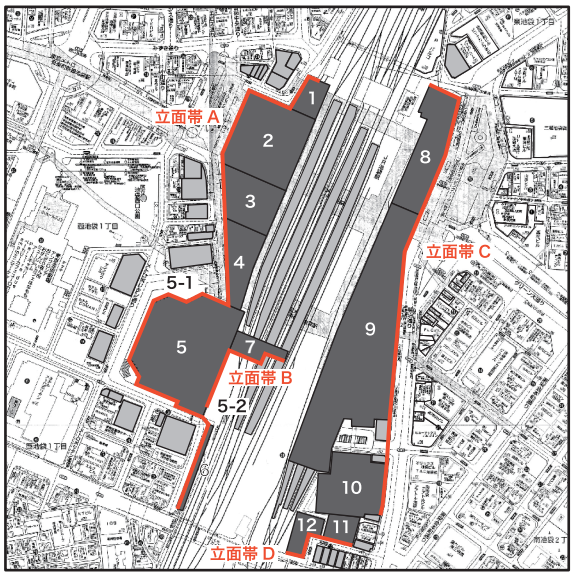
駅建物の立面			6							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	W							
		分割スケール	◎							



No.12　目白駅

立面帯：目白 A
《模式図》 

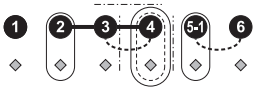
駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	/							
		分割スケール	＊							
	左側	同化パタン	B							
		外形スケール	W							
		分割スケール	＊							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.13　池袋駅

立面帯：池袋 A

《模式図》



駅建物の立面		1	2	3	4	5-1	6		
隣接 右側	同化パタン	-	D	DB	-	B	-		
	外形スケール	/	/	wh	/	w	-		
	分割スケール	＊	◎	◎	＊	＊	-		
隣接 左側	同化パタン	-	-	D	DB	-	B		
	外形スケール	-	/	/	wh	/	w		
	分割スケール	-	＊	◎	◎	＊	＊		
対面	外形スケール	/	/	H	WH	/	/		
	分割スケール	＊	◎	＊	◎	◎	＊		

立面帯：池袋 B

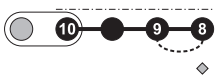
《模式図》



駅建物の立面		5-2	6						
隣接 右側	同化パタン	B	-						
	外形スケール	w	-						
	分割スケール	＊	-						
隣接 左側	同化パタン	-	B						
	外形スケール	-	w						
	分割スケール	-	＊						
対面	外形スケール	-	-						
	分割スケール	-	-						

立面帯：池袋 C

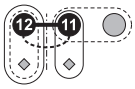
《模式図》



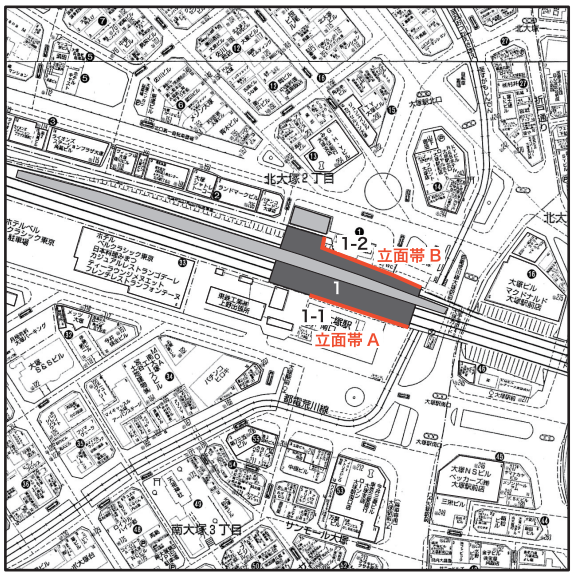
駅建物の立面		10		9	8				
隣接 右側	同化パタン	D		DB	-				
	外形スケール	H		wh	-				
	分割スケール	◎		◎	-				
隣接 左側	同化パタン	D		D	DB				
	外形スケール	/		H	wh				
	分割スケール	◎		◎	◎				
対面	外形スケール	-		-	/				
	分割スケール	-		-	＊				

立面帯：池袋 D

《模式図》



駅建物の立面		12	11						
隣接 右側	同化パタン	DB	B						
	外形スケール	w	W						
	分割スケール	◎	＊						
隣接 左側	同化パタン	-	DB						
	外形スケール	-	w						
	分割スケール	-	◎						
対面	外形スケール	WH	/						
	分割スケール	◎	◎						



No.14　大塚駅

立面帯：大塚 A

《模式図》



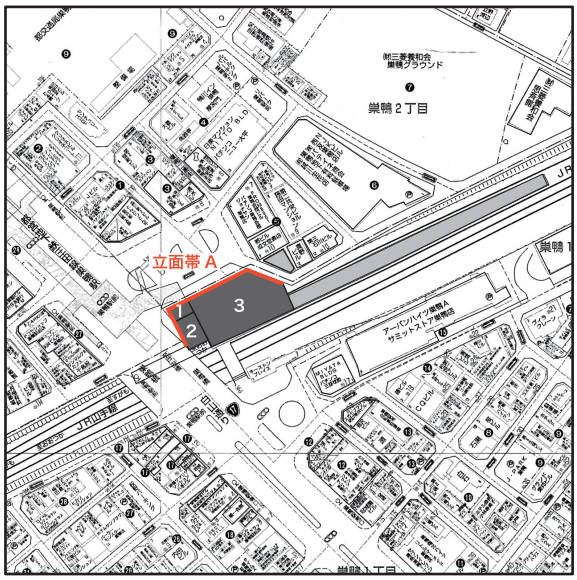
駅建物の立面			1-1							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							

立面帯：大塚 B

《模式図》



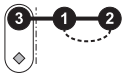
駅建物の立面			1-2							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	H							
		分割スケール	＊							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



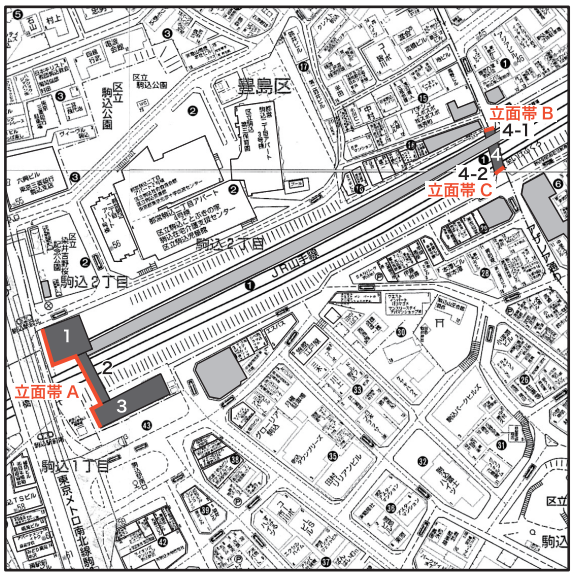
No.15　巣鴨駅

立面帯：巣鴨 A

《模式図》



駅建物の立面			3	1	2					
隣接	右側	同化パタン	D	DB	-					
		外形スケール	/	w	-					
		分割スケール	◎	◎	-					
	左側	同化パタン	-	D	DB					
		外形スケール	-	/	w					
		分割スケール	-	◎	◎					
対面		外形スケール	H	-	-					
		分割スケール	◎	-	-					



No.16　駒込駅

立面帯：駒込 A

《模式図》



駅建物の立面		1	2	3					
隣接 右側	同化パタン	B	-	-					
	外形スケール	w	/	-					
	分割スケール	＊	＊	-					
隣接 左側	同化パタン	-	B	-					
	外形スケール	-	w	/					
	分割スケール	-	＊	＊					
対面	外形スケール	-	-	H					
	分割スケール	-	-	◎					

立面帯：駒込 B

《模式図》



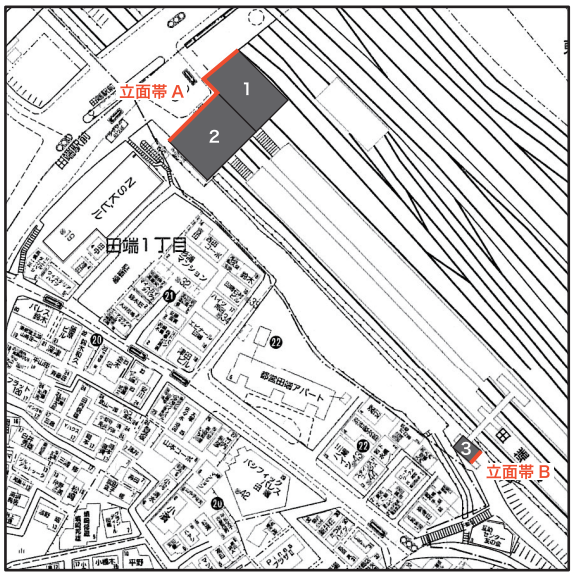
駅建物の立面		4-1							
隣接 右側	同化パタン	B							
	外形スケール	WH							
	分割スケール	＊							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	WH							
	分割スケール	＊							

立面帯：駒込 C

《模式図》



駅建物の立面		4-2							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	/							
	分割スケール	◎							



No.17　田端駅

立面帯：田端 A

《模式図》



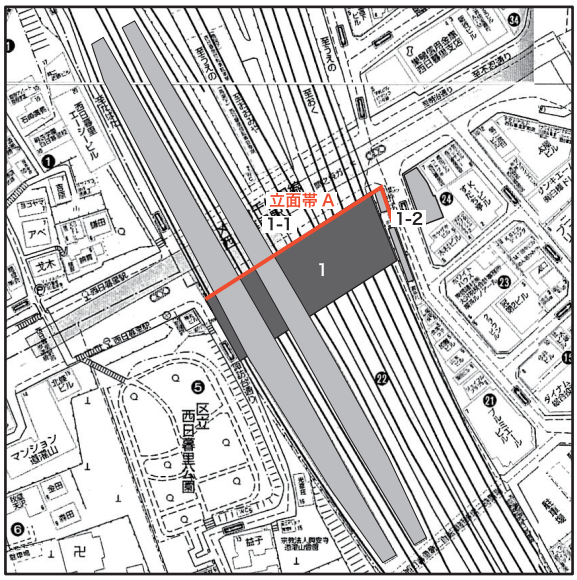
駅建物の立面			1	2						
隣接	右側	同化パタン	DB	-						
		外形スケール	w	-						
		分割スケール	◎	-						
	左側	同化パタン	-	DB						
		外形スケール	-	w						
		分割スケール	-	◎						
対面		外形スケール	-	-						
		分割スケール	-	-						

立面帯：田端 B

《模式図》

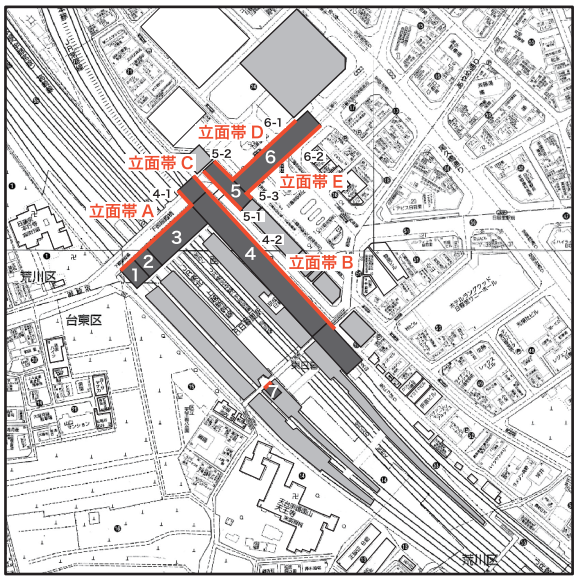


駅建物の立面			3							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.18　西日暮里駅

立面帯：西日暮里 A										
《模式図》										
駅建物の立面			1-2		1-1					
隣接	右側	同化パタン	B		-					
		外形スケール	WH		-					
		分割スケール	＊		-					
	左側	同化パタン	D		D					
		外形スケール	H		H					
		分割スケール	◎		◎					
対面		外形スケール	/		-					
		分割スケール	＊		-					



No.19　日暮里駅

立面帯：日暮里 A

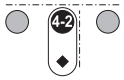
《模式図》



駅建物の立面			4-1	3	2	1
隣接	右側	同化パタン	D	-	B	-
		外形スケール	/	h	w	-
		分割スケール	◎	＊	＊	-
	左側	同化パタン	-	D	-	B
		外形スケール	-	/	h	w
		分割スケール	-	◎	＊	＊
対面		外形スケール	-	-	-	-
		分割スケール	-	-	-	-

立面帯：日暮里 B

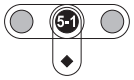
《模式図》



駅建物の立面			4-2			
隣接	右側	同化パタン	-			
		外形スケール	H			
		分割スケール	＊			
	左側	同化パタン	-			
		外形スケール	H			
		分割スケール	＊			
対面		外形スケール	h			
		分割スケール	◎			

立面帯：日暮里 C

《模式図》



駅建物の立面			5-1			
隣接	右側	同化パタン	D			
		外形スケール	/			
		分割スケール	◎			
	左側	同化パタン	D			
		外形スケール	/			
		分割スケール	◎			
対面		外形スケール	/			
		分割スケール	◎			

立面帯：日暮里 D

《模式図》



駅建物の立面			6-1	5-2		
隣接	右側	同化パタン	-	D		
		外形スケール	/	/		
		分割スケール	＊	◎		
	左側	同化パタン	B	-		
		外形スケール	W	/		
		分割スケール	＊	＊		
対面		外形スケール	-	-		
		分割スケール	-	-		

立面帯：日暮里 E

《模式図》



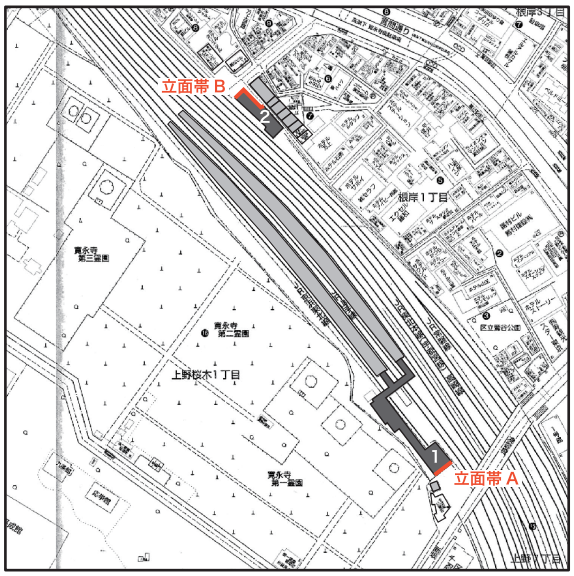
駅建物の立面			5-3	6-2		
隣接	右側	同化パタン	-	-		
		外形スケール	/	-		
		分割スケール	＊	-		
	左側	同化パタン	D	-		
		外形スケール	H	/		
		分割スケール	◎	＊		
対面		外形スケール	-	/		
		分割スケール	-	＊		

立面帯：日暮里 F

《模式図》



駅建物の立面			7			
隣接	右側	同化パタン	-			
		外形スケール	-			
		分割スケール	-			
	左側	同化パタン	-			
		外形スケール	-			
		分割スケール	-			
対面		外形スケール	-			
		分割スケール	-			



No.20　鶯谷駅

立面帯：鶯谷 A

《模式図》



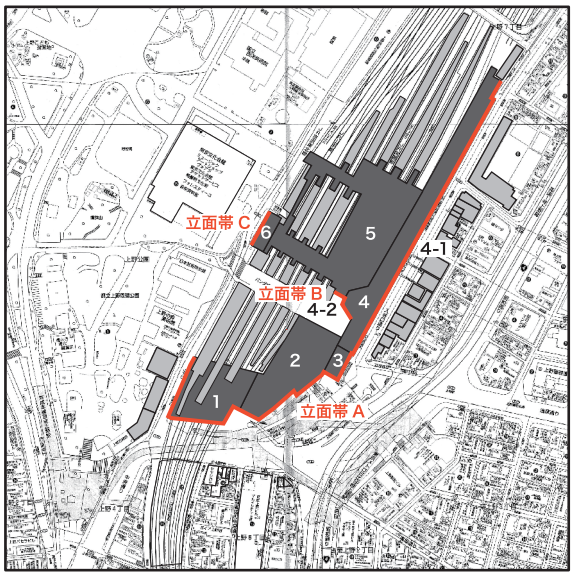
駅建物の立面		1							
隣接 右側	同化パタン	DB							
	外形スケール	WH							
	分割スケール	◎							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							

立面帯：鶯谷 B

《模式図》



駅建物の立面		2							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	/							
	分割スケール	◎							



No.21　上野駅

立面帯：上野 A

《模式図》



駅建物の立面			1	2	3	4-1				
隣接	右側	同化パタン	B	-	-	-				
		外形スケール	w	h	h	H				
		分割スケール	＊	＊	＊	＊				
	左側	同化パタン	-	B	-	-				
		外形スケール	-	w	h	h				
		分割スケール	-	＊	＊	＊				
対面		外形スケール	W	-	-	W				
		分割スケール	◎	-	-	◎				

立面帯：上野 B

《模式図》



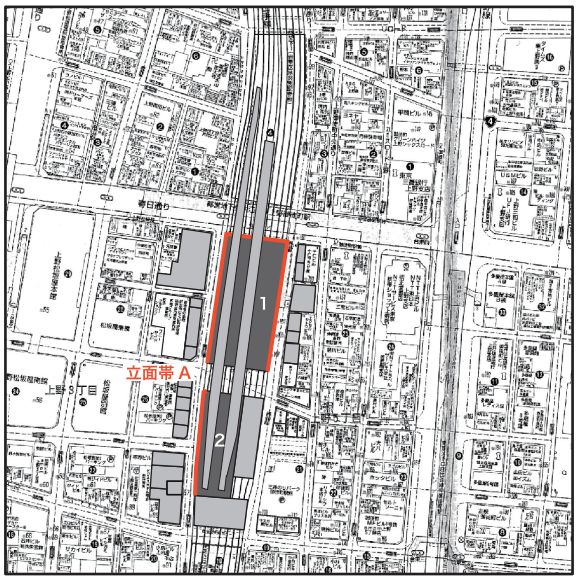
駅建物の立面			5	4-2						
隣接	右側	同化パタン	-	-						
		外形スケール	h	-						
		分割スケール	＊	-						
	左側	同化パタン	-	-						
		外形スケール	-	h						
		分割スケール	-	＊						
対面		外形スケール	-	-						
		分割スケール	-	-						

立面帯：上野 C

《模式図》



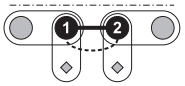
駅建物の立面			6							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



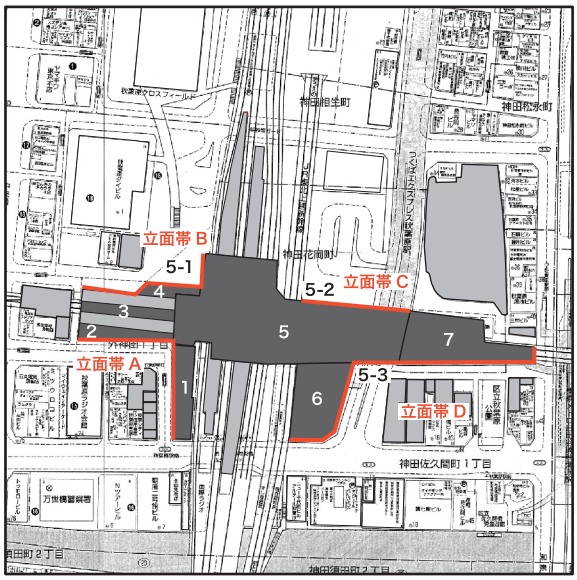
No.22　御徒町駅

立面帯：御徒町 A

《模式図》



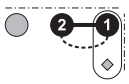
駅建物の立面			1	2						
隣接	右側	同化パタン	DB	D						
		外形スケール	wh	H						
		分割スケール	◎	◎						
	左側	同化パタン	D	DB						
		外形スケール	H	wh						
		分割スケール	◎	◎						
対面		外形スケール	/	/						
		分割スケール	◎	◎						



No.23　秋葉原駅

立面帯：秋葉原 A

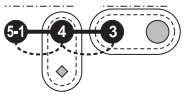
《模式図》



駅建物の立面			2	1						
隣接	右側	同化パタン	DB	-						
		外形スケール	wh	-						
		分割スケール	◎	-						
	左側	同化パタン	-	DB						
		外形スケール	H	wh						
		分割スケール	＊	◎						
対面		外形スケール	-	H						
		分割スケール	-	◎						

立面帯：秋葉原 B

《模式図》



駅建物の立面			5-1	4	3					
隣接	右側	同化パタン	DB	DB	DB					
		外形スケール	wh	w	WH					
		分割スケール	◎	◎	◎					
	左側	同化パタン	-	DB	DB					
		外形スケール	-	wh	w					
		分割スケール	-	◎	◎					
対面		外形スケール	-	W	-					
		分割スケール	-	◎	-					

立面帯：秋葉原 C

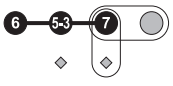
《模式図》



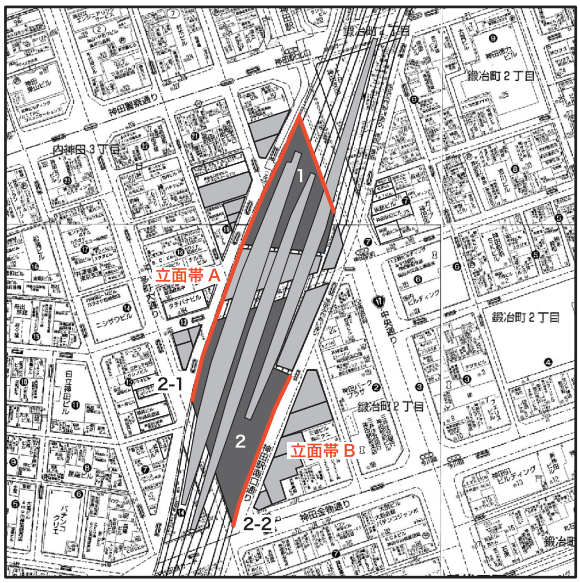
駅建物の立面			5-2							
隣接	右側	同化パタン	B							
		外形スケール	W							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							

立面帯：秋葉原 D

《模式図》



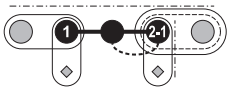
駅建物の立面			6	5-3	7					
隣接	右側	同化パタン	D	D	D					
		外形スケール	/	/	/					
		分割スケール	◎	◎	◎					
	左側	同化パタン	-	D	D					
		外形スケール	-	/	/					
		分割スケール	-	◎	◎					
対面		外形スケール	-	/	/					
		分割スケール	-	＊	◎					



No.24　神田駅

立面帯：神田 A

《模式図》



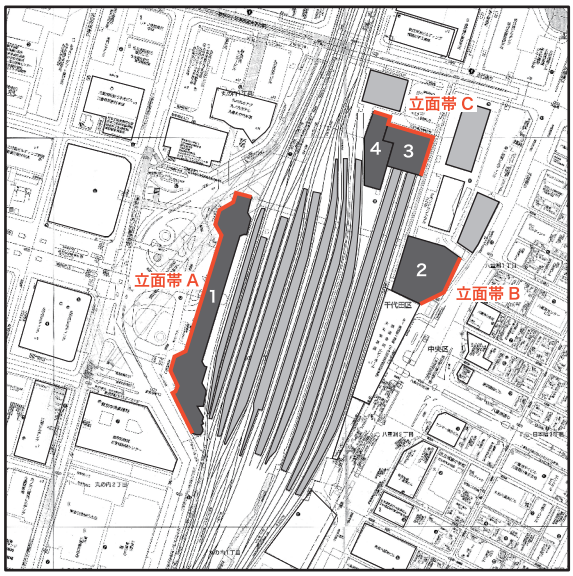
駅建物の立面			1		2-1					
隣接	右側	同化パタン	D		DB					
		外形スケール	H		WH					
		分割スケール	◎		◎					
	左側	同化パタン	D		DB					
		外形スケール	H		WH					
		分割スケール	◎		◎					
対面		外形スケール	/		H					
		分割スケール	◎		◎					

立面帯：神田 B

《模式図》



駅建物の立面			2-2							
隣接	右側	同化パタン	D							
		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							



No.25　東京駅

立面帯：東京 A

《模式図》

❶

駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							

立面帯：東京 B

《模式図》

❷

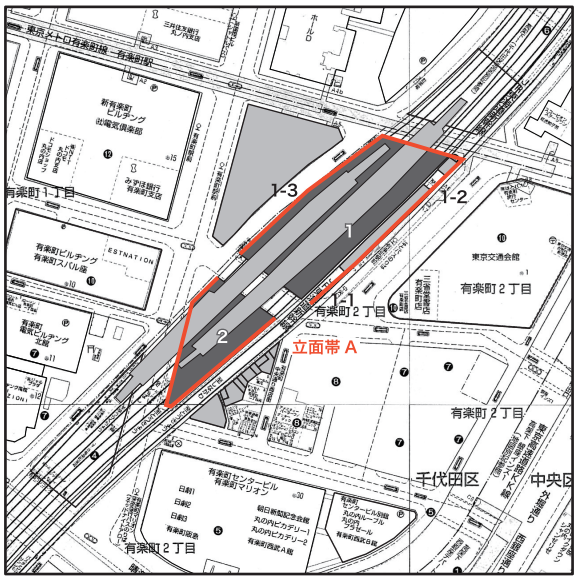
駅建物の立面			2							
隣接	右側	同化パタン	B							
		外形スケール	W							
		分割スケール	＊							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							

立面帯：東京 C

《模式図》

❸ ❹

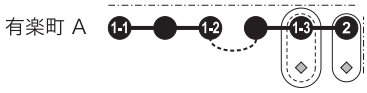
駅建物の立面			3	4						
隣接	右側	同化パタン	D	-						
		外形スケール	/	-						
		分割スケール	◎	-						
	左側	同化パタン	-	D						
		外形スケール	-	/						
		分割スケール	-	◎						
対面		外形スケール	W	W						
		分割スケール	＊	＊						



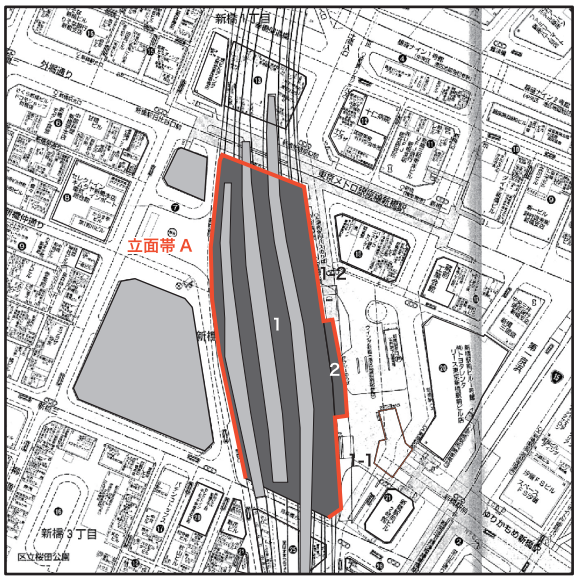
No.26　有楽町駅

立面帯：有楽町 A

《模式図》



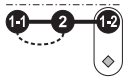
駅建物の立面			1-1		1-2		1-3	2		
隣接	右側	同化パタン	D		B		D	-		
		外形スケール	H		WH		h	-		
		分割スケール	◎		＊		◎	-		
	左側	同化パタン	-		D		D	D		
		外形スケール	-		H		H	h		
		分割スケール	-		◎		◎	◎		
対面		外形スケール	-		-		W	H		
		分割スケール	-		-		◎	◎		



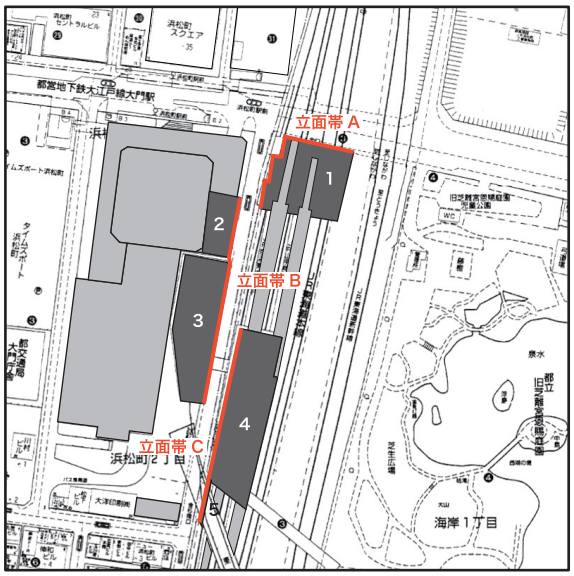
No.27　新橋駅

立面帯：新橋 A

《模式図》



駅建物の立面			1-1	2	1-2					
隣接	右側	同化パタン	DB	D	-					
		外形スケール	wh	h	-					
		分割スケール	◎	◎	-					
	左側	同化パタン	-	DB	D					
		外形スケール	-	wh	h					
		分割スケール	-	◎	◎					
対面		外形スケール	-	-	/					
		分割スケール	-	-	◎					



No.28　浜松町駅

立面帯：浜松町 A

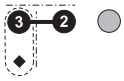
《模式図》



駅建物の立面		1							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	WH							
	分割スケール	＊							

立面帯：浜松町 B

《模式図》



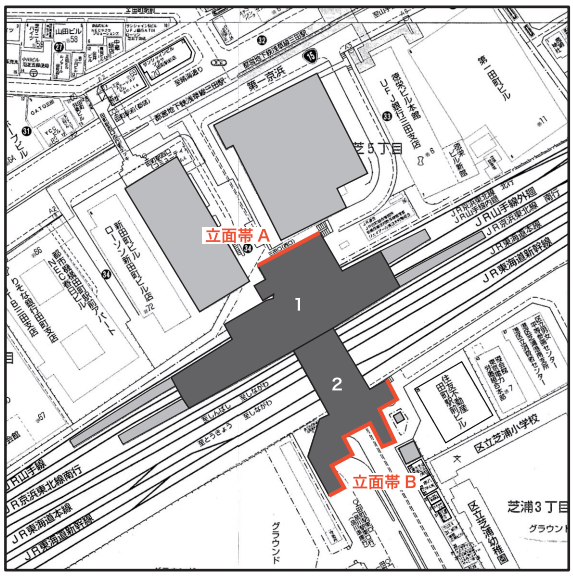
駅建物の立面		3	2						
隣接 右側	同化パタン	D	-						
	外形スケール	h	/						
	分割スケール	◎	＊						
隣接 左側	同化パタン	-	D						
	外形スケール	-	h						
	分割スケール	-	◎						
対面	外形スケール	wh	-						
	分割スケール	＊	-						

立面帯：浜松町 C

《模式図》



駅建物の立面		4	5						
隣接 右側	同化パタン	-	-						
	外形スケール	h	-						
	分割スケール	＊	-						
隣接 左側	同化パタン	-	-						
	外形スケール	-	h						
	分割スケール	-	＊						
対面	外形スケール	wh	/						
	分割スケール	＊	◎						



No.29　田町駅

立面帯：田町 A

《模式図》



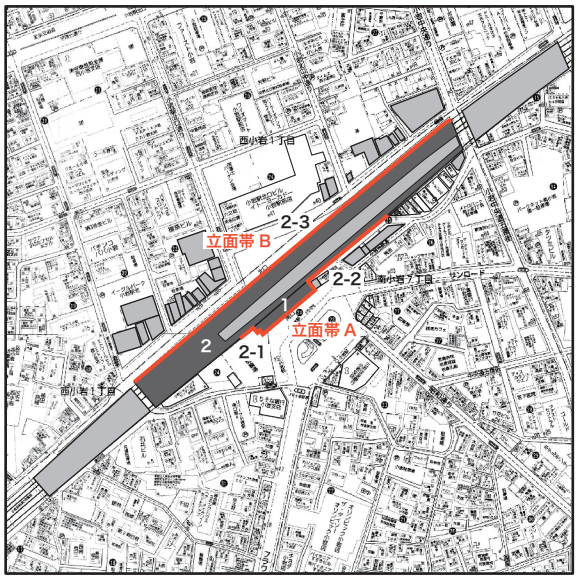
駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	WH							
		分割スケール	＊							

立面帯：田町 B

《模式図》



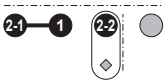
駅建物の立面			2							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							



No.30　小岩駅

立面帯：小岩 A

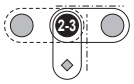
《模式図》



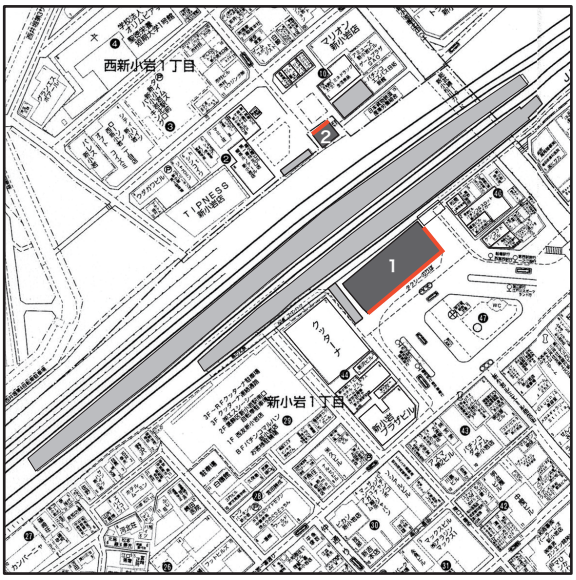
駅建物の立面			2-1	1	2-2					
隣接	右側	同化パタン	D	-	-					
		外形スケール	h	h	H					
		分割スケール	◎	＊	＊					
	左側	同化パタン	-	D	-					
		外形スケール	-	h	h					
		分割スケール	-	◎	＊					
対面		外形スケール	-	-	H					
		分割スケール	-	-	◎					

立面帯：小岩 B

《模式図》



駅建物の立面			2-3							
隣接	右側	同化パタン	D							
		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	B							
		外形スケール	W							
		分割スケール	＊							
対面		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							



No.31　新小岩駅

立面帯：新小岩 A

《模式図》



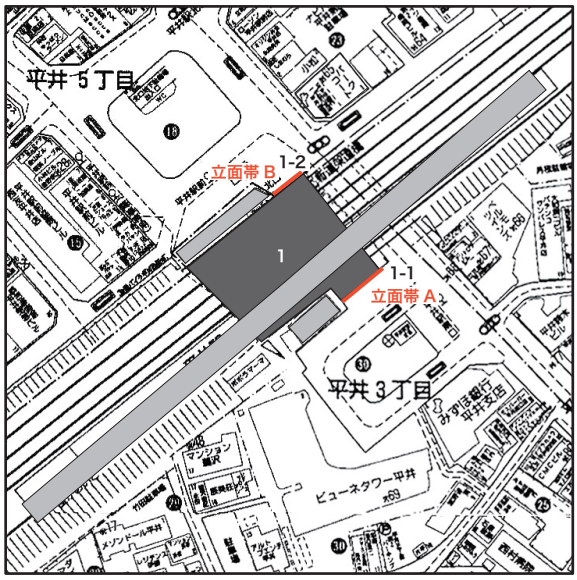
駅建物の立面		1							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	H							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	D							
	外形スケール	H							
	分割スケール	◎							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							

立面帯：新小岩 B

《模式図》



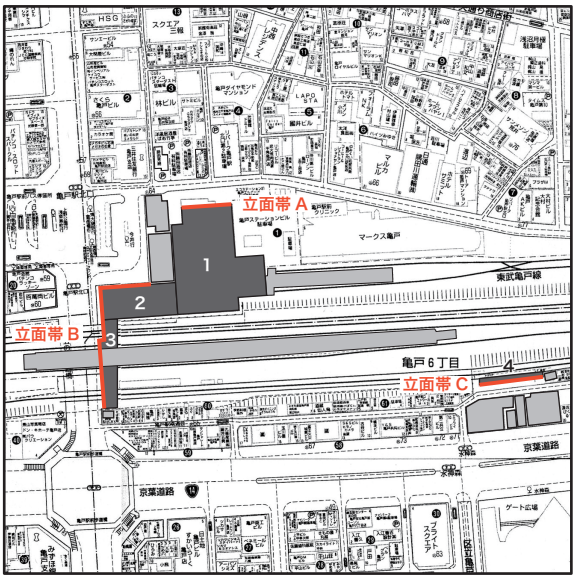
駅建物の立面		2							
隣接 右側	同化パタン	DB							
	外形スケール	WH							
	分割スケール	◎							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	W							
	分割スケール	＊							



No.32　平井駅

立面帯：平井 A									
《模式図》									
駅建物の立面		1-1							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	H							
	分割スケール	＊							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							

立面帯：平井 B									
《模式図》									
駅建物の立面		1-2							
隣接 右側	同化パタン	D							
	外形スケール	H							
	分割スケール	◎							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							



No.33　亀戸駅

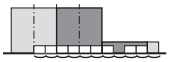
立面帯：亀戸 A

《模式図》



駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	B							
		外形スケール	W							
		分割スケール	＊							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							

立面帯：亀戸 B



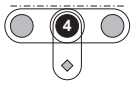
《模式図》



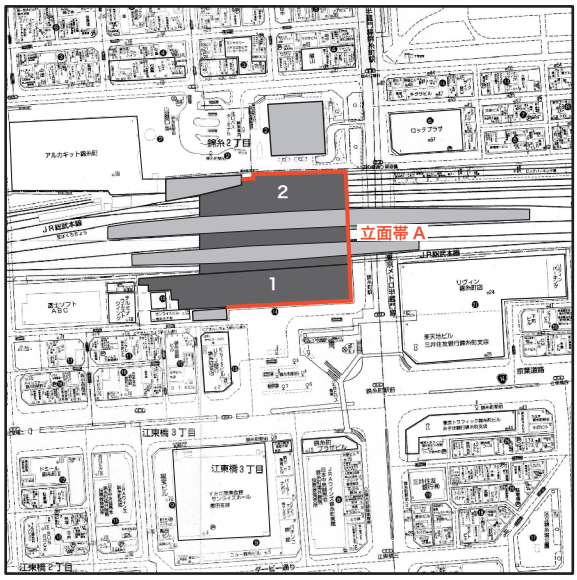
駅建物の立面			2	3						
隣接	右側	同化パタン	DB	D						
		外形スケール	w	H						
		分割スケール	◎	◎						
	左側	同化パタン	DB	DB						
		外形スケール	WH	w						
		分割スケール	◎	◎						
対面		外形スケール	-	-						
		分割スケール	-	-						

立面帯：亀戸 C

《模式図》



駅建物の立面			4							
隣接	右側	同化パタン	D							
		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	D							
		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							
対面		外形スケール	/							
		分割スケール	◎							



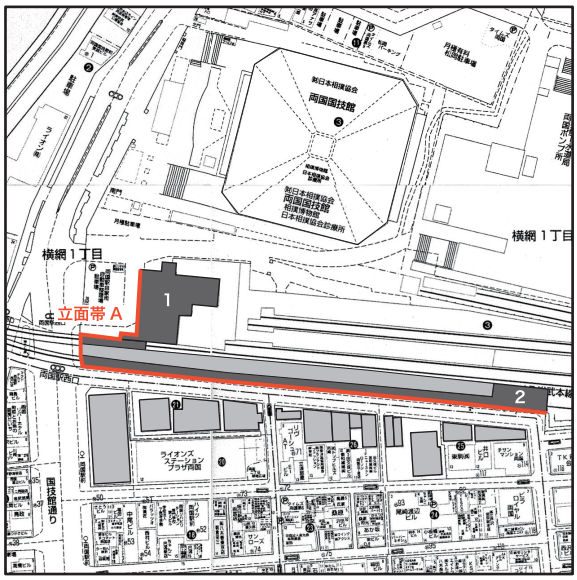
No.34　錦糸町駅

立面帯：錦糸町 A

《模式図》



駅建物の立面			1	2						
隣接	右側	同化パタン	B	D						
		外形スケール	w	H						
		分割スケール	＊	◎						
	左側	同化パタン	D	B						
		外形スケール	H	w						
		分割スケール	◎	＊						
対面		外形スケール	-	/						
		分割スケール	-	＊						



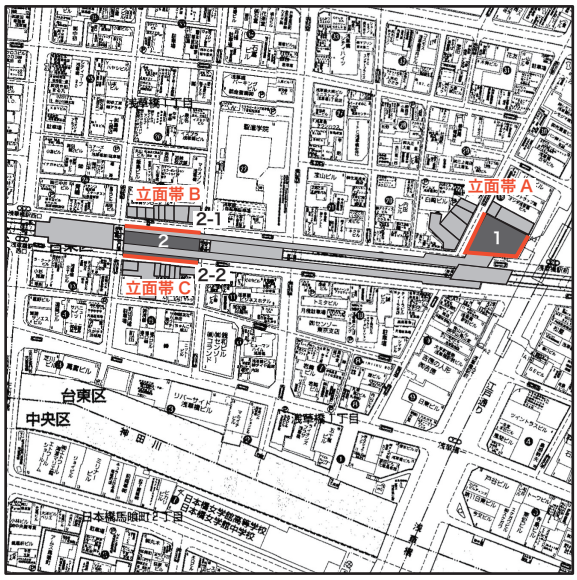
No.35　両国駅

立面帯：両国 A

《模式図》



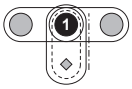
駅建物の立面			1	2						
隣接	右側	同化パタン	DB	-						
		外形スケール	w	-						
		分割スケール	◎	-						
	左側	同化パタン	-	DB						
		外形スケール	-	w						
		分割スケール	-	◎						
対面		外形スケール	-	H						
		分割スケール	-	◎						



No.36　浅草橋駅

立面帯：浅草橋 A

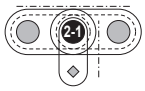
《模式図》



駅建物の立面		1								
隣接	右側	同化パタン	D							
		外形スケール	/							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	D							
		外形スケール	/							
		分割スケール	◎							
対面		外形スケール	WH							
		分割スケール	◎							

立面帯：浅草橋 B

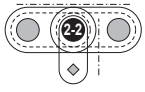
《模式図》



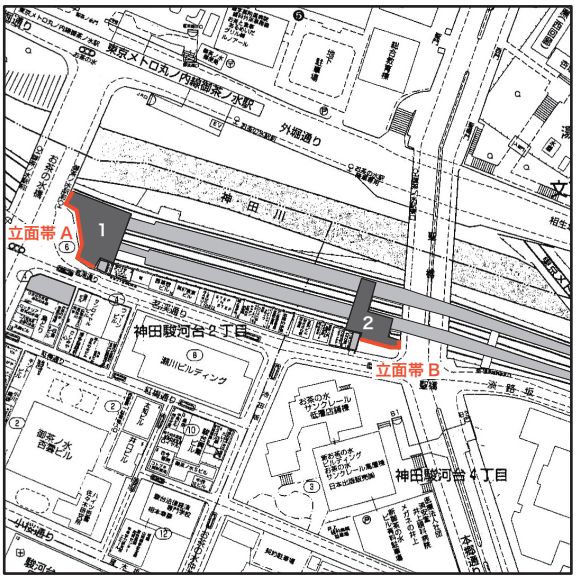
駅建物の立面		2-1								
隣接	右側	同化パタン	DB							
		外形スケール	WH							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	DB							
		外形スケール	WH							
		分割スケール	◎							
対面		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							

立面帯：浅草橋 C

《模式図》



駅建物の立面		2-2								
隣接	右側	同化パタン	DB							
		外形スケール	WH							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	DB							
		外形スケール	WH							
		分割スケール	◎							
対面		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							



No.37　御茶ノ水駅

立面帯：御茶ノ水 A

《模式図》



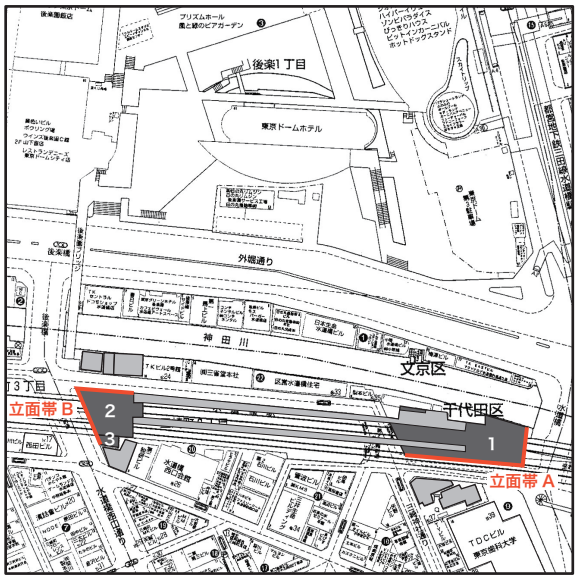
駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	H							
		分割スケール	＊							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	H							
		分割スケール	＊							

立面帯：御茶ノ水 B

《模式図》



駅建物の立面			2							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	H							
		分割スケール	＊							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.38　水道橋駅

立面帯：水道橋 A

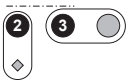
《模式図》



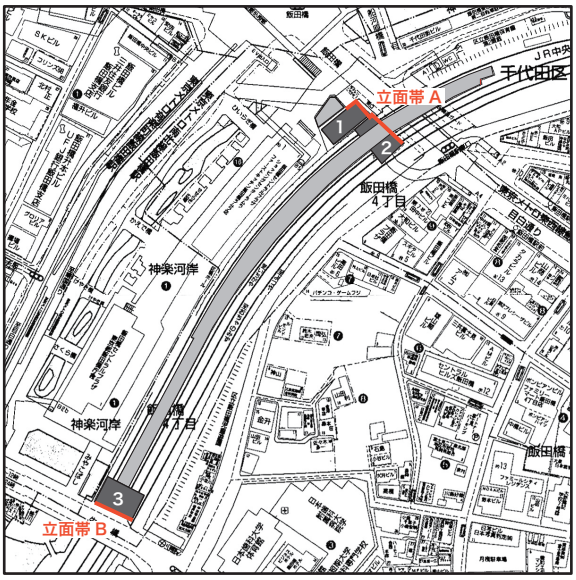
駅建物の立面		1							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	H							
	分割スケール	＊							

立面帯：水道橋 B

《模式図》



駅建物の立面		2	3						
隣接 右側	同化パタン	-	D						
	外形スケール	h	/						
	分割スケール	＊	◎						
隣接 左側	同化パタン	-	-						
	外形スケール	-	h						
	分割スケール	-	＊						
対面	外形スケール	/	-						
	分割スケール	◎	-						



No.39　飯田橋駅

立面帯：飯田橋 A

《模式図》



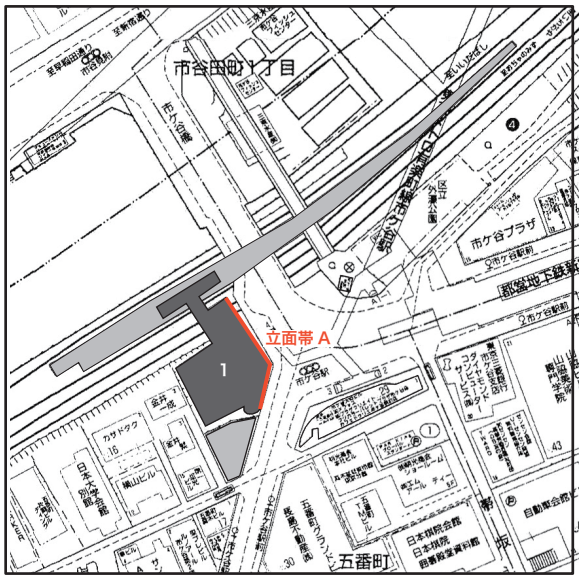
駅建物の立面			2	1						
隣接	右側	同化パタン	B	B						
		外形スケール	wh	WH						
		分割スケール	*	*						
	左側	同化パタン	-	b						
		外形スケール	-	wh						
		分割スケール	-	*						
対面		外形スケール	-	-						
		分割スケール	-	-						

立面帯：飯田橋 B

《模式図》



駅建物の立面			3							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



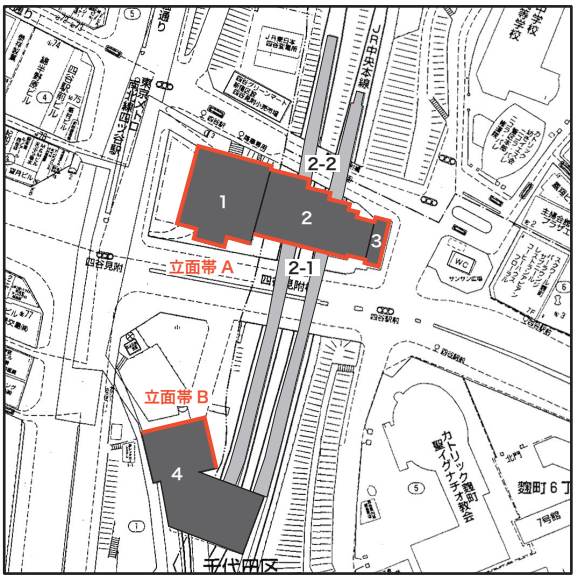
No.40　市ヶ谷駅

立面帯：市ヶ谷 A

《模式図》



駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	D							
		外形スケール	/							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.41　四ッ谷駅

立面帯：四ッ谷 A

《模式図》



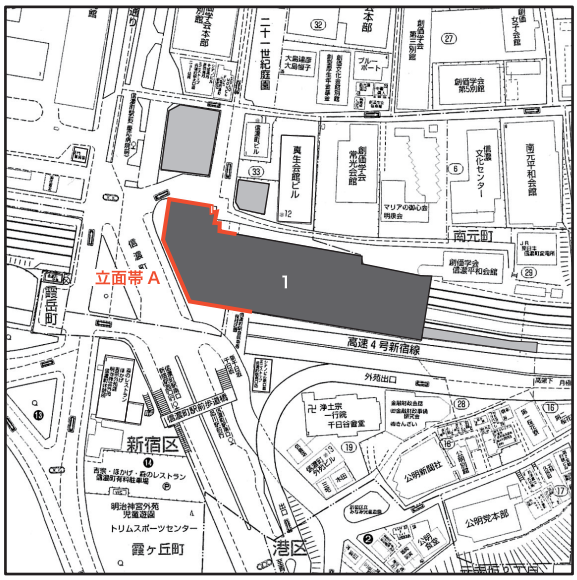
駅建物の立面			1	2-1	3	2-2				
隣接	右側	同化パタン	-	B	B	-				
		外形スケール	h	w	w	-				
		分割スケール	*	*	*	-				
	左側	同化パタン	-	-	B	B				
		外形スケール	-	h	w	w				
		分割スケール	-	*	*	*				
対面		外形スケール	-	-	-	-				
		分割スケール	-	-	-	-				

立面帯：四ッ谷 B

《模式図》

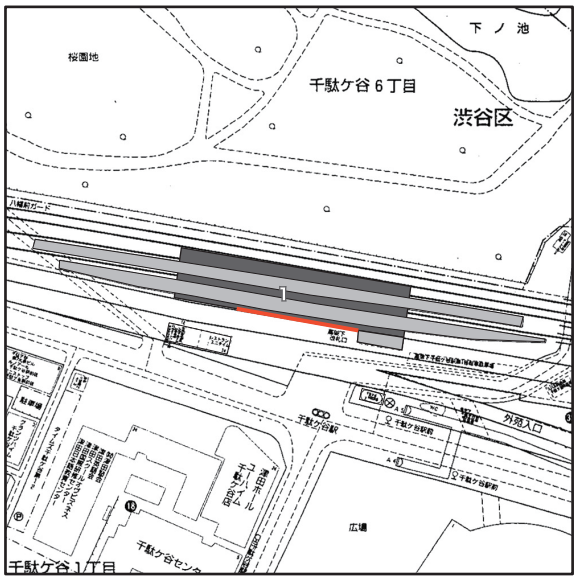


駅建物の立面			4							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.42　信濃町駅

立面帯：信濃町 A									
《模式図》 									
駅建物の立面		1							
隣接	右側 同化パタン	-							
	右側 外形スケール	-							
	右側 分割スケール	-							
	左側 同化パタン	-							
	左側 外形スケール	-							
	左側 分割スケール	-							
対面	外形スケール	WH							
	分割スケール	◎							



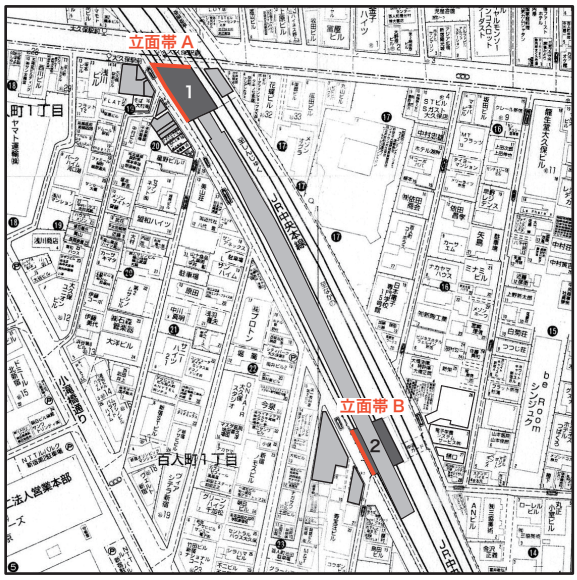
No.43　千駄ヶ谷駅

立面帯：千駄ヶ谷 A

《模式図》



駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	D							
		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.44　大久保駅

立面帯：大久保 A

《模式図》



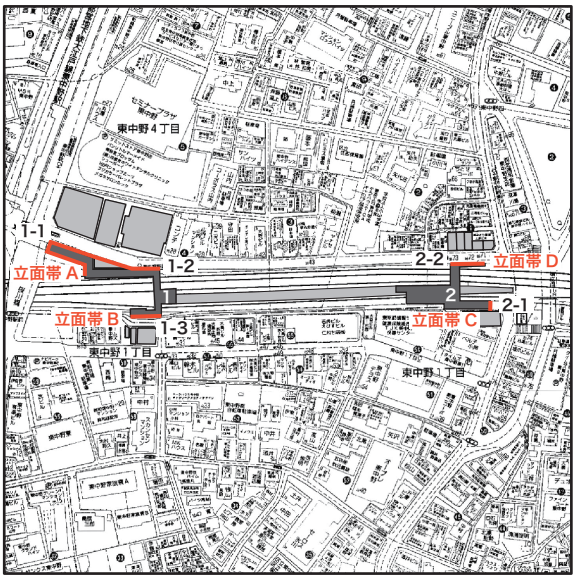
駅建物の立面			1							
隣接	右側	同化パタン	D							
		外形スケール	H							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	H							
		分割スケール	＊							

立面帯：大久保 B

《模式図》



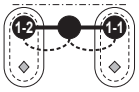
駅建物の立面			2							
隣接	右側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
	左側	同化パタン	-							
		外形スケール	-							
		分割スケール	-							
対面		外形スケール	WH							
		分割スケール	◎							



No.45　東中野駅

立面帯：東中野 A

《模式図》



駅建物の立面		1-2		1-1					
隣接 右側	同化パタン	DB		-					
	外形スケール	WH		-					
	分割スケール	◎		-					
隣接 左側	同化パタン	-		DB					
	外形スケール	-		WH					
	分割スケール	-		◎					
対面	外形スケール	W		W					
	分割スケール	◎		◎					

立面帯：東中野 B

《模式図》



駅建物の立面		1-3							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	WH							
	分割スケール	◎							

立面帯：東中野 C

《模式図》



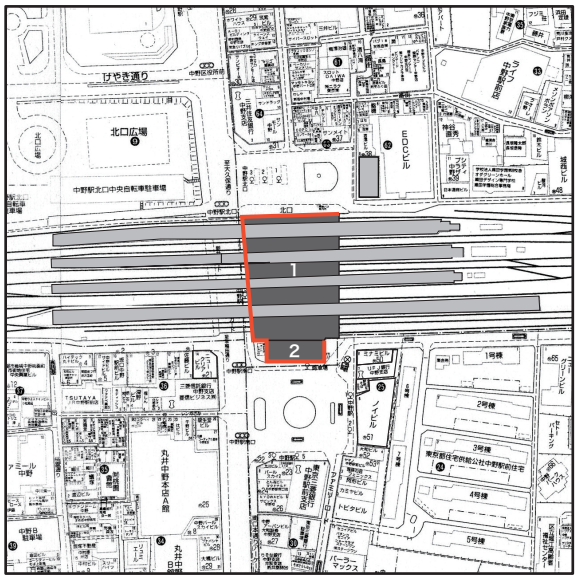
駅建物の立面		2-1							
隣接 右側	同化パタン	B							
	外形スケール	W							
	分割スケール	*							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	-							
	分割スケール	-							

立面帯：東中野 D

《模式図》



駅建物の立面		2-2							
隣接 右側	同化パタン	-							
	外形スケール	-							
	分割スケール	-							
隣接 左側	同化パタン	-							
	外形スケール								
	分割スケール	-							
対面	外形スケール	/							
	分割スケール	◎							



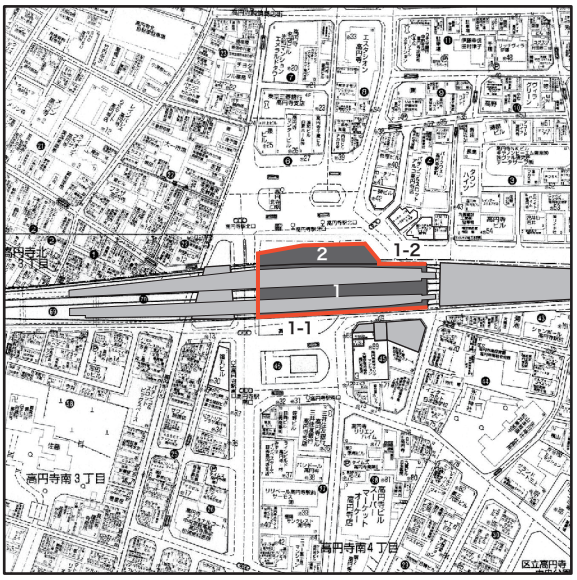
No.46　中野駅

立面帯：中野 A

《模式図》



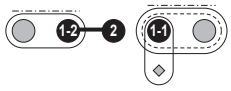
駅建物の立面			1	2						
隣接	右側	同化パタン	-	-						
		外形スケール	-	-						
		分割スケール	-	-						
	左側	同化パタン	-	-						
		外形スケール	-	-						
		分割スケール	-	-						
対面		外形スケール	-	/						
		分割スケール	-	◎						



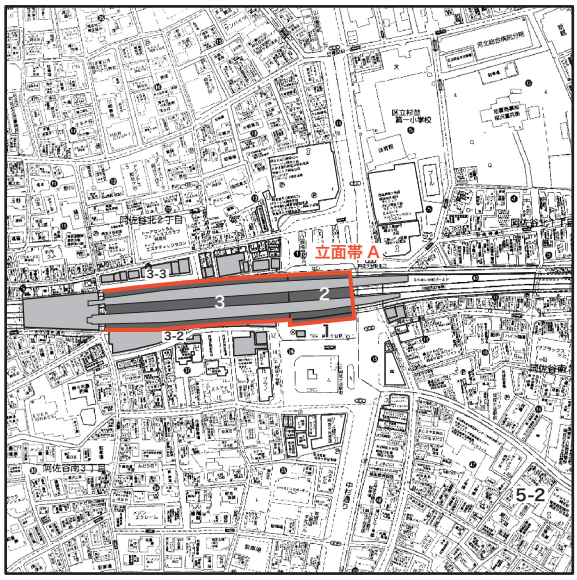
No.47　高円寺駅

立面帯：高円寺 A

《模式図》



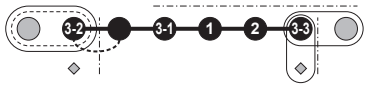
駅建物の立面			1-2	2	1-1					
隣接	右側	同化パタン	D	-	DB					
		外形スケール	/	/	WH					
		分割スケール	◎	＊	◎					
	左側	同化パタン	D	D	-					
		外形スケール	H	/	/					
		分割スケール	◎	◎	＊					
対面		外形スケール	-	-	/					
		分割スケール	-	-	◎					



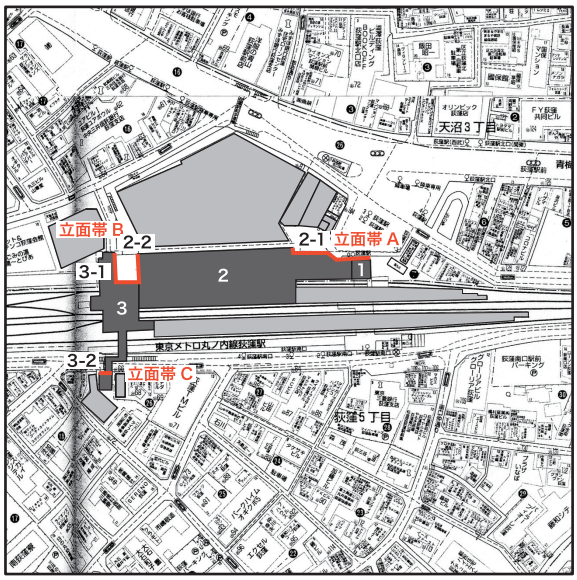
No.48　阿佐ヶ谷駅

立面帯：阿佐ヶ谷 A

《模式図》



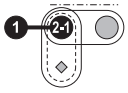
駅建物の立面		3-2		3-1	1	2	3-3		
隣接 右側	同化パタン	DB		D	D	D	D		
	外形スケール	W		h	h	h	H		
	分割スケール	◎		◎	◎	◎	◎		
隣接 左側	同化パタン	DB		D	D	D	D		
	外形スケール	W		/	h	h	h		
	分割スケール	◎		◎	◎	◎	◎		
対面	外形スケール	H		-	-	-	H		
	分割スケール	*		-	-	-	◎		



No.49　荻窪駅

立面帯：荻窪 A

《模式図》



駅建物の立面			1	2-1						
隣接	右側	同化パタン	D	D						
		外形スケール	/	H						
		分割スケール	◎	◎						
	左側	同化パタン	-	D						
		外形スケール	-	/						
		分割スケール	-	◎						
対面		外形スケール	-	W						
		分割スケール	-	◎						

立面帯：荻窪 B

《模式図》



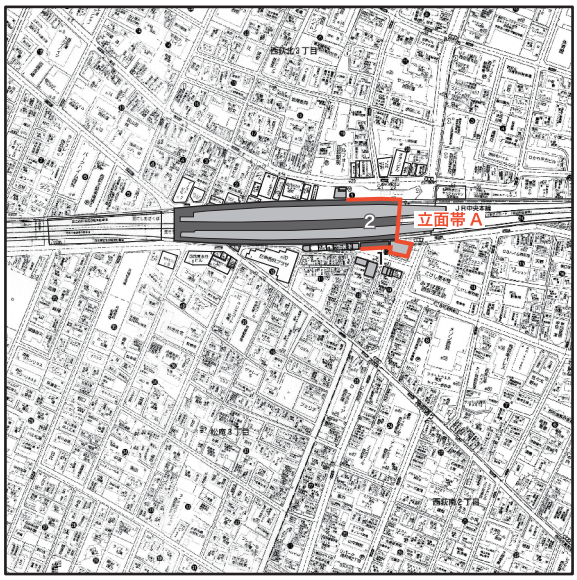
駅建物の立面			2-2	3-1						
隣接	右側	同化パタン	DB	D						
		外形スケール	w	/						
		分割スケール	◎	◎						
	左側	同化パタン	D	DB						
		外形スケール	H	w						
		分割スケール	◎	◎						
対面		外形スケール	-	-						
		分割スケール	-	-						

立面帯：荻窪 C

《模式図》



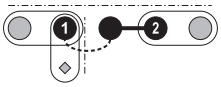
駅建物の立面			3-2							
隣接	右側	同化パタン	DB							
		外形スケール	W							
		分割スケール	◎							
	左側	同化パタン	DB							
		外形スケール	W							
		分割スケール	◎							
対面		外形スケール	-							
		分割スケール	-							



No.50　西荻窪駅

立面帯：西荻窪 A

《模式図》

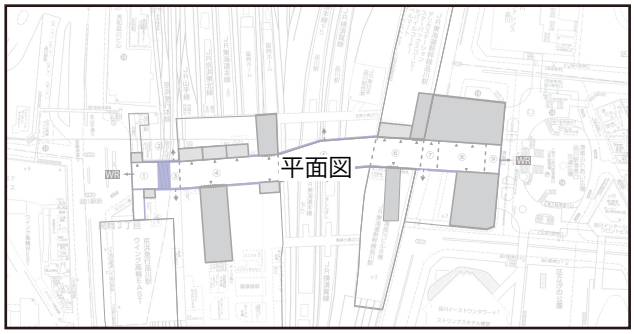


駅建物の立面			1		2					
隣接	右側	同化パタン	B		D					
		外形スケール	WH		H					
		分割スケール	＊		◎					
	左側	同化パタン	D		D					
		外形スケール	H		H					
		分割スケール	◎		◎					
対面		外形スケール	H		-					
		分割スケール	◎		-					

3章　資料編

〈凡例〉

資料番号　駅名
no.○○　○○　通過空間数 1



通過空間名
品川　単位空間数 9　連続単位数 1

単位空間 No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
基本パタン		M2'	N	◆ A2'	M2'	◆ A2'	◆ M2'	A2'	A2'	◆ A2'
形状		□	|	|	—	—	—	|	□	|
付帯空間数	大	1	0	2	2	2	2	2	2	2
	中小	2	0	0	2	0	2	0	0	0



連続単位名　品川 1位M

通過空間の連続パタン　《端部＋間接連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

ⓝo. ：単位空間 No.

▲ ：付帯空間への出入口

：深度大の付帯空間

：深度中の付帯空間

：深度小の付帯空間

：外部空間との視線的な連続

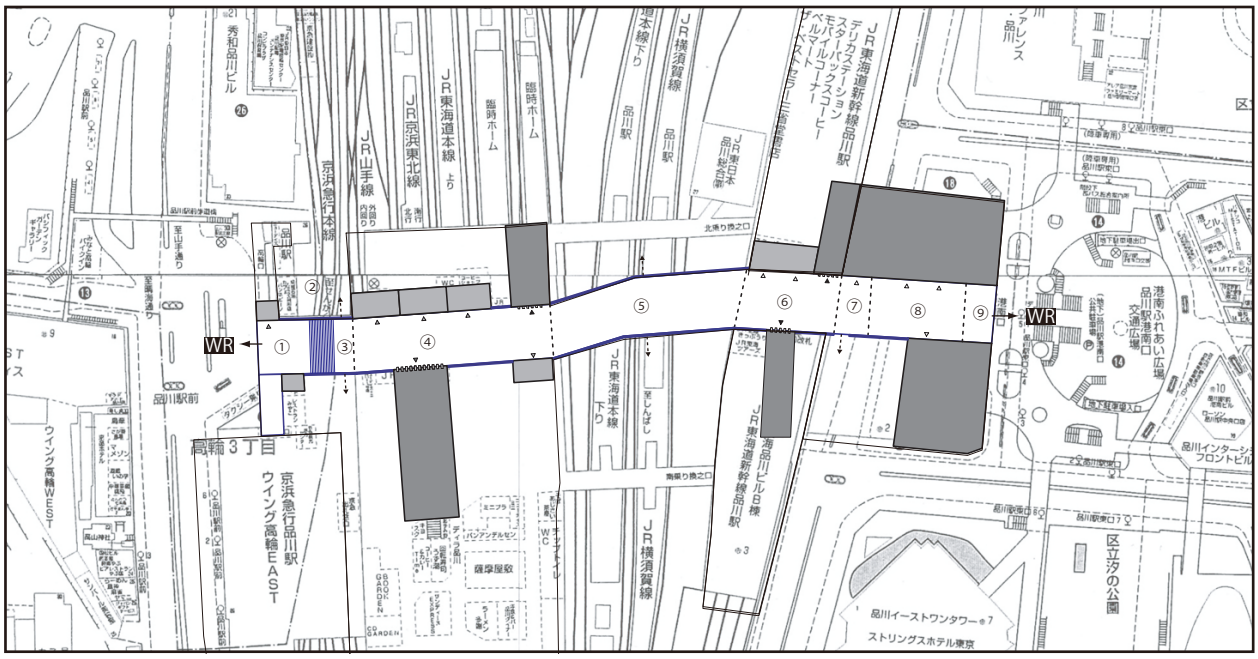
WVRS：端部における都市空間との連続
［W：ファサードの連続　R：高さスケールの連続
V：かたちの連続　S：幅スケールの連続］

：付帯パタンが一致（基調連続）

：付帯空間の深度が一致

：付帯空間の数と位置が一致

no.01　品川　　通過空間数１



深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

品川　　単位空間数９　　連続単位数１

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
基本パタン		M2’	N	◆ A2’	M2’	◆ A2’	◆ M2’	A2’	A2’	◆ A2’
形状		□	|	|	ー	ー	ー	|	□	|
付帯空間数	大	1	0	2	2	2	2	2	2	2
	中小	2	0	0	2	0	2	0	0	0

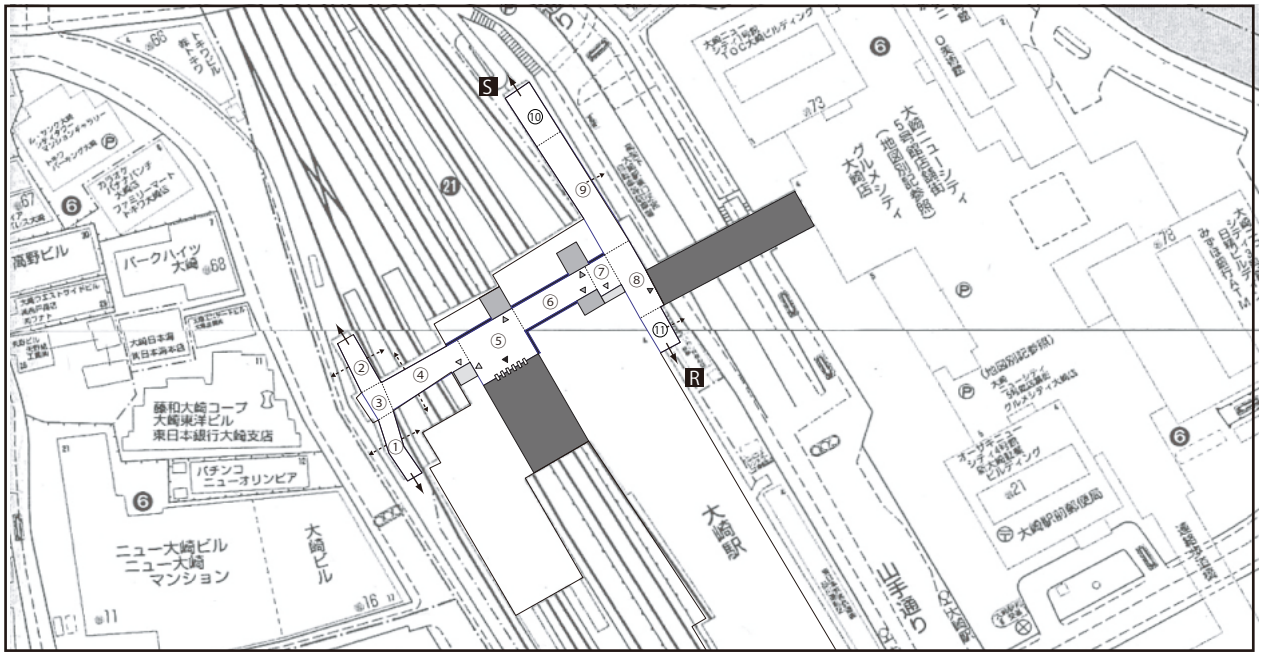
WR M2’ N A2’ M2’ A2’ M2’ A2’ A2’ A2’ **WR**

連続単位名　　品川１　10M

通過空間の連続パタン　《端部連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.02　大崎　通過空間数 1

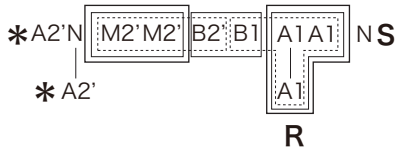


深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

大崎　単位空間数 12　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
基本パタン		◆ A2’	◆ A2’	N	◆ M2’	◇ M2’	B2’	B1	◇ A1	A1	N	◆ A1
形状		–	–	|	–	□	–	□	|	–	–	–
付帯空間数	大	2	2	0	2	1	0	0	1	1	0	1
	中小	0	0	0	1	2	2	1	0	0	0	0

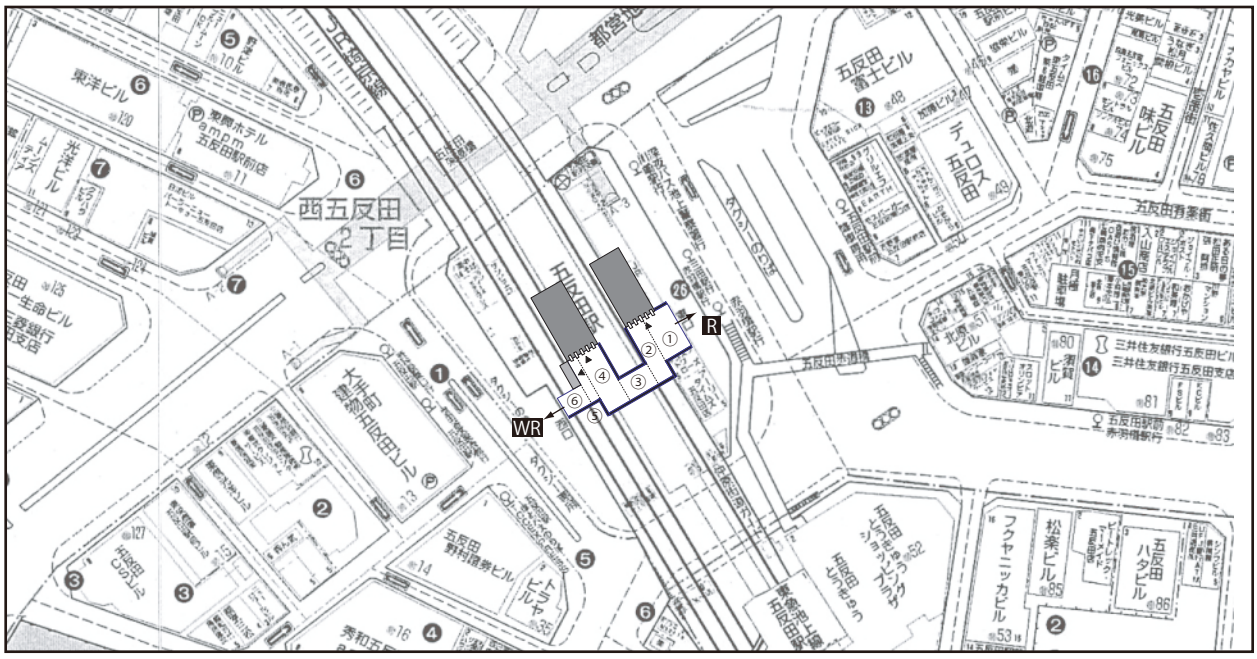


連続単位名　大崎 1　10M

通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《空間スケールのみ》

no.03　五反田　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

五反田　単位空間数 6　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		A1	◆◇ M2	◆ A1	N	◆ A1	A1
形状		□	|	|	□	|	□
付帯空間数	大	1	1	1	0	1	1
	中小	0	1	0	0	0	0

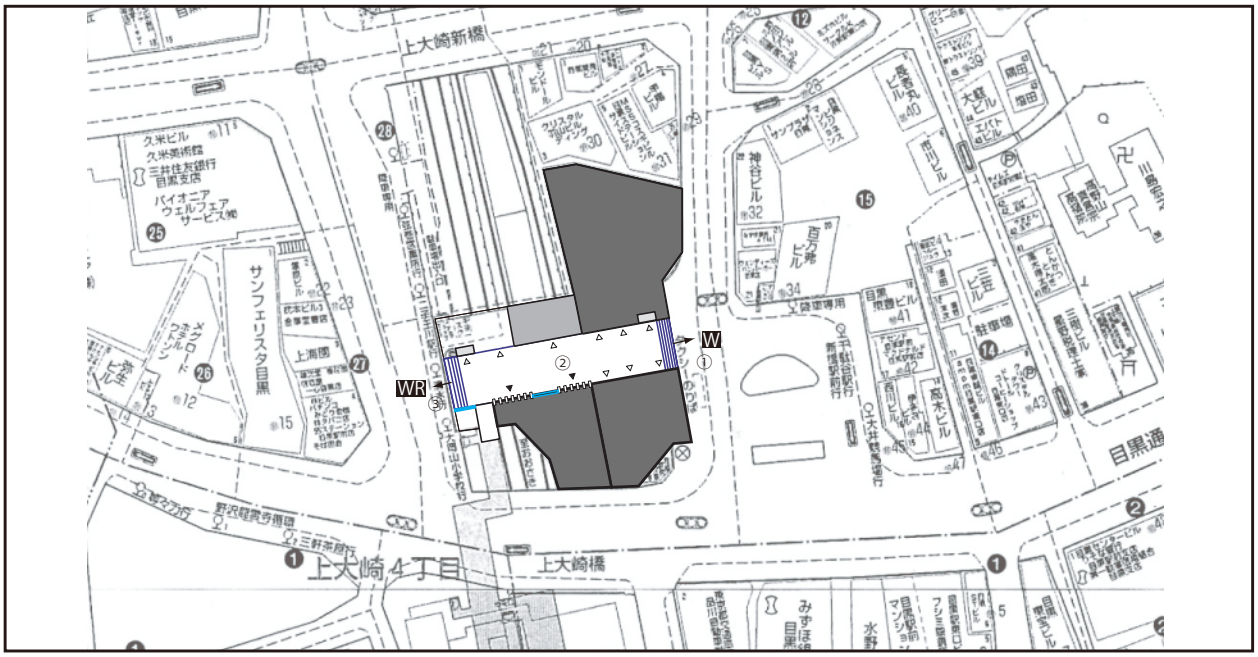
WR A1 A1 N A1M2 A1 R

連続単位名　五反田 1　イA

通過空間の連続パタン　《端部連続》

端部における都市空間の連続　《壁面 + スケール》

no.04　目黒　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

目黒　単位空間数 3　連続単位数 1

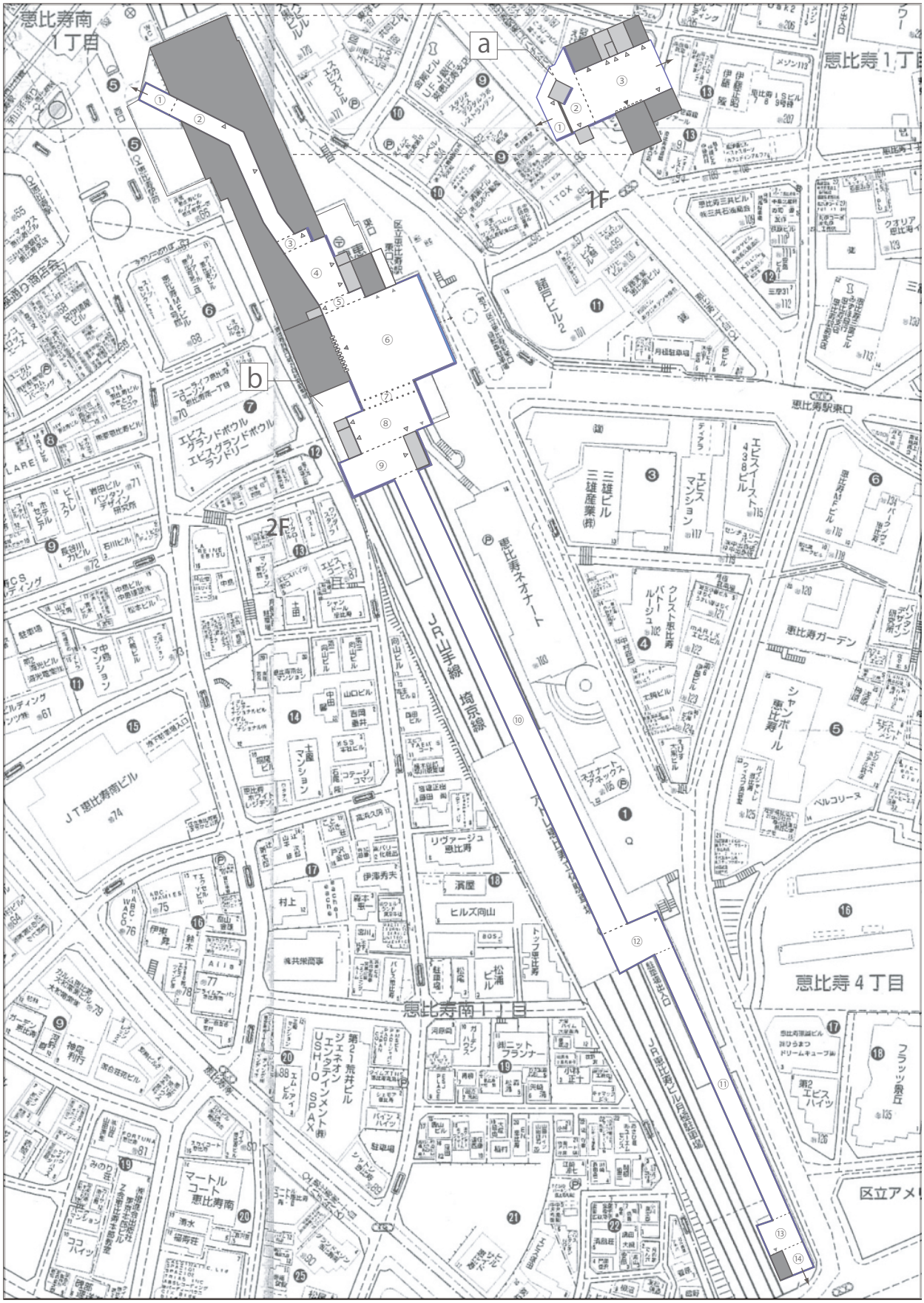
単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		M2’	◆ M2’	◆ M2’
形状		□	|	|
付帯空間数	大	1	3	1
	中小	1	1	1



連続単位名	目黒 1　イM

通過空間の連続パタン	《端部連続》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.05　恵比寿 通過空間数２



通過空間名

恵比寿 a　単位空間数 3　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		◆ B1	◆ A1	◆◇ M2
形状		|	|	|
付帯空間数	大	0	1	1
	中小	1	0	1

＊ B1　B1　M2’ **WR**

連続単位名　　恵比寿 a1 **イ B**

通過空間の連続パタン	《端部連続》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

通過空間名

恵比寿 b　　単位空間数 14　　連続単位数 1

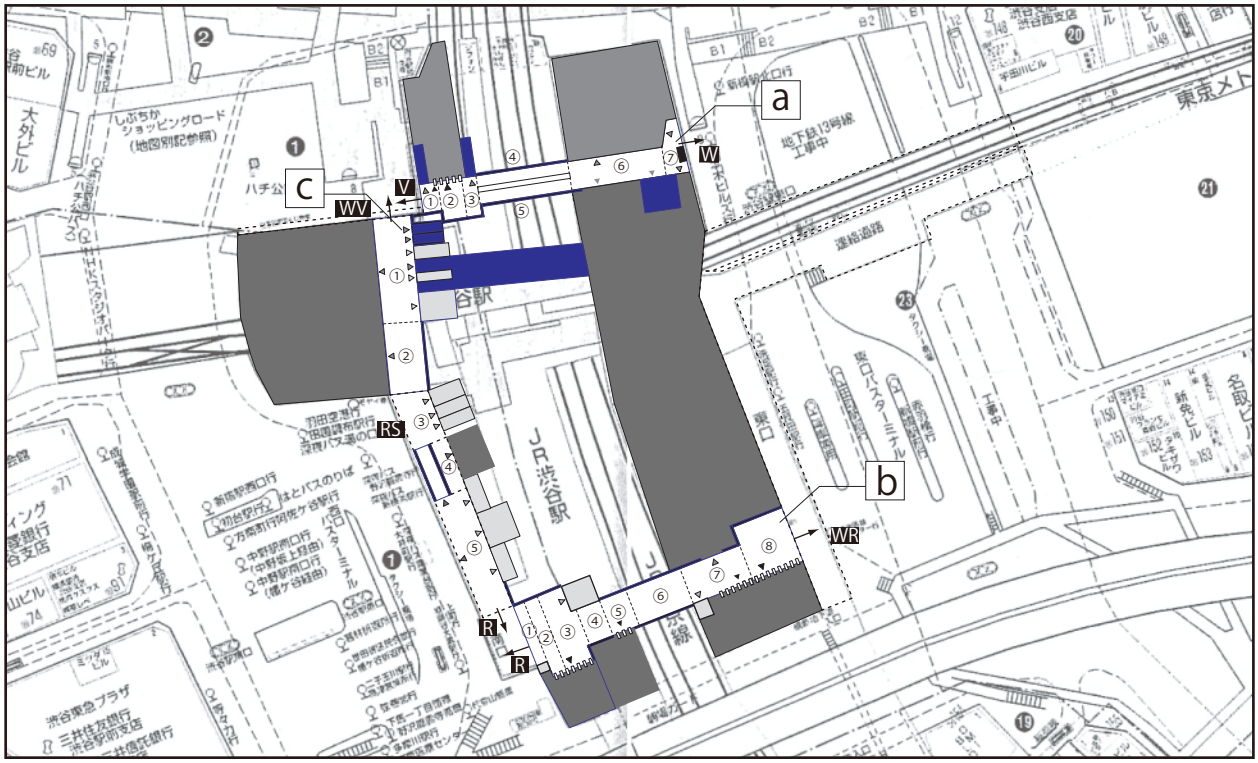
単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
基本パタン		◆ A2’	◆ M2’	◆ M2	◆◇ M2’	B1	◆◇ A2’	N	◆◇ M2	B1	N	A1	N	◇ A1	N
形状		―／	―	□	□	□	□	□	□	□	―	□	―	□	□
付帯空間数	大	2	1	1	1	0	4	0	1	0	0	1	0	1	0
	中小	0	7	1	4	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0

＊ A2’　M2’　M2 M2’　B1　A2’　N M2 B1　N　A1 N　A1 N ＊

連続単位名　　恵比寿 b1 **口 A**

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《なし》

no.06 渋谷　　通過空間数 4



通過空間名

渋谷 a　　単位空間数 7　　連続単位数 2

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
基本パタン		◆ A2	◆ A1	◆ A1	N	N	◆ A2’	◆ A2’
形状		|	|	|	|	—	—	|
付帯空間数	大	2	1	1	0	0	3	2
	中小	0	0	0	0	0	0	0



連続単位名	渋谷 a1　仏A	渋谷 a2　イA

通過空間の連続パタン	《端部＋中央連続》	端部における都市空間の連続	《壁面の性質のみ》

通過空間名

渋谷 b　　単位空間数 8　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
基本パタン		◆ B1	◆ A1	◆◇ M2	N	◆ A1	N	M2’	◆ A1
形状		｜	｜	｜	□	□	□	□	□
付帯空間数	大	0	1	1	0	1	0	2	1
	中小	1	0	1	0	0	0	1	0

R B1 A1 M2 N A1 N M2’ A1 **WR**

連続単位名　渋谷 b1　**口M**

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

通過空間名

渋谷 c　　単位空間数 5　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		◆ M2’	◆ A1	◆ M2’	◆◇ A1	◆ M2’
形状		―	―	□	―	―
付帯空間数	大	3	1	1	1	2
	中小	4	0	3	0	3

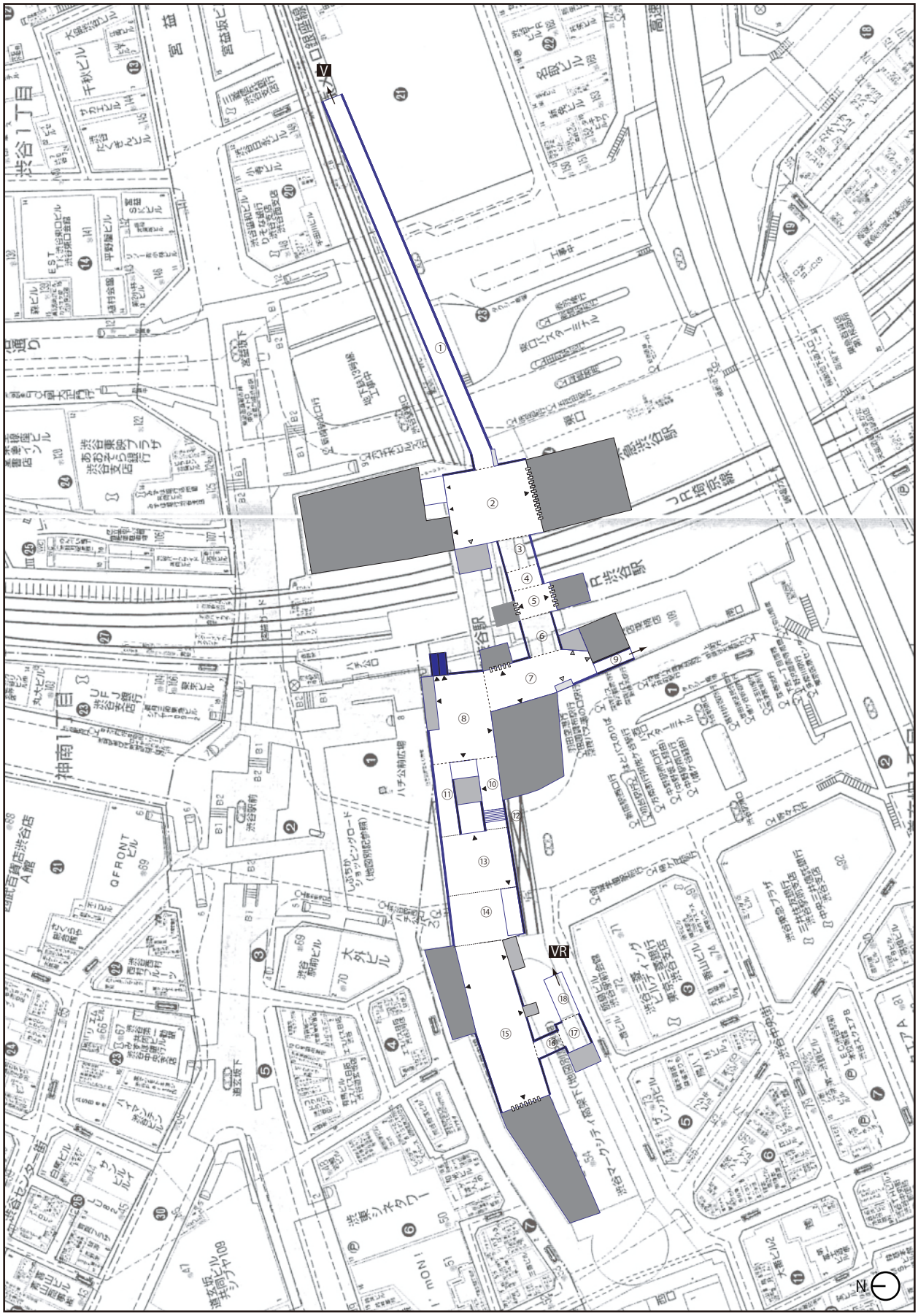
WV M2’ A1 M2’ A1 M2’ **R**

連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

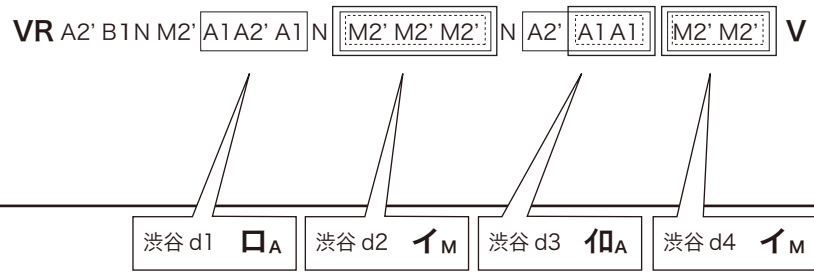
no.06　渋谷　通過空間数 4



通過空間名

渋谷 d　　単位空間数 17　　連続単位数 4

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
基本パタン		A2’	B1	N	◇ M2’	A1	◆◇ A2’	◆ A1	N	◆ M2’	◇ M2’	◆◇ M2’	N	◆ A2’	◆ A1	◆ A1	◆◇ M2’	M2’
形状		—	□	□	—	□	□	□	—	—	—	—	□	□	□	□	□	—
付帯空間数	大	2	0	0	2	1	3	1	0	1	3	5	0	2	1	1	4	2
	中小	0	1	0	2	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	0	1	1



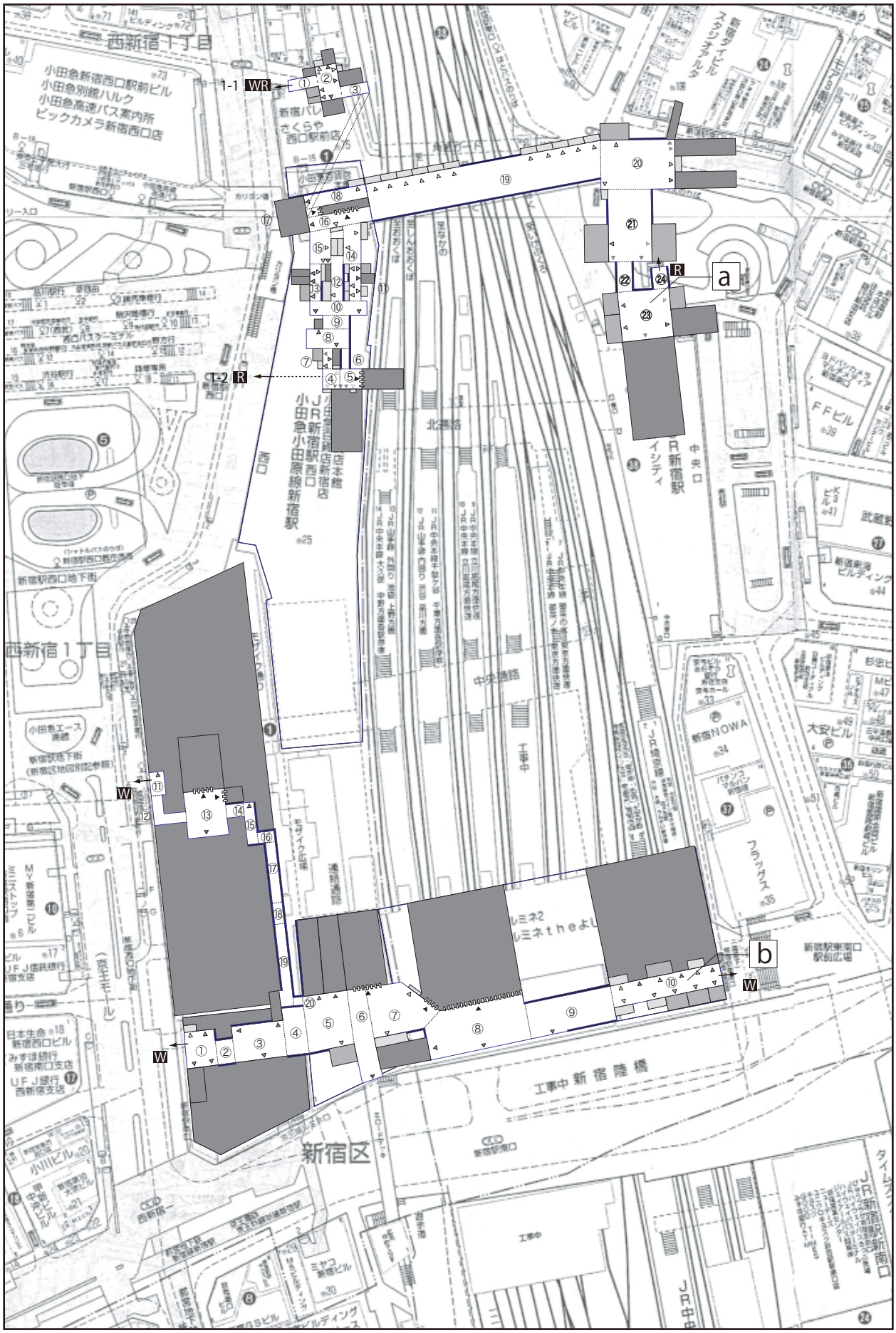
連続単位名

渋谷 d1 口A　渋谷 d2 イM　渋谷 d3 仰A　渋谷 d4 イM

通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

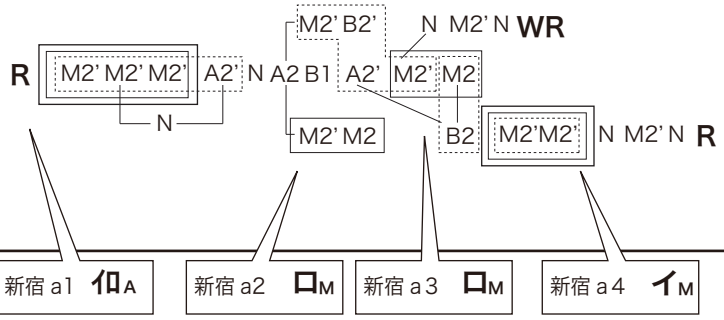
no.07　新宿　通過空間数 2


1-1 WR
1-2 R
a
b
R
W
W
W
西新宿１丁目
小田急新宿西口駅前ビル
小田急別館ハルク
小田急高速バス案内所
ビックカメラ新宿西口店
新宿バルタ
さくらや西口駅前店
JR新宿駅西口
小田急小田原線新宿駅
JR新宿駅西口店
JR新宿駅本館
JR新宿駅南口店
北通路
中央通路
工事中
新宿NOWA
新宿駅東南口駅前広場
工事中 新宿陸橋
新宿区
新宿駅南口
新宿西口地下街
小田急エース南館
新宿駅西口地下街
（新宿区地図別記参照）
JR山手線
JR中央本線
JR中央・総武各駅停車
JR中央線快速
JR横須賀線
JR湘南新宿ライン
JR埼京線
JR高崎線
JR東北本線
JR上野東京ライン
JR常磐線
JR成田エクスプレス
JR特急あずさ・かいじ
JR特急スーパーあずさ
JR特急はまかいじ
JR特急富士回遊
JR特急ホリデー快速富士山
JR特急スーパーあずさ
JR特急ホリデー快速富士山
JR特急富士回遊
JR特急はまかいじ

通過空間名

新宿 a　　単位空間数 24　　連続単位数 3

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
基本パタン		N	◆◇ M2'	N	M2'	◆◇ M2'	N	◆ M2'	◇ A2'	N	◇ A2	M2'	B1	M2'	B2'	◆◇ M2	◆ A2'	◆ M2'	◇ M2	B2	◇ M2'	◇ M2'	N	◆◇ M2'	N
形状		—	□	—	□	□	|	|	|	|	|	—	—	—	□	—	□	—	—	—	□	□	—	□	□
付帯空間数	大	0	4	0	1	3	0	1	3	0	2	2	0	1	0	1	2	1	0	0	3	2	0	2	0
	中小	0	4	0	2	1	0	2	0	0	0	2	1	5	2	2	0	1	1	11	3	2	0	3	0



連続単位名　新宿 a1 仰A　新宿 a2 口M　新宿 a3 口M　新宿 a4 イM

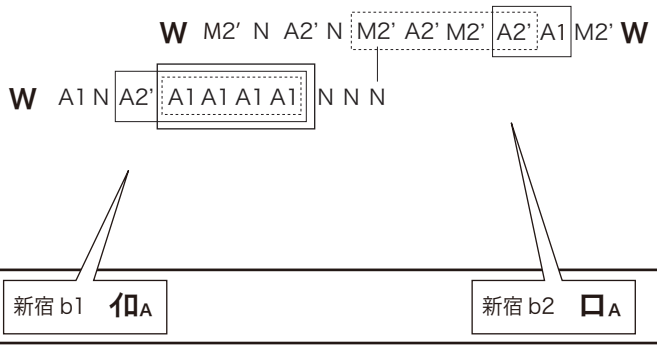
通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

通過空間名

新宿 b　　単位空間数 20　　連続単位数 3

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
基本パタン		◆ M2'	N	◆◇ A2'	N	◆◇ M2'	◆ A2'	M2'	◆◇ A2'	◆ A1	◆ M2'	A1	N	◆◇ A2'	A1	◆ A1	◇ A1	A1	N	N	N
形状		□	□	□	|	□	|	□	—	—	—	□	—	□	□	—	□	—	—	—	□
付帯空間数	大	3	0	3	0	3	2	2	3	1	3	1	0	4	1	1	1	1	0	0	0
	中小	1	0	0	0	1	0	2	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

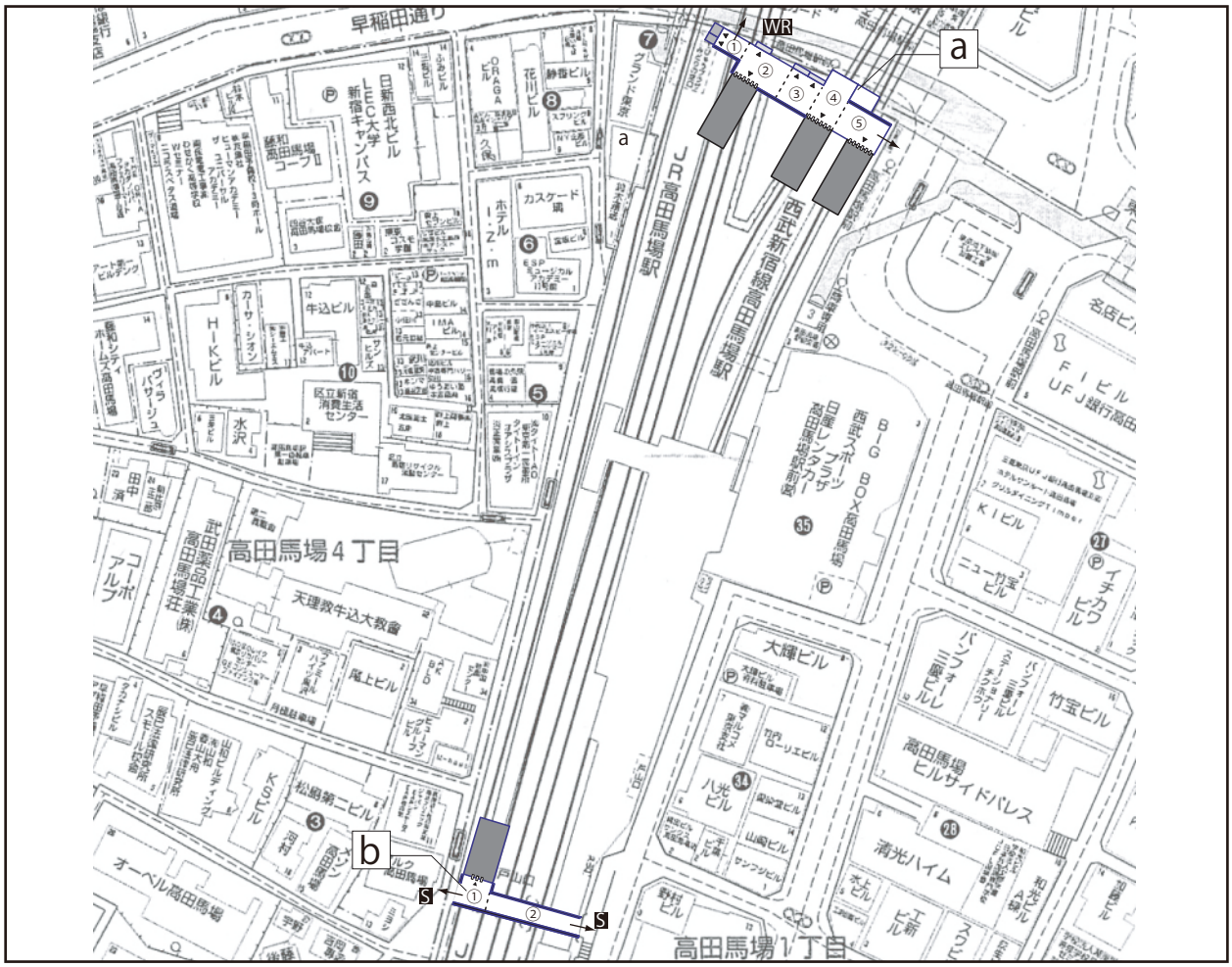


連続単位名　新宿 b1 仰A　新宿 b2 口A

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面の性質のみ》

no.08　高田馬場　　通過空間数 2



通過空間名

高田馬場 a　単位空間数 5　連続単位数 0

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		◆ B2	M2’	◆ B2	◆◇ A2’	A1
形状		□	□	□	□	―
付帯空間数	大	0	2	0	3	1
	中小	2	1	2	0	0

WR B2 M2’ B2 A2’ A1 ＊

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

通過空間名

高田馬場 b　単位空間数 2　連続単位数 0

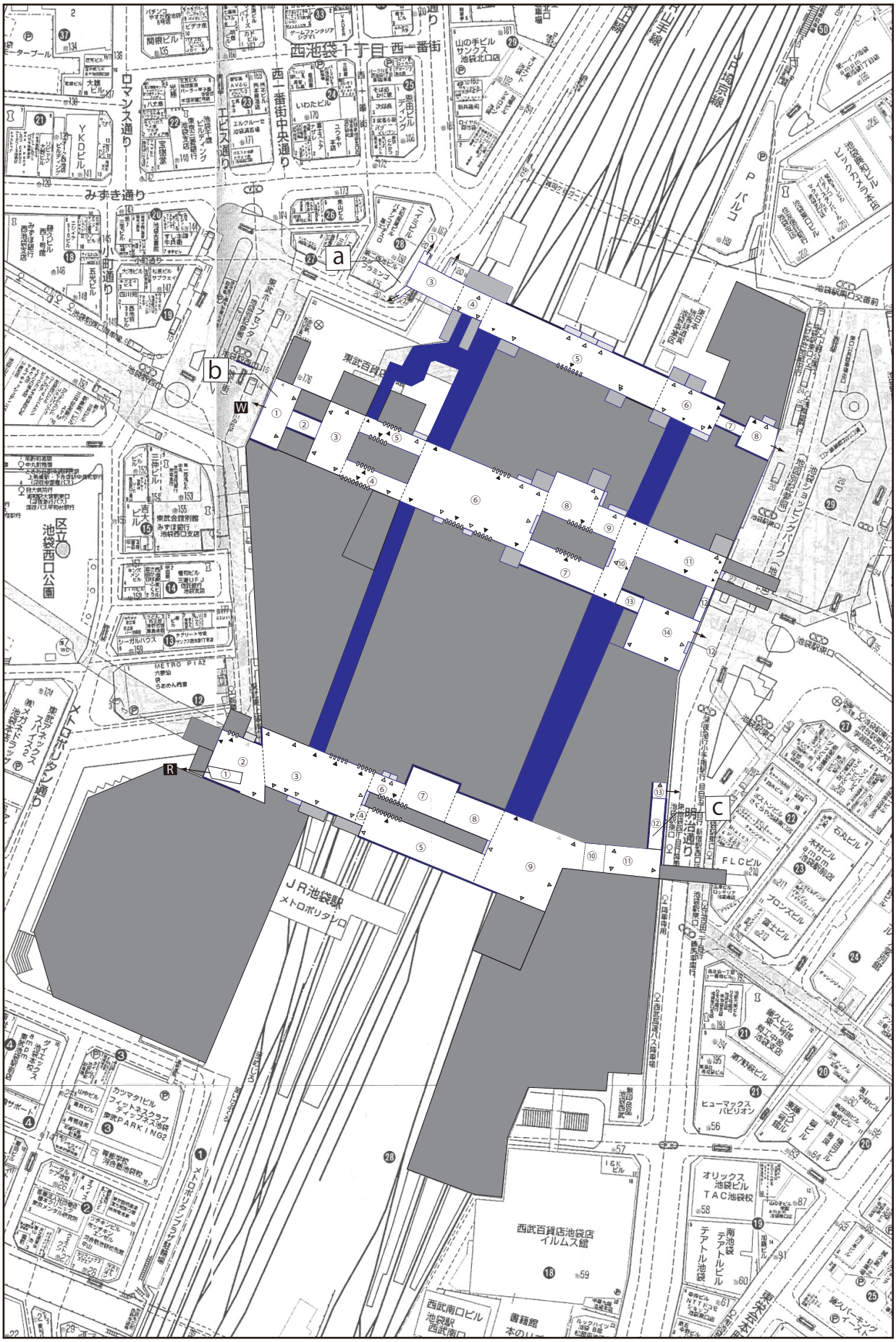
単位空間　No.		①	②
基本パタン		A1	N
形状		|	|
付帯空間数	大	1	0
	中小	0	0

S A1 N **S**

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《空間スケールのみ》

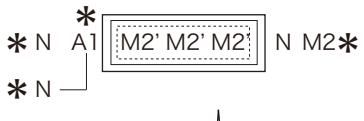
no.09　池袋　通過空間数３



通過空間名

池袋 a　　単位空間数 13　　連続単位数 2

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
基本パタン		N	N	A1	◆ M2’	M2’	◆◇ M2’	N	◆ M2
形状		—	—	—	□	—	□	—	□
付帯空間数	大	0	0	1	1	2	3	0	1
	中小	0	0	0	3	6	4	0	1



連続単位名　池袋 c1　イM

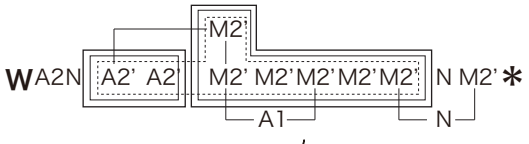
通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《なし》

通過空間名

池袋 b　　単位空間数 14　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
基本パタン		◇ A2	N	◆◇ A2’	A2’	◆ M2’	◆◇ M2’	◆ A1	◇ M2’	M2’	◆◇ M2’	◆◇ M2’	N	N	◆◇ M2’
形状		|	□	□	—	—	□	—	□	□	|	—	—	□	□
付帯空間数	大	3	0	5	4	3	5	1	1	2	3	4	0	0	3
	中小	0	0	0	0	1	6	0	2	1	1	2	0	0	1



連続単位名　池袋 b1　イA

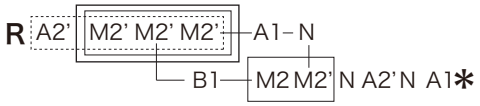
通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面の性質のみ》

通過空間名

池袋 c　単位空間数 13　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
基本パタン		◆◇ A2’	◆◇ M2’	◆◇ M2’	◆ B1	◇ M2	M2’	A1	N	◆◇ M2’	N	◆◇ A2’	N	A1
形状		□	□	―	|	―	―	□	□	□	□	―	―	□
付帯空間数	大	3	3	7	0	1	1	1	0	4	0	3	0	1
	中小	0	1	3	1	1	2	0	0	2	0	0	0	0

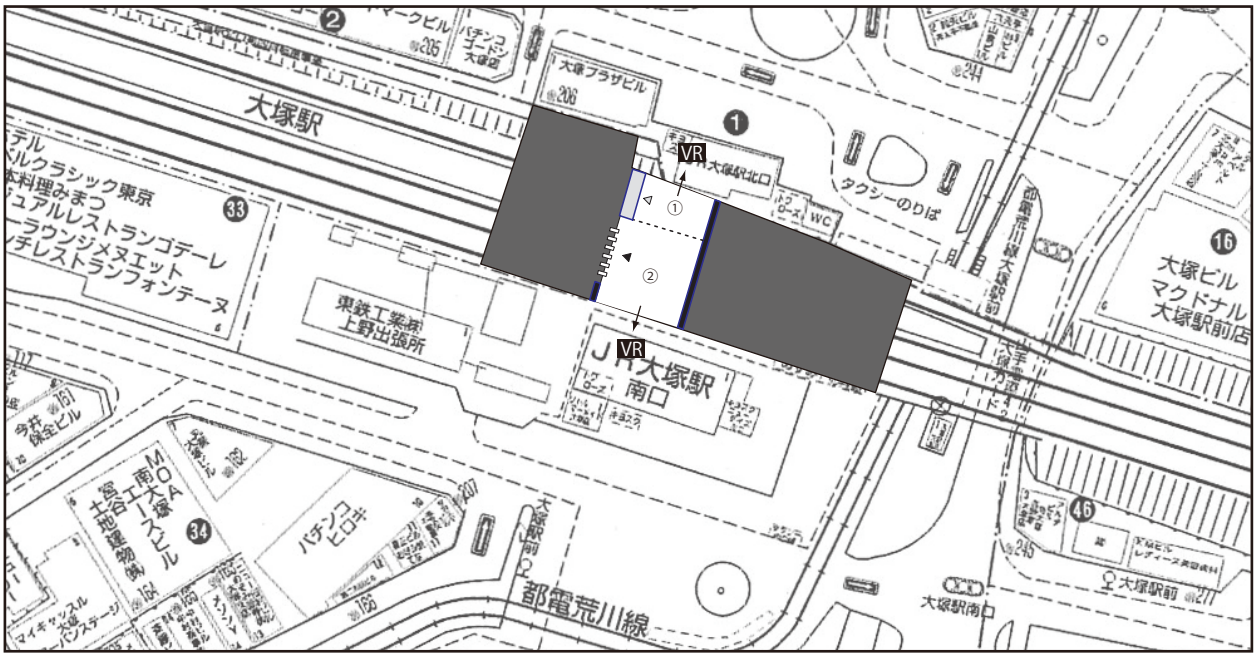


連続単位名　池袋 a 仙A　池袋 b 口M

通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《空間スケールのみ》

no.10　大塚　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

大塚　単位空間数 2　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②
基本パタン		B1	A1
形状			
付帯空間数	大	0	1
	中小	1	0

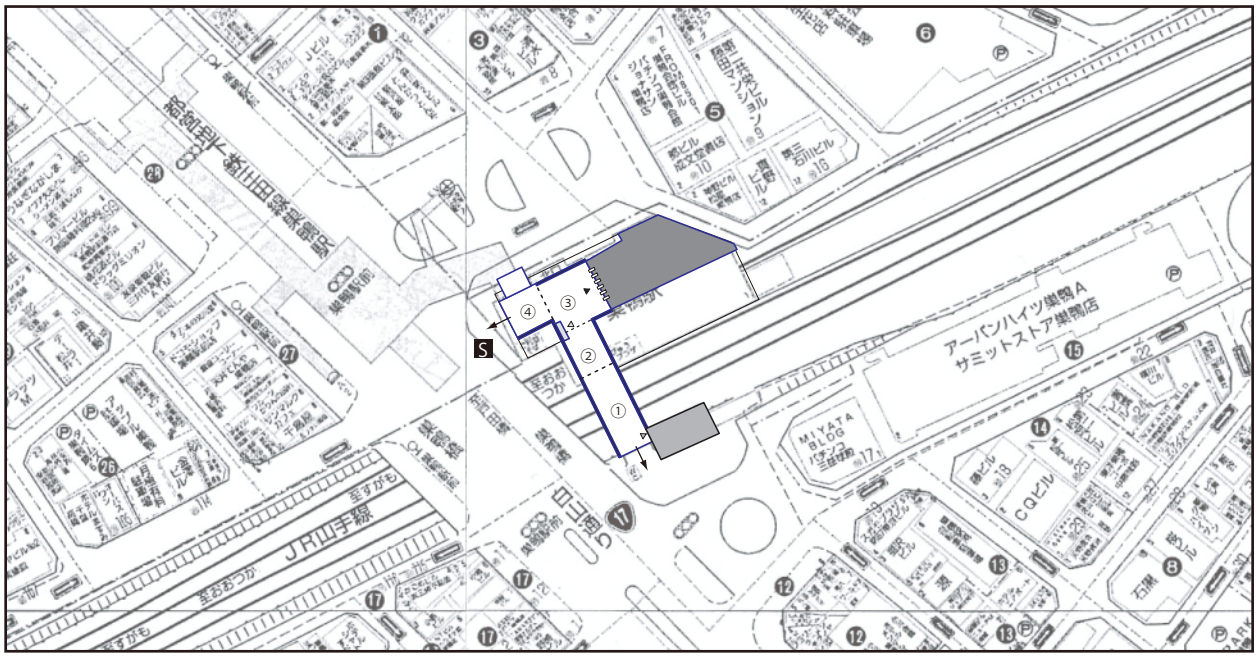
VR B1 A1 **VR**

連続単位名　大塚 a1　口M

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.10　巣鴨　通過空間数１



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

巣鴨　単位空間数４　連続単位数１

単位空間　No.		①	②	③	④
基本パタン		N	◆◇ M2’	◆◇ M2’	B1
形状		｜	｜	｜	□
付帯空間数	大	0	2	2	0
	中小	0	2	1	1

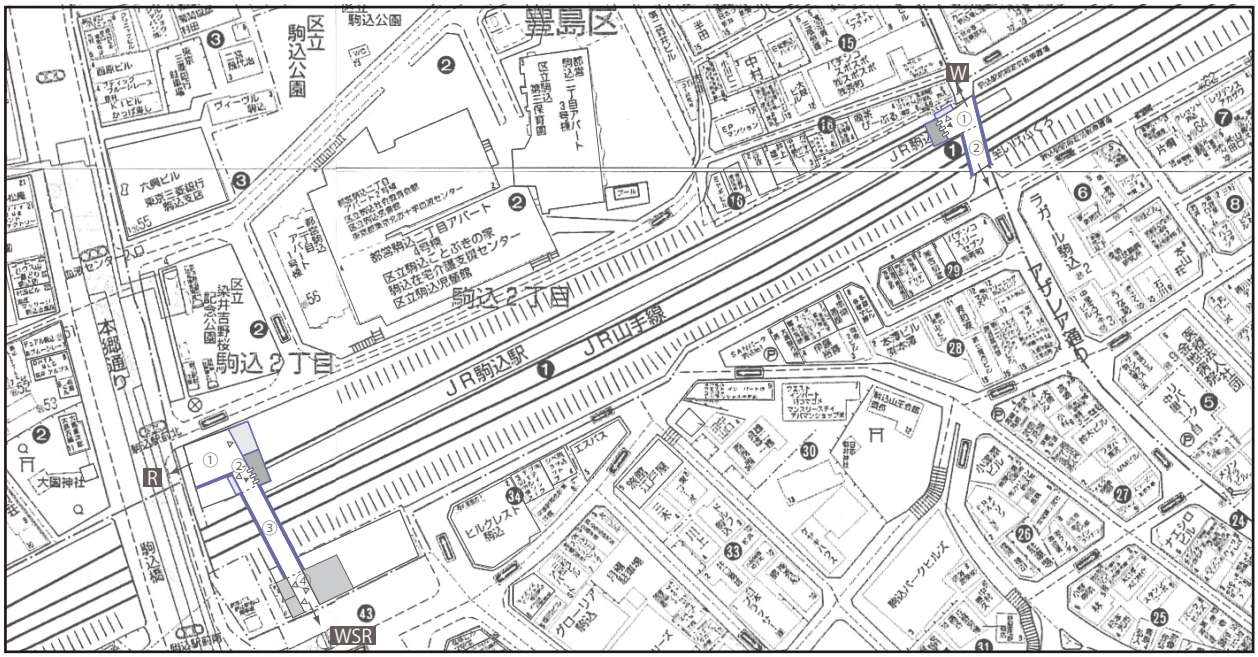
V N M2’ M2’ B1 R

連続単位名　巣鴨 a1　イ M

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.12　駒込　通過空間数 2



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

駒込 a　単位空間数 2　連続単位数 0

単位空間　No.		①	②
基本パタン		◆◇ M2	N
形状		|	—
付帯空間数	大	1	0
	中小	1	0

W M2 N ＊

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面の性質のみ》

通過空間名

駒込 b　　単位空間数 4　　連続単位数 0

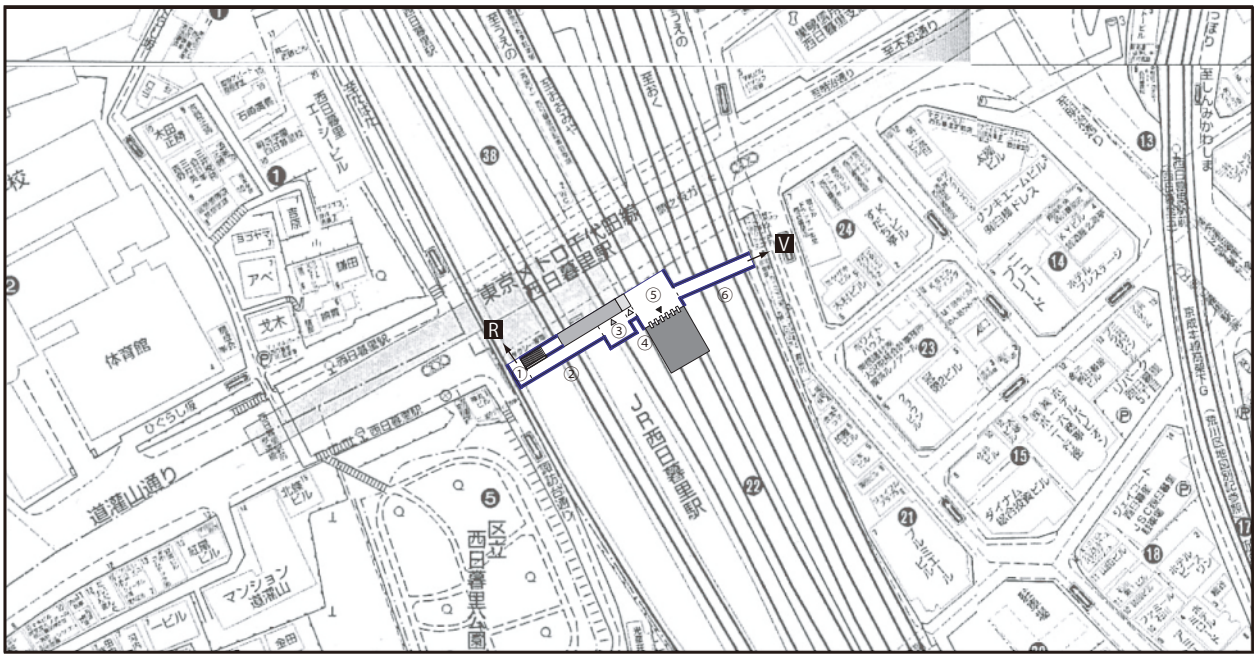
単位空間　No.		①	②	③	④
基本パタン		B1	M2’	N	B2’
形状		□	□	ー	ー
付帯空間数	大	0	1	0	0
	中小	1	1	0	3

WSR B1 M2’ N B2’ **R**

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.13　西日暮里　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

西日暮里　単位空間数 6　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		◆ A1	◆ B1	◆ B1	B1	◆ A2’	N
形状		□	—	□	□	□	—
付帯空間数	大	1	0	0	0	2	0
	中小	0	1	1	1	0	0

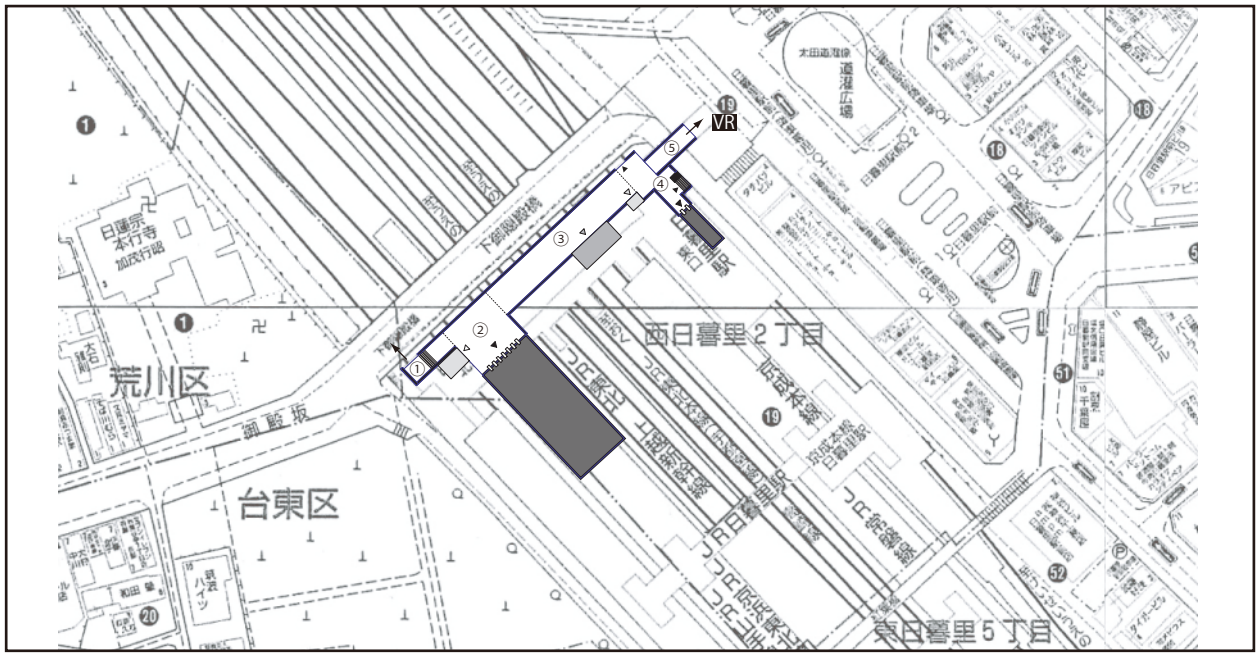
R A1 B1 B1 B1 A2’N V

連続単位名　西日暮里 1　10M

通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面 + スケール》

no.14　日暮里　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

日暮里　単位空間数 5　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		N	◆◇ M2	B2	◆◇ A2’	N
形状		―	□	―	□	―
付帯空間数	大	0	1	0	3	0
	中小	0	1	2	0	0

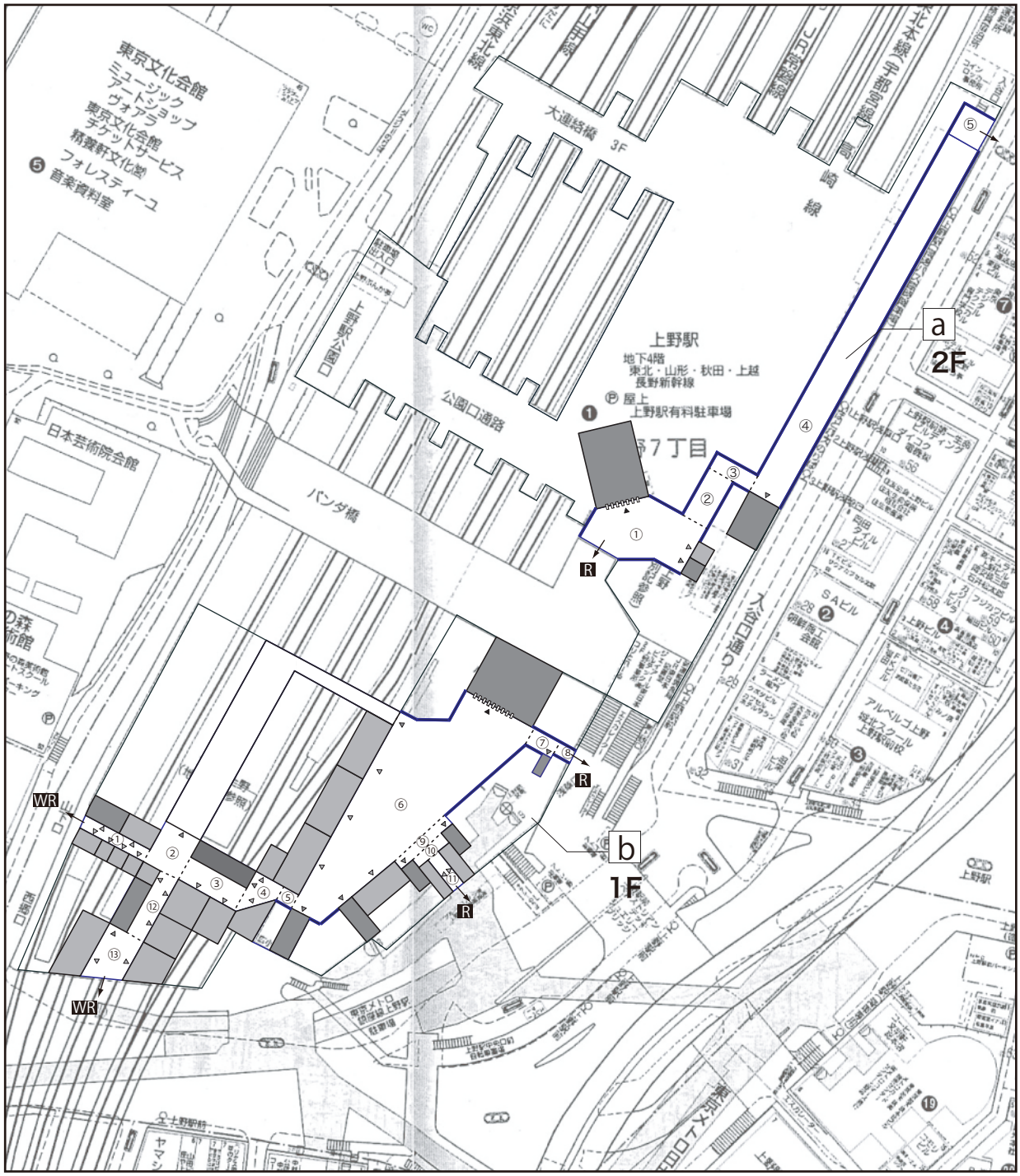
＊ N M2 B2 A2’N **VR**

連続単位名　日暮里 1　口B

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.15　上野　通過空間数 2



通過空間名

上野 a

単位空間数 5　　連続単位数 0

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		◆ M2’	N	N	A1	N
形状		□	—	—	—	□
付帯空間数	大	2	0	0	1	0
	中小	1	0	0	0	0

R M2’ N N A1N ✻

連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続《空間スケールのみ》

通過空間名

上野 b

単位空間数 13　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
基本パタン		◆ B2’	◆ A1	B2	◇ M2’	N	◇ M2’	A1	N	◆◇ A2	N	◆ B2’	◆ B2’	◆◇ M2’
形状		—	□	—	□	□	□	□	□	|	|	—	—	—
付帯空間数	大	0	1	0	1	0	4	1	0	2	0	0	0	3
	中小	6	0	2	3	0	4	0	0	0	0	2	3	2

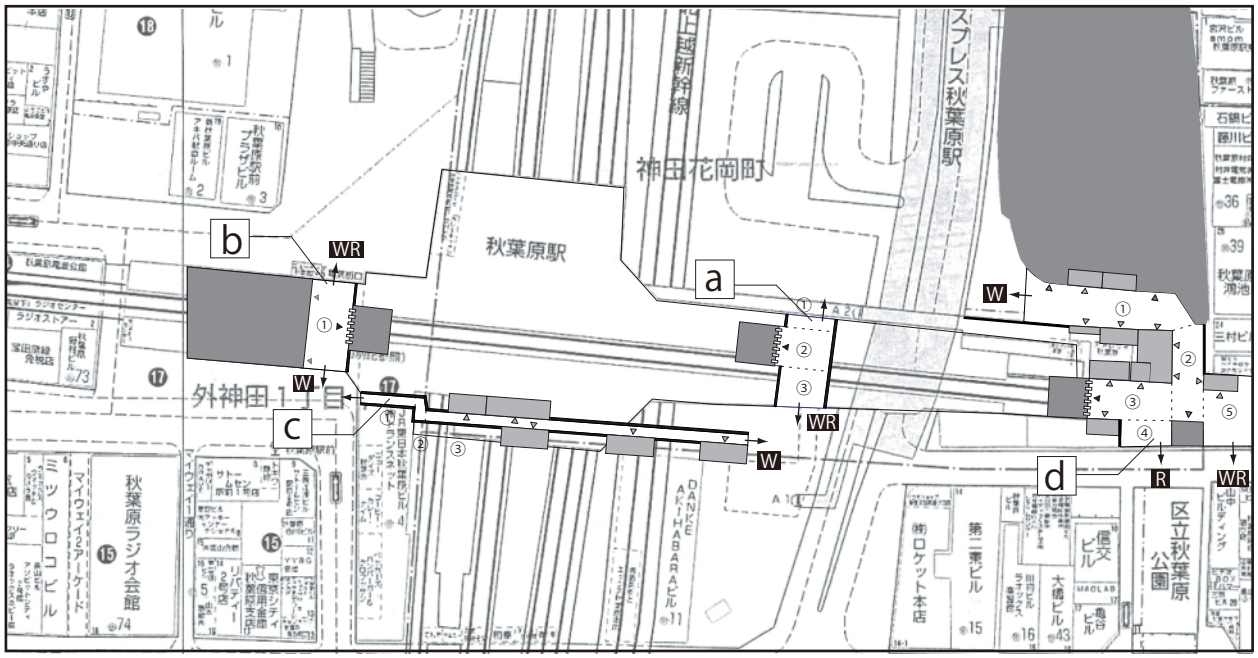


連続単位名　上野 b1 口B

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続《壁面＋スケール》

no.16　秋葉原　通過空間数 1



通過空間名

秋葉原 a　　単位空間数 3　　連続単位数 0

単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		N	◆ A1	N
形状		|	□	□
付帯空間数	大	0	1	0
	中小	0	0	0

＊N A1 N **WR**

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

通過空間名

秋葉原 b　　単位空間数 1　　連続単位数 0

単位空間　No.		①
基本パタン		A2'
形状		—
付帯空間数	大	3
	中小	0

WR A2' **W**

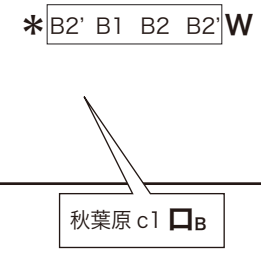
連続単位名

通過空間の連続パタン	—	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

通過空間名

秋葉原 c　単位空間数 4　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④
基本パタン		B2’	B1	◆◇ B2	B2’
形状		―	―	|	|
付帯空間数	大	0	0	0	0
	中小	5	1	3	2



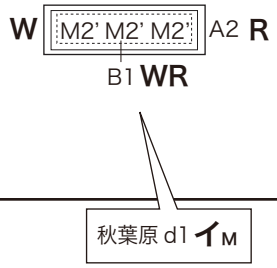
連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面の性質のみ》

通過空間名

秋葉原 d　単位空間数 5　連続単位数 1

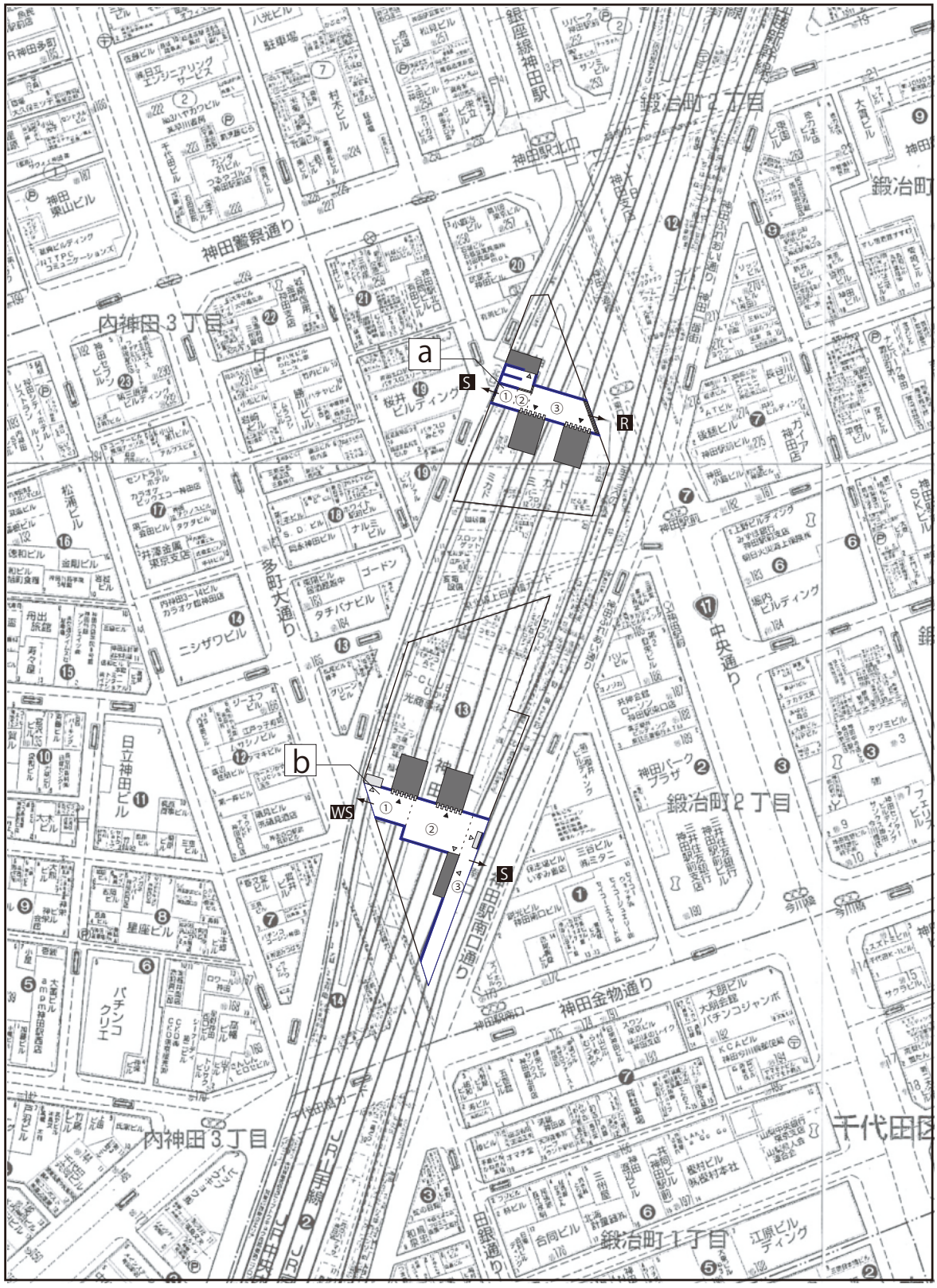
単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		M2’	◆◇ M2’	◆◇ M2’	◆◇ A2	B1
形状		―	□	―	―	□
付帯空間数	大	2	1	1	2	0
	中小	7	3	3	0	1



連続単位名

通過空間の連続パタン	《端部連続》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.17　神田　通過空間数 2



通過空間名

神田 a　　単位空間数 3　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		N	◆◇ A2	A2
形状		ー	□	□
付帯空間数	大	0	2	2
	中小	0	0	0



連続単位名　神田 a1 イ A

通過空間の連続パタン　《端部連続》

端部における都市空間の連続《空間スケールのみ》

通過空間名

神田 b　　単位空間数 3　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		M2	M2’	◆◇ M2
形状		□	□	|
付帯空間数	大	1	1	1
	中小	1	1	1

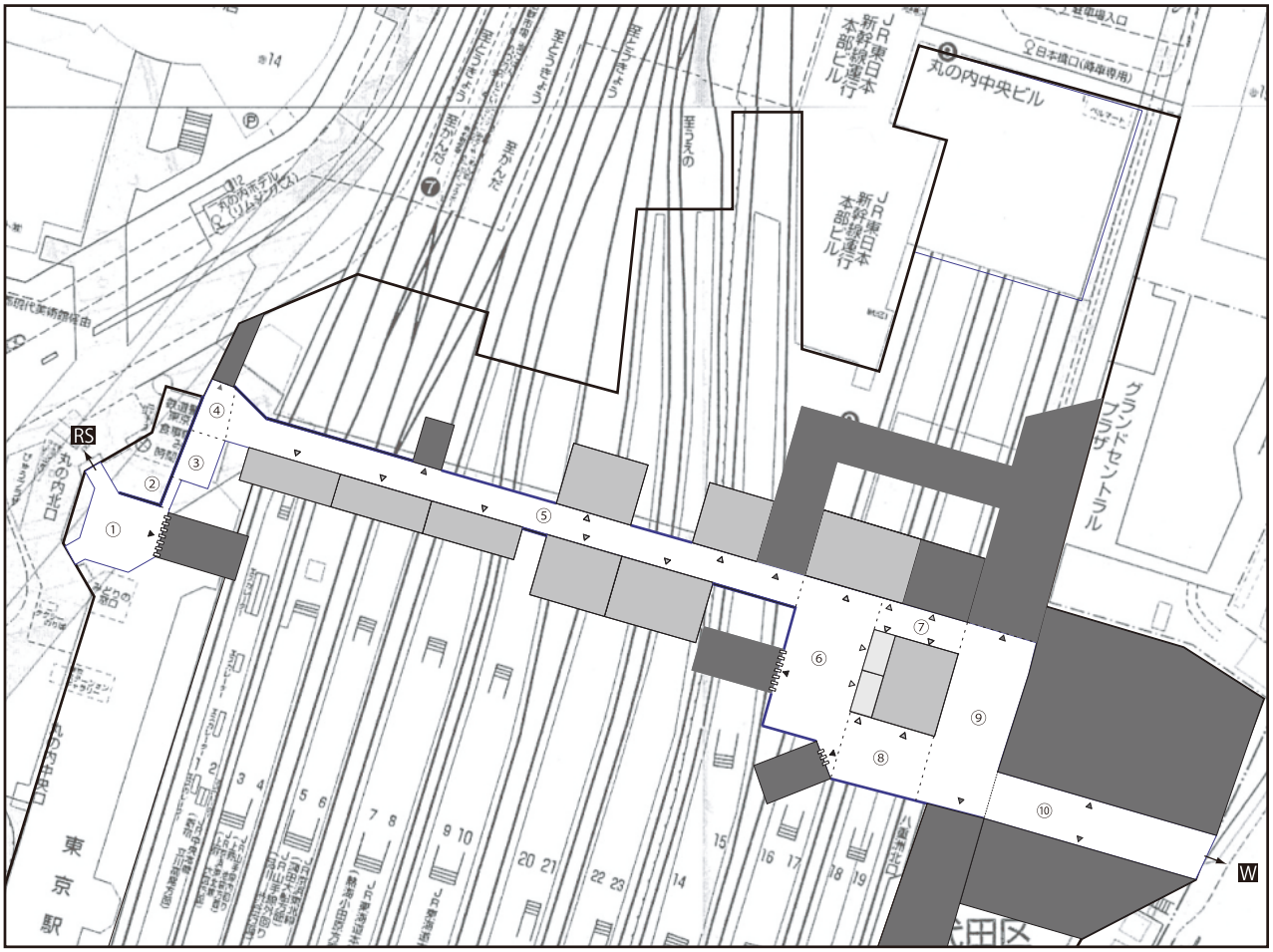


連続単位名　神田 b1 口 M

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続《壁面＋スケール》

no.18　東京　　通過空間数 1



通過空間名

深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

東京　　単位空間数 6　　連続単位数 2

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
基本パタン		◆ A1	N	B1	◆ A1	M2’	◇ M2’	M2’	M2	◆ A2’	◆ A2’
形状		□	—	□	□	—	|	—	□	—	—
付帯空間数	大	1	0	0	1	3	2	2	1	2	2
	中小	0	0	1	0	6	3	2	1	0	0

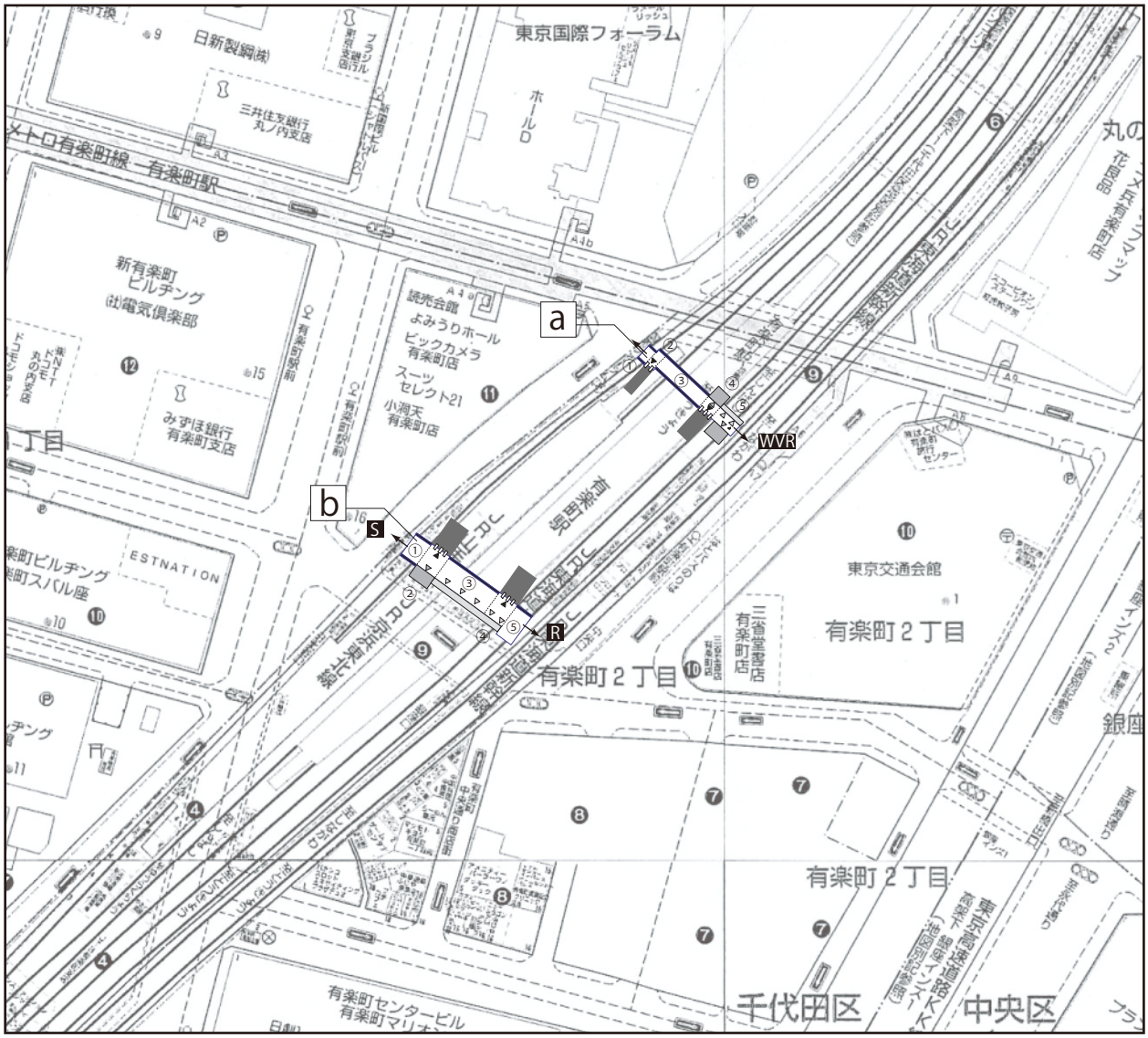


連続単位名　　東京 1　口M　　東京 2　仰A

通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.19　有楽町　通過空間数 2



通過空間名

有楽町 a　　単位空間数 5　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		N	◆ A1	N	◆ M2’	B2’
形状		|	|	―	□	―
付帯空間数	大	0	1	0	1	0
	中小	0	0	0	1	3

＊ N A1 N M2’ B2’ **WVR**

連続単位名　　有楽町 a1　**口B**

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

通過空間名

有楽町 b　　単位空間数 5　　連続単位数 0

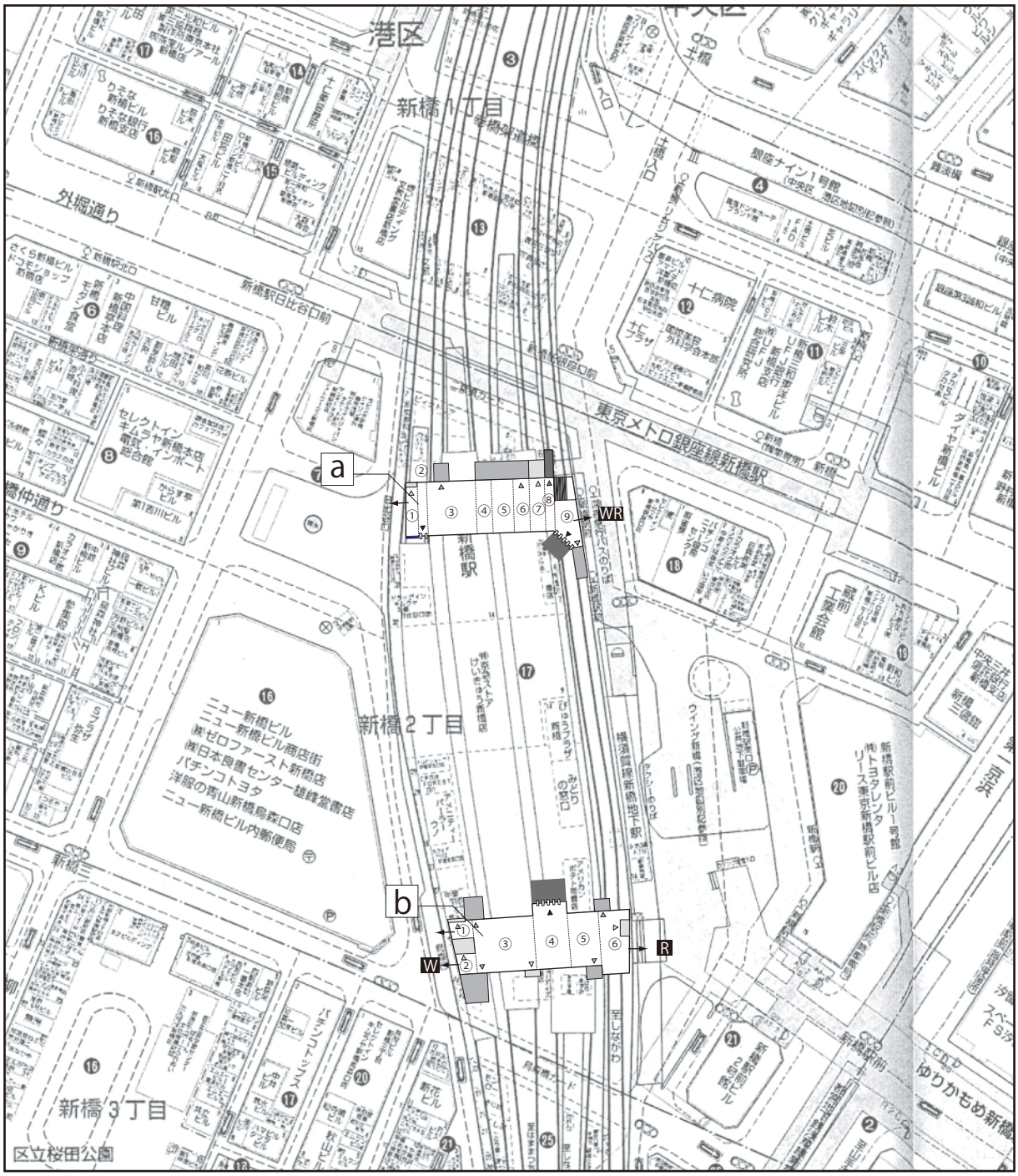
単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		N	◆ M2’	◆ B2	◆ M2’	◆ A1
形状		□	□	―	□	|
付帯空間数	大	0	1	0	1	1
	中小	0	1	3	2	0

S N M2’ B2 M2’ A1 **R**

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《空間スケールのみ》

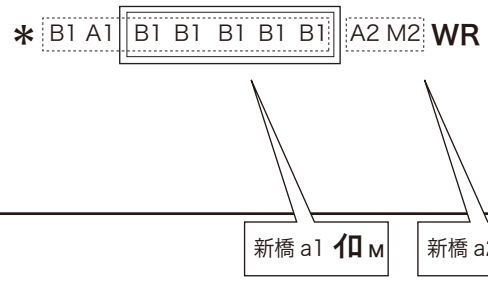
no.20　新橋　　通過空間数 2



通過空間名

新橋 a　　単位空間数 9　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
基本パタン		◆ B1	◆ A1	B1	◆ B1	◆ B1	◆ B1	◆ B1	◆◇ A2	◆ M2
形状		|	|	□	|	|	|	|	|	|
付帯空間数	大	0	1	0	0	0	0	0	2	1
	中小	1	0	1	1	1	1	1	0	1



連続単位名

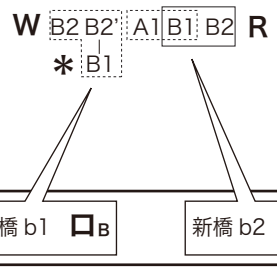
通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

通過空間名

新橋 b　　単位空間数 6　　連続単位数 2

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		◆ B2	◆ B1	B2’	◆ A1	B1	◇ B2
形状		□	□	□	|	□	|
付帯空間数	大	0	0	0	1	0	0
	中小	2	1	3	0	1	2

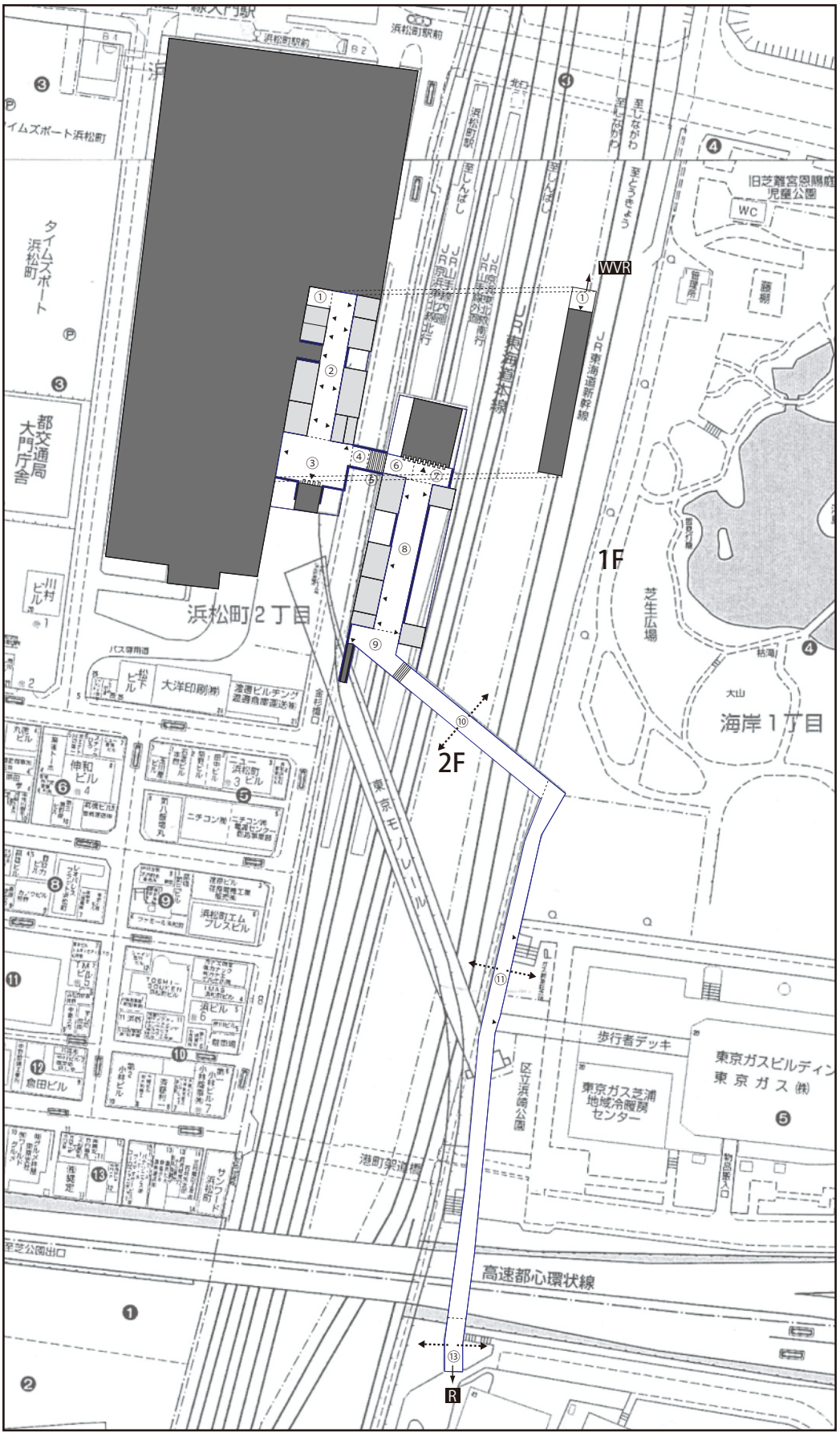


連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.21　浜松町　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

浜松町　単位空間数 12　　連続単位数 3

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
基本パタン		A1	◆ M2’	◆◇ M2’	N	N	A1	A1	B2’	M2’	◆ A2’	◆◇ A2’	◆ A2’
形状		—	—	□	—	□	—	□	—	□	—	—	—
付帯空間数	大	1	1	2	0	0	1	1	0	1	2	4	2
	中小	0	8	1	0	0	0	0	6	1	0	0	0



連続単位名

浜松町 1 イ M

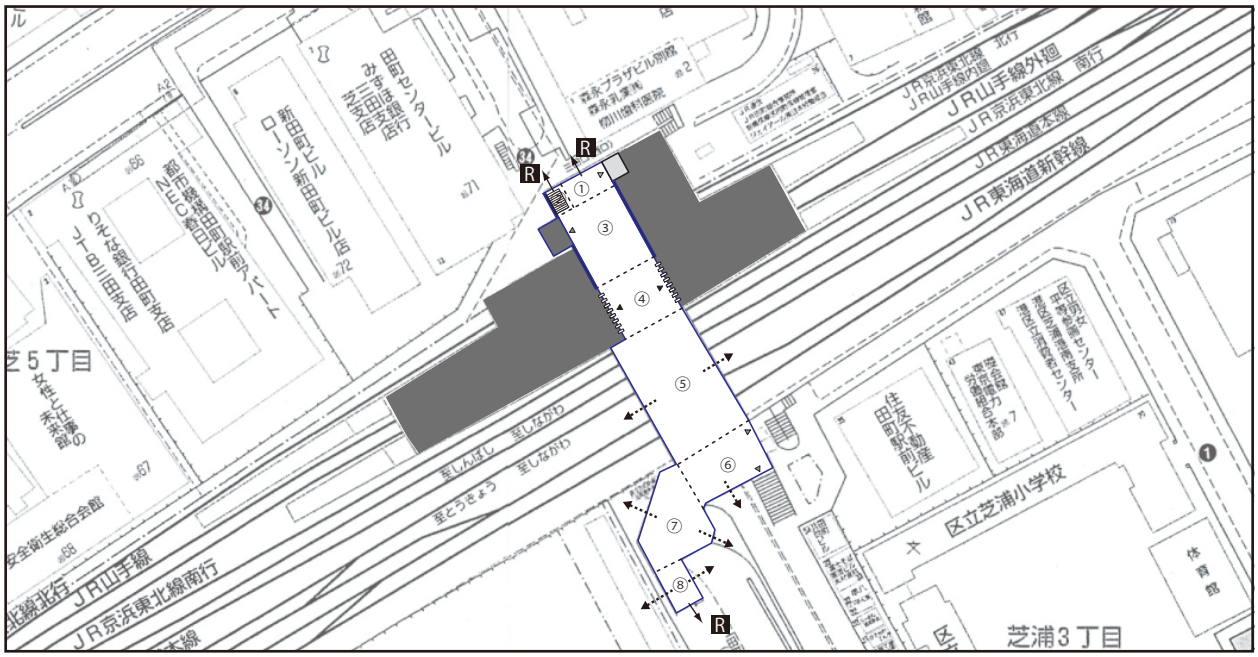
浜松町 2 イ A

浜松町 3 仰 M

通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続《壁面＋スケール》

no.22　田町　　通過空間数 1

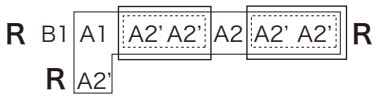


深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

田町　　単位空間数 7　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
基本パタン		B1	A2’	A1	◆ A2’	◆ A2’	◆◇ A2	◆ A2’	◆ A2’
形状		—	— ／	□	□	—	—	□	— ／
付帯空間数	大	0	2	1	2	2	3	2	2
	中小	1	0	0	0	0	0	0	0

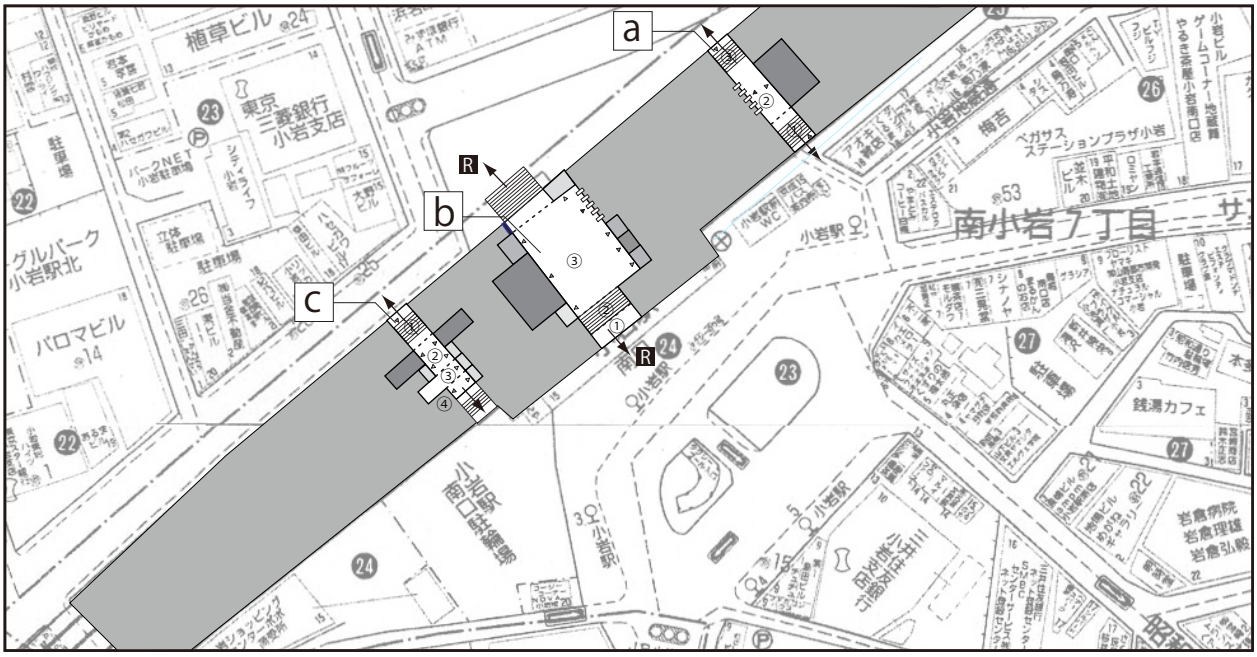


連続単位名　　田町 1　仙A

通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《空間スケールのみ》

no.23　小岩　　通過空間数 3



深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

小岩 a　　単位空間数 3　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		◇ A1	A2’	◇ A1
形状		□	―	□
付帯空間数	大	1	2	1
	中小	0	0	0

＊ A1 A2’ A1 ＊

連続単位名	小岩 a1 口A

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》	端部における都市空間の連続　《なし》

通過空間名

小岩 b　　単位空間数 4　　連続単位数 0

単位空間　No.		①	②	③	④
基本パタン		N	N	◆◇ M2’	N
形状		□	ー	□	□
付帯空間数	大	0	0	3	0
	中小	0	0	4	0

R N N M2’ N **R**

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《空間スケールのみ》

通過空間名

小岩 c　　単位空間数 4　　連続単位数 0

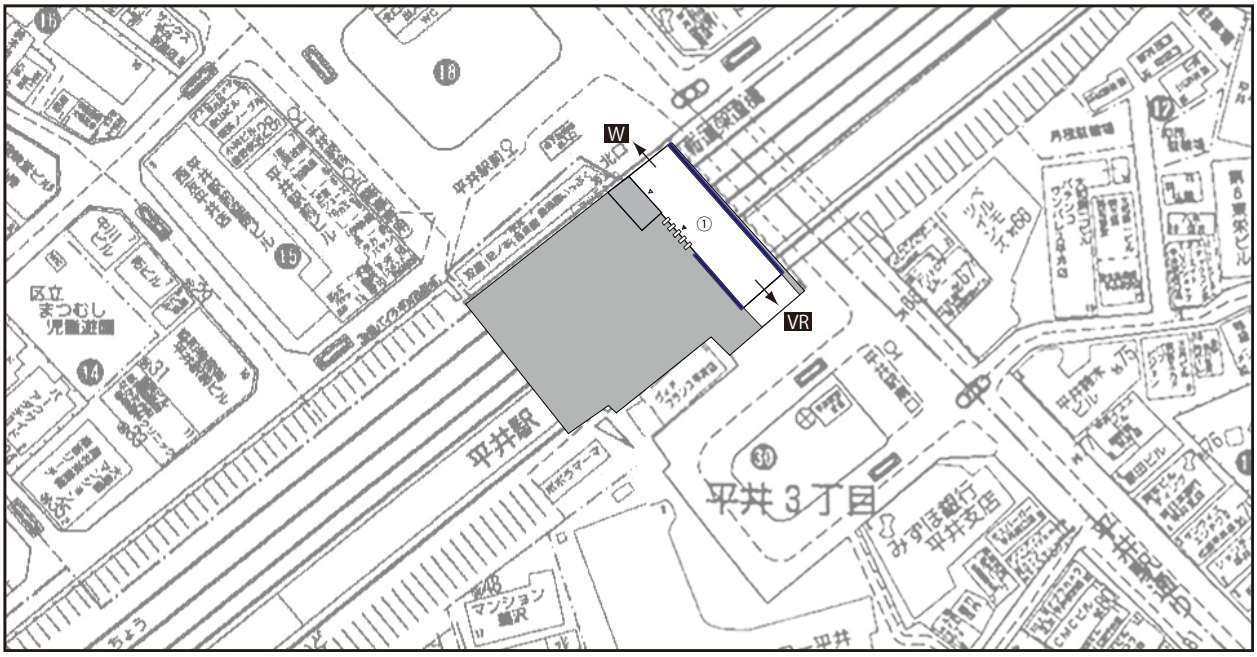
単位空間　No.		①	②	③	④
基本パタン		A1	M2’	B1	M2
形状		□	ー	|	□
付帯空間数	大	1	2	0	1
	中小	0	3	1	1

✻ A1 M2’ B1 M2 ✻

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《なし》

no.24　平井　　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

平井　　単位空間数 1　　連続単位数 0

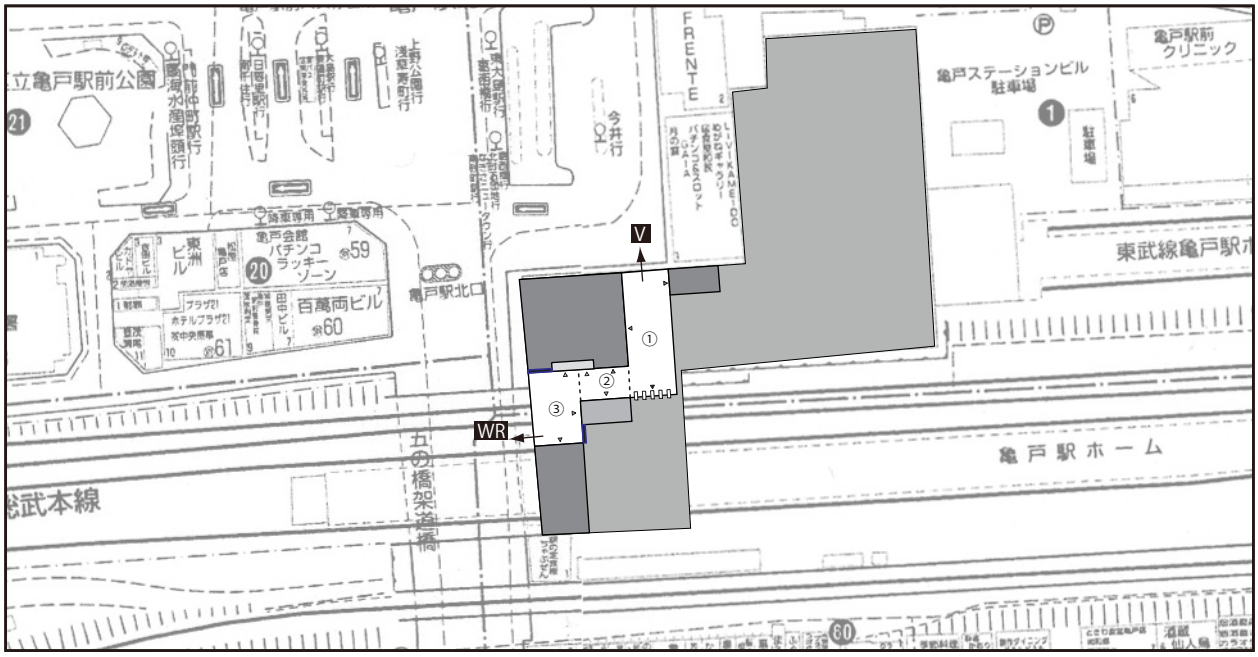
単位空間　No.		①
基本パタン		M2
形状		―
付帯空間数	大	1
	中小	1

W M2 **VR**

連続単位名

通過空間の連続パタン	―	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.25　亀戸　　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

亀戸　　単位空間数 3　　連続単位数 1

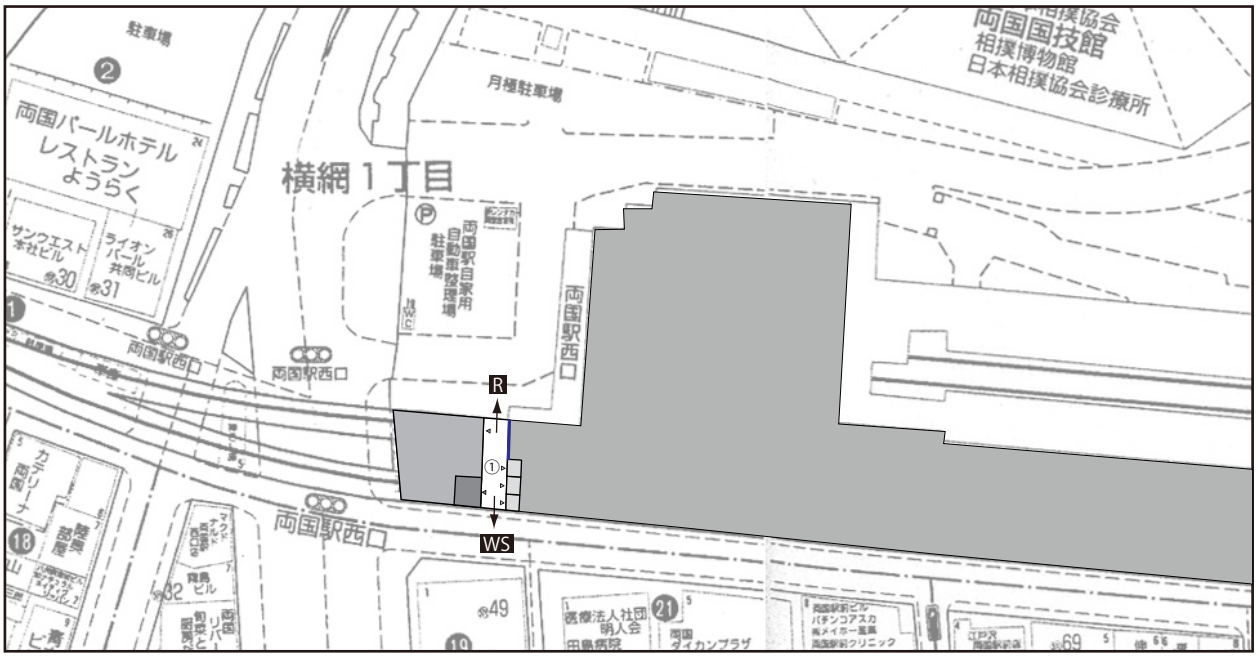
単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		◆◇ A2’	M2’	◆◇ M2’
形状		ー	□	|
付帯空間数	大	3	1	1
	中小	0	2	2



連続単位名	亀戸 1　仙A

通過空間の連続パタン	《端部連続》	端部における都市空間の連続	《壁面 + スケール》

no.26　両国　　通過空間数 1



通過空間名

両国　　単位空間数 1　　連続単位数 0

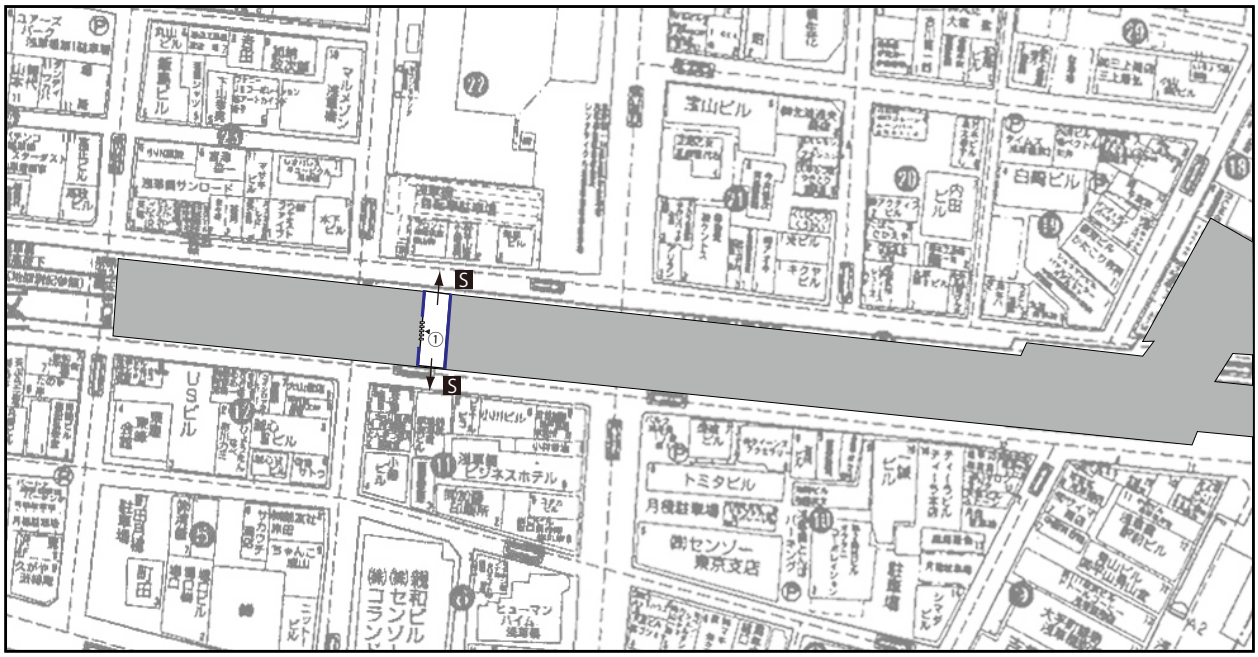
単位空間　No.		①
基本パタン		M2’
形状		―
付帯空間数	大	1
	中小	4

R M2’ **WS**

連続単位名

通過空間の連続パタン	―	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.27　浅草橋　　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

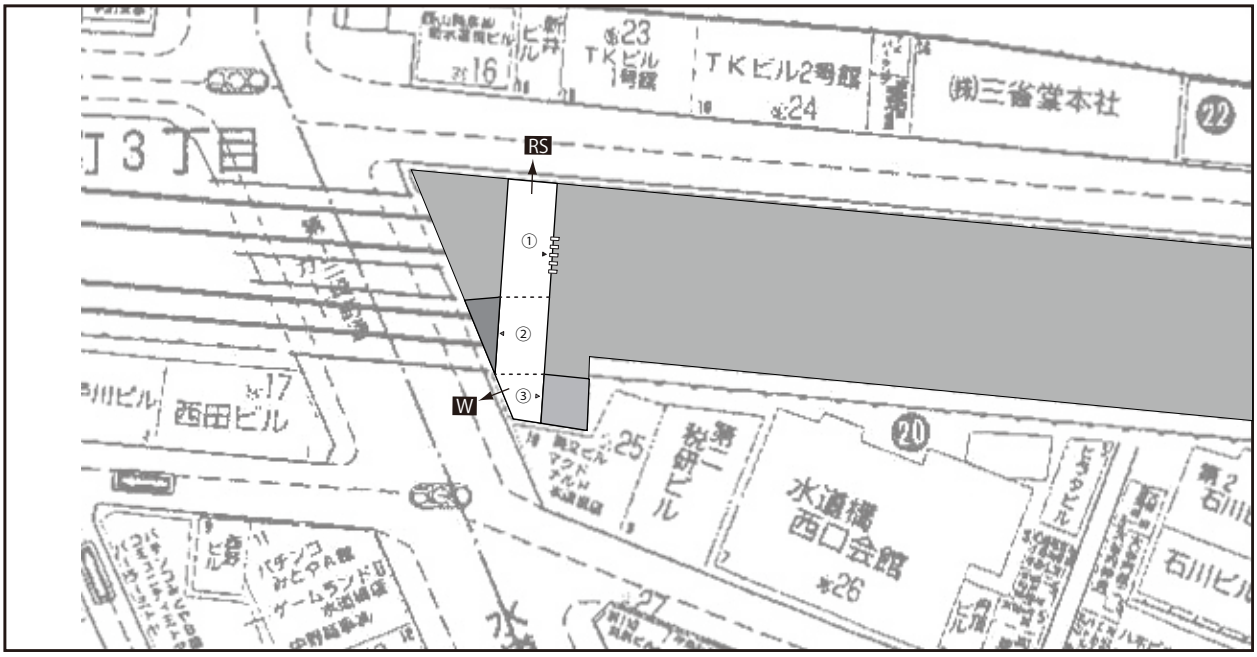
浅草橋　　単位空間数 1　　連続単位数 0

単位空間　No.		①
基本パタン		A1
形状		―
付帯空間数	大	1
	中小	0

S A1 **S**

連続単位名	
通過空間の連続パタン	―
端部における都市空間の連続	《空間スケールのみ》

no.28　水道橋　　通過空間数 1



深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

水道橋　　単位空間数 3　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		A1	A1	B1
形状		ー	|	□
付帯空間数	大	1	1	0
	中小	0	0	1

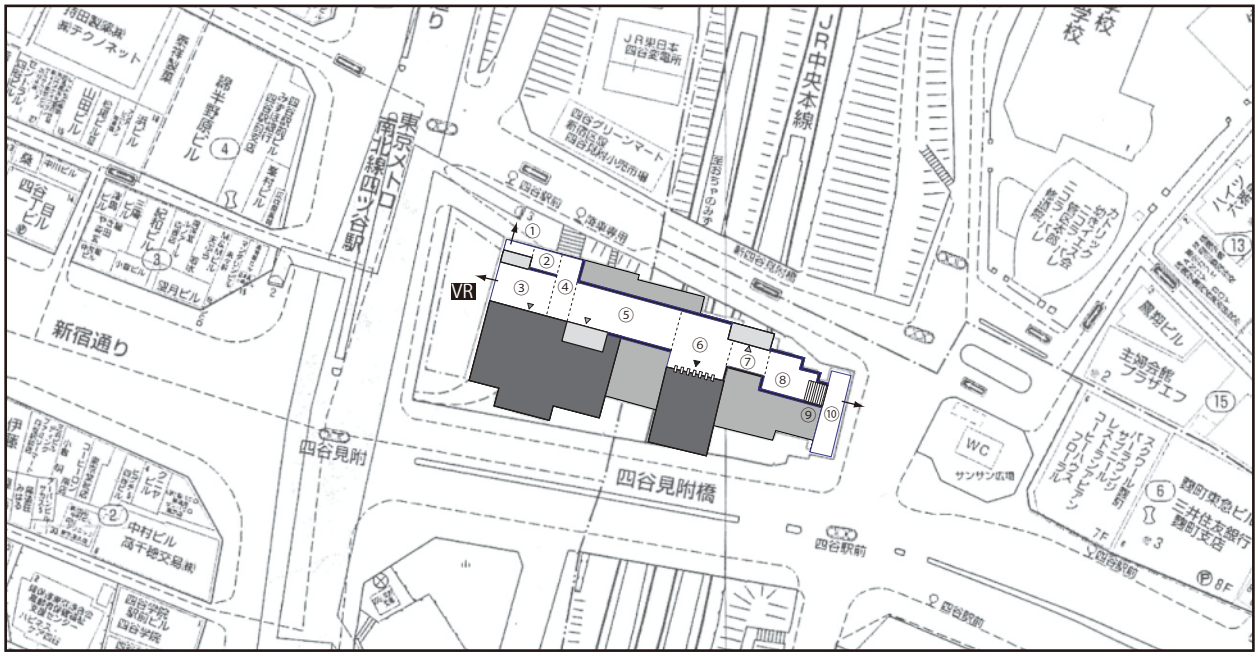
RS A1A1 B1 W

連続単位名　　水道橋 1 10M

通過空間の連続パタン　《端部連続》

端部における都市空間の連続　《壁面 + スケール》

no.29　四ッ谷　　通過空間数 1



深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

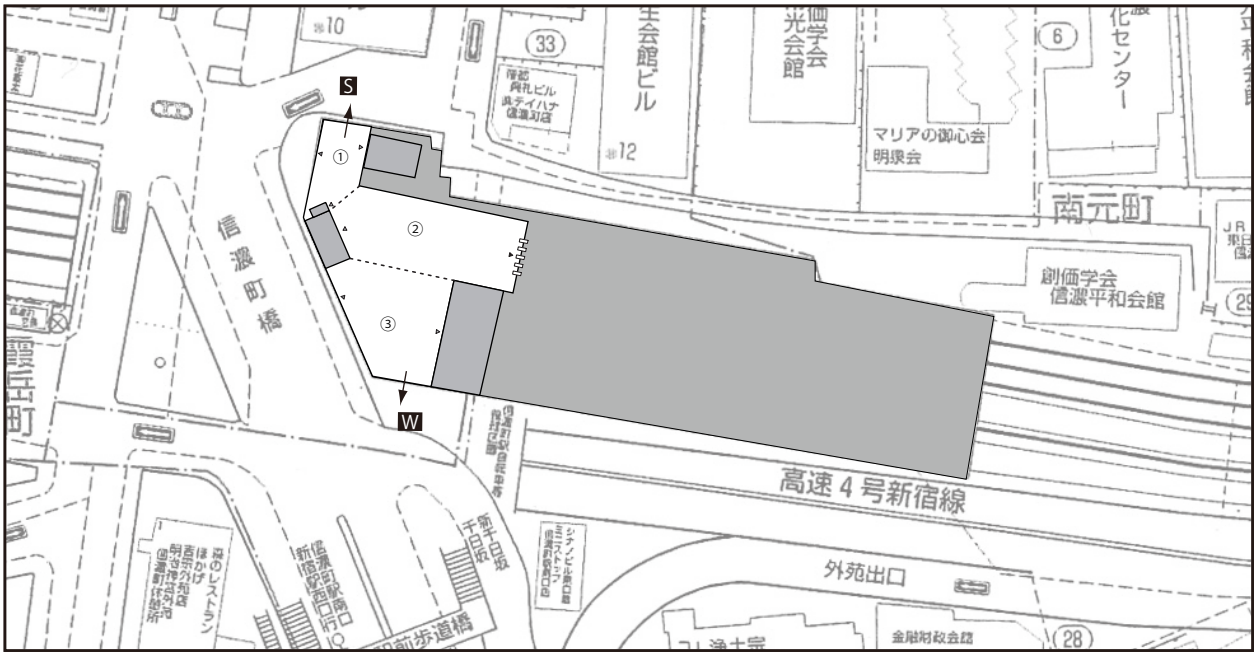
四ッ谷　　単位空間数 7　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
基本パタン		◆◇ M2'	◆ A1	◇ B1	A1	B1	B1	B2
形状		□	□	―	□	―	□	―
付帯空間数	大	1	1	0	1	0	0	0
	中小	1	0	1	0	1	1	2

VR M2' A1 B1 A1 B1 B1 B2 *

連続単位名	四ッ谷 1 10M
通過空間の連続パタン	《端部＋中央連続》
端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.30　信濃町　　通過空間数 1



深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

信濃町　　単位空間数 3　　連続単位数 1

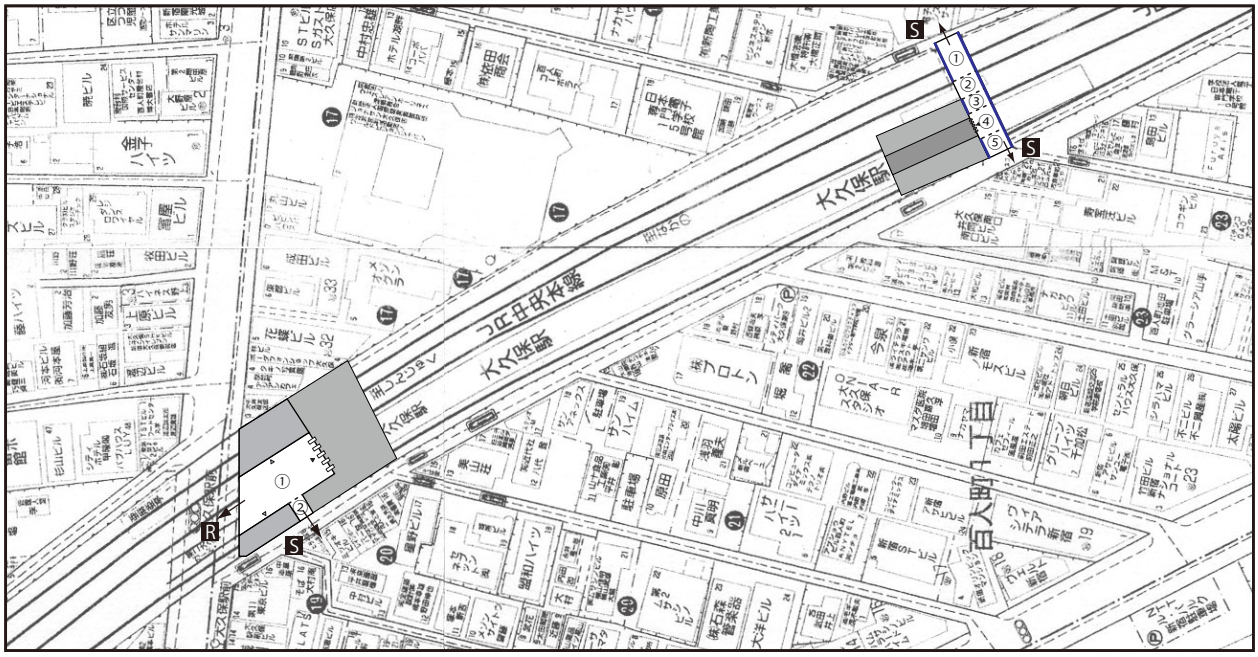
単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		M2’	M2’	M2’
形状		□	□	□
付帯空間数	大	1	1	1
	中小	2	1	1

S M2’M2’M2’ W

連続単位名　　信濃町 a 1 イ M

通過空間の連続パタン　《端部連続》	端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.31　大久保　通過空間数 2



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

大久保 a　単位空間数 2　連続単位数 0

単位空間　No.		①	②
基本パタン		◆◇ M2	N
形状		□	□
付帯空間数	大	1	0
	中小	1	0

R M2 N **S**

連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》	端部における都市空間の連続　《空間スケールのみ》

通過空間名

大久保 b　単位空間数 5　　連続単位数 0

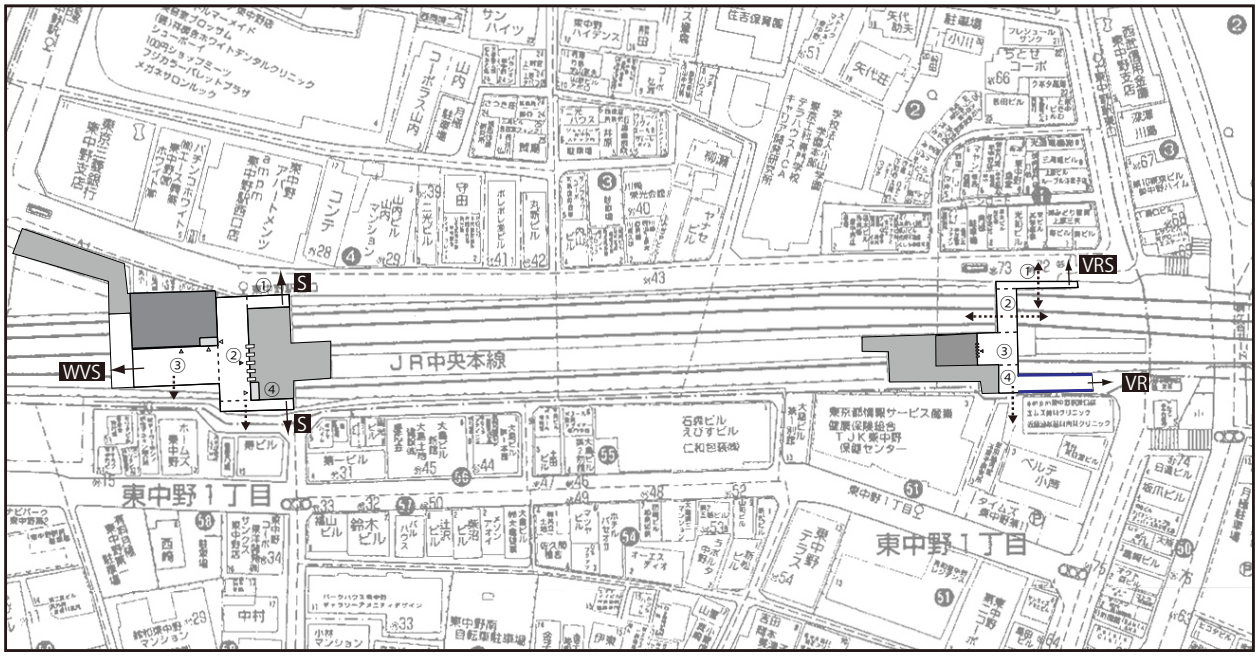
単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		N	◆ A1	N	◆ A1	N
形状		ー	□	□	|	□
付帯空間数	大	0	1	0	1	0
	中小	0	0	0	0	0

S N A1 N A1 N **S**

連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》	端部における都市空間の連続　《空間スケールのみ》

no.32　東中野　　通過空間数 2



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

東中野 a　単位空間数 4　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④
基本パタン		N	M2’	M2’	A1
形状		―／	―	□	―／
付帯空間数	大	1	2	1	2
	中小	2	1	0	0



連続単位名	東中野 a1　イ M

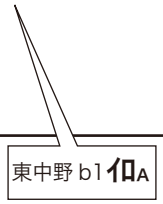
通過空間の連続パタン　《端部連続》	端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

通過空間名

東中野 b　単位空間数 4　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④
基本パタン		◆ A2’	◆◇ A2’	◆ A1	◆ A1
形状		—	—	□	—
付帯空間数	大	2	3	1	1
	中小	0	0	0	0

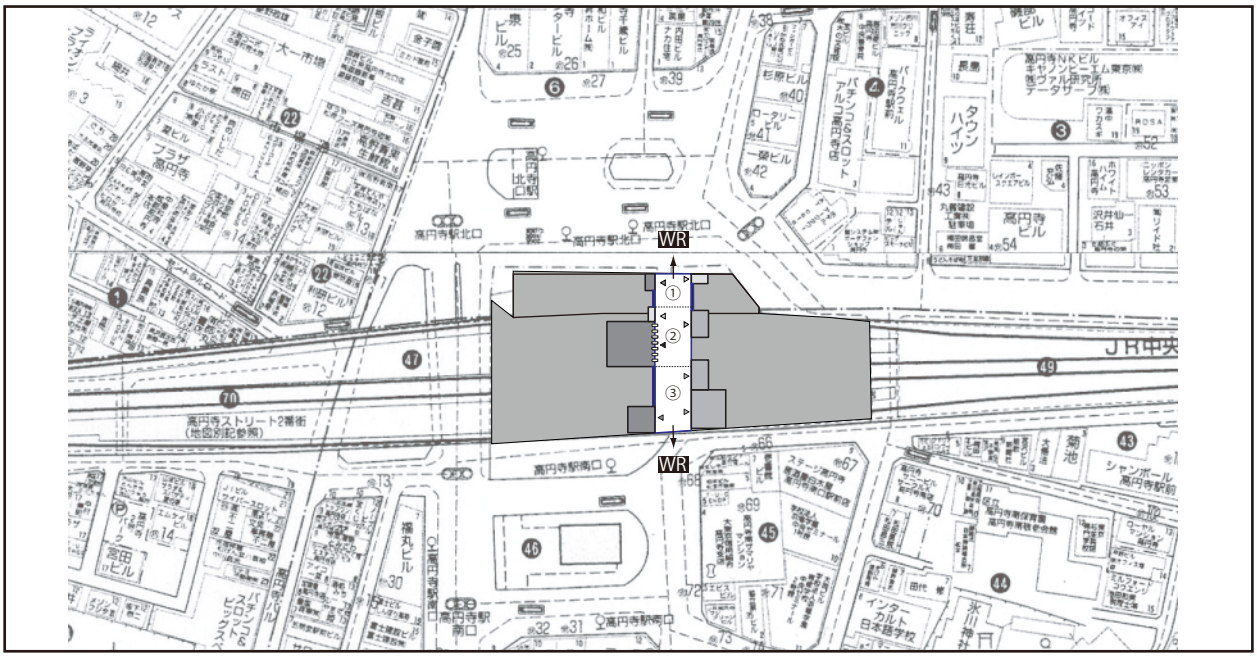




連続単位名

通過空間の連続パタン　《端部連続》	端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.33　高円寺 通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

高円寺　単位空間数 3　　連続単位数 1

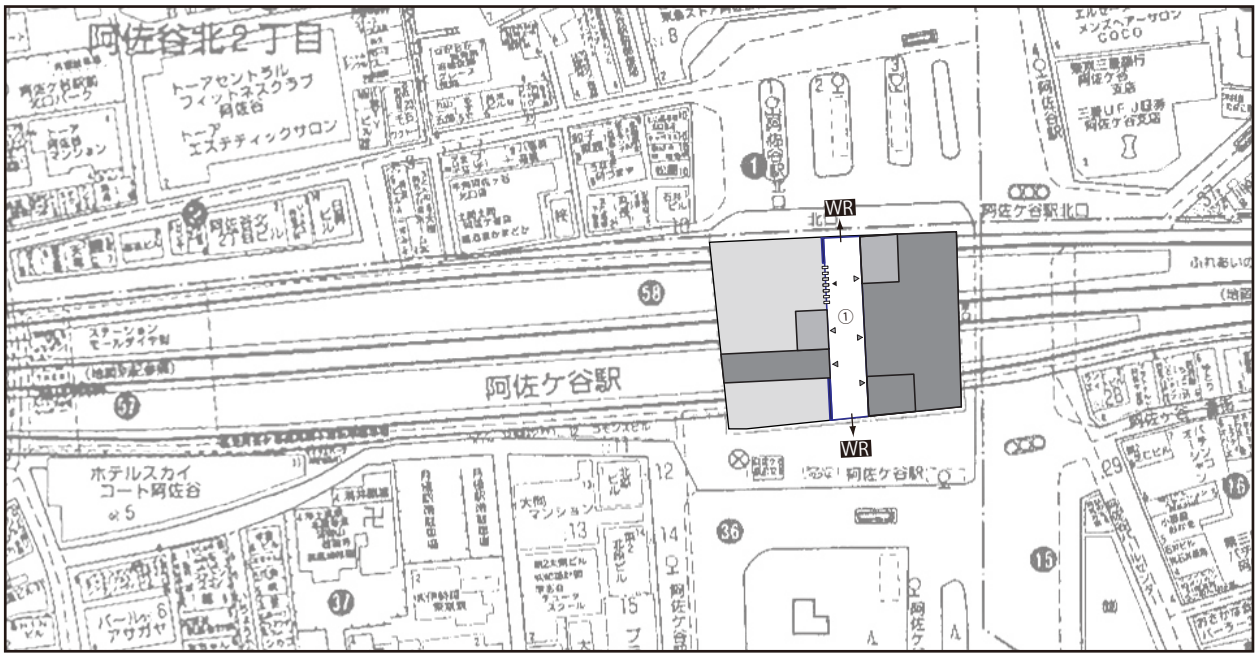
単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		B2’	M2’	M2’
形状		□	□	□
付帯空間数	大	0	1	1
	中小	2	2	2

WR B2’ M2’ M2’ WR

連続単位名	高円寺 1

通過空間の連続パタン	《端部連続》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.34　阿佐ヶ谷　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

阿佐ヶ谷　単位空間数 1　　連続単位数 1

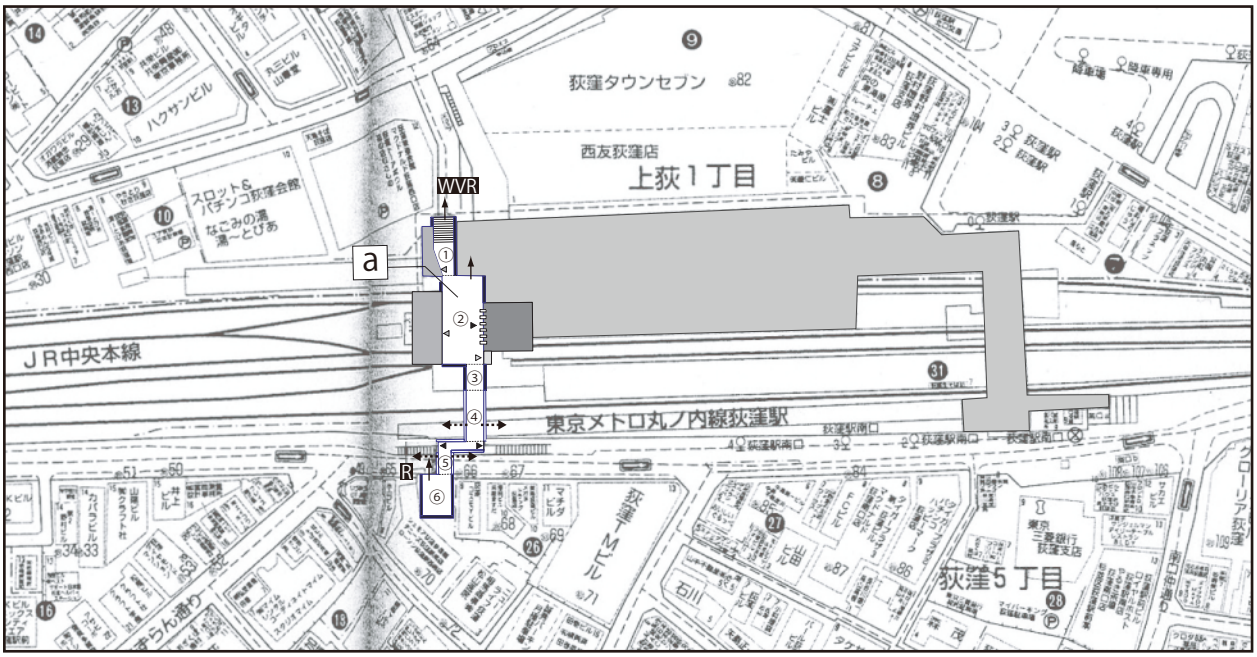
単位空間　No.		①
基本パタン		M2’
形状		―
付帯空間数	大	4
	中小	2

WR M2’ **WR**

連続単位名

通過空間の連続パタン	―	端部における都市空間の連続 《壁面＋スケール》

no.35　荻窪　　通過空間数 3



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

荻窪 a　　単位空間数 6　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		B1	◆ M2’	N	◆ A2’	◆◇ A2’	N
形状		—	—	□	—	—	—
付帯空間数	大	0	1	0	2	4	0
	中小	1	2	0	0	0	0

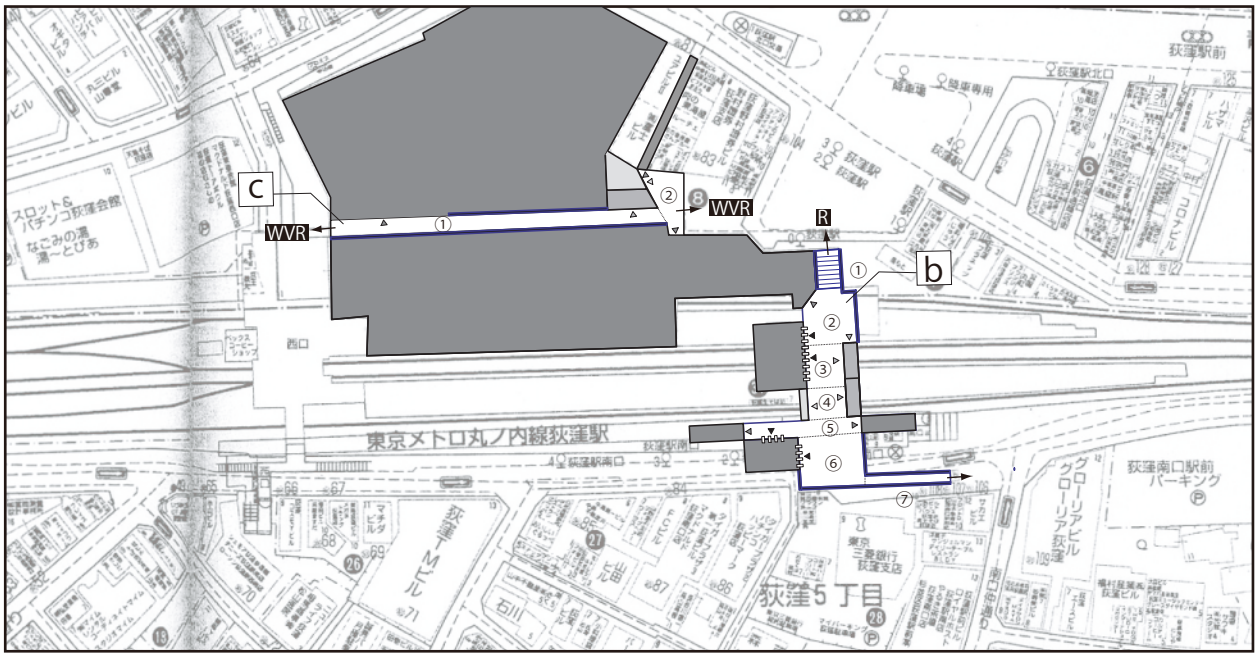
WVR B1 M2’ N [A2’ A2’] N **R**

連続単位名　荻窪 a 1 **イ A**

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.35　荻窪　　通過空間数 3



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

荻窪 b　　単位空間数 7　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
基本パタン		N	◇ M2’	◆ M2’	◆ B2’	◆ A2’	A1	N
形状		—	□	□	□	—	□	—
付帯空間数	大	0	2	1	0	3	1	0
	中小	0	1	1	2	0	0	0

R N M2’M2’ B2’ A2’ A1 N ＊

連続単位名　荻窪 b1 10M

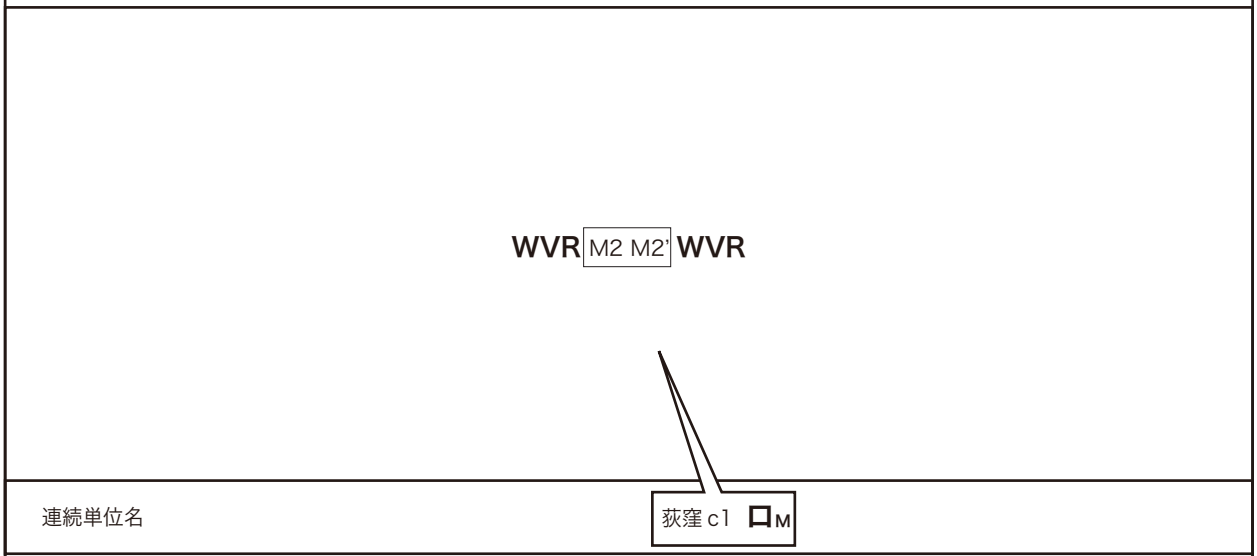
通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《空間スケールのみ》

通過空間名

荻窪 c　　単位空間数 2　　連続単位数 1

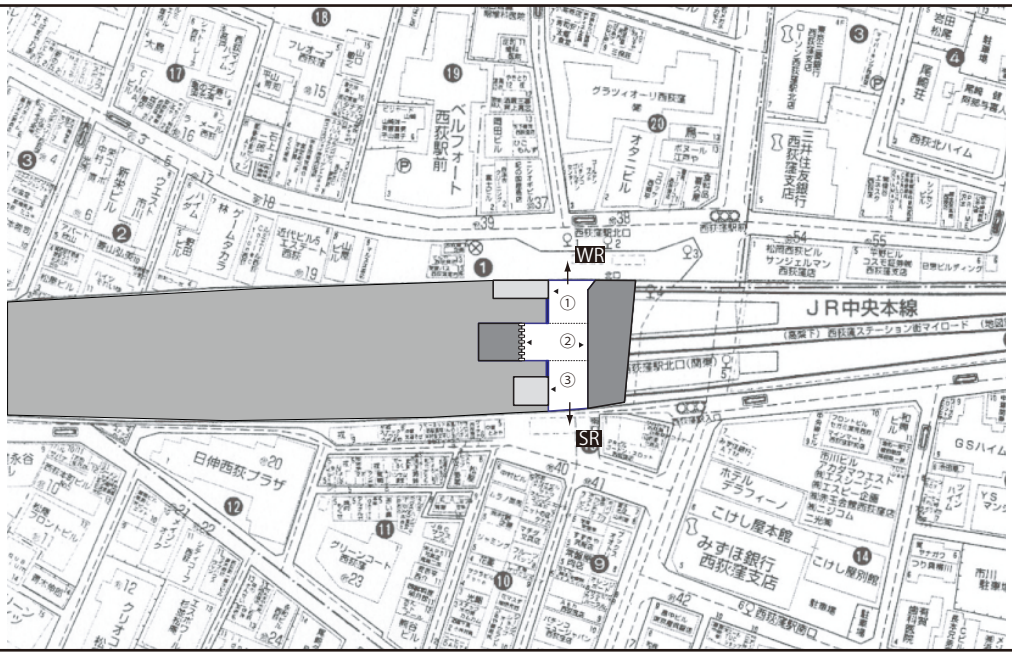
単位空間　No.		①	②
基本パタン		M2	◆◇ M2’
形状		―	|
付帯空間数	大	1	2
	中小	1	1



連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》	端部における都市空間の連続《壁面＋スケール》

no.36　西荻窪　　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

西荻窪　　単位空間数 3　　連続単位数 0

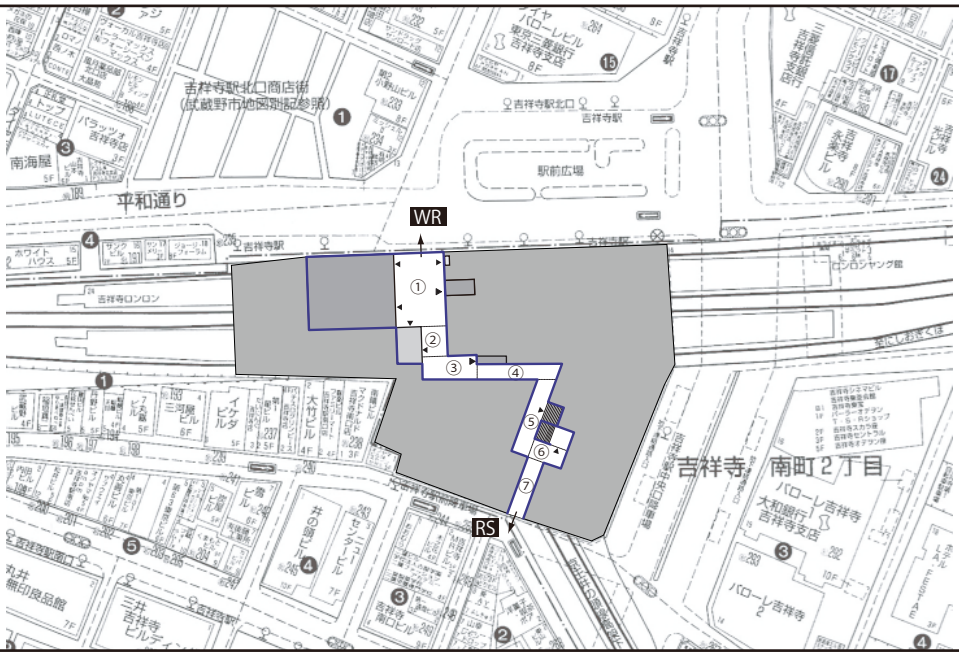
単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		B1	◆ A2’	B1
形状		□	□	□
付帯空間数	大	0	2	0
	中小	1	0	1

WR B1 A2’ B1 **RS**

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.37　吉祥寺　　通過空間数 1

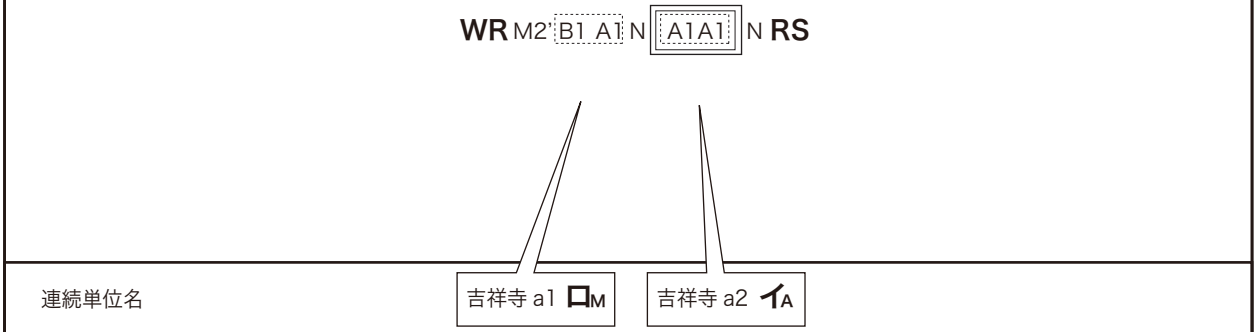


深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

吉祥寺　　単位空間数 7　　連続単位数 2

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
基本パタン		◆◇ M2’	◆ B1	◇ A1	N	A1	A1	N
形状		□	□	―	―	―	□	|
付帯空間数	大	2	0	1	0	1	1	0
	中小	2	1	0	0	0	0	0

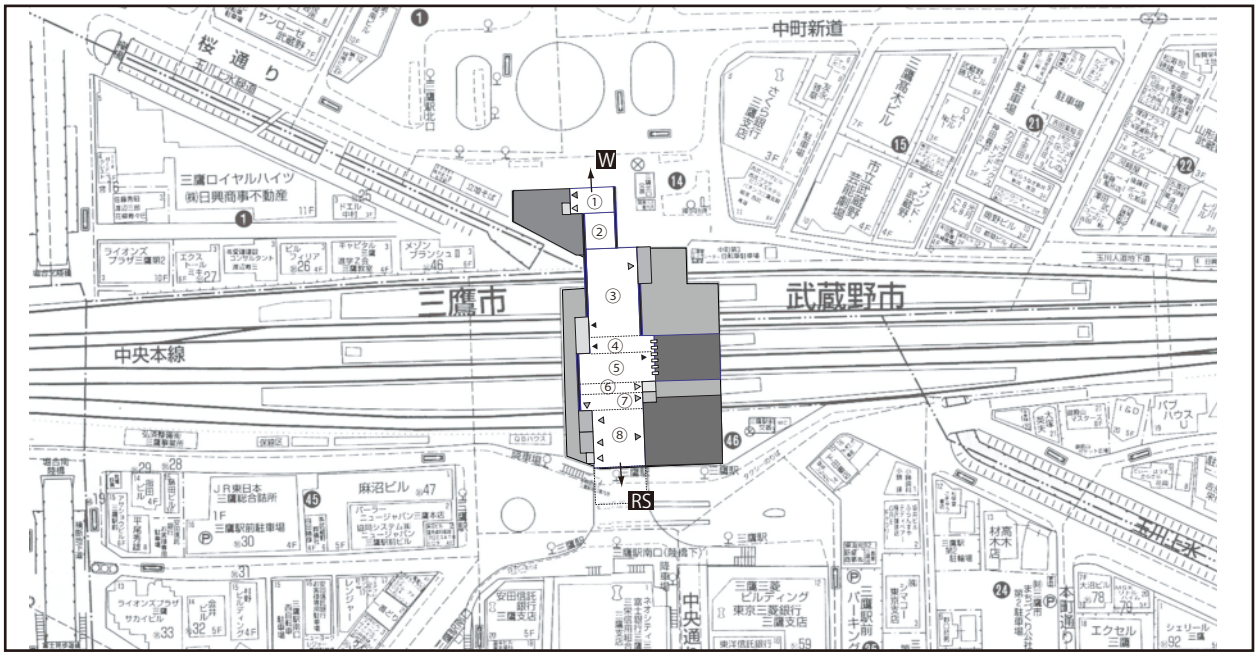


連続単位名　　吉祥寺 a1 口M　　吉祥寺 a2 イA

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.38　三鷹　　通過空間数 1



深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

三鷹　　単位空間数 8　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
基本パタン		◆ M2	N	B1	◆ M2’	◆ A1	◆ B1	◆◇ B2	◆ M2’
形状		|	□	ー	|	|	|	|	□
付帯空間数	大	1	0	0	1	1	0	0	1
	中小	1	0	1	1	0	1	2	3

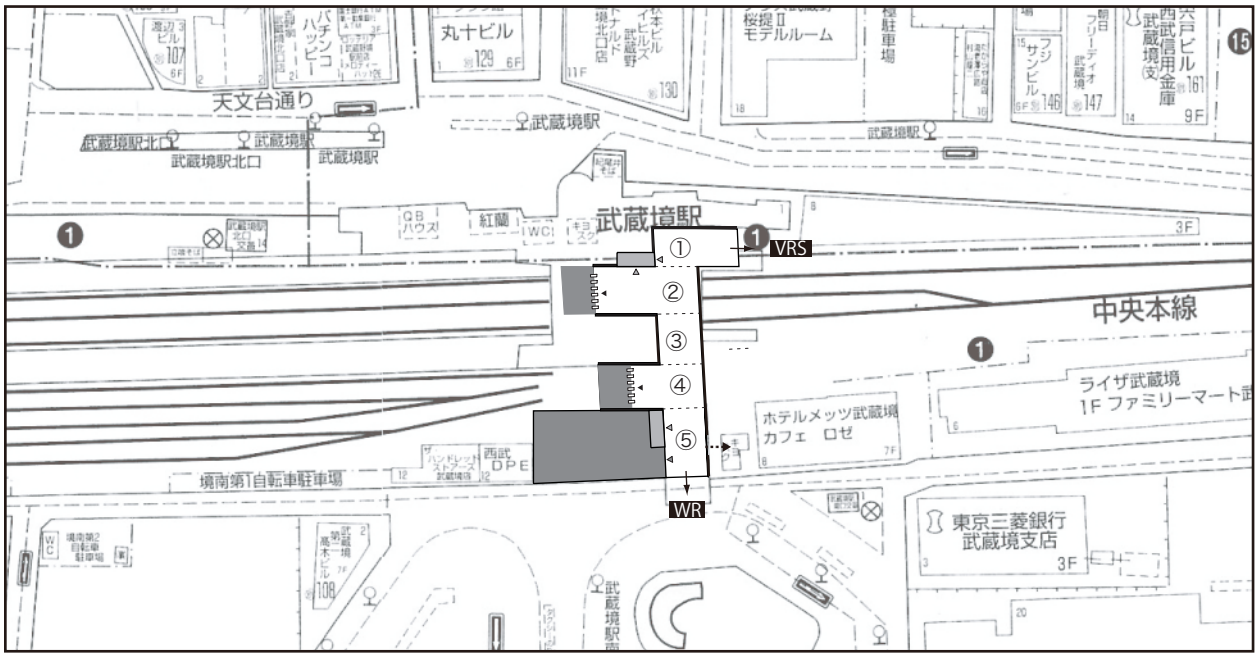
WM2 N B1 M2’ A1 B1 B2 M2’ **R**

連続単位名　　三鷹　口B

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.39　武蔵境　　通過空間数 1



深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

武蔵境　　単位空間数 5　　連続単位数 1

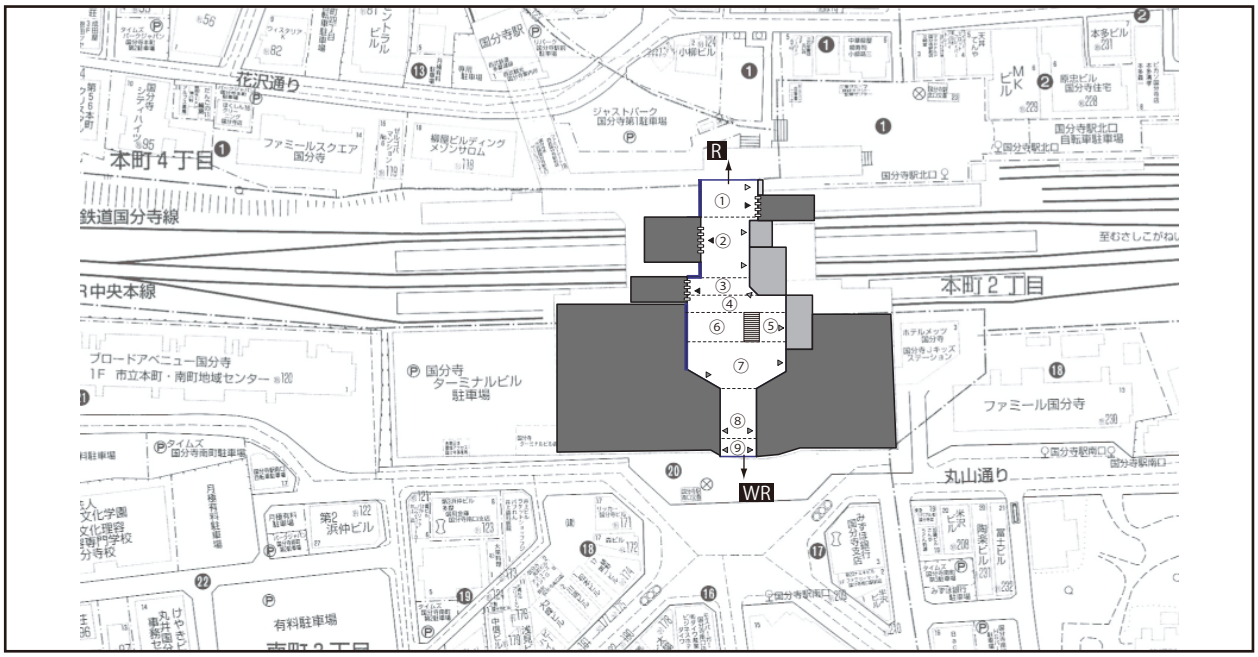
単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		◇ B1	◆◇ M2	N	◆◇ M2	M2’
形状		ー	|	□	|	ー
付帯空間数	大	0	1	0	1	2
	中小	1	1	0	1	1

VRS B1 M2 N M2 M2’ **WR**

連続単位名　　武蔵境 1　口M

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.40　国分寺　　通過空間数 1



深度大　　深度中小　　深度大 (視線的)

通過空間名

国分寺　　単位空間数 9　　連続単位数 3

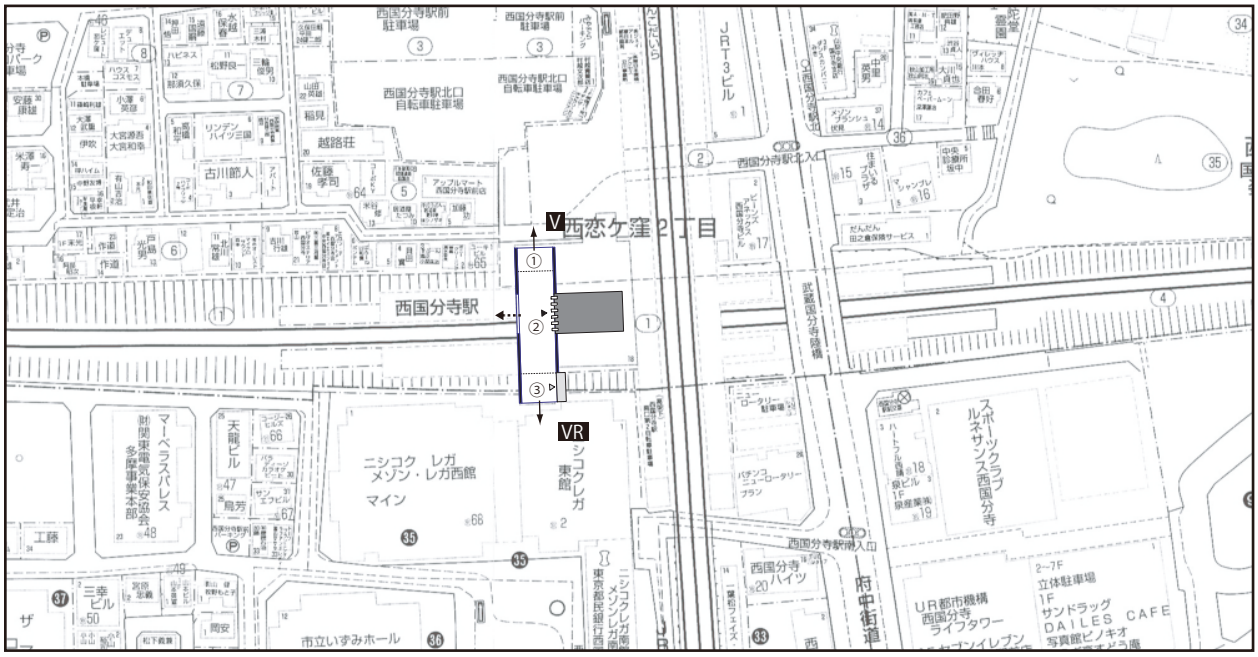
単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
基本パタン		◆ M2	◆ M2’	◆ M2’	◇ A1	◆ B1	N	◇ A2’	◆ A2’	◆ A2’
形状		□	□	|	|	□	|	|	ー	|
付帯空間数	大	1	1	1	1	0	0	2	2	2
	中小	1	3	1	0	1	0	0	0	0

R M2 M2’M2’ A1 B1 N A2’A2’A2’ WR

連続単位名　　国分寺 1 イM　　国分寺 2 ロM　　国分寺 3 イA

通過空間の連続パタン	《端部＋中央連続》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.41　西国分寺　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

西国分寺　単位空間数 3　　連続単位数 0

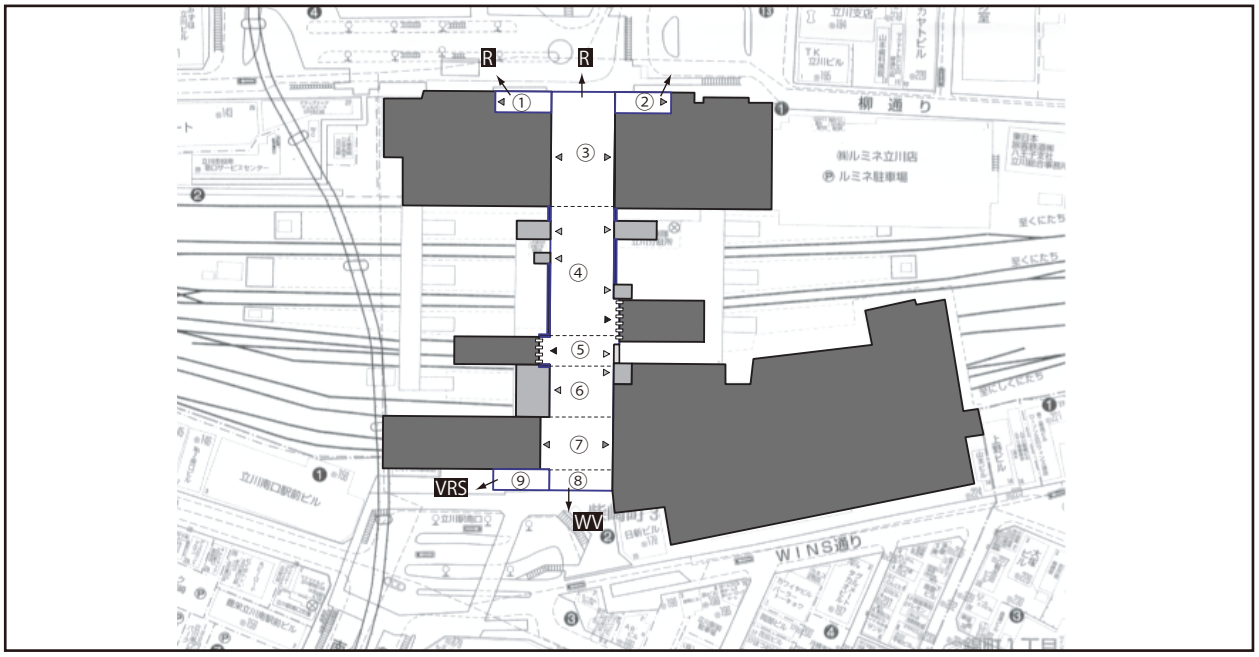
単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		N	A2’	◆ B1
形状			ー	□
付帯空間数	大	0	2	0
	中小	0	0	1

V N A2’ B1 **VR**

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.42　立川　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

立川　単位空間数 9　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
基本パタン		A1	A1	◆ A2’	M2’	◆ M2’	◆ B2’	◆ A2’	N	N
形状		—	—	—	—	|	□	□	□	—
付帯空間数	大	1	1	2	1	2	0	2	0	0
	中小	0	0	0	4	1	2	0	0	0

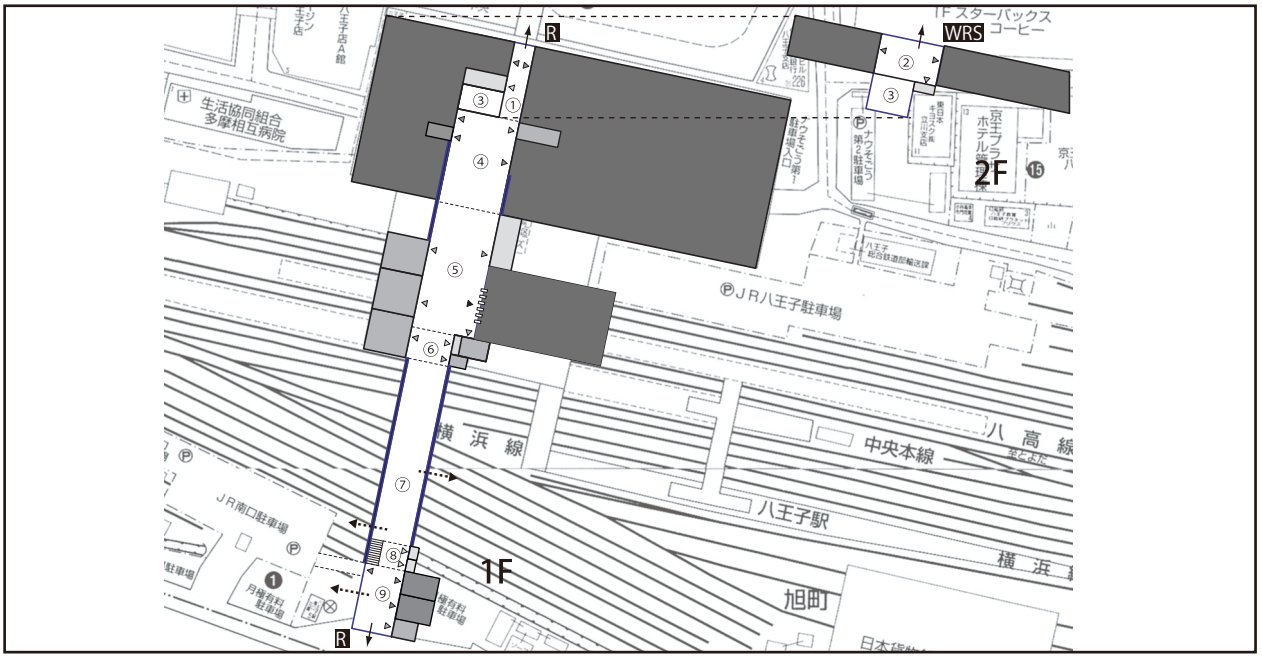


連続単位名　立川　1ΩM

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.43　八王子 通過空間数 1

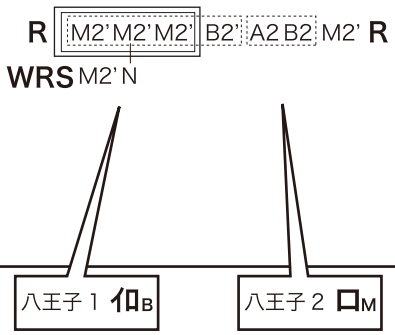


深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

八王子　単位空間数 9　　連続単位数 2

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
基本パタン		◆ M2’	◆◇ M2’	N	◆ M2’	◆◇ M2’	B2’	◆◇ A2	◆ B2	◆ M2’
形状		―	□	□	□	―	□	―	□	□
付帯空間数	大	3	2	0	3	1	0	2	0	4
	中小	2	1	0	1	5	3	0	2	1

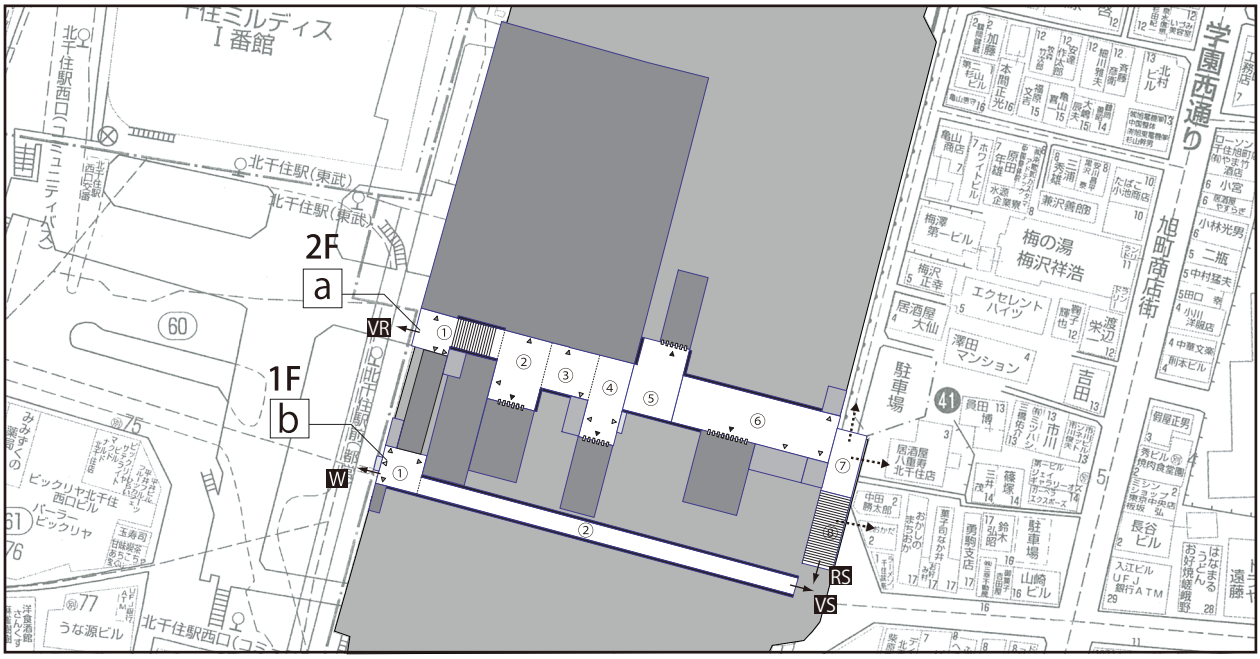


連続単位名

通過空間の連続パタン　《端部連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.44　北千住 通過空間数 2



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

北千住 a　単位空間数 8　連続単位数 2

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
基本パタン		M2’	A2’	M2’	◆ M2’	◆ A1	M2’	◆ A1	A1
形状		—	□	—	□	□	—	—	—
付帯空間数	大	2	3	1	2	1	1	2	1
	中小	1	0	1	2	0	3	0	0



連続単位名　北千住 a1 イロM　北千住 a2 イA

通過空間の連続パタン	《端部＋中央連続》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

通過空間名

北千住 b　単位空間数 2　　連続単位数 0

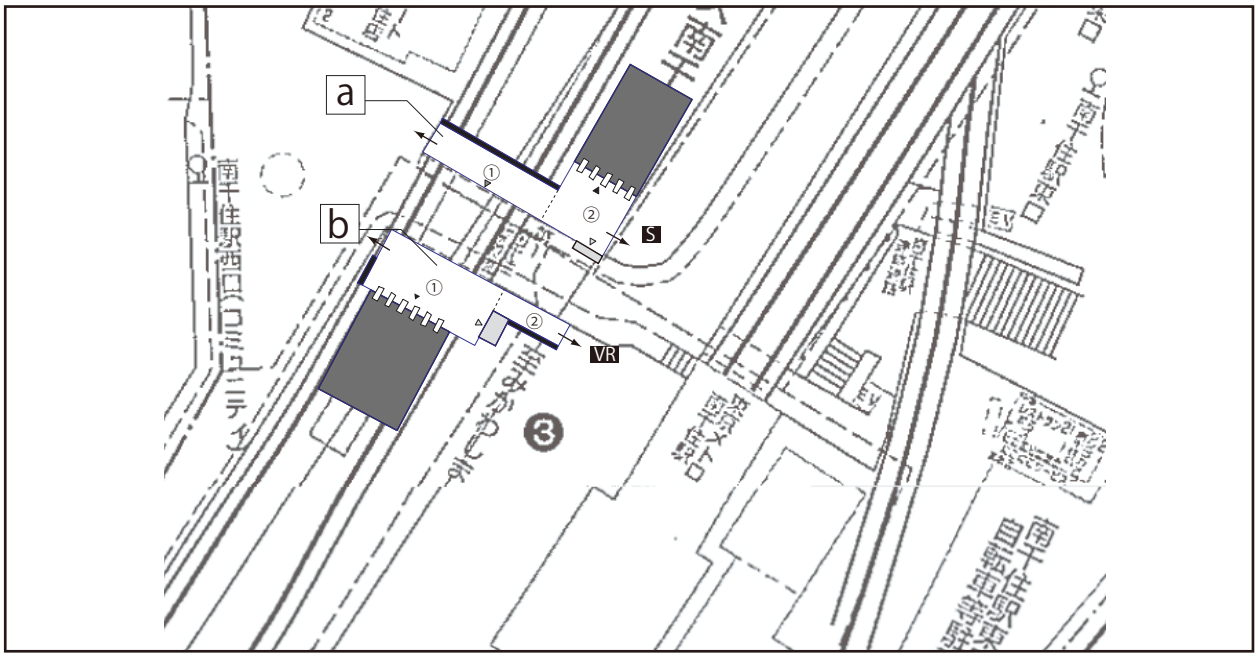
単位空間　No.		①	②
基本パタン		◆◇ M2’	N
形状		□	―
付帯空間数	大	3	0
	中小	1	0

W M2’ N **VS**

連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》	端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.45　南千住 通過空間数 2



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

南千住 a　単位空間数 2　　連続単位数 0

単位空間　No.		①	②
基本パタン		◆ A1	◆ M2’
形状		—	—
付帯空間数	大	1	2
	中小	0	1

＊ A1 M2’ **S**

連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《空間スケールのみ》

通過空間名

南千住 B　単位空間数 2　　連続単位数 0

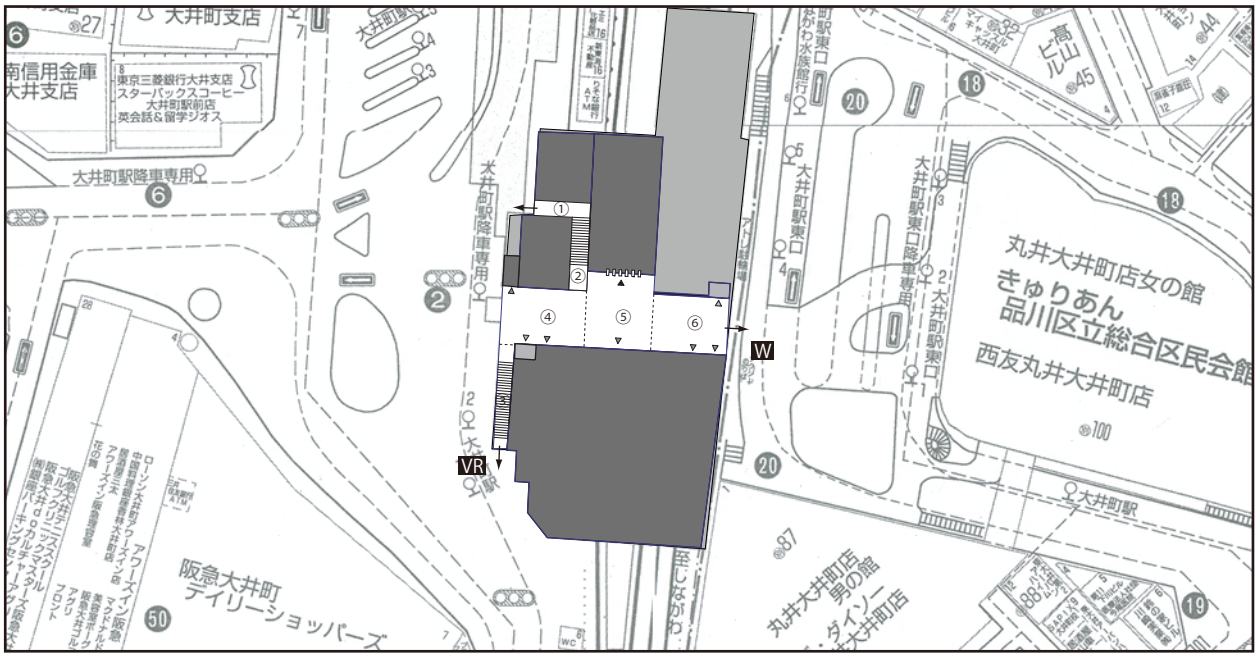
単位空間　No.		①	②
基本パタン		◆◇ M2	N
形状		□	―
付帯空間数	大	1	0
	中小	1	0

＊ M2’ N **VR**

連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》	端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.46　大井町 通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

大井町 単位空間数 6　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		N	N	N	◆ M2’	◆ A2’	M2’
形状		□	―	―	□	□	□
付帯空間数	大	0	0	0	2	2	2
	中小	0	0	0	1	0	1

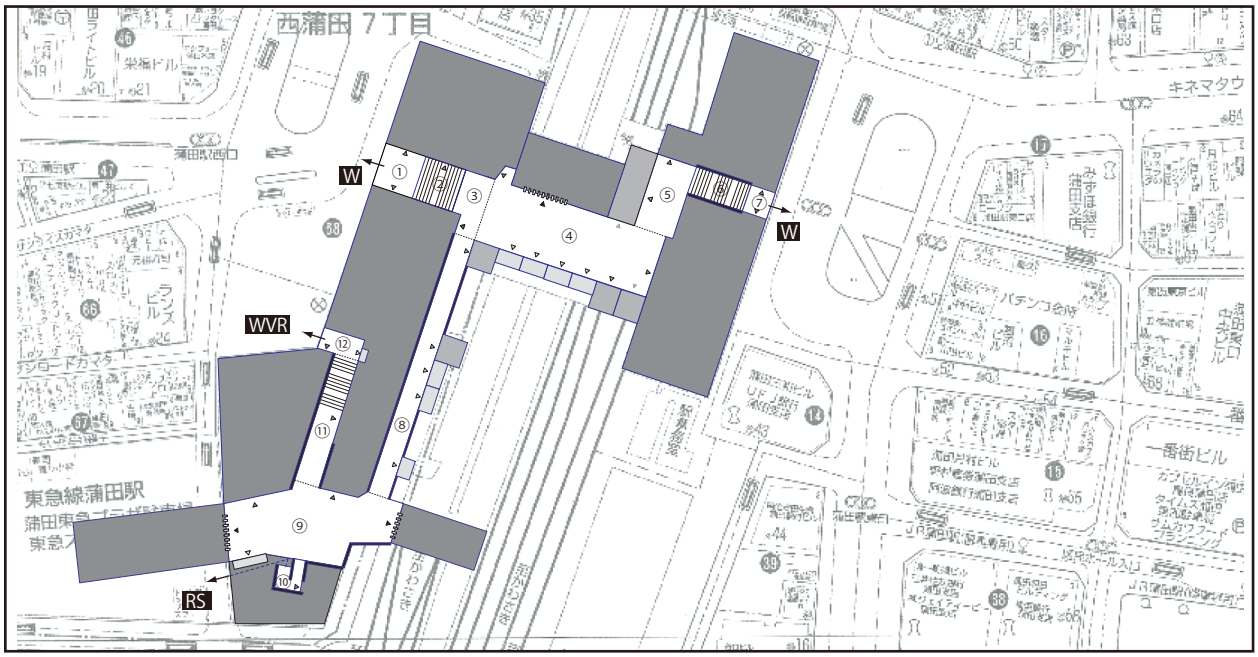
VR N M2’ A2’ M2’ **W**

＊N N

連続単位名　　大井町　**仙A**

通過空間の連続パタン　《端部連続》	端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.47　蒲田　通過空間数 1

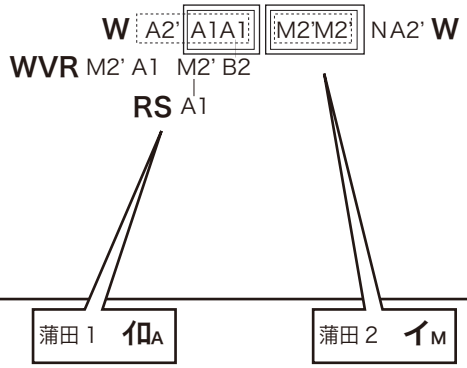


深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

蒲田　単位空間数 12　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
基本パタン		◆ A2’	A1	◆◇ A1	◆◇ M2’	◆◇ M2’	N	◆ A2’	B2	◆◇ M2’	A1	A1	◆ M2’
形状		□	□	—	—	□	□	—	—	□	—	—	□
付帯空間数	大	2	1	1	3	2	0	2	0	5	1	1	1
	中小	0	0	0	7	1	0	0	5	1	0	0	1

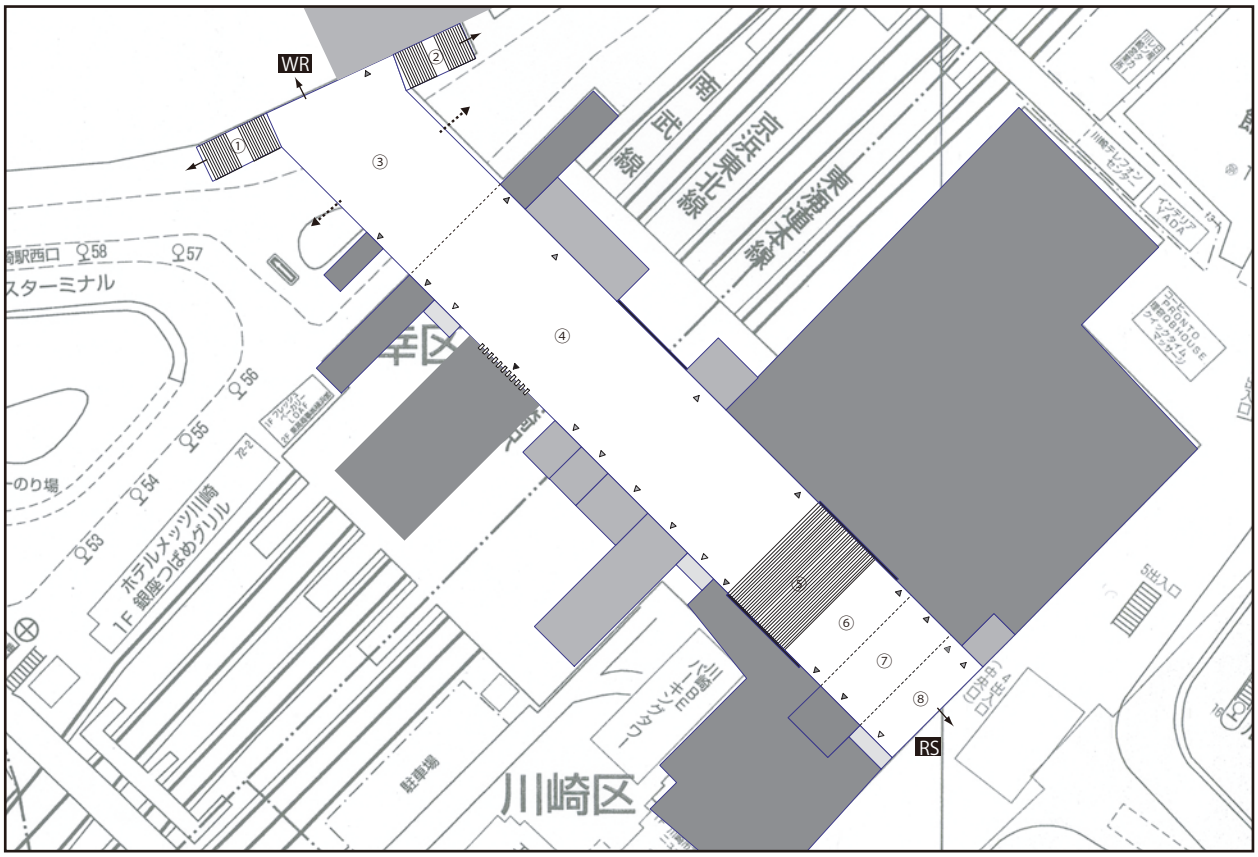


連続単位名　蒲田 1　イロA　蒲田 2　イM

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.48　川崎　通過空間数 1

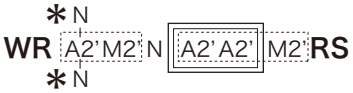


深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

川崎　単位空間数 8　連続単位数 2

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
基本パタン		N	N	◆◇ A2’	M2’	N	◆ A2’	◆ A2’	◆ M2’
形状		—	—	—	—	□	|	|	|
付帯空間数	大	0	0	4	5	0	2	2	1
	中小	0	0	0	8	0	0	0	2

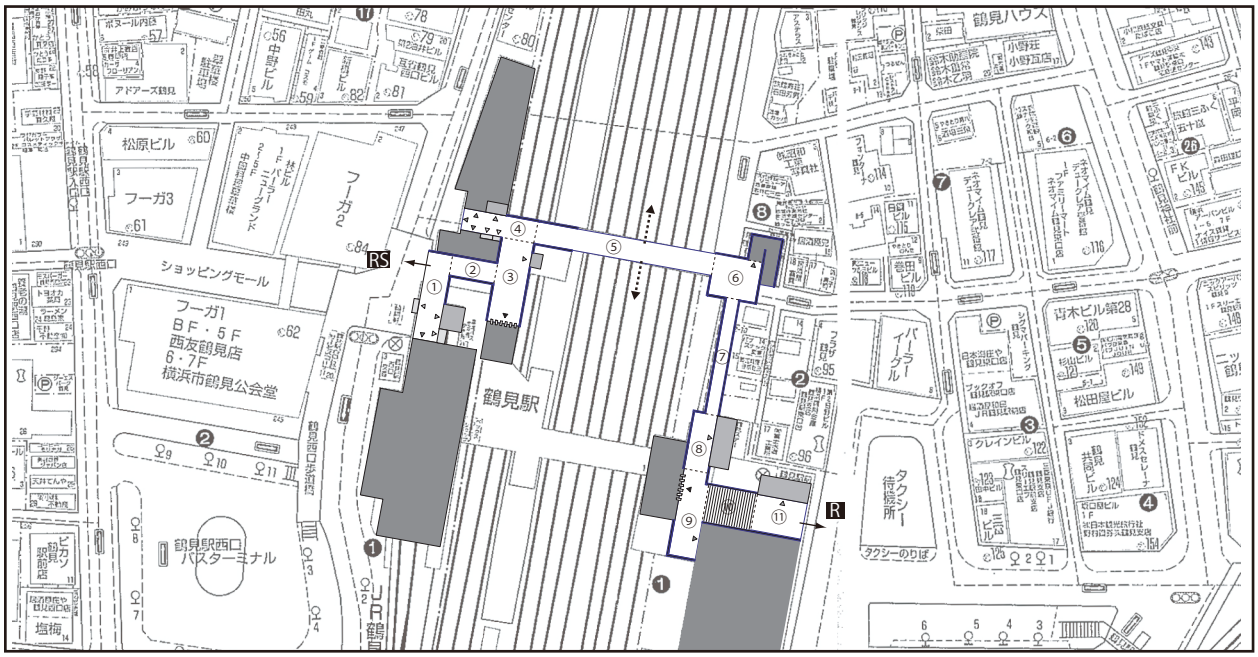


連続単位名　川崎 1　口A　川崎 2　仰A

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.49　鶴見　通過空間数 1



通過空間名

鶴見　単位空間数 11　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
基本パタン		M2	N	◆ M2	M2’	◆ A2’	◆ A1	N	B1	◆ A2’	N	◆ A1
形状			—	—	—	—	□	—	—	□	□	□
付帯空間数	大	1	0	1	3	2	1	0	0	2	0	1
	中小	3	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0

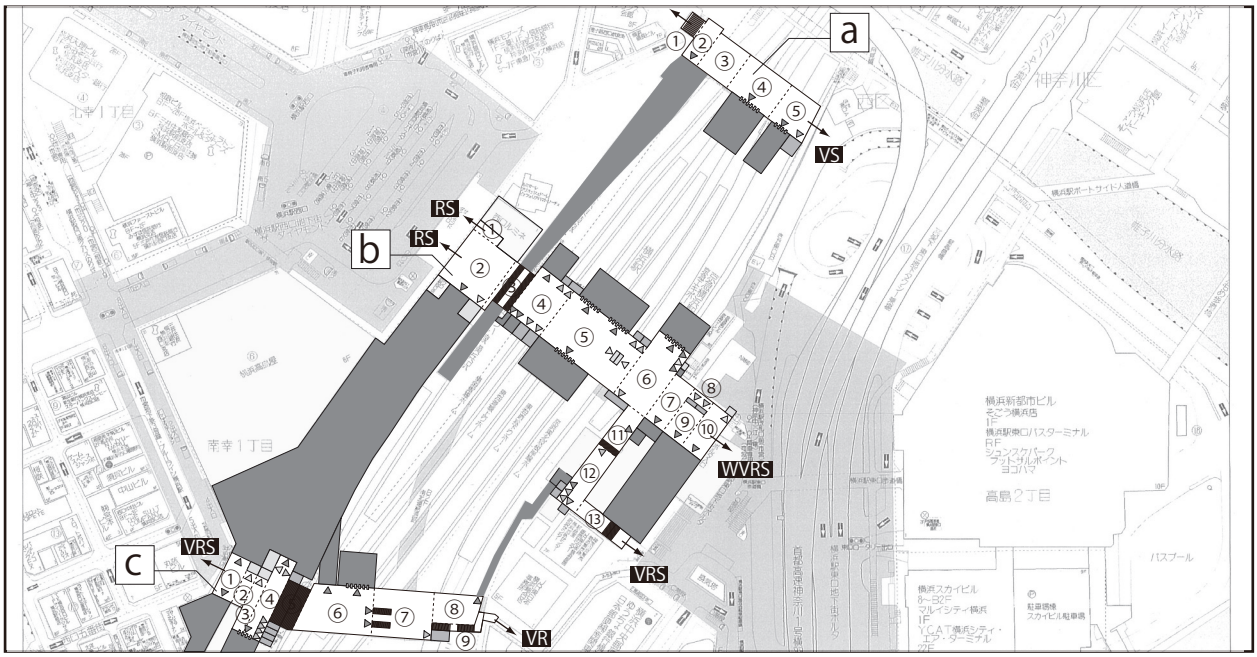
RS M2 N M2 M2’ A2’ A1 N B1 A2’ N A1 **R**

連続単位名　鶴見　仙A

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《空間スケールのみ》

no.50　横浜　通過空間数 3



通過空間名

横浜 a　単位空間数 5　　連続単位数 0

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		N	◆ A1	N	◆ A1	M2
形状		□	|	□	□	―
付帯空間数	大	0	1	0	1	1
	中小	0	0	0	0	1

＊ N A1 N A1 M2 **VS**

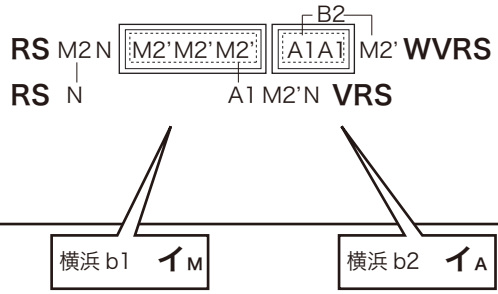
連続単位名

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

通過空間名

横浜 b　　単位空間数 13　　連続単位数 2

単位空間 No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
基本パタン		N	M2	N	◆ M2’	◇ M2’	◆◇ M2’	A1	◆ B2	◆ A1	◆ M2’	A1	◇ M2	N
形状		—	—	□	□	□	|	|	—	|	|	—	—	—
付帯空間数	大	0	1	0	3	3	3	1	0	1	1	1	1	0
	中小	0	1	0	4	4	2	0	2	0	1	0	3	0



連続単位名　横浜 b1 イM　横浜 b2 イA

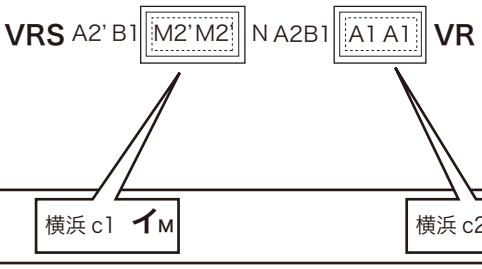
通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

通過空間名

横浜 c　　単位空間数 9　　連続単位数 2

単位空間 No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
基本パタン		◆ A2’	◆ B1	◆ M2’	◆◇ M2’	N	◆◇ A2	◇ B1	A1	◆ A1
形状		|	□	|	|	□	|	□	—	□
付帯空間数	大	2	0	1	3	0	6	0	1	1
	中小	0	1	1	5	0	0	1	0	0

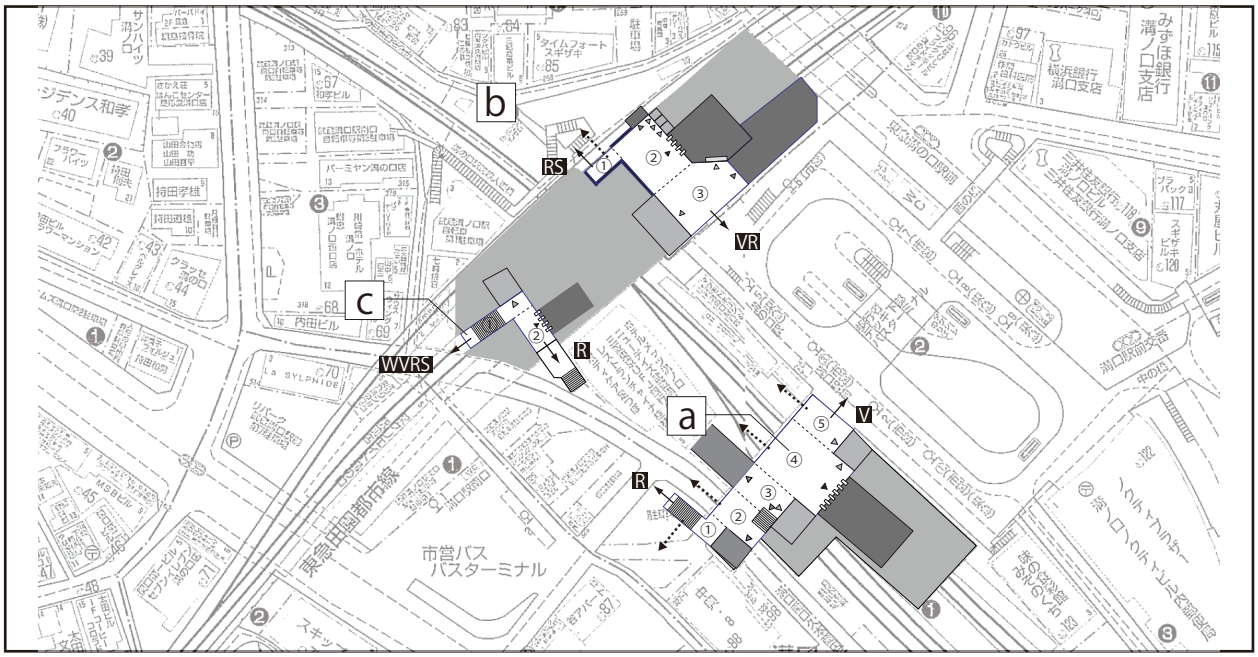


連続単位名　横浜 c1 イM　横浜 c2 ㄖA

通過空間の連続パタン　《端部＋中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.51　溝の口 通過空間数３



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

溝ノ口 a　単位空間数４　連続単位数２

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		◆ A1	◆◇ A2	◇ M2’	◆◇ M2’	◆ M2’
形状		ー	□	□	□	□
付帯空間数	大	1	2	2	2	1
	中小	0	0	1	1	1



連続単位名　溝ノ口 a1 口A　溝ノ口 a2 イM

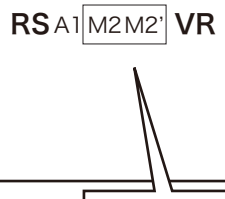
通過空間の連続パタン　《端部連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

通過空間名

溝ノ口 b　単位空間数 3　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		◆ A1	◆◇ M2	◆ M2’
形状		—	□	□
付帯空間数	大	1	2	1
	中小	0	3	2



連続単位名	溝ノ口 b　口M

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

通過空間名

溝ノ口 c　単位空間数 2　　連続単位数 1

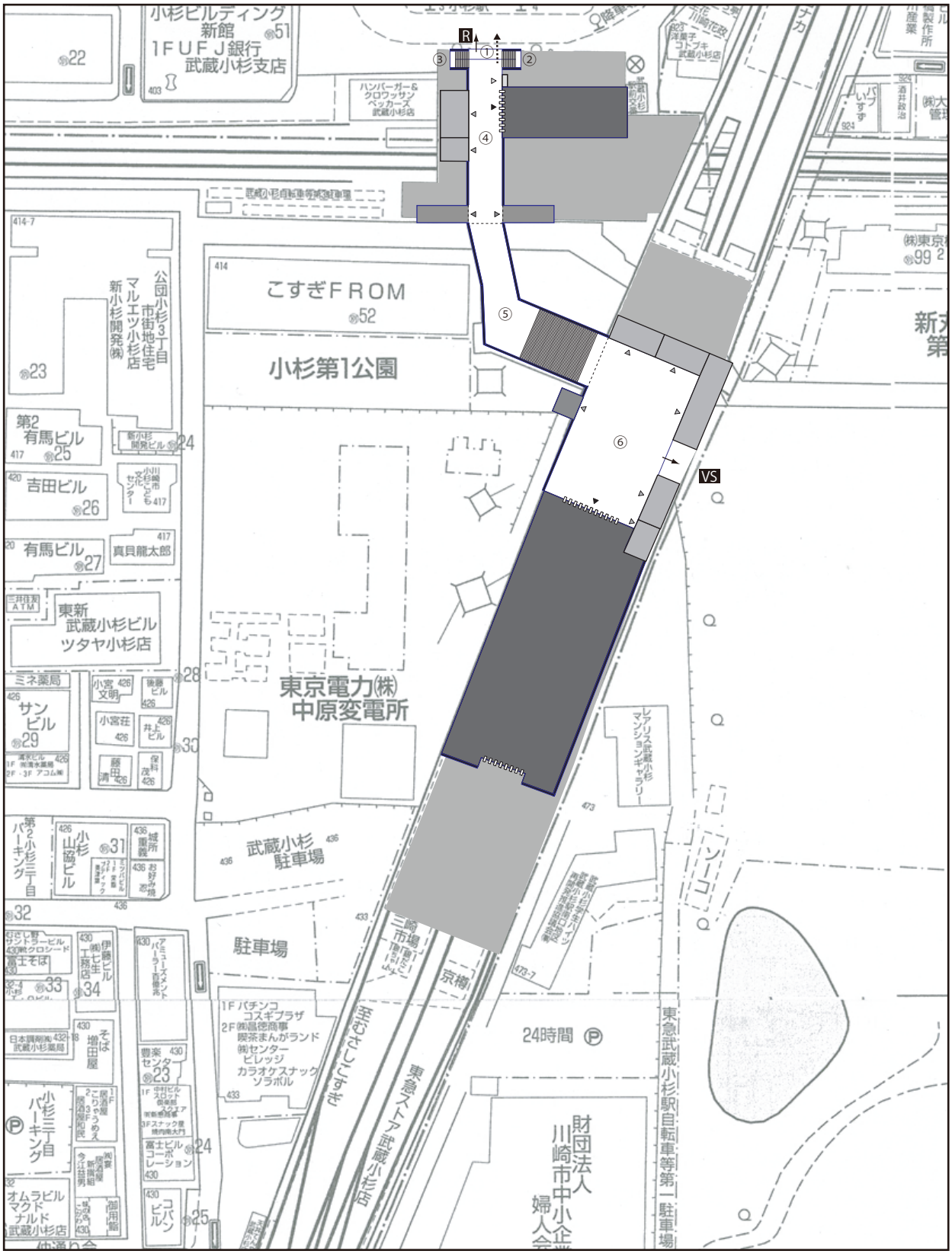
単位空間　No.		①	②
基本パタン		B1	A1
形状		—	—
付帯空間数	大	0	1
	中小	1	0



連続単位名	溝ノ口 c　口M

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.52　武蔵小杉　通過空間数 1



通過空間名

武蔵小杉　単位空間数 6　　連続単位数 0

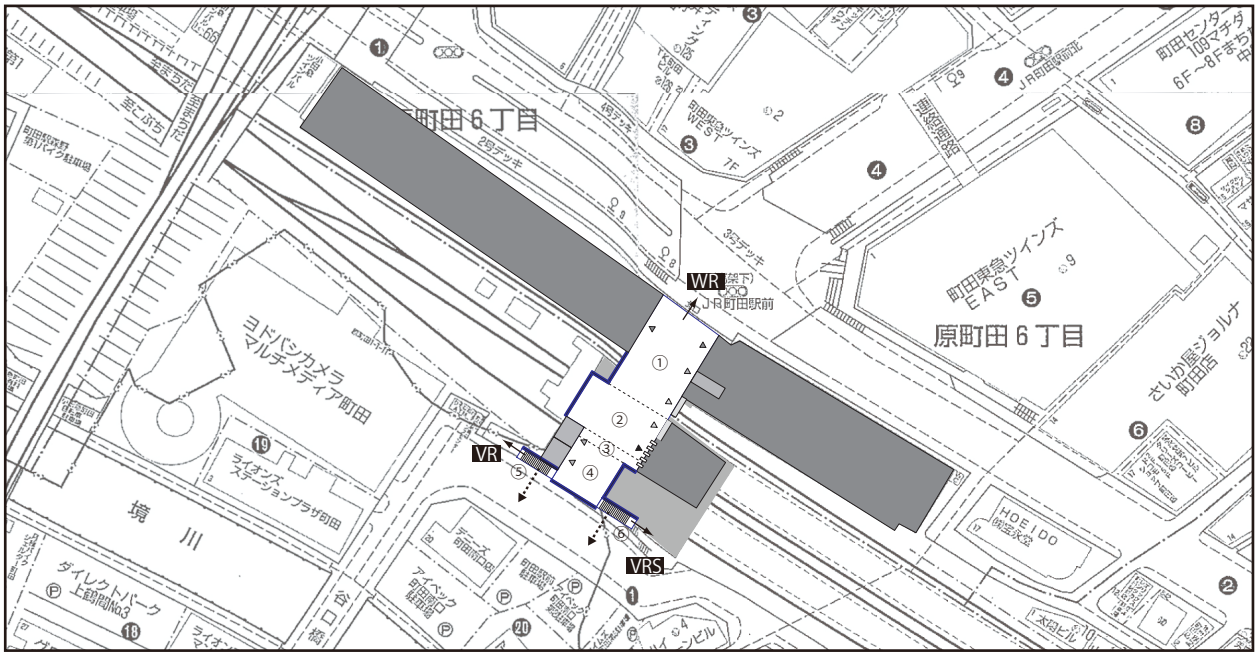
単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		N	N	N	◇ M2’	N	◆◇ M2’
形状		—	—	—	—	—	□
付帯空間数	大	0	0	0	4	0	2
	中小	0	0	0	3	0	5

R N N N M2’ N M2’ **VS**

連続単位名

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》	端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.53　町田　通過空間数 4



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

町田 a　単位空間数 6　　連続単位数 1

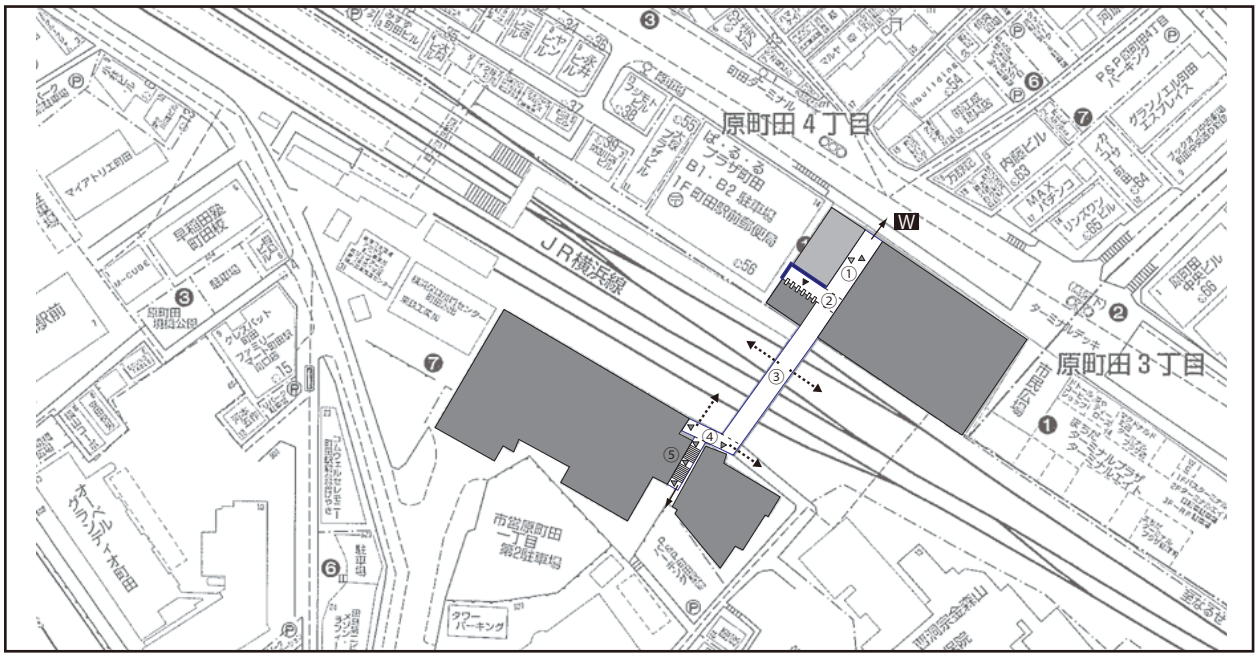
単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		◆ M2’	◆ M2	◆ M2’	◆ B2	◆ A1	◆ A1
形状		□	|	|	□	—	—
付帯空間数	大	2	1	1	0	1	1
	中小	2	1	1	2	0	0



連続単位名　町田 a　口M

通過空間の連続パタン	《基調連続なし》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.53　町田　通過空間数 4

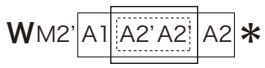


深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

町田 b　単位空間数 5　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		◆ M2’	◇ A1	◆ A2’	◇ A2’	A2
形状		—	|	—	—	—
付帯空間数	大	1	1	2	4	3
	中小	1	0	0	0	0



連続単位名　町田 b　1 0 A

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面の性質のみ》

通過空間名

町田 c　　単位空間数 6　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		N	M2’	◆ M2	◆ A1	◆◇ M2’	N
形状		—	—	□	□	□	—
付帯空間数	大	0	3	2	1	2	0
	中小	0	3	1	0	1	0

＊N M2’ M2 M2 A1 M2’ N **RS**

連続単位名　町田 c　**口M**

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《空間スケールのみ》

通過空間名

町田 d　　単位空間数 5　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤
基本パタン		N	◆ M2’	M2’	◆ M2’	◇ A2’
形状		—	—	—	—	|
付帯空間数	大	0	4	5	2	2
	中小	0	2	1	1	0

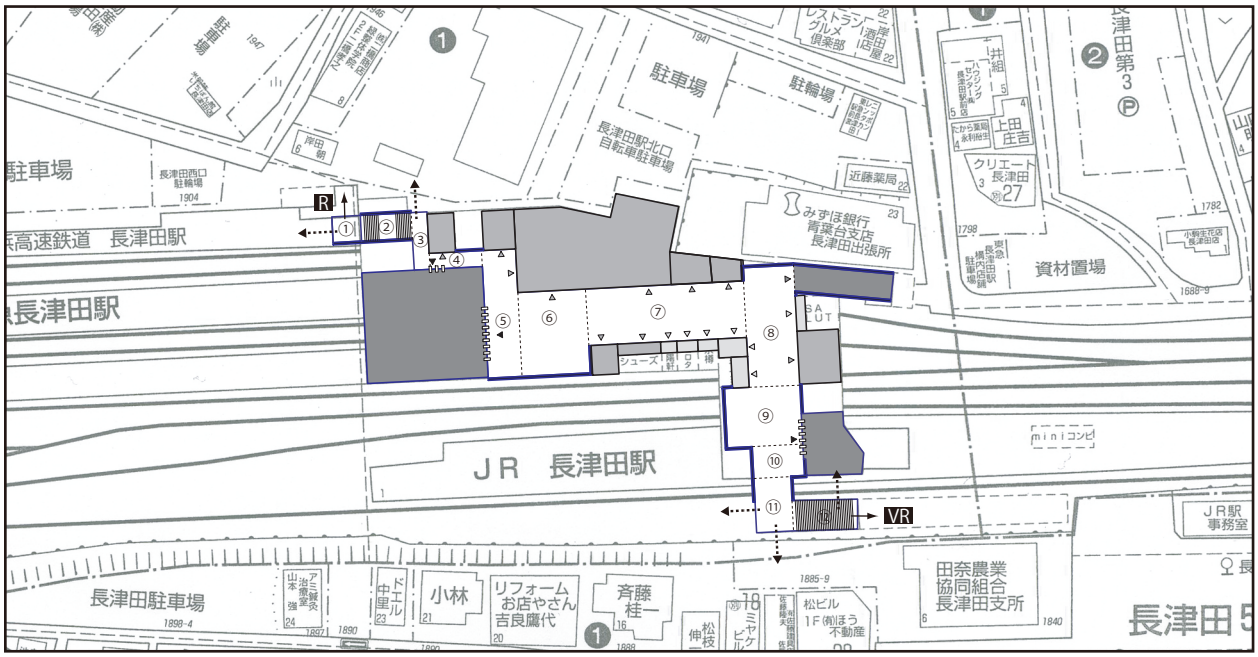
VR N M2’ M2’ M2’ A2’ **V**

連続単位名　町田 d　**イ口A**

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.54　長津田　　通過空間数 1



通過空間名

長津田　　単位空間数 12　　連続単位数 3

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
基本パタン		A1	N	◆◇ A2	◆ M2’	◆◇ M2’	◆ B1	◆ B2’	◆ M2’	A1	A1	◇ A2	A1
形状		—	—	—	—	—	□	—	—	□	□	—	—
付帯空間数	大	1	0	2	1	1	0	0	1	1	1	2	1
	中小	0	0	0	1	2	1	10	4	0	0	0	0

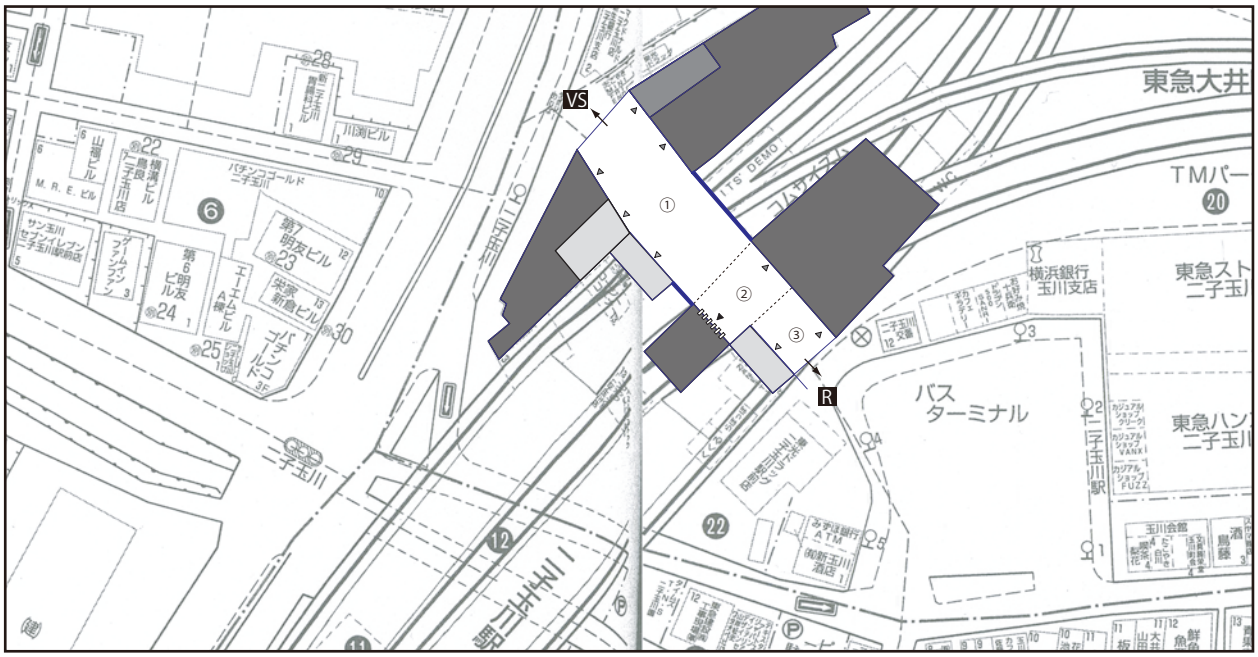


連続単位名　　長津田 1 イM　長津田 2 ロB　長津田 3 ロA

通過空間の連続パタン　《中央連続》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.55　二子玉川　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

二子玉川　単位空間数 3　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		◆ M2’	A2’	◆ M2’
形状		—	—	|
付帯空間数	大	3	2	1
	中小	2	0	1

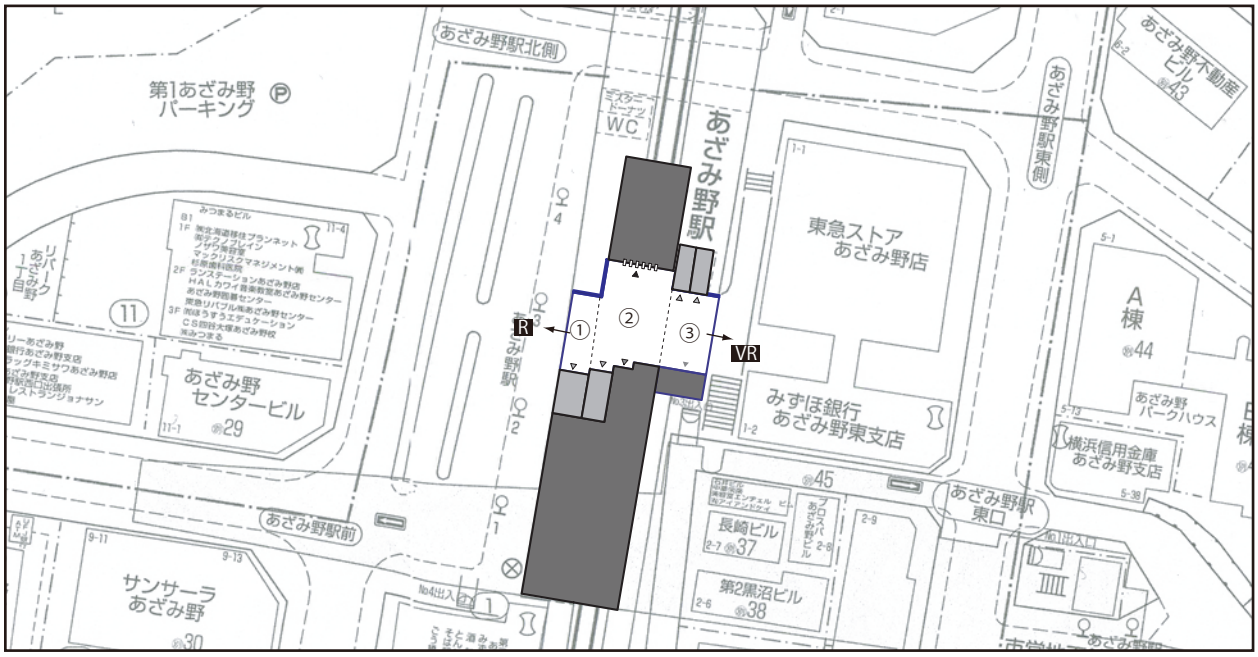
VS M2’ A2’ M2’ **R**

連続単位名　二子玉川 A

通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

no.56　あざみ野　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

あざみ野　単位空間数 3　　連続単位数 1

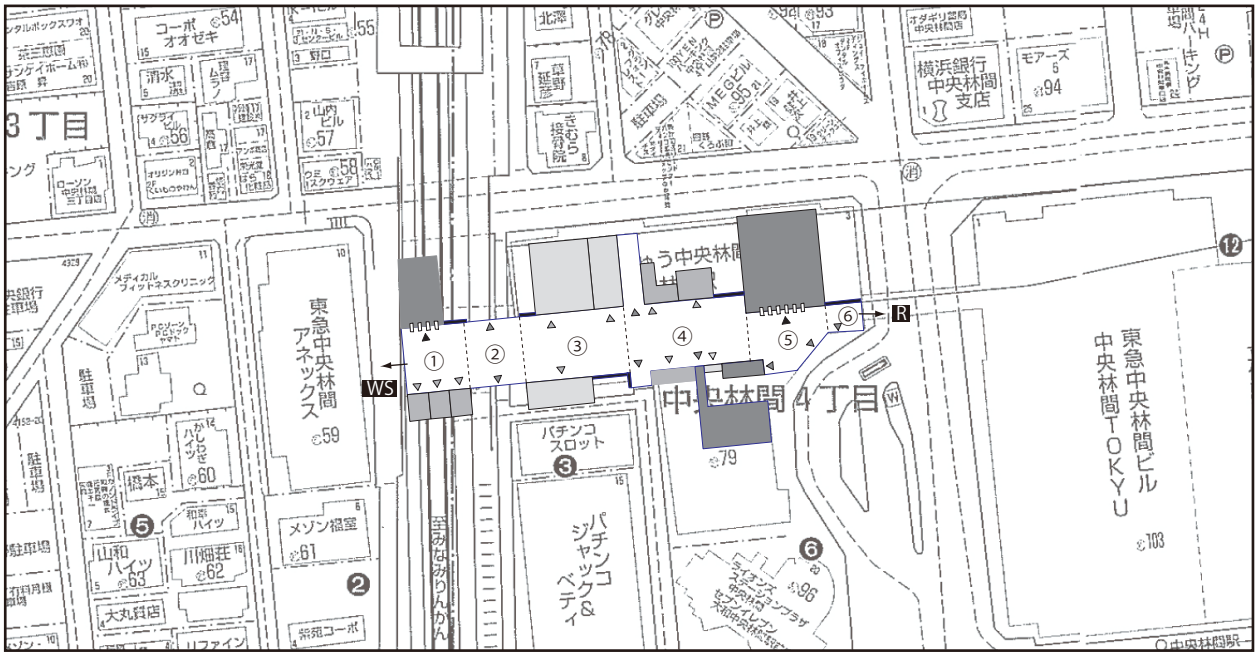
単位空間　No.		①	②	③
基本パタン		◆ B1	◆ M2’	◆ M2’
形状		ー	□	□
付帯空間数	大	0	2	1
	中小	1	1	2



連続単位名	あざみ野 イM

通過空間の連続パタン	《端部連続》	端部における都市空間の連続	《壁面＋スケール》

no.57　中央林間　通過空間数 1



深度大　深度中小　深度大 (視線的)

通過空間名

中央林間　単位空間数 6　　連続単位数 1

単位空間　No.		①	②	③	④	⑤	⑥
基本パタン		◆ M2’	◆ A2’	B2’	M2’	◆◇ A2’	◆ A1
形状		—	—	—	—	□	—
付帯空間数	大	1	2	0	3	3	1
	中小	3	0	3	4	0	0

WS M2’ A2’ B2’ M2’ A2’ A1 **R**

連続単位名　中央林間 口M

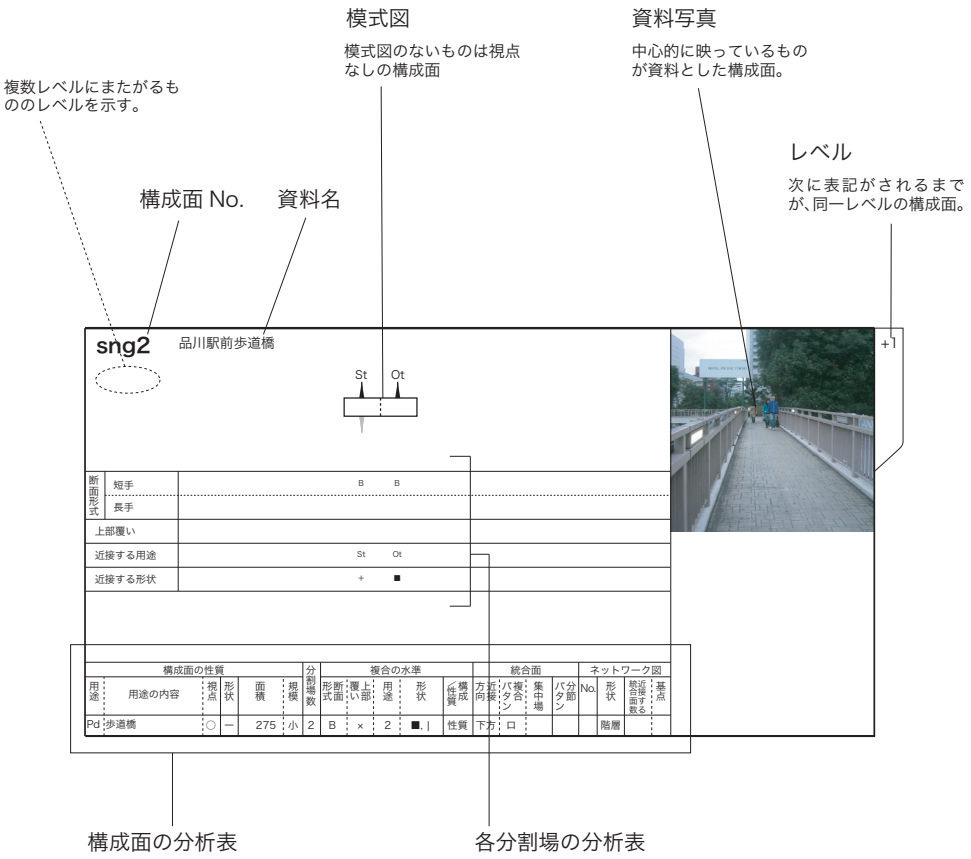
通過空間の連続パタン　《基調連続なし》

端部における都市空間の連続　《壁面＋スケール》

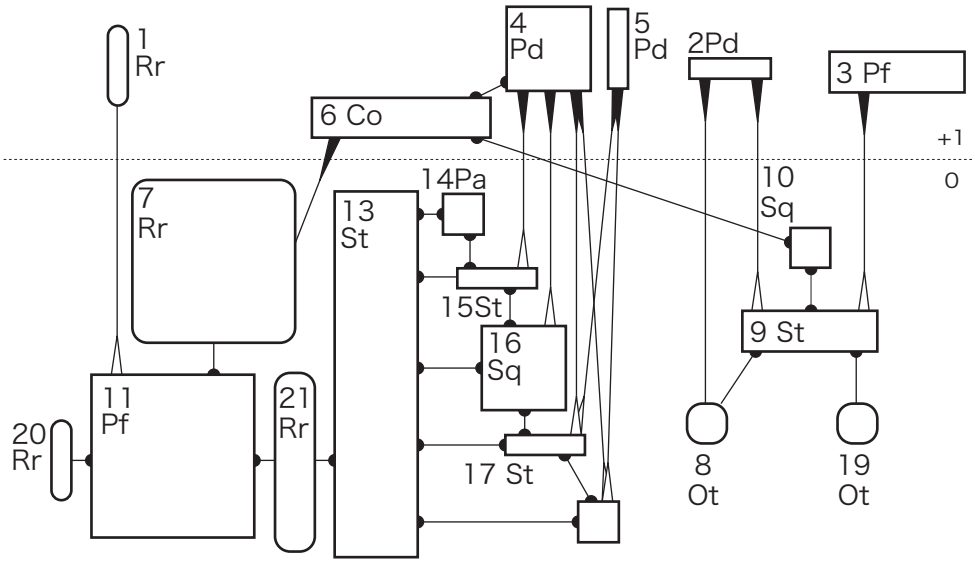
4章　資料編

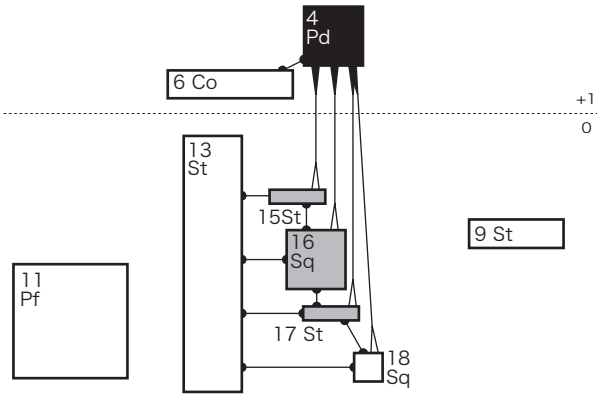
分析をするにあたって作成した構成面の模式図と、ネットワーク図を資料として掲載する。各駅ごとに、まず 1 頁めにネットワーク図を、以降の頁に構成面の模式図を資料写真、分割場、構成面の分析表と共に記載した。

〈資料編の見方〉



No.01　品川駅

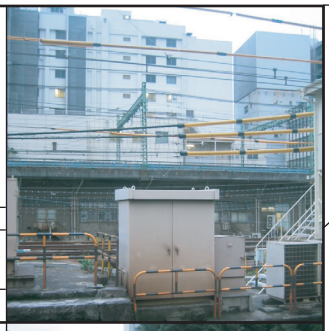




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
品川	9 面／基点階層型	2(2)	○	◉	◎	◎	◎	○	○	◎	▽□□	■■■□			△		▼

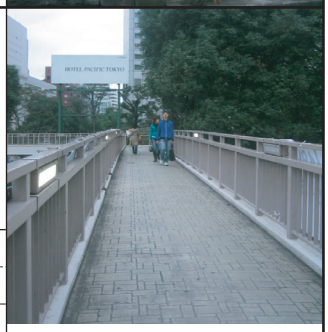
sng1　京浜急行本線

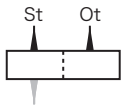


+1

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Rr	線路	×	—	2191	小												階層		

sng2　品川駅前歩道橋



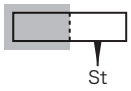


隣接形式		
	短手	B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Ot
隣接する形状		+　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pd	歩道橋	○	—	275	小	2	B	×	2	■, |	性質	下方	ロ				階層		

sng3　京浜急行品川駅ホーム

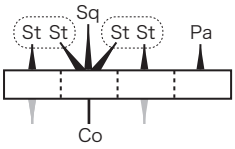




隣接形式		
	短手	N　B
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		St
隣接する形状		—

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pf	ホーム	○	—	5768		2	B	混	1	—	構成	下方	二				階層		

sng4　港南口ペデストリアンデッキ

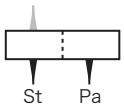


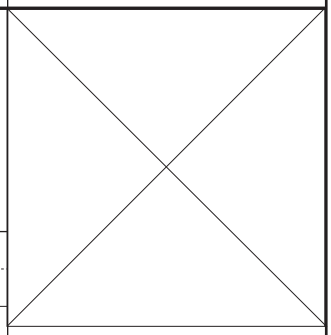


隣接形式		
	短手	B　B・F　B　B
	長手	B・B
上部覆い		
隣接する用途		St　Sq, St, St, Co　St　Pa
隣接する形状		+　■—— |　+　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	■	4625		4	B, F		×		4	■, ー, |	両方	下方	ロ	●	C		階層	5	●

sng5　品川インターシティペデストリアンデッキ

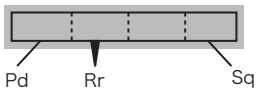


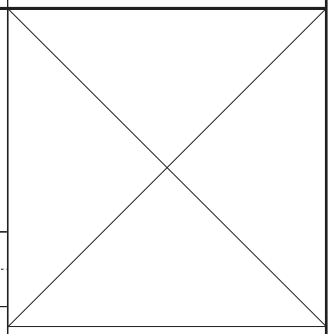


隣接形式		
	短手	B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Pa
隣接する形状		+　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	ー	595	小	2	B		×		2	■, |	性質	下方	ロ				階層		

sng6　中央コンコース





隣接形式		
	短手	B　N
	長手	F　F
上部覆い		○　○　○　○
隣接する用途		Pd　Rr　Sq
隣接する形状		■　■　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Co	コンコース	×	■	5313		4	B, F		○		3	■	両方	下方	二		F		階層	1	

sng7　JR 山手線・東海道本線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成/性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	集中点
Rr	線路	×	■	36449	大												階層		

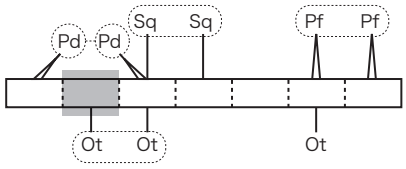
sng8　みなと高輪バイクイン



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成/性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	集中点
Ot	他(駐車場)	×	■	1504													階層		

sng9　第一京浜



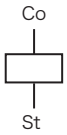


隣接形式	短手	(N)　F　F・F　F　N　A・F　A
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Pd　Ot　Sq, Pd, Ot　Sq　Pf, Ot　Pf
隣接する形状		―　■　■■―　■　■―　―

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成/性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	―	9690		7	A, F	混	4	■, ―	両方	同一	ハ	●	FC		階層	0	・

sng10　高輪口ロータリー

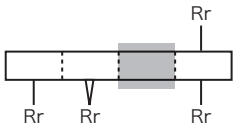




隣接形式	短手	F・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St, Co
隣接する形状		―, |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成/性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	1980	小	1	F	×	2	―, |		同一	イ				階層		

sng11 JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線品川駅ホーム





隣接形式		
	短手	F　A　N　F・F
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		Rr　Rr　Rr, Rr
隣接する形状		■'　—　——

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pf	ホーム	○	■	42122	大	4	A, F	混		1	■, —	両方	同一	二		F		階層	0	・

sng12 JR 東海道新幹線品川駅ホーム

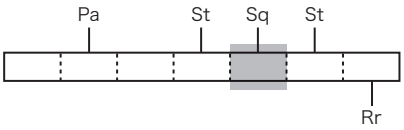




隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pf	ホーム	○	—	15977		1	N		○		0	×		なし	イ				階層		

sng13 道路 1

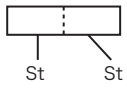


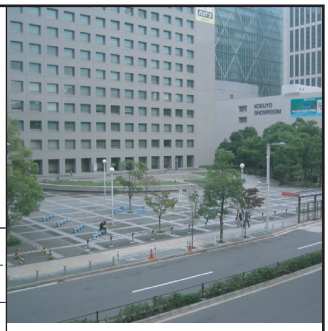


隣接形式		
	短手	N　F　N　F　F　F　F
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		Pa　St　Sq　St　Rr
隣接する形状		■	■	—

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	—	17949	大	7	F		混		4	■, —, |	両方	同一	ハ		F		階層	3	・

sng14 NTT ツインズ・区立こうなん星の公園

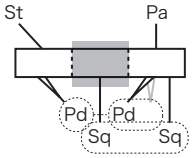




隣接形式	短手	F (N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St St
隣接する形状		— —

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断式面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近合接面数する	基点
Pa	広場	○	■	11114		2	F	×	1	—		同一	二				階層		

sng15 道路2

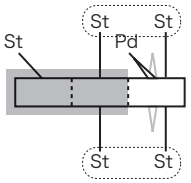




隣接形式	短手	(N) F F・F
	長手	A・F A
上部覆い		○
隣接する用途		Pd, St Sq Sq, Pa, Pd
隣接する形状		■— ■ ■■■'

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断式面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近合接面数する	基点
St	道路	○	—	2448	小	3	A, F	混	4	■, —	両方	同一	ハ	○	FC		階層	3	○

sng16 港南ふれあい広場（品川駅港南口交通広場）

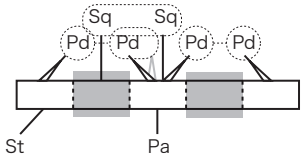




隣接形式	短手	(N) F・F F・F
	長手	F A
上部覆い		○ ○
隣接する用途		St St, St Pd, St, St
隣接する形状		— —— ■'——

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断式面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近合接面数する	基点
Sq	駅前広場	○	■	13454		3	A, F	混	2	■, —	両方	同一	ハ	○	FC		階層	4	○

sng17 道路3

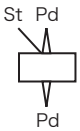




隣接形式		
	短手	(N) F F・F N (N)
	長手	A・F A・A A
上部覆い		○ ○
隣接する用途		Pd, St Sq Sq, Pa, Pd, Pd Pd
隣接する形状		■— ■ ■■■' — —

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合する面数近接	基点
St	道路	○	—	3882	小	5	A, F	混	4	■, —	両方		同一	ハ	●	FC		階層	4	○

sng18 区立汐の公園

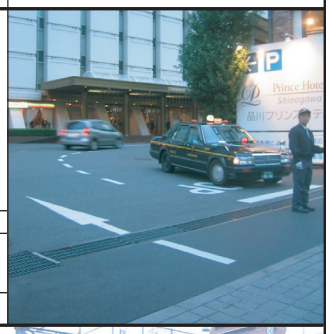




隣接形式		
	短手	A・A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pd, Pd, St
隣接する形状		———

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合する面数近接	基点
Pa	公園	○	■	1934	小	1	A, F	×	2	—	構成		上方	イ		S		階層	2	

sng19 品川プリンスホテル



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合する面数近接	基点
Ot	他(庭)	×	■	1322	小													階層		

sng20 JR 山手線



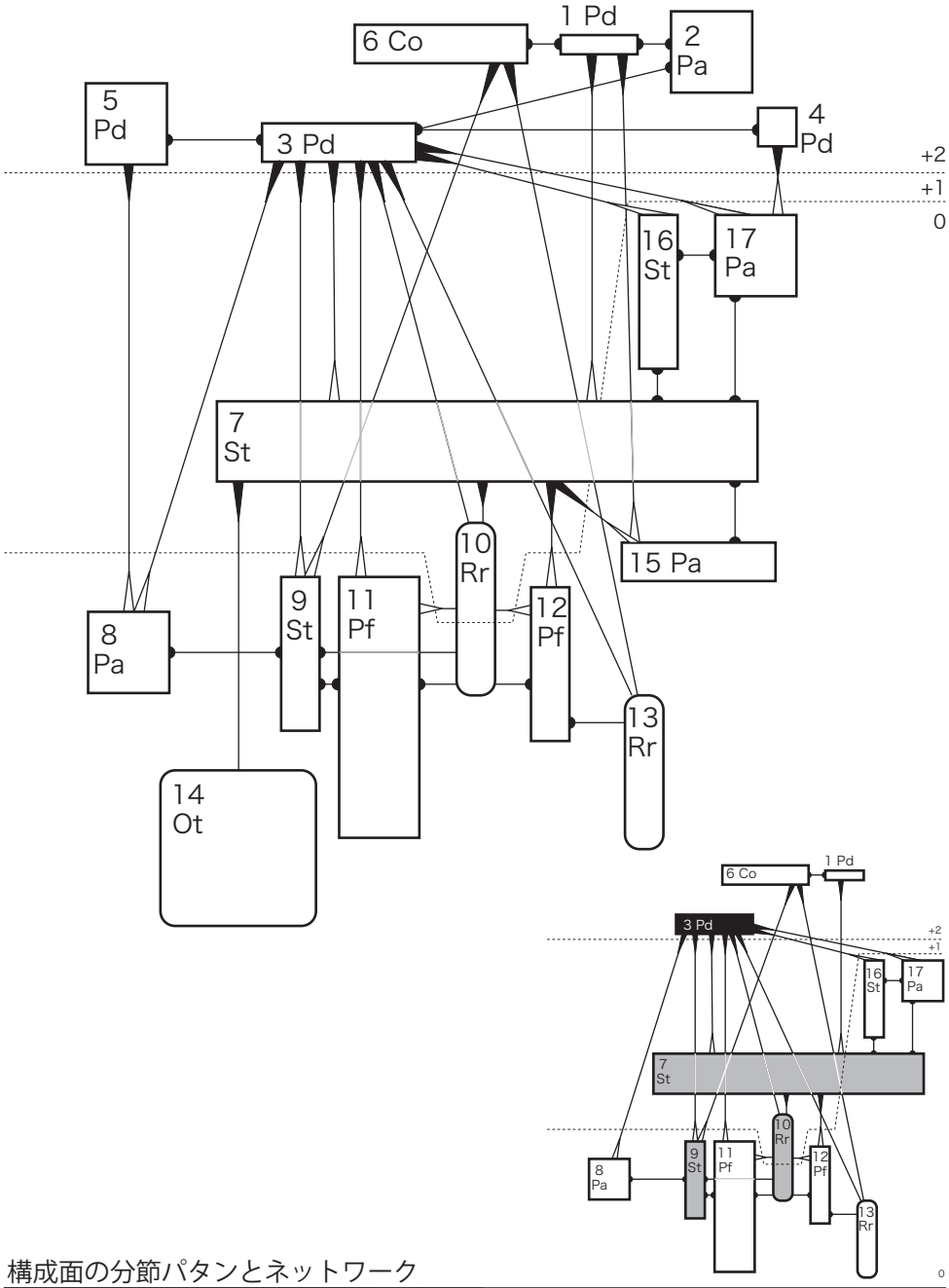
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合する面数近接	基点
Rr	線路	×	—	3490	小	5												階層		

sng21 JR 東海道本線・東海道新幹線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成／性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	6309													階層		

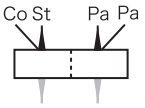
No.02　大崎駅



構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
大崎	12 面／基点階層型	3(3)	●	◎	○	◎	○	○	○	◎	△△▽	△■■■	△△	▽		○●	

oos1　O 歩道橋

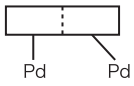




隣接形式	短手	B　B
	長手	F　F
上部覆い		
隣接する用途		St, Co　Pa, Pa
隣接する形状		+｜　■+

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pd	歩道橋	○	ー	421	小	2	B, F	○		3	■, ｜	両方	下方		ロ		U		階層	2	・

oos2　大崎ニューシティ 3F 広場（O パティオ）

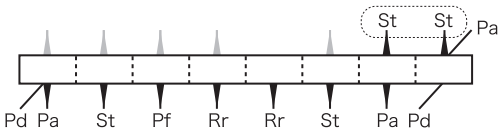


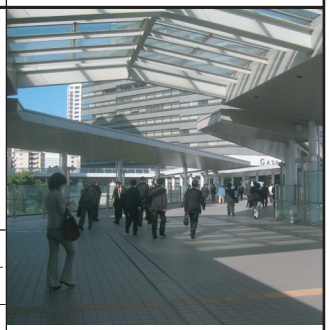


隣接形式	短手	F　(N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pd　Pd
隣接する形状		｜　｜

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pa	屋上広場	○	■	5067		2	F	×		1	｜		同一		ニ				階層		

oos3　連絡歩道橋

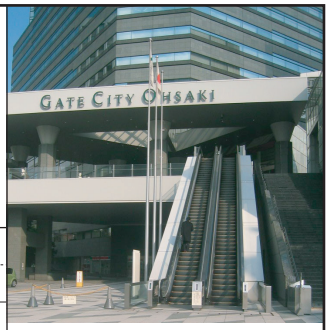




隣接形式	短手	B　B　B　B　B　B　B・B　B
	長手	F　F・F
上部覆い		
隣接する用途		Pa, Pd　St　Pf　Rr　Rr　St　Pa, St　Pa, Pd, St
隣接する形状		■回　+　+　+　｜　+　■ー　■■｜

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	ー	3276		8	B, F	×		5	■, ー, ｜	両方	同一		ハ	○	FC		階層	8	●

oos4　ゲートシティ大崎ペデストリアンデッキ



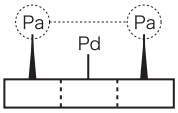


隣接形式		
	短手	B
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pa, Pd
隣接する形状		■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	上部覆い	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面接する数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	■	676	小	1	B, F	×	2	■, |	両方	下方	イ				階層		

oos5　シンクパーク大崎ペデストリアンデッキ

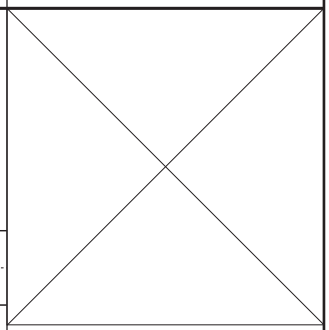


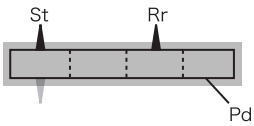


隣接形式		
	短手	B　F　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pa　Pd　Pa
隣接する形状		■　|　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	上部覆い	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面接する数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	■	2861		3	B, F	×	2	■, |	両方	下方	二				階層		

oos6　中央コンコース



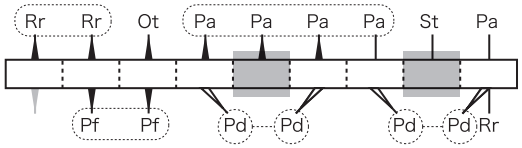


隣接形式		
	短手	B・B　N　B
	長手	F
上部覆い		○　○　○　○
隣接する用途		St　Rr　Pd
隣接する形状		―　■　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	上部覆い	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面接する数	基点
Co	コンコース	○	―	678	小	2	B, F	○	3	■, |	両方	下方	二		F		階層	3	・

oos7 山手通り

+1 / 0



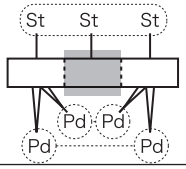


+1

隣接形式									
	短手	B	B・B	B・B	B	B	B	F	F	F・F
	長手				A		A	A		A
上部覆い						○			○	
隣接する用途		Rr	Rr, Pf	Pf, Ot	Pa, Pd	Pa	Pa, Pd	Pa, Pd	St	Pa, Pd, Rr
隣接する形状		+	| |	■–	––	–	––	––	|	■––

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図				
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上覆い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	近接統合面数	基点	
St	道路	○	–	9338	大	9	A,B,F	混	6	■, –, |	両方		同一	ハ	○	FC		階層	7	○	

oos8 シンクパーク大崎



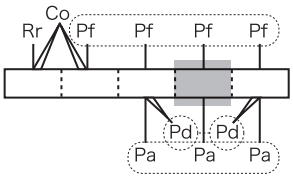


0

隣接形式									
	短手	A・F	F	A・F					
	長手	A		A					
上部覆い				○					
隣接する用途		Pd, Pd, St	St	Pd, Pd, St					
隣接する形状		■––	–	■––					

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図				
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上覆い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	近接統合面数	基点	
Pa	広場	○	■	4155		3	A, F	混	2	■, –	両方		上方	ロ	○	C		階層	2		

oos9 道路 1





隣接形式									
	短手	AF	AF	F・F	F・F	F・F			
	長手			A		A			
上部覆い				○					
隣接する用途		Rr, Co	Pf, Co	Pa, Pd, Pf	Pa, Pf	Pa, Pd, Pf			
隣接する形状		–|	–|	■––	■–	■––			

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図				
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上覆い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	近接統合面数	基点	
St	道路	○	–	5150		5	A, F	混	5	■, –, |	両方		同一	ハ	●/○	FC		階層	5	○	

oos10 JR 埼京線・山手線

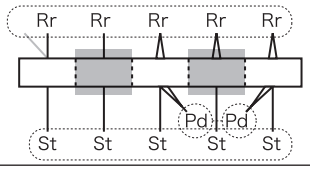
+1 / 0



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	—	8196		-												Z		階層	6	○

oos11 JR 埼京線・新宿湘南ライン・東京臨海高速鉄道りんかい線大崎駅ホーム



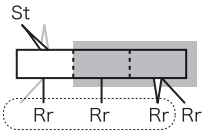


隣接形式	短手	F・F	F・F	A・F	A・F	A・F
	長手			A		A
上部覆い				○		○
隣接する用途		St, Rr	St, Rr	Pd, St, Rr	St, Rr	Pd, St, Rr
隣接する形状		——	——	———	——	——

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	10605	大	5	A, F		混		3	—		両方	上方	ロ	●/○	C		階層	3	

oos12 JR 山手線大崎駅ホーム





隣接形式	短手	F	F	A		
	長手	A		F		
上部覆い				○		
隣接する用途		St, Rr		Rr		Rr
隣接する形状		「, 「		—		—, |

※St と Rr が Pf を包囲
※Rr に埼京線と山手線の２種類があり。

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	6442		3	A, F		混		2	—, |	構成	上方	ハ			F		階層	3	・

oos13 JR 山手線



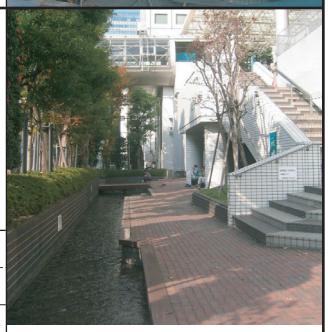
構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	—	3115		-												Z		階層	3	・

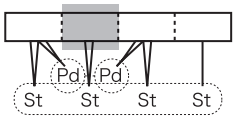
oos14 （仮称）大崎一丁目プロジェクト建設工事



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Ot	他（工事現場）	×	■	6813		-														階層		

oos15 大崎ニューシティ



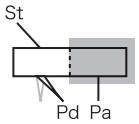


隣接形式	短手	A	A	A	F
	長手	A		A	
上部覆い		○			
隣接する用途		Pd, St	St	Pd, St	St
隣接する形状		−−	−	−−	−

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Pa	広場	○	−	3187		4	A, F		混	2	−	構成	上方	ハ						階層		

oos16 道路2

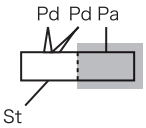




隣接形式	短手	(N)	F		
	長手	A・F			
上部覆い		○			
隣接する用途		Pd, St	Pa		
隣接する形状		−−	■		

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	−	2910		2	A, F		混	3	■, −	両方	上方	ニ			F			階層	3	

oos17 ゲートシティ大崎

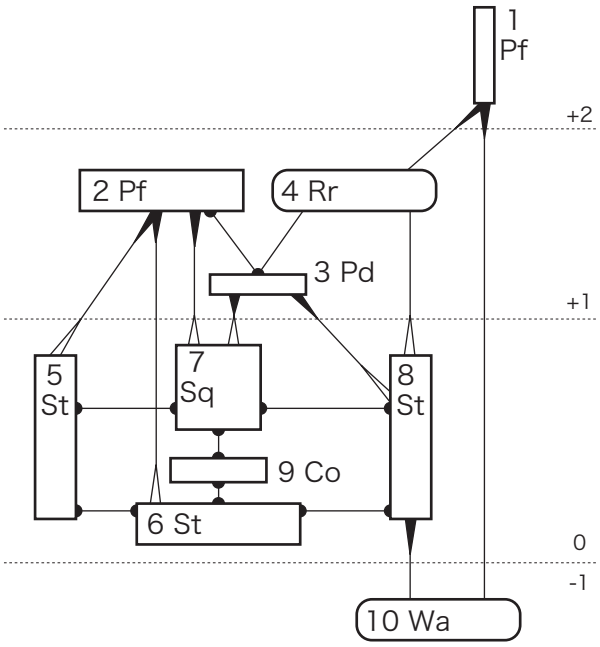


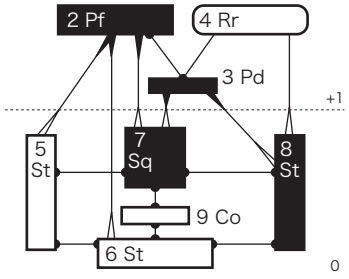


隣接形式	短手	A　F
	長手	A・F
上部覆い		○
隣接する用途		Pd, Pd, St　St
隣接する形状		■−−　−

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成／性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pa	広場	○	■	3085		2	A, F	混		2	■, −	両方	上方	二	○	FC		階層	3	

No.03　五反田駅

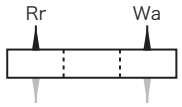




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
五反田	7面／基点分散型	4(2)	●	●	●	●	○	●		●	△□◆▼		■			○	▼

got1　東急池上線五反田駅ホーム

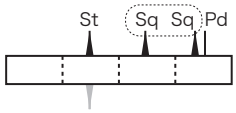




隣接形式	短手	B　N　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr　Wa
隣接する形状		+　+

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	1288	小	3	B	×		2	|	両方		下方		二					分散		

got2　JR 山手線五反田駅ホーム

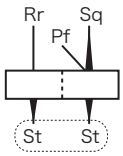




隣接形式	短手	N　B　B　BF
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Sq　Sq, Pd
隣接する形状		+　■　■―

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	5962		4	B, F	×		3	■, ―, |	両方		下方		ハ			F		分散	4	●

got3　五反田歩道橋





隣接形式	短手	B・F　B・B
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr　Sq, Pf, St
隣接する形状		―|　■――

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	―	311	小	2	B, F	×		4	■, ―, |	両方		下方		ロ		○	C		分散	4	●

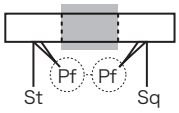
got4　JR 山手線・埼京線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	覆い部	用途	形状	構成性質	方向	パタン	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
Rr	線路	×	―	2186											Z		分散	2	

got5　桜田通り



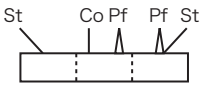


隣接形式	短手	F　N　F
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Pf, St　Sq, Pf
隣接する形状		―|　■―

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	覆い部	用途	形状	構成性質	方向	パタン	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	6648	大	3	A, F	混	3	■, ―, |	両方	上方	二		F		分散	3	

got6　道路

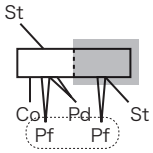




隣接形式	短手	A・F　A
	長手	F　F
上部覆い		
隣接する用途		St　Pf, Co　Pf, St
隣接する形状		―　―|　――

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	覆い部	用途	形状	構成性質	方向	パタン	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	2109		3	A, F	×	3	―, |	両方	同一	ハ		F		分散	3	

got7　東口ロータリー

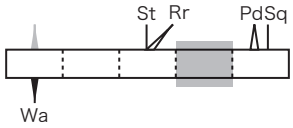




隣接形式		
	短手	A・F　A
	長手	A・F　F
上部覆い		○
隣接する用途		Pd, Pf, St, Co　Pf, St
隣接する形状		ーーー|　ーー

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	5561	小	2	A, F	混	4	ー, |	両方	同一	ロ	○	C		分散	4	●

got8　都道 317 号（ソニー通り）

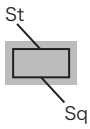


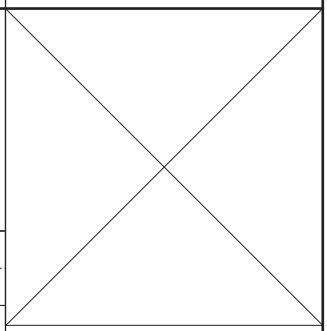


隣接形式		
	短手	B　N　F　N　AF
	長手	A
上部覆い		○
隣接する用途		Wa　St, Rr　Sq, Pd
隣接する形状		+　ー|　■ー

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	ー	4979		5	A,B,F	混	5	■, ー, |	両方	上下	ニ		F		分散	4	●

got9　中央コンコース





隣接形式		
	短手	
	長手	F・F
上部覆い		○
隣接する用途		St, Sq
隣接する形状		ー, ■

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Co	コンコース	○	ー	403	小	1	F	○	2	■, ー	性質	同一	イ				分散		

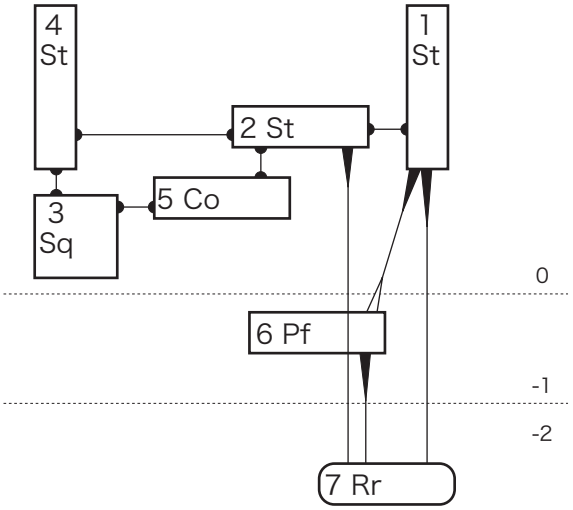
got10 目黒川

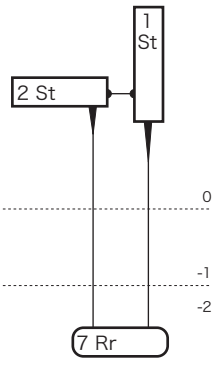


-1

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Wa	河川	×	ー	3093																分散		

No.04　目黒駅

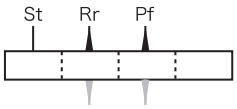




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
目黒	3 面／均質重層型	3(3)		○		○				○	▽□					○	

meg1　目黒通り1

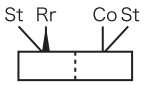




隣接形式		
	短手	F　B　B　N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Rr　Pf
隣接する形状		|　+　+

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	ー	1872		4	B, F	×		3	|	両方	下方	ハ	○	F		均質	2	

meg2　道路





隣接形式		
	短手	B　F
	長手	F　F
上部覆い		
隣接する用途		Rr, St　St, Co
隣接する形状		ーー　ー|

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	ー	2889		2	B, F	×		3	ー, |	両方	同一	二		F		均質	2	

meg3　東口ロータリー

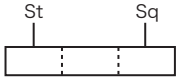




隣接形式		
	短手	F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Co
隣接する形状		ー|

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	2513		1	F	×		2	ー, |		同一	イ				均質		

meg4　目黒通り 2

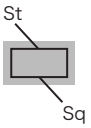


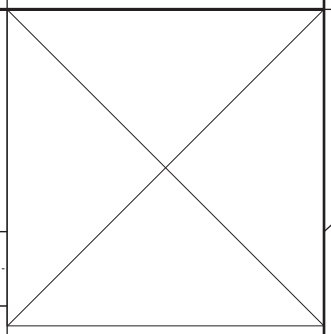


隣接形式		
	短手	F　N　F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Sq
隣接する形状		|　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	―	4870		3	F	×		2	■, |	性質	同一	二				均質		

meg5　中央コンコース



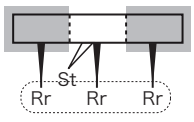


-1

隣接形式		
	短手	
	長手	F・F
上部覆い		○
隣接する用途		St, Sq
隣接する形状		―, ■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Co	コンコース	○	―	841	小	1	F		○		2	■, ―	性質	同一	イ				均質		

meg6　JR 山手線目黒駅ホーム





隣接形式		
	短手	B　B　B
	長手	A
上部覆い		○　○
隣接する用途		Rr　St, Rr　Rr
隣接する形状		―　――　―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	3180		3	A, B		混		2	―	構成	上下	ロ				均質		

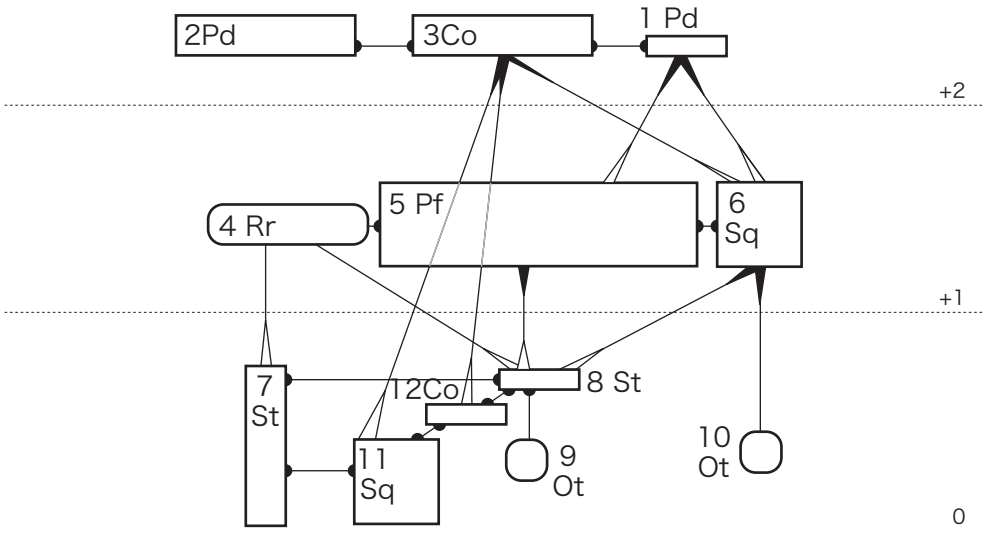
meg7　JR 埼京線

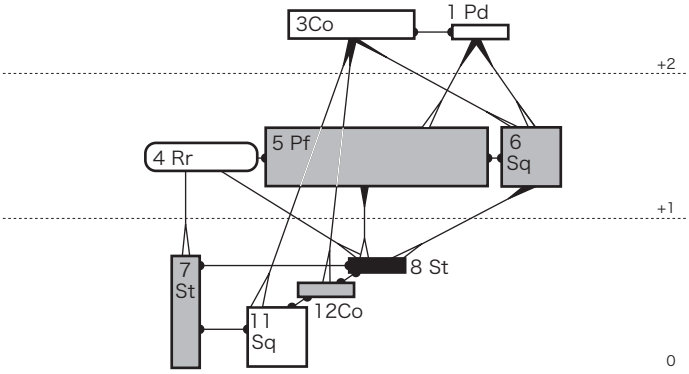
-2



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	近接 方向	複合 パタン	集中場	分節 パタン	No.	形状	近接する 統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	3282											Z		均質	2	

No.05　恵比寿駅





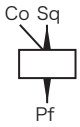
構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
恵比寿	9 面／基点階層型	3(3)		◉	○	◎	◎	○	◎	◎	▲▲△▽	◆	■		△▽	●	

ebi1　恵比寿ネオナートペデストリアンデッキ



+2



隣接形式	短手	B・B
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Pf, Co
隣接する形状		■ー｜

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	ー	166	小	1	B, F	×		3	■, ー, ｜		両方	下方		二			S			階層	3	・

ebi2　恵比寿スカイウォーク

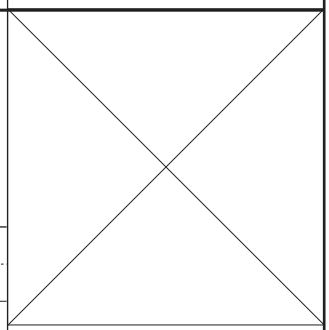


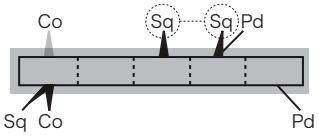


隣接形式	短手	N
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		Co
隣接する形状		

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Pd	連絡通路	○	ー	1041	小	1	F	○		1	｜			同一		イ						階層	3	

ebi3　東西コンコース





隣接形式	短手	B・B	N	B			
	長手	B		F	B, F	F	
上部覆い		○	○	○	○	○	
隣接する用途		Sq, Co		Sq	Pd, Sq	Pd	
隣接する形状		■｜		■	■｜	｜	

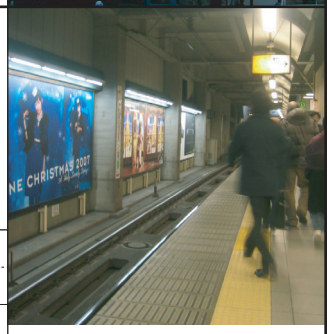
構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	1982		5	B, F	○		3	■, ー, ｜		両方	下方		二			F			階層	5	○

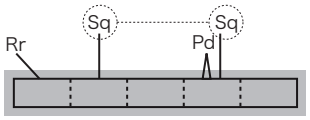
ebi4　JR 山手線・埼京線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合する 近接 面数	基点
Rr	線路	×	ー	1749		-									Z		階層	3	

ebi5　JR 山手線・埼京線・新宿湘南ライン恵比寿駅ホーム



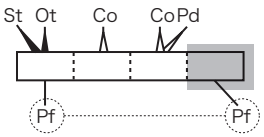


隣接形式	短手	(N)　F　N　AF　N
	長手	F
上部覆い		○　○　○　○　○
隣接する用途		Rr　Sq　Sq, Pd
隣接する形状		|　■　■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合する 近接 面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	7342	大	5	A, F	○	3	■, ー	両方	上方	二		F		階層		○

ebi6　東口ロータリー



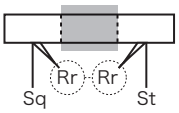


隣接形式	短手	B・F　A　A　(N)
	長手	B　A　F
上部覆い		○
隣接する用途		Pf, St, Ot　Co　Pd, Co　Pf
隣接する形状		■ー |　ー　ーー　ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合する 近接 面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	4394		4	A,B,F	混	5	■, ー, |	両方	上下	ハ	○	FC		階層	4	○

ebi7　駒沢通り



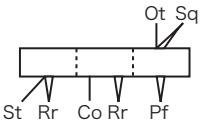


隣接形式		
	短手	F　N　F
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Sq, Rr　St, Rr
隣接する形状		■ー　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接合面数する	基点
St	道路	○	ー	4334		3	A, F	混	3	■, ー, |	両方		上方	二		F		階層	3	○

ebi8　道路





隣接形式		
	短手	A　AF　A・F
	長手	F　A
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr　Rr, Co　Sq, St, Ot
隣接する形状		ーー　ー|　■ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接合面数する	基点
St	道路	○	ー	1226		3	A, F	×	6	■, ー, |	両方		同一	ロ	○	C		階層	5	●

ebi9　（仮称）恵比寿一丁目計画建設工事



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接合面数する	基点
Ot	他（工事現場）	×	■	973	小													階層		

ebi10　タイムズ TNS 恵比寿第 12



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接合面数する	基点
Ot	他（駐車場）	×	■	683	小													階層		

ebi11　西口ロータリー

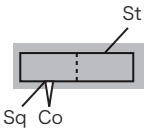


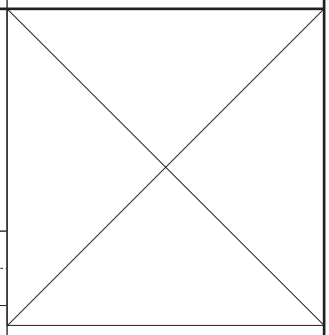


隣接形式		
	短手	AF
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Co, Co
隣接する形状		ー | |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	4076		1	A, F	×			2	ー, |	構成	上方	イ		S		階層	3	・

ebi12　南北コンコース

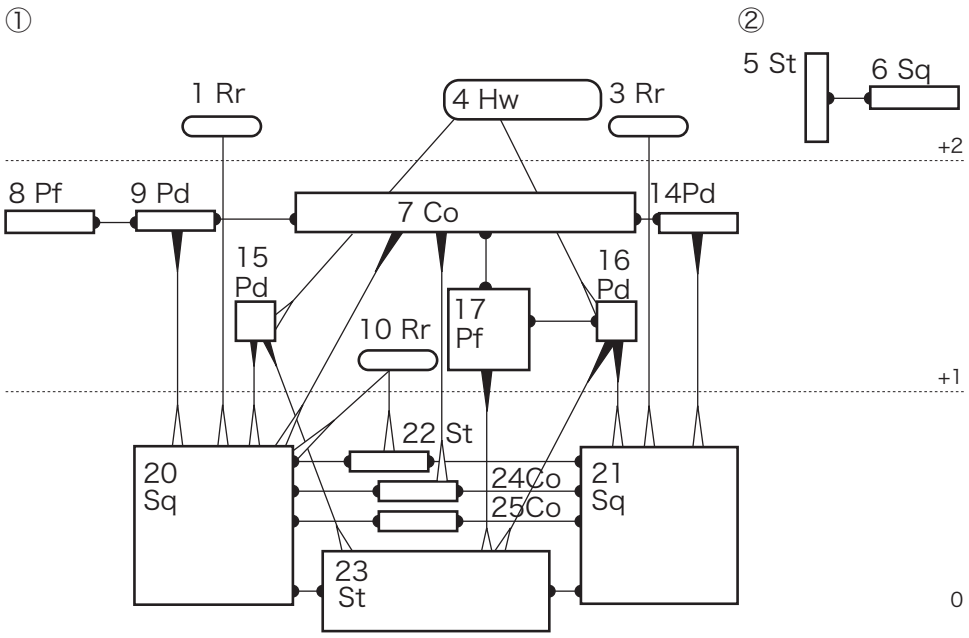


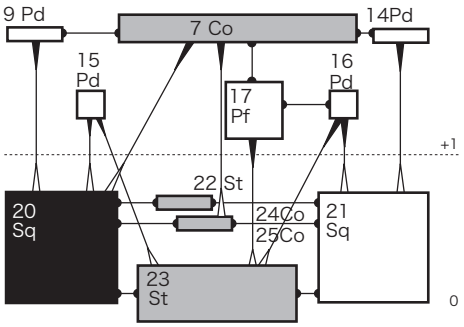


隣接形式		
	短手	A
	長手	F　F
上部覆い		○　○
隣接する用途		Sq, Co　St
隣接する形状		■ |　ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	746	小	2	A, F	○			3	■, ー, |	両方	上方	二		F		階層	3	○

No.06　渋谷駅





構成面の分節パタンとネットワーク

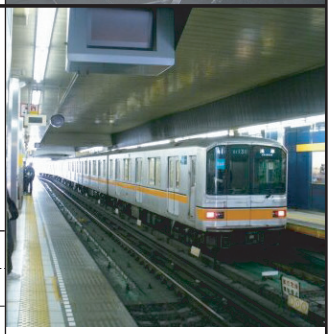
資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
渋谷①	10 面／基点階層型	3(2)	◉	◎	○	◎	●	○	◎	◉	▲▲▲▽	◇◇■■□		▽			

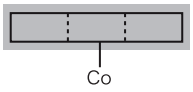
sib1　東京メトロ銀座線１



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パターン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合する近接面数	基点
Rr	線路	×	—	506	小	-												①	階層		

sib2　メトロ銀座線渋谷駅ホーム





隣接形式	短手	F
	長手	
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		Co
隣接する形状		—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パターン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合する近接面数	基点
Pf	ホーム	○	—	1731	小	1	N	○	0				なし	イ	○	F		×	階層		

sib3　東京メトロ銀座線２



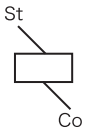
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パターン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合する近接面数	基点
Rr	線路	×	—	898		-												①	階層		

sib4　高速３号渋谷線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パターン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合する近接面数	基点
Hw	高速道路	×	—	3981		-												①	階層		

sib5　道玄坂ロータリー



隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F・F
上部覆い		○
隣接する用途		St, Co
隣接する形状		ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	1487	小	1	F				1	ー		同一		イ					②			

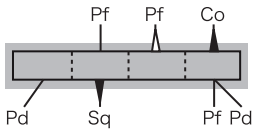
sib6　道玄坂



隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	ー	1011	小	1	F				1	■		同一		イ					②			

sib7　中央口コンコース



隣接形式					
	短手	(N)	B・F	A	B・F
	長手	F			F
上部覆い		○	○	○	○
隣接する用途		Pd	Sq, Pf	Pf	Pf, Pd, Co
隣接する形状		|	■ー	ー	■ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
Co	コンコース	○	ー	2421		5	A,B,F	○			4	■, ー, |	両方	同一		二		○	FC		①	階層	4	○

sib8　京王井の頭線渋谷駅ホーム

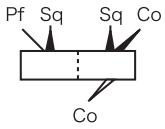


隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節		No.	形状	統合面数 近接する	基点
Pf	ホーム	○	—	6491		1	F	○	1	|			同一	イ				①	階層		

sib9　渋谷マークシティ連絡通路





隣接形式		
	短手	B　B
	長手	F　A・B
上部覆い		○　○
隣接する用途		Sq, Pf　Sq, Co
隣接する形状		■ |　■ | |

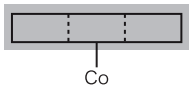
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節		No.	形状	統合面数 近接する	基点
Pd	連絡通路	○	—	1232	小	2	B, F	○	3	■, |		両方	下方	ロ		U		①	階層	2	

sib10　JR 山手線・埼京線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節		No.	形状	統合面数 近接する	基点
Rr	線路	×	—	631	小	-												①	階層		

sib11　JR 山手線〈外回り〉渋谷駅ホーム





隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		Co
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	上覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合接する面数	基点
Pf	ホーム	○	―	2849		1	N	○	0			なし	イ			×	階層		

sib12　JR 山手線〈内回り〉渋谷駅ホーム





隣接形式		
	短手	N　N
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	上覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合接する面数	基点
Pf	ホーム	○	―	3134		2	N	混	0	×	構成	なし	二			×	階層		

sib13　JR 埼京線・新宿湘南ライン渋谷駅ホーム





隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	上覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合接する面数	基点
Pf	ホーム	○	―	9287	大	1	N	×	0	×		なし	イ			×	階層		

sib14　宮益坂方面連絡通路

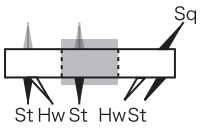




隣接形式		
	短手	B
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		Sq, Co
隣接する形状		■ |

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式面	覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pd	連絡通路	○	ー	1010	小	1	B, F	○	2	■, |	両方	下方	イ			①	階層	

sib15　渋谷駅西口歩道橋

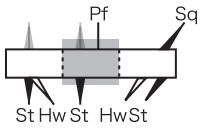




隣接形式		
	短手	B　B
	長手	A　AB・B
上部覆い		○
隣接する用途		St, Hw　St　St, Hw, Sq
隣接する形状		+−　+　−−■

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式面	覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	■	1772	小	3	A, B	混	3	■, ー, |	両方	上下	ハ	○	FC	①	階層	2	

sib16　渋谷駅東口歩道橋

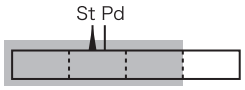




隣接形式		
	短手	B　BF
	長手	A　AB・B
上部覆い		○
隣接する用途		St, Hw　St, Pf　St, Hw, Sq
隣接する形状		+−　+−　−−■

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式面	覆い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	■	2516		3	A,B,F	混	4	■, ー, |	両方	上下	ハ	○	FC	①	階層	3	・

sib17　東急東横線渋谷駅ホーム





隣接形式	短手	N　BF　N　N
	長手	
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		Pd, St
隣接する形状		■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pf	ホーム	○	■	6338		4	B, F		混	3	■, ー, |	両方	下方	二		F	①	階層	4	・

sib18　道路 1





隣接形式	短手	N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	ー	698	小	1	N		×	0	×		なし	イ				×	階層		

sib19　京王西口ロータリー

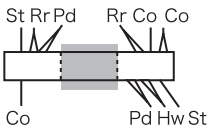




隣接形式	短手	N
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	1200	小	1	N		○	0	×		なし	イ				×	階層		

sib20　ハチ公口・西口ロータリー

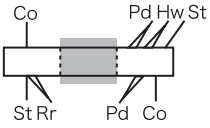




隣接形式		
短手	AF・F　N　AF
長手	A　A・AAF
上部覆い	○
隣接する用途	Pd, St, Rr, Co　Pd, St, Hw, Rr, Co
隣接する形状	ーー｜｜　■ーーーー｜

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	17979	大	3	A, F	混	4	■, ー, |	両方	同一	二	○	FC	①	階層	7	●

sib21　宮益坂口・東口ロータリー

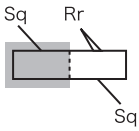




隣接形式		
短手	F・F　N　F
長手	A　A・AAF
上部覆い	○
隣接する用途	St, Rr, Co　Pd, Pd, St, Hw, Co
隣接する形状	ー｜｜　■ーーー｜

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	15770	大	3	A, F	混	4	■, ー, |	両方	同一	二	○	FC	①	階層	4	・

sib22　道路2

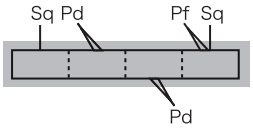




隣接形式		
短手	(N)　(N)
長手	F　A・F
上部覆い	○
隣接する用途	Sq　Sq, Rr
隣接する形状	■　■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	1776	小	2	A, F	混	2	■, ー	両方	上方	二		F	①	階層	2	○

sib23　玉川通り

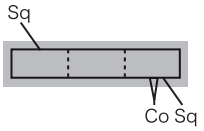




隣接形式	短手	F	(N)	N	F
	長手		A	A	A
上部覆い		○	○	○	○
隣接する用途		Sq	Pd	Pd	Pf, Sq
隣接する形状		■	■	■	■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
St	道路	○	ー	12422	大	4	A, F	○		3	■		両方		上方		ハ			F		①	階層	5		○

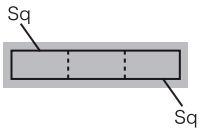
sib24　ハチ公口コンコース



隣接形式	短手		(N)	N	A
	長手		F		F
上部覆い			○	○	○
隣接する用途			Sq		Sq, Co
隣接する形状			■		■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Co	コンコース	○	ー	1065	小	3	A, F	○		2	■, ー		両方		上方		二			F		①	階層	3		○

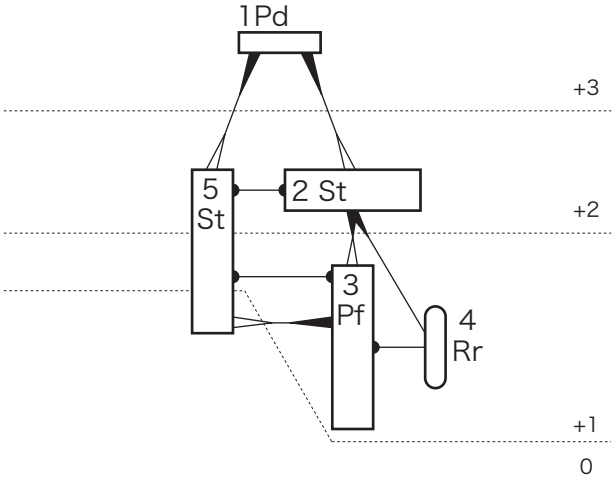
sib25　南口コンコース

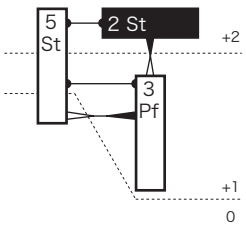


隣接形式	短手		(N)	N	(N)
	長手		F		F
上部覆い			○	○	○
隣接する用途			Sq		Sq
隣接する形状			■		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Co	コンコース	○	ー	1624	小	3	F	○		1	■				同一		二					①	階層			

No.07　原宿駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
原宿	4面／基点集中型	4(3)		●			●		○	●	△◇	◆				○○	

har1　表参道歩道橋



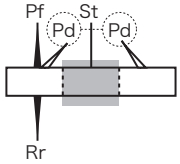


+3

隣接形式		
	短手	B
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		St, St
隣接する形状		| +

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	上い覆部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	—	147	小	1	B	×	1	|		下方	イ				集中		

har2　表参道



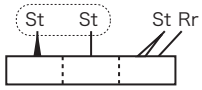


+2

隣接形式		
	短手	B・B　F　(N)
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Pf, Rr, Pd　St　Pd
隣接する形状		— | |　|　—

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	上い覆部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	—	5156		3	A,B,F	混	4	—, |	両方	上下	二	○	FC		集中	2	●

har3　JR 山手線原宿駅ホーム





+1

隣接形式		
	短手	B　F　(N)
	長手	AF
上部覆い		
隣接する用途		St　St　St, Rr
隣接する形状		—　—　— |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	上い覆部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	7246		3	A,B,F	×	2	—, |	構成	上下	二		F		集中	1	

har4　JR 山手線・埼京線



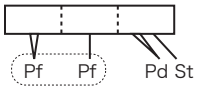
構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
Rr	線路	×	ー	1288	小	-											集中		

har5　道路

+2 / 0



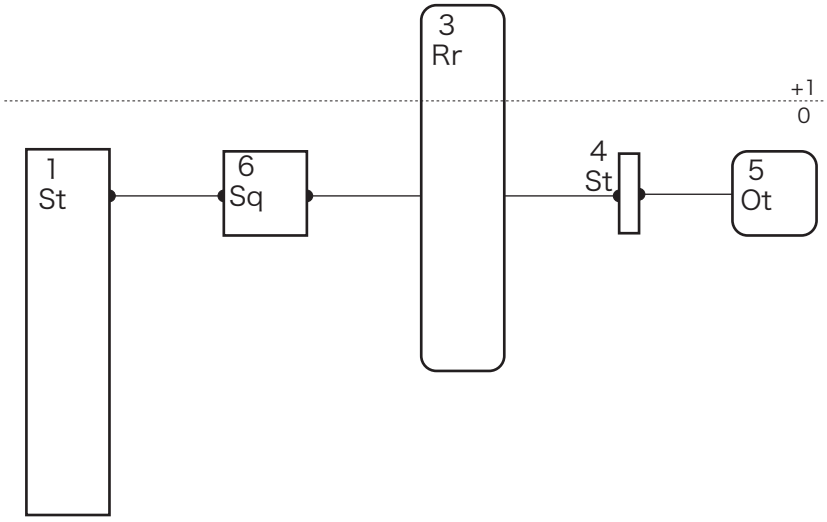
0



隣接形式		
	短手	A　F　(N)
	長手	AF
上部覆い		
隣接する用途		Pf　Pf　St, Pd
隣接する形状		ー　ー　ーー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
St	道路	○	ー	6578		3	A, F	×	3	ー	両方	上方	二		F		集中	1	

No.08　代々木駅



yoy1　JR 山手線・中央総武線〈各駅停車〉代々木駅ホーム



+1



隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合接する面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	7181	大	1	N	×	0	×		なし	イ			×			

yoy2　JR 中央本線・埼京線

+1 / 0



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合接する面数	基点
Rr	線路	×	ー	8171	大	-													

yoy3　道路 1



0

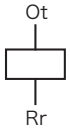


隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合接する面数	基点
St	道路	○	ー	755	小	1	F	×	1	■		同一	イ						

yoy4　道路2





隣接形式		
	短手	F・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr, Ot
隣接する形状		■–

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	–	452	小	1	F	×	2	■, –	性質	同一	イ												

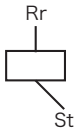
yoy5　タイムズドコモタワーサイド



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	1924		-																			

yoy6　西口広場

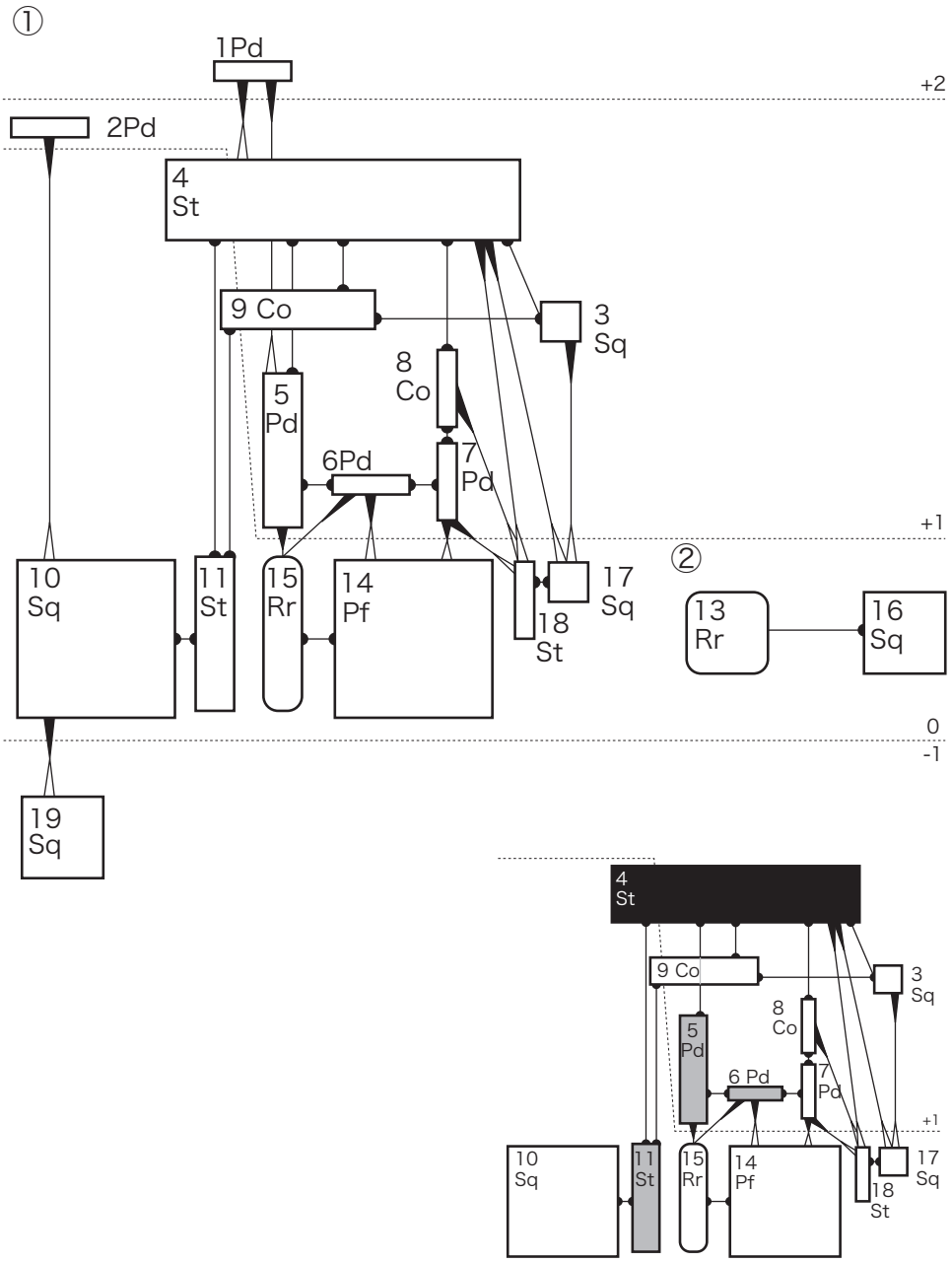




隣接形式		
	短手	F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr
隣接する形状		ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	2121		1	F	×	2	ー, |		同一	イ												

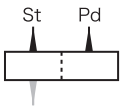
No.09　新宿駅



構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
新宿①	13 面／基点階層型	3(3)	●	◎	◎	◉	○	○	○	◉	△◆◇▽■□	△		▼▽	▽	○	△■

snj1　ミロードデッキ





隣接形式	短手	B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Pd
隣接する形状		+　−

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	−	420	小	2	B	×	2	−, |		下方	ロ					階層		

snj2　カリヨン橋

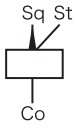




隣接形式	短手	B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	−	1761	小	1	B	×	1	■, −, |		下方	イ					階層		

snj3　新宿駅東南口駅前広場 1



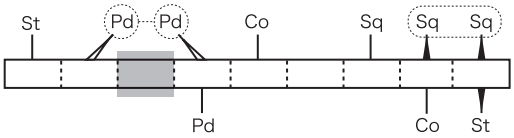


隣接形式	短手	B・F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, St, Co
隣接する形状		■− |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	627	小	1	B, F	×	3	■, −, |	両方	下方	イ		S			階層	3	

snj4　甲州街道

-1 / 0

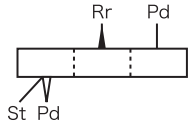




隣接形式										
	短手	F	(N)	N	F	F	N	F	B・F	B・B
	長手				B				F	B
上部覆い				○						
隣接する用途		St	Pd		Pd, Pd	Co		Sq	Sq, Co	Sq, St
隣接する形状		I	―		―I	―		■	■I	■I

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	方向	近接パターン	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	17286	大	9	A,B,F	混		4	■, ―, I	両方	同一	八		F		階層	8	●

snj5　新宿サザンテラス

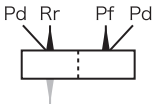




隣接形式										
	短手			A		B		F		
	長手			F						
上部覆い										
隣接する用途				Pd, St		Rr		Pd		
隣接する形状				――		―		I		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	方向	近接パターン	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	―	8126		3	A,B,F	×		3	―, I	両方	上下	二		F		階層	2	○

snj6　イーストデッキ

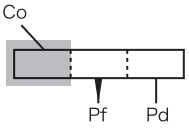




隣接形式										
	短手			B		B				
	長手			F		F				
上部覆い										
隣接する用途				Pd, Rr		Pd, Pf				
隣接する形状				―+		■―				

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	方向	近接パターン	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	―	923	小	2	B, F	×		3	■, ―, I	両方	下方	口		U		階層	4	○

snj7　タイムズスクエア連絡通路

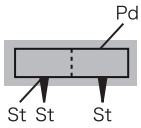




隣接形式		
	短手	(N)　B　F
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		Co　Pf　Pd
隣接する形状		ー　■　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上覆い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	ー	2103	小	3	B, F	混	3	■, ー, |	両方		下方	二		F			階層	3	・

snj8　新南口コンコース

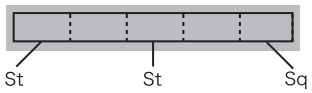


隣接形式		
	短手	B　F
	長手	F　F
上部覆い		
隣接する用途		St　St, Pd
隣接する形状		ーー　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上覆い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	1060	小	5	B, F	○	2	ー, |	構成		下方	口		U			階層	3	

snj9　LUMINE コンコース

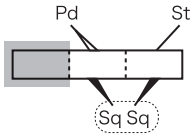
0



隣接形式		
	短手	(N)　N　F　N　(N)
	長手	F　F
上部覆い		○　○　○　○　○
隣接する用途		St　St　Sq
隣接する形状		ー　ー　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上覆い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	3640	小	5	F	○	2	■, ー	性質		同一	二		F			階層	3	

snj10　西口ロータリー

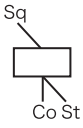




隣接形式		
	短手	N　(N)　(N)
	長手	A・B　B・F
上部覆い		○
隣接する用途		Sq, Pd　Sq, St
隣接する形状		■ー　■｜

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	23968	大	3	A,B,F	混	3	■, ー, ｜	両方		上下	ハ		F		階層	1	・

snj11　道路2





隣接形式		
	短手	F
	長手	F・F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, St, Co
隣接する形状		■ー｜

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	5248		1	F	×	3	■, ー, ｜	性質		同一	イ		S		階層	3	○

snj12　小田急小田原線新宿駅ホーム





隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		
隣接する形状		

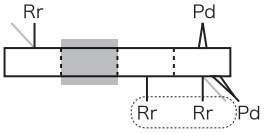
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	5977		1	N	○	0	×			なし	イ		F	×	階層		

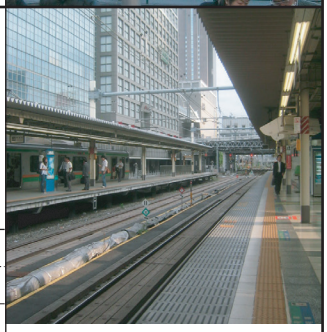
snj13 JR 山手線・中央本線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	5912													階層		

snj14 JR 山手線・埼京線・新宿湘南ライン・中央総武線〈各駅停車〉・中央線〈快速・特急〉新宿駅ホーム

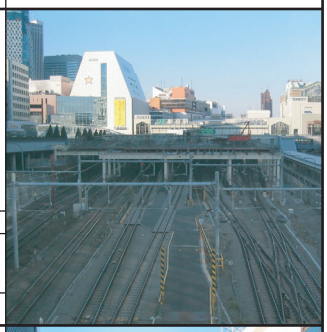




隣接形式	短手	F N F A・F
	長手	A
上部覆い		○
隣接する用途		Rr Rr Pd, Pd, Rr
隣接する形状		ー' ー ーーー'

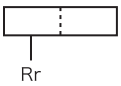
構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	■	43995	大	4	A, F	混	2	ー	構成	上方	ハ	○	FC		階層	3	・

snj15 JR 山手線・埼京線・中央本線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	15187		-									Z		階層	3	・

snj16 東口・中央口ロータリー

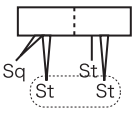




隣接形式	短手	F N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr
隣接する形状		ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	13891		2	F	×	1	ー		同一	二				階層		

snj17　新宿駅東南口駅前広場２

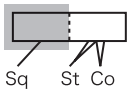




隣接形式		
	短手	A　AF
	長手	AF
上部覆い		
隣接する用途		Sq, St　St, St
隣接する形状		■ー　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	覆上い部	用途	形状	構成性質	近方向接	複パタン合	集中場	分パタン節	No.	形状	近接合面する数	基点
Sq	駅前広場	○	■	1644	小	2	A, F	×	2	■, ー, |	両方	上方	ロ		U		階層	3	

snj18　道路２



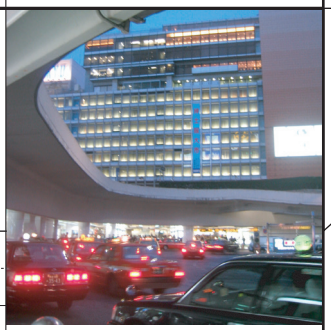


隣接形式		
	短手	(N)　A
	長手	F　A
上部覆い		○
隣接する用途		Sq　Co, St
隣接する形状		■　ーー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	覆上い部	用途	形状	構成性質	近方向接	複パタン合	集中場	分パタン節	No.	形状	近接合面する数	基点
St	道路	○	ー	2749	小	2	A, F	混	3	■, ー	両方	上方	ニ		F		階層	3	

snj19　新宿駅西口地下広場



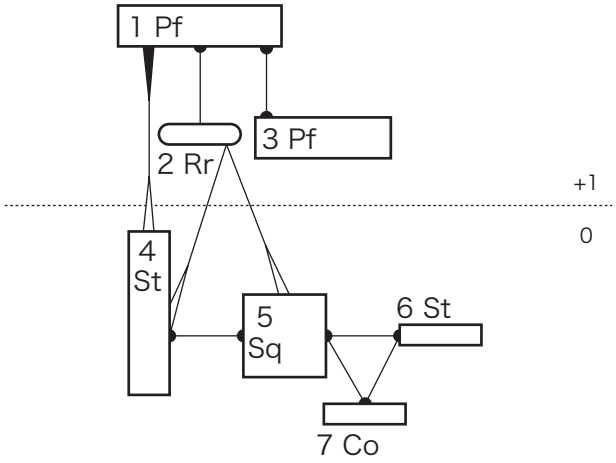


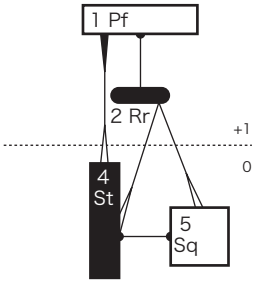
-1

隣接形式		
	短手	A
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■'

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	覆上い部	用途	形状	構成性質	近方向接	複パタン合	集中場	分パタン節	No.	形状	近接合面する数	基点
Sq	駅前広場	○	■	6198		1	A	×	1	■		上方	イ						

No.10　新大久保駅

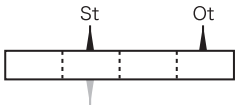




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
高田馬場	4面／基点分散型	2(2)	○	●	●	●	○	○		●	▲▽		□			●	

sno1　JR 山手線新大久保駅ホーム



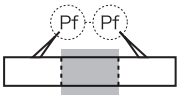


+1

隣接形式		
	短手	N　B　N　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Ot
隣接する形状		+　−

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	−	7467		4	B		×		2	−, |			下方		二							

sno2　大久保通り





0

隣接形式		
	短手	(N)　N　(N)
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Pf　Pf
隣接する形状		−　−

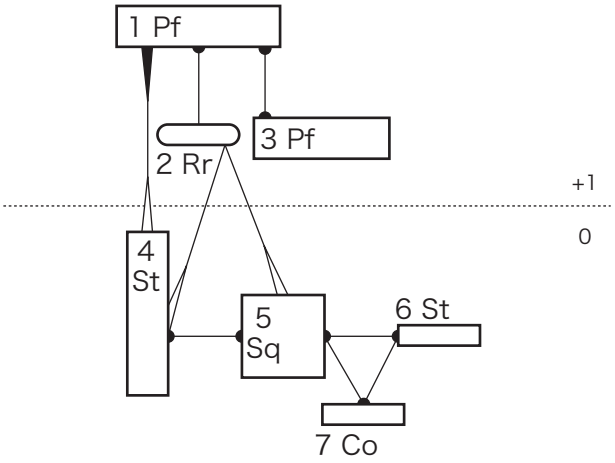
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	−	1462	小	3	A		混		1	−		構成	上方		二							

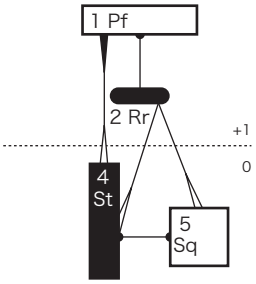
sno3　東京都新宿区道路予定地



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Ot	他(未利用地)	×	−	3247		-																			

No.11　高田馬場駅

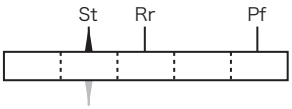




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
高田馬場	4面／基点分散型	2(2)	○	●	●	●	○	○		●	▲▽		□			●	

tak1　JR 山手線高田馬場駅ホーム





		St	Rr	Pf
隣接形式	短手	N	B	F
	長手	N		F
上部覆い				
隣接する用途				
隣接する形状		+	−	−

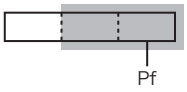
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点	
Pf	ホーム	○	−	6449	大	5	B, F	×	3	−, |	両方		下方	二		F		分散	2		

tak2　西武新宿線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点	
Rr	線路	×	−	1087	小	-										Z		分散	3	●	

tak3　西武新宿線高田馬場駅ホーム

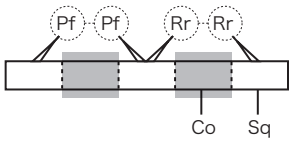




		N	N	F
隣接形式	短手			
	長手			
上部覆い			○	○
隣接する用途			Pf	
隣接する形状			−	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点	
Pf	ホーム	○	−	2951		3	F	混	1	−	構成		同一	二				分散			

tak4　早稲田通り

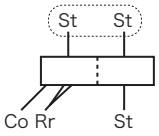




隣接形式		
	短手	(N)　N　(N)　Co　F
	長手	A　A・A　A
上部覆い		○　○
隣接する用途		Pf　Pf, Rr　Co　Sq, Rr
隣接する形状		―　――　■―

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	4242		5	A, F	混			4	■, ―	両方	上方		ハ		F		分散	3	●

tak5　北口ロータリー





隣接形式		
	短手	F　F・F
	長手	AF
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr, Co　St, St
隣接する形状		――|　―|

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	3707		2	A, F		×		3	―, |	両方	同一		ロ	○	C		分散	2	

tak6　道路

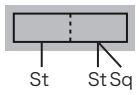




隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	1099	小	1	F		×		1	■		同一		イ				分散		

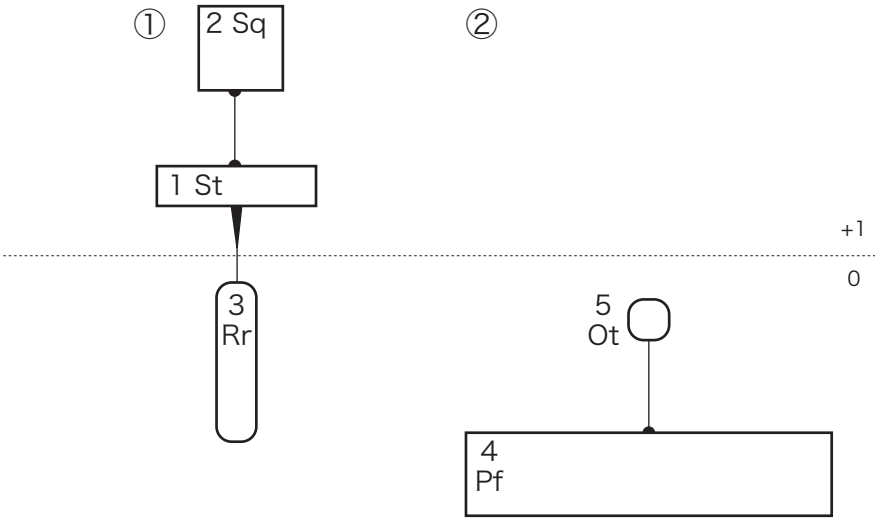
tak7　コンコース



隣接形式	短手	F	F
	長手		F
上部覆い		○	○
隣接する用途		St	Sq, St
隣接する形状		―	■―

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模	形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点
Co	コンコース	○	―	966	小	2	F	○	2	■, ―	性質	同一	ロ				分散		

No.12　目白駅



mej1　目白通り



+1



隣接形式		
	短手	B・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Rr
隣接する形状		■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	966	小	1	B, F	×		2	■, |	両方	下方		イ					①			

mej2　目白駅前四季の広場





隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	917	小	1	F	×		1	ー		同一		イ					①			

mej3　JR 山手線・埼京線

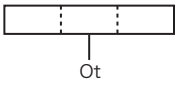


0

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	2477																①			

mej4　JR 山手線目白駅ホーム





隣接形式		
	短手	N　F　N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot
隣接する形状		■

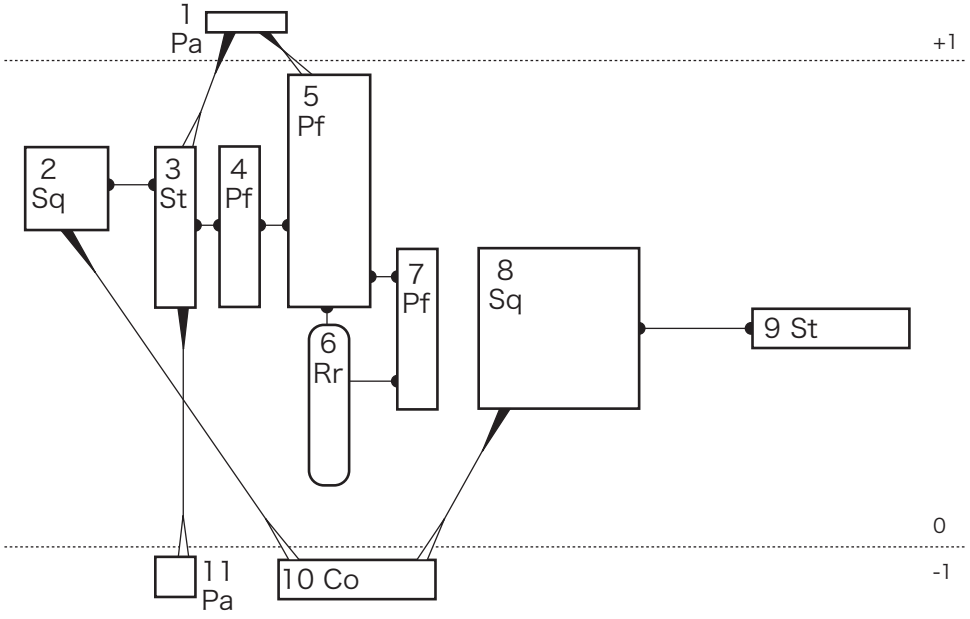
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	6407	大	3	F	×	1	■			同一	二			②			

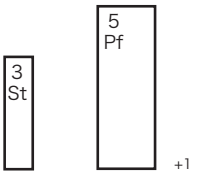
mej5　田中駐車場



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	717	小												②			

No.13　池袋駅

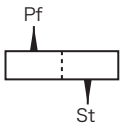




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
池袋	2 面	3(1)	○	○		○	○	○		○	△◇						

ike1　メトロポリタン口広場





+1

隣接形式		
	短手	B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pf　St
隣接する形状		■　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パターン 複合	集中場	パターン 分節	No.	形状	統合する 近接面数	基点
Pa	広場	○	■	200	小	2	B	×	2	■, |	性質		下方	二				2つ		

ike2　西口ロータリー



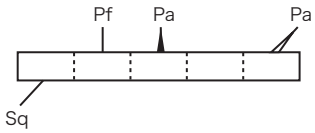


0

隣接形式		
	短手	F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Co
隣接する形状		| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パターン 複合	集中場	パターン 分節	No.	形状	統合する 近接面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	5495		1	B, F	×	2	|	構成		同一	イ				2つ		

ike3　道路 1

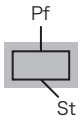




隣接形式		
	短手	(N)　F　B　N　(N)
	長手	F　A
上部覆い		
隣接する用途		Sq　Pf　Pa　Pa
隣接する形状		■　■　■　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パターン 複合	集中場	パターン 分節	No.	形状	統合する 近接面数	基点
St	道路	○	—	7845		5	A,B,F	×	3	■	両方		上下	二		F		2つ	0	

ike4　東武東上線池袋駅ホーム

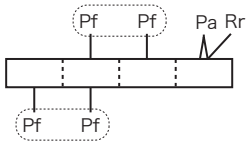




隣接形式		
	短手	F
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		Pf, St
隣接する形状		■–

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数する	基点
Pf	ホーム	○	–	5603		1	F	○	2	■, –	性質		同一	イ				2つ		

ike5　JR 山手線・埼京線・新宿湘南ライン池袋駅ホーム





隣接形式		
	短手	F　F・F　F　A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf　Pf, Pf　Pf　Pa, Rr
隣接する形状		–　––　–　■|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数する	基点
Pf	ホーム	○	■	31952	大	4	A, F	×	3	■, –	両方		同一	ハ		F		2つ	0	

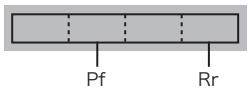
ike6　JR 山手線・埼京線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数する	基点
Rr	線路	×	–	5790														2つ		

ike7　西武池袋線池袋駅ホーム



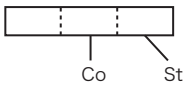


隣接形式		
	短手	N　F　N　F
	長手	
上部覆い		○　○　○　○
隣接する用途		Pf　Rr
隣接する形状		■　–

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	–	6930		4	F	○	2	■, –	性質	同一	二						2つ		

ike8　東口ロータリー



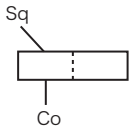


隣接形式		
	短手	F　(N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Co　St
隣接する形状		|　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	13648		3	B, F	×	2	|	構成	同一	二						2つ		

ike9　明治通り



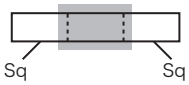


隣接形式		
	短手	F·F　N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Co
隣接する形状		■, |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	–	2237	小	2	F	×	2	■	性質	同一	二		F				2つ		

ike10　中央コンコース





隣接形式		
	短手	F　N　F
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		Sq　Sq
隣接する形状		■　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	3865		3	A	○		1	■		同一	ニ					2つ		

ike11　メトロポリタンブラザ（プリズムガーデン）



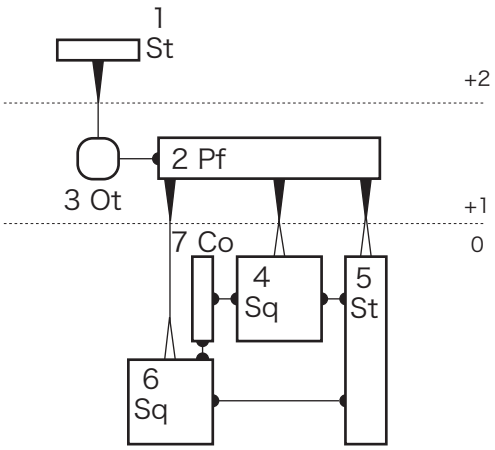
-1

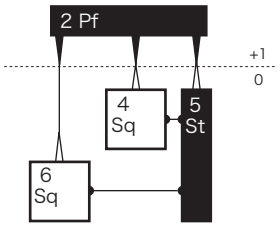


隣接形式		
	短手	A
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		St
隣接する形状		ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pa	広場	○	■	432	小	1	A	○		1	ー			上方					2つ		

No.14　大塚駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
大塚	4 面／基点分散型	3(2)		●		●	○	●		●	▲▼				△△		

oot1　道路 1



+2



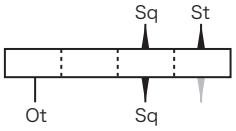
隣接形式		
	短手	B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot
隣接する形状		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	ー	747	小	1	B	×	1	■			下方	イ				分散		

oot2　JR 山手線大塚駅ホーム



+1



隣接形式		
	短手	F　N　B・B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot　Sq, Sq　St
隣接する形状		■　■■　+

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	6771		4	B, F	×	3	■, |	両方		下方	ハ		F		分散	3	●

oot3　ホテルベルクラシック東京駐車場



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	1505	小	-												分散		

oot4　北口ロータリー



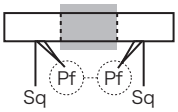


隣接形式		
	短手	AF
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf, St, Co
隣接する形状		ーー|

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	3613		1	A, F	×	3	ー, |	両方	上方	イ		S		分散	2	

oot5　道路2





隣接形式			
	短手	F　N　F	
	長手	A　A	
上部覆い		○	
隣接する用途		Pf, Sq　Pf, Sq	
隣接する形状		■ー　■ー	

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	ー	5993		3	A, F	混	2	■, ー	両方	上方	二		F		分散	3	●

oot6　南口ロータリー

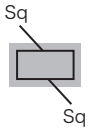




隣接形式		
	短手	AF
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf, St, Co
隣接する形状		ーー|

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前路ロータリー	○	■	5384		1	A, F	×	3	ー, |	両方	上方	イ		S		分散	2	

oot 7　コンコース

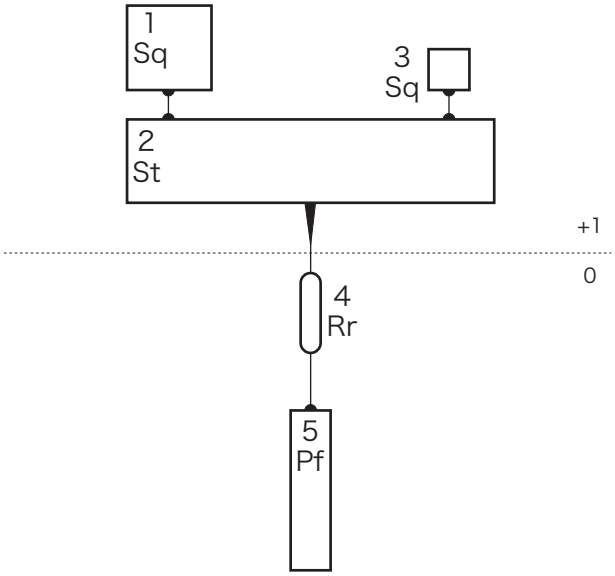


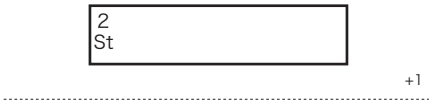


隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F・F
上部覆い		
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	近接する統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	773	小	1	F	○	1	■			同一	イ					分散		

No.15　巣鴨駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
巣鴨	1面	2(1)	○			○				○	▽						

sug1　北口ロータリー



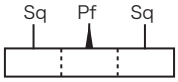


隣接形式	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	3190		1	F		×		1	―		同一		イ						1つ			

sug2　白山通り





隣接形式	短手	F　B　F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq　Pf　Sq
隣接する形状		■	■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
St	道路	○	―	7868	大	3	B, F		×		2	■, |	両方	下方		二			F			1つ	0		

sug3　南口ロータリー





隣接形式	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	1929	小	1	F		×		1	―		同一		イ						1つ			

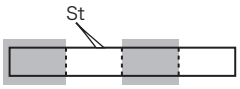
sug4　JR 山手線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Rr	線路	×	ー	559	小	-												1つ		

sug5　JR 山手線巣鴨駅ホーム

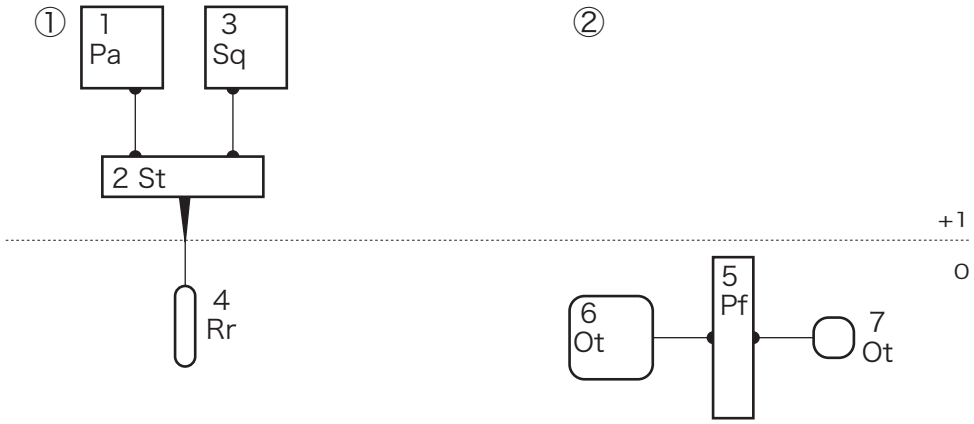


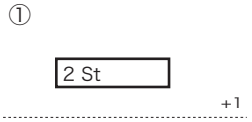


隣接形式		
	短手	N　(N)　N　N
	長手	A
上部覆い		○　○
隣接する用途		St
隣接する形状		ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	6134		4	A	混	1	ー	構成	上方	二					1つ		

No.16　駒込駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Cα	外	F	FC	C	U	S	Z	
駒込①	1面	2(1)		○		○				○	▽						

kom1　区立染井吉野桜記念公園



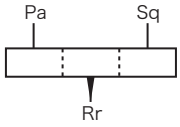


隣接形式	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pa	公園	○	■	2561		1	F	×	1	―			同一	イ			①	1つ		

kom2　本郷通り





隣接形式	短手	F	B	F
	長手			
上部覆い				
隣接する用途		Pa	Rr	Sq
隣接する形状		■	|	■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	4316		3	B, F	×	3	■, |		両方	下方	二		F	①	1つ	0	

kom3　南口ロータリー





隣接形式	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	3029		1	F	×	1	―			同一	イ			①	1つ		

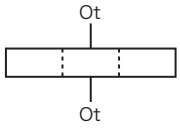
kom4　JR 山手線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	1085	小															①	1つ		

kom5　JR 山手線駒込駅ホーム





隣接形式	短手	N　F・F　N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot, Ot
隣接する形状		■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	4893		3	F	×	1	■			同一	二						②	1つ		

kom6　区立駒込第三保育園



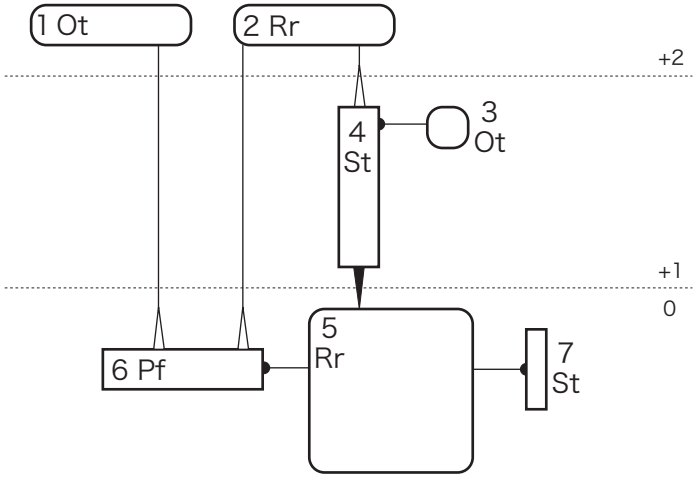
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(庭)	×	■	1512																②	1つ		

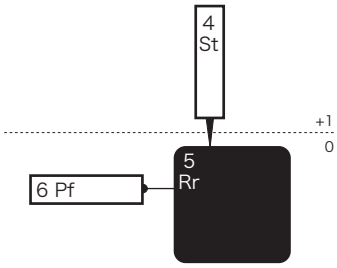
kom7　SAN パーク駒込 No1



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	407	小															②	1つ		

No.17　田端駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
田端	3 面／基点集中型	3(2)	●	○		○	●	○		●	◇				△	●	

tab1　土手



+3

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図				
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Ot	他(未利用地)	×	—	4011	小																	集中		

tab2　JR 東日本・上越新幹線



構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図				
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Rr	線路	×	—	5222																		集中		

tab3　JR 東日本東京支社ビル

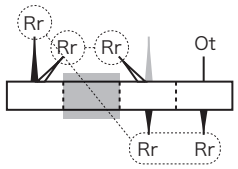


+1

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図				
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Ot	他(庭)	×	■	1021	小																	集中		

tab4　都道 458 号

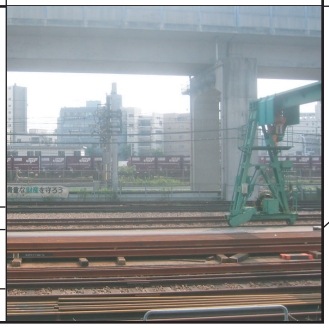




隣接形式		
隣接形式	短手	B　N　B　B・F
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Rr, Rr　Rr, Rr　Rr, Ot
隣接する形状		■—　回—　■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図				
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	—	5765		4	A,B,F		混		2	■, —	両方	上下		ハ			F			集中	1	

tab5　JR 貨物田端機関区・JR 東日本田端運転所

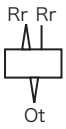


0

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図				
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Rr	車両基地	×	■	38472	大	-													Z			集中	2	●

tab6　JR 山手線・京浜東北線田端駅ホーム

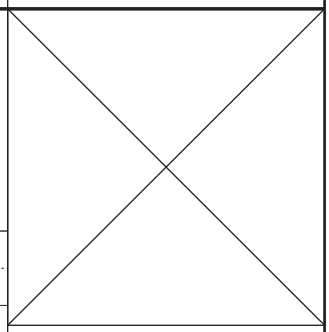




隣接形式		
	短手	AF・A
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr, Rr, Ot
隣接する形状		■−−

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する近接面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	7797		1	A, F	×	2	■, ー	両方	上方	イ		S		集中	1	

tab7　道路

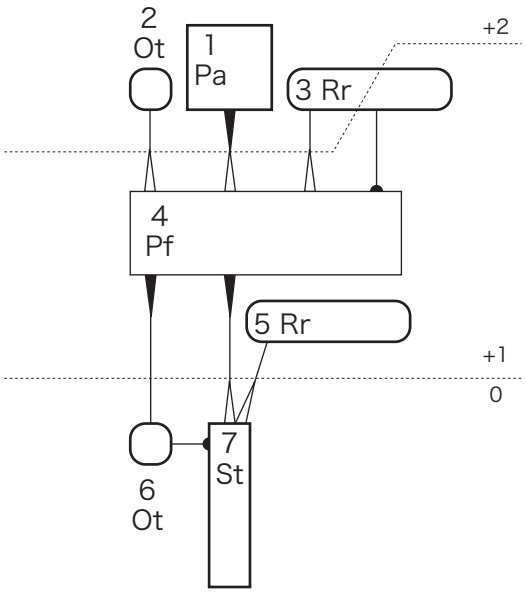


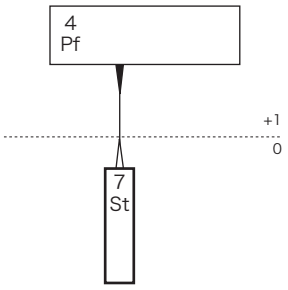


隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr
隣接する形状		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する近接面数	基点
St	道路	○	ー	1936	小	1	F	×	1	ー		下方	イ				集中		

No.18　西日暮里駅

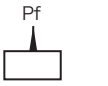




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
西日暮里	2面	3(2)	○	○		○		○		○	△◇						

nnp1　区立西日暮里公園





+2

隣接形式		
	短手	B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pf
隣接する形状		―

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pa	公園	○	■	3778		1	B	×	1	―		下方	イ				2つ		

nnp2　宗教法人興安寺道灌山霊園



構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(墓地)	×	■	442	小												2つ		

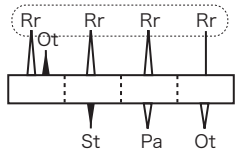
nnp3　JR 東北・上越新幹線

+2 / +1



構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	―	2907													2つ		

nnp4　JR 山手線・京浜東北線西日暮里駅ホーム





+1

隣接形式		
	短手	AB　A・B　A・A　A・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr, Ot　St, Rr　Pa, Rr　Rr, Ot
隣接する形状		■―　―|　■―　■―

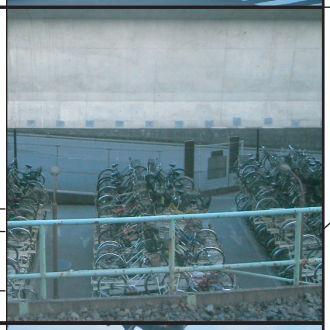
構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	7774	大	4	A,B,F	×	4	■, ―, |	両方	上下	ハ		F		2つ	1	

nnp5　JR 東北本線（宇都宮線）



構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Rr	線路	×	―	4050																2つ		

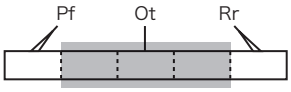
nnp6　西日暮里自転車置き場



構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	1179	小															2つ		

nnp7　道灌山通り

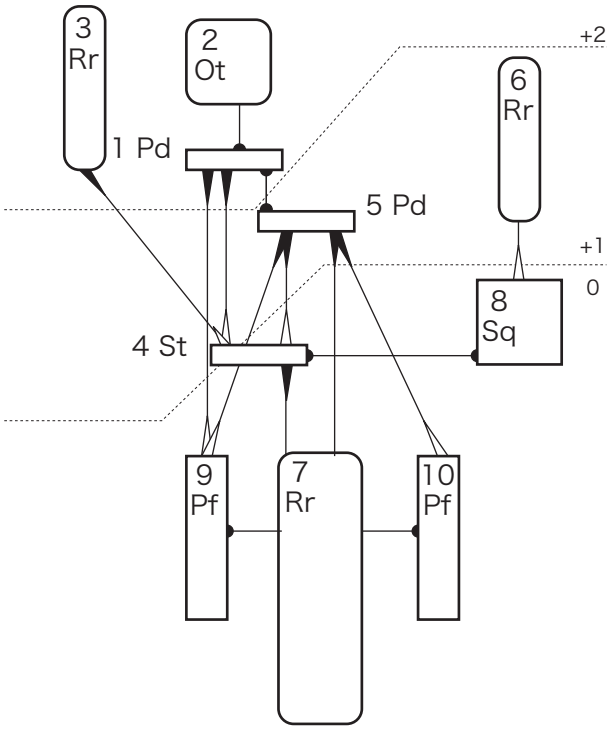


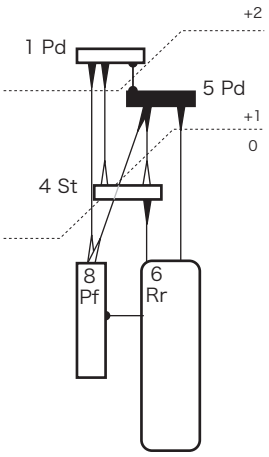


隣接形式		Pf	Ot	Rr
	短手	(N) N	F	N (N)
	長手	A		A
上部覆い			○	
隣接する用途		Pf	Ot	Rr
隣接する形状		―	■	―

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	3582		5	A, F		混		3	■, ―	両方	上方		二		F		2つ	1	

No.19　日暮里駅



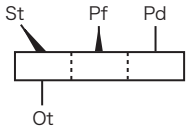


構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
日暮里	5 面／基点集中型	3(3)	○	○	●	●	○	○		●	◇▼▽		△			○	

nip1　歩道

+2 / +1





+2

隣接形式				
	短手	F	B	F
	長手	B		
上部覆い				
隣接する用途		St, Ot	Pf	Pd
隣接する形状		■–	–	|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点	
Pd	歩道	○	–	622	小	3	B, F	×	4	■, –, |	両方		下方	二		F		集中	3		

nip2　谷中霊園

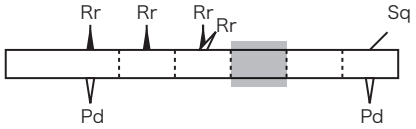
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点	
Ot	他(墓地)	×	■	6821														集中			

nip3　京成スカイライナー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点	
Rr	線路	×	–	2099	小													集中			

nip4　道路

+1 / 0



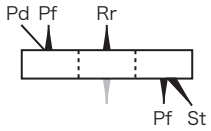


+1

隣接形式								
	短手	N	A・B	B	A・B	N	N	A
	長手							F
上部覆い					○			
隣接する用途			Rr, Pd	Rr	Rr		Sq, Pd	
隣接する形状			| |	|	– |		■ |	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点	
St	道路	○	–	3056		6	A,B,F	混	3	■, –, |	両方		上下	ハ		F		集中	3		

nip5　紅葉橋

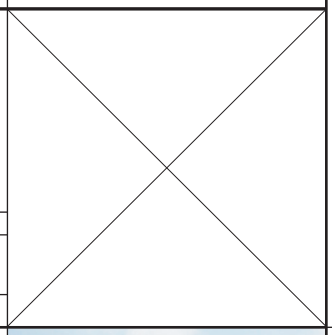




隣接形式		
短手	B B B	
長手	F B	
上部覆い		
隣接する用途	Pd, Pf Rr Pf, St	
隣接する形状	ー| + ー|	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pd	歩道橋	○	ー	364	小	3	B, F	×	4	ー, |	両方		下方	ハ		F		集中	4	●

nip6　舎人ライナー



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Rr	線路	×	ー	634	小													集中		

nip7　JR 山手線・京浜東北線・東北本線（宇都宮線）・高崎線・常磐線・東北・上越新幹線

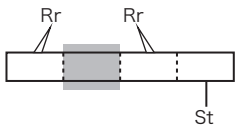


0

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Rr	線路	×	ー	14439	大	-										Z		集中	3	

nip8　東口ロータリー（道灌広場）

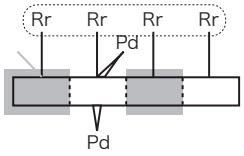




隣接形式		
短手	A N A F	
長手		
上部覆い	○	
隣接する用途	Rr Rr St	
隣接する形状	ー ー |	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	7560		4	A,F	混	2	ー,|	構成		上方	二				集中		

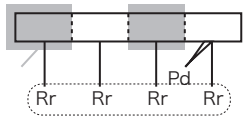
nip9　JR 山手線・京浜東北線日暮里駅ホーム



隣接形式					
短手	F	A・F	F	F	
長手	A				
上部覆い	○		○		
隣接する用途	Rr	Pd, Pd, Rr	Rr	Rr	
隣接する形状	–	–––	–	–	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	■	7470		4	A, F	混		2	ー	構成	上方		ロ	●	C		集中	3	

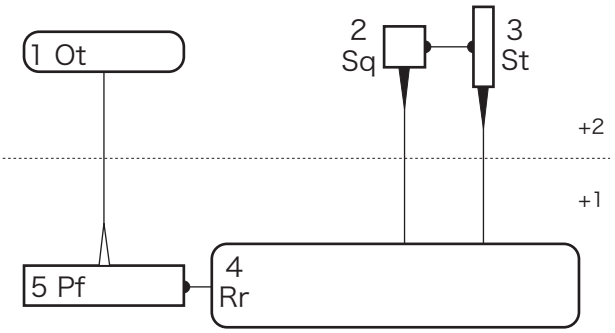
nip10　JR 常磐線・京成本線日暮里駅ホーム

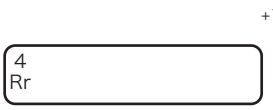


隣接形式					
短手	F	F	F	F	
長手	A				
上部覆い	○		○		
隣接する用途	Rr	Rr	Rr	Pd, Rr	
隣接する形状	–	–	–	––	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	■	7755		4	A, F	混		2	ー	構成	上方		ロ					集中		

No.20　鴛谷駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
鴛谷	1面	2(1)	○			○				○						○	

ugu1　寛永寺第一・第二霊園



+2

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Ot	他（墓地）	×	■	6344																				

ugu2　南口ロータリー



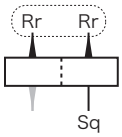


隣接形式	短手	B
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr
隣接する形状		−−

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	406	小	1	B, F		×		2	ー	構成	下方	イ									

ugu3　道路





隣接形式	短手	B　B・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr　Sq, Rr
隣接する形状		+　■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	1487	小	2	B, F		×		2	■, |	両方	下方	ロ									

ugu4　JR 東北線（宇都宮線）・高崎線・常磐線

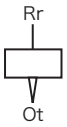


+1

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	15720	大	-													Z				0	

ugu5　JR 山手線・京浜東北線鶯谷駅ホーム

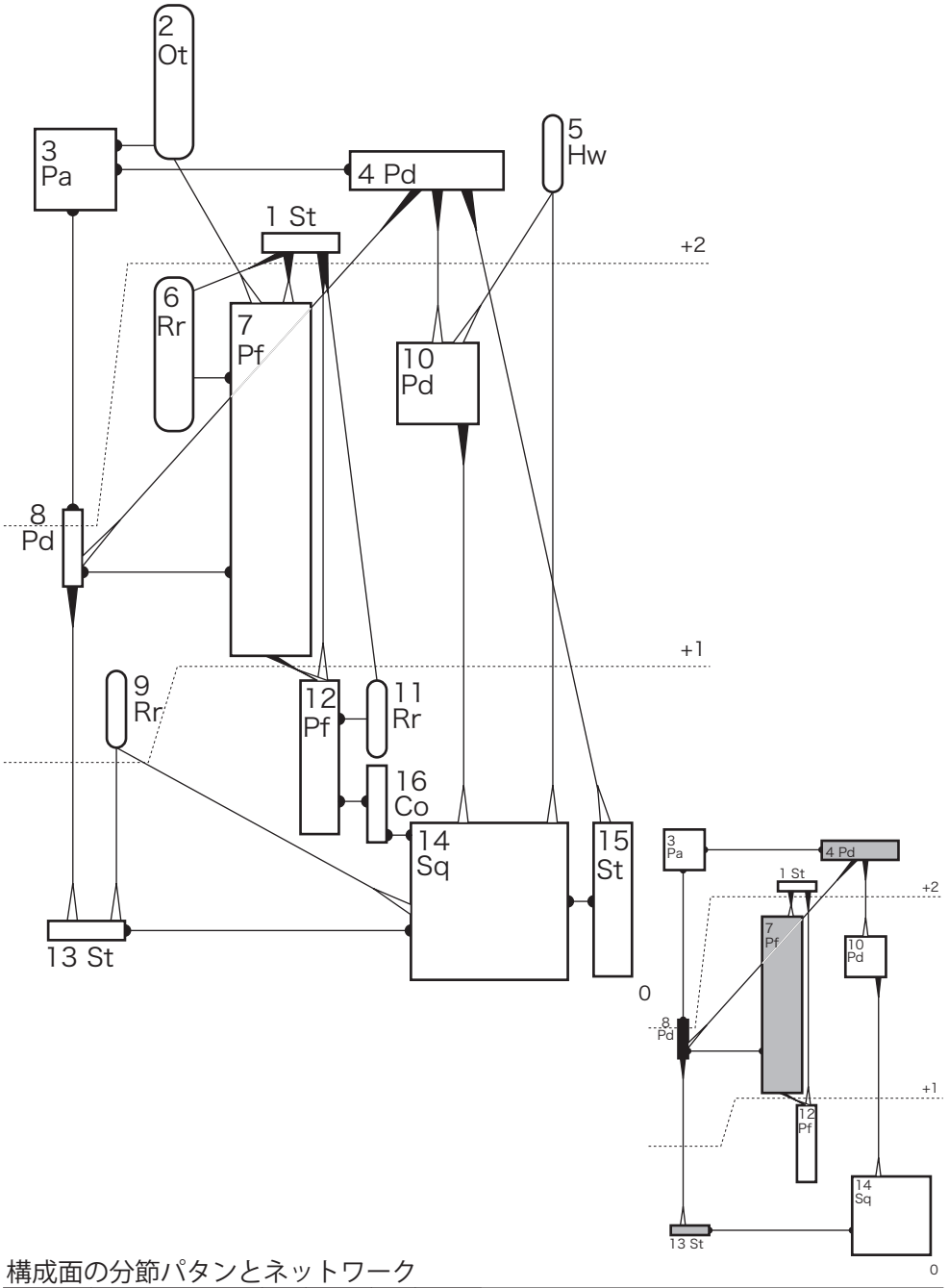




隣接形式		
	短手	A・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot, Rr
隣接する形状		■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	6689		1	A, F	×	2	■, ー	両方		上方	イ						

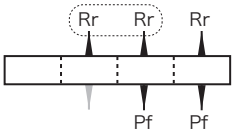
No.21　上野駅



構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
上野	9面／基点階層型	3(3)	◎	◎	◉	◉	◎	◎		◉	▲▼▽□	△◆◆	△				◇

uen1　都道 452 号





※uen11（Rr）は構成面として成立。

隣接形式		
	短手	N　B　B・B　B・B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr　Pf, Rr　Pf, Rr
隣接する形状		+　■ |　| |

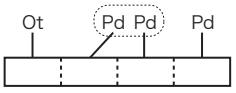
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	ー	2271	小	4	B	×	2	■, |	性質	下方	ハ		F		階層	2	・					

uen2　上野恩賜公園駐車場



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	ー	5003																		階層		

uen3　都立上野恩賜公園

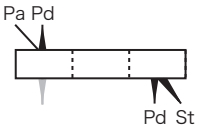


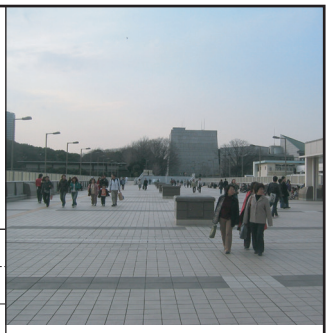


隣接形式		
	短手	F　(N)　F　F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Ot　Pd　Pd　Pd
隣接する形状		ー　|　ー　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	近接合面数	基点
Pa	公園	○	■	8814		4	F	×	2	ー, |		同一	ハ		F		階層	2						

uen4　パンダ橋





隣接形式		
	短手	B　N　B
	長手	F　B
上部覆い		
隣接する用途		Pa, Pd　Pd, St
隣接する形状		■+　■−

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	ー	4272		3	B, F	×	3	■, ー, |	両方	下方	二		F		階層	3	○	

uen5　高速 1 号上野線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Hw	高速道路	×	ー	3109	小													階層		

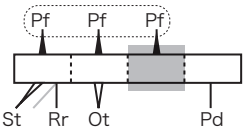
uen6　JR 山手線・京浜東北線・東北本線（宇都宮線）・高崎線・常磐線



+1

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Rr	線路	×	ー	8674														階層		

uen7　JR 山手線・京浜東北線・東北本線（宇都宮線）・高崎線・常磐線上野駅ホーム

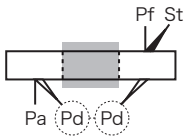




隣接形式		
	短手	B・F　A・B　B　F
	長手	A
上部覆い		○
隣接する用途		St, Pf, Rr　Pf, Ot　Pf　Pd
隣接する形状		ーーー'　ーー　ー　ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pf	ホーム	○	■	38868	大	4	A,B,F	混	5	ー	両方	上下	ハ	○	FC		階層	3	○	

uen8　歩道





隣接形式		
短手	F N F
長手	A A・B
上部覆い	○
隣接する用途	Pa, Pd Pd, Pf, St
隣接する形状	■– ––|

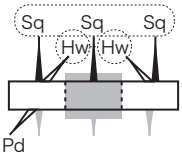
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pd	歩道	○	ー	940	小	3	A,B,F	混	4	■, ー, |	両方	上下	二	○	FC		階層	4	●

uen9　JR 山手線・京浜東北線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Rr	線路	×	ー	3992	小												階層		

uen10　上野駅前ペデストリアンデッキ（ジュエリーブリッジ）

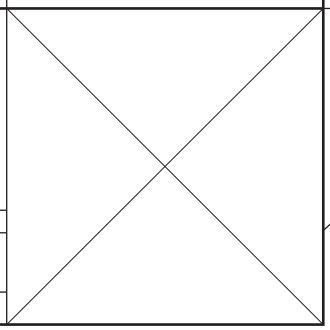




隣接形式		
短手	B B B
長手	A・A A
上部覆い	○
隣接する用途	Sq, Pd, Hw Sq Sq, Hw
隣接する形状	回–– 回 回–

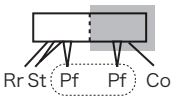
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	■	10173		3	A, F	混	3	■, ー	両方	上下	ロ	○	C		階層	2	・

uen11　JR 東北本線（宇都宮線）・高崎線・常磐線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Rr	線路	×	ー	1264	小												階層		

uen12 JR 東北本線（宇都宮線）・高崎線・常磐線上野駅ホーム

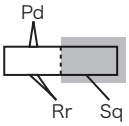




隣接形式		
	短手	A　A
	長手	AF　F
上部覆い		○
隣接する用途		Pf, St, Rr　Pf, Co
隣接する形状		ーー|　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	10442		2	A, F	混			4	ー, |	両方	上方		ロ	○	C		階層	2	・

uen13 中央通り

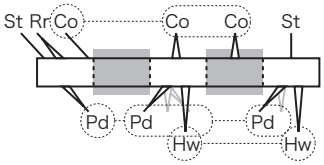




隣接形式		
	短手	A　(N)
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		Pd, Rr　Sq
隣接する形状		ー|　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	3488	小	2	A, F	混			3	■, ー, |	両方	上方		二		F		階層	2	○

uen14 正面玄関口・広小路口ロータリー



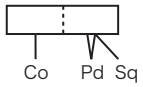


隣接形式		
	短手	(N)　N　A・A　A　A・F
	長手	A・AF×F　A　A
上部覆い		○　○
隣接する用途		Pd, St, Rr, Co　Pd, Hw, Co　Co　Pd, St, Hw
隣接する形状		■ー| |　■'ー|　|　■' ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	23656	大	5	A, F	混			5	■, ー, |	両方	上方		ハ	●/○	FC		階層	2	・

uen15 入り谷口通り

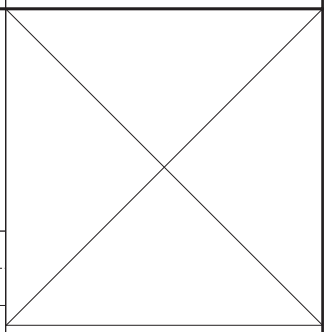


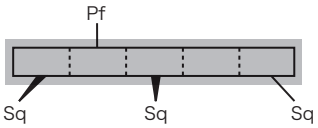


隣接形式		
	短手	F A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Co Sq, Pd
隣接する形状		― ■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	―	4824		2	A, F	×	2	■, |	両方	上方	二				階層		

uen16 広小路口コンコース

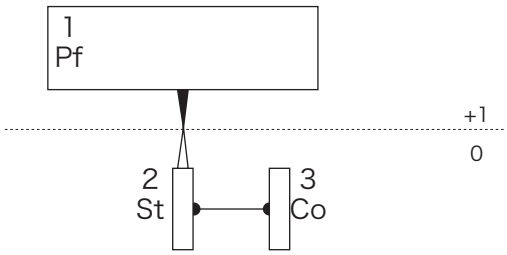




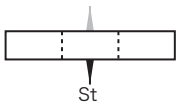
隣接形式		
	短手	F N
	長手	B B F
上部覆い		○ ○ ○ ○ ○
隣接する用途		Sq Pf Sq Sq
隣接する形状		― | ― ―

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Co	コンコース	○	―	3985	小	5	F	○	2	|		下方	二				階層		

No.22　御徒町駅



oka1　JR 山手線・京浜東北線御徒町駅ホーム



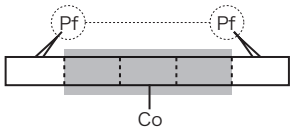


+1

隣接形式		
	短手	N　B　N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		+

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	10471	大	3	B		×		1	|		下方		二						

oka2　春日通り



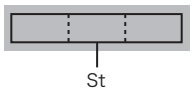


0

隣接形式		
	短手	(N)　N　F　N　〈N〉
	長手	A　A
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		Pf　Co　Pf
隣接する形状		—　—　—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	—	1756	小	5	A, F		混		2	—	構成	上方		二						

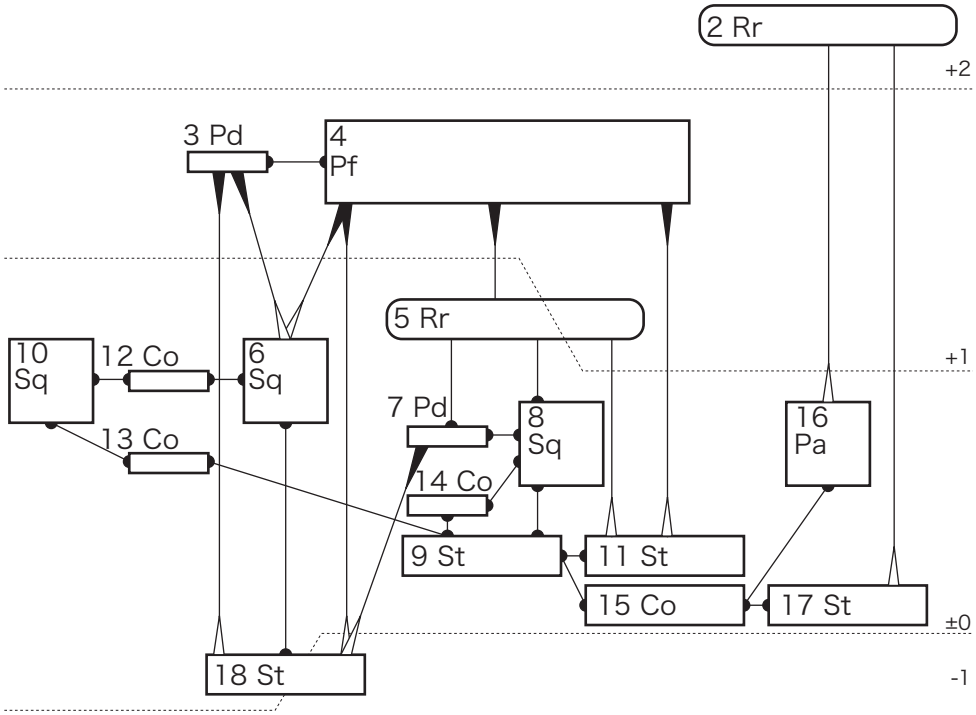
oka3　北口コンコース

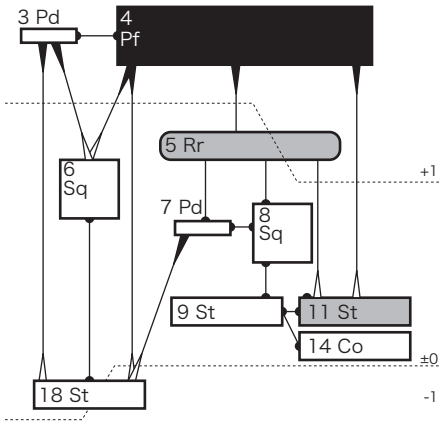


隣接形式		
	短手	N　F　N
	長手	
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		St
隣接する形状		—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Co	コンコース	○	—	377	小	3	F		○		1	—		同一		二						

No.23　秋葉原駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
秋葉原	10 面／基点階層型	4(3)	●	◎	◎	◉	○	●	○	◎	▲△▼▽□□	△	△	◇		●	

aki1　JR 総武線〈各駅停車〉秋葉原駅ホーム



隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	近接統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	6407	大	1	N	×	0	×			なし	イ				×	階層		

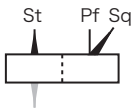
aki2　JR 総武線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	近接統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	971															階層		

aki3　秋葉原クロスフィールドペデストリアンデッキ





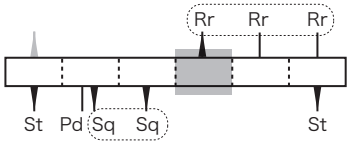
隣接形式		
	短手	B　F
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		St　Sq, Pf
隣接する形状		+　■ー

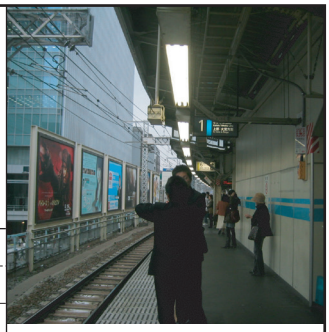
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	近接統合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	ー	879	小	2	B, F	×	3	■, ー, |			下方	二		F			階層	3	

aki4

JR 山手線・京浜東北線秋葉原駅ホーム

-1 / 0





隣接形式							
隣接形式	短手	B	BF	B	B	F	B・F
隣接形式	長手						
上部覆い				○			
隣接する用途		St	Sq, Pd	Sq	Rr	Rr	St, Rr
隣接する形状		+	■–	■	–	–	–|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
Pf	ホーム	○	–	10598	大	6	B, F	混	4	■, –, |	両方		下方	ハ		F		階層	6	●

aki5

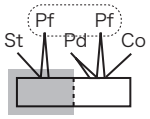
JR 東北・上越新幹線

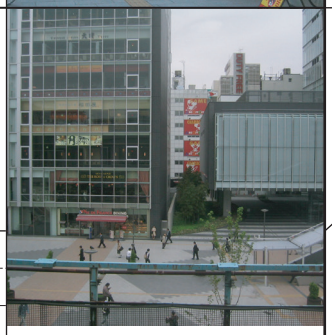


構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
Rr	線路	×	–	3215		-										Z		階層	5	○

aki6

電気街口北側広場



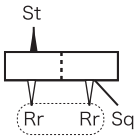


0

隣接形式							
隣接形式	短手	A	A				
隣接形式	長手	F	A・F				
上部覆い		○					
隣接する用途		Pf, St	Pd, Pf, Co				
隣接する形状		––	–|–				

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
Sq	駅前広場	○	■	5316		2	A, F	混	4	–, |	両方		下方	ロ	○	C		階層	3	

aki7　富士ソフト秋葉原ビルペデストリアンデッキ

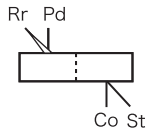




隣接形式		
	短手	A・B　A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr　Sq, Rr
隣接する形状		ー|　■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	ー	459	小	2	A,B,F		×		3	■, ー, |	両方	上下		ロ		U		階層	3	○

aki8　中央改札口北側ロータリー

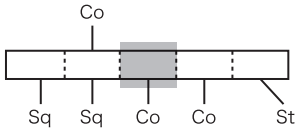




隣接形式		
	短手	F　F
	長手	A　F
上部覆い		
隣接する用途		Pd, Rr　St,Co
隣接する形状		ー|　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	4058		2	A, F		×		4	ー, |	両方	上方		二		F		階層	3	・

aki9　道路 1

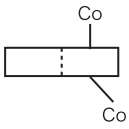




隣接形式		
	短手	F　F・F　F　F　(N)
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		Sq　Sq, Co　Co　Co　St
隣接する形状		■　■ |　ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	ー	4450		5	F		混		3	■, ー, |	両方	同一		ハ		F		階層	3	・

aki10　電気街口南側広場



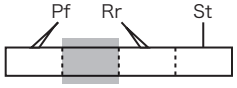


隣接形式		
	短手	N　F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Co
隣接する形状		|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	1753		2	F		×		1	|		同一		二						階層		

aki11　道路2

0 / -1

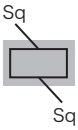




隣接形式		
	短手	(N)　N　(N)　F
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Pf　Rr　St
隣接する形状		ー　ー　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	3289		4	A, F		混		3	ー, |	両方	上方		二			F			階層	3	○

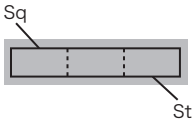
aki12　西口コンコース



隣接形式		
	短手	
	長手	F・F
上部覆い		○
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	463	小	1	F		○		1	■		同一		イ						階層		

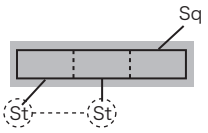
aki13 東西コンコース



隣接形式				
	短手	(N)	N	(N)
	長手	F		F
上部覆い		○	○	○
隣接する用途		Sq		St
隣接する形状		■		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節		No.	形状	統合面数 近接する	基点
Co	コンコース	○	―	474	小	3	F	○	2	■, ―	性質		同一	二					階層		

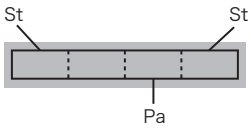
aki14 中央コンコース



隣接形式				
	短手	(N)	F	(N)
	長手	F		F
上部覆い		○	○	○
隣接する用途		St	St	Sq
隣接する形状			―	■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節		No.	形状	統合面数 近接する	基点
Co	コンコース	○	―	330	小	3	F	○	2	■, ―	性質		同一	二					階層		

aki15 アトレコンコース



隣接形式					
	短手	(N)	N	F	(N)
	長手	F			F
上部覆い		○	○	○	○
隣接する用途		St		Pa	St
隣接する形状		―		■	―

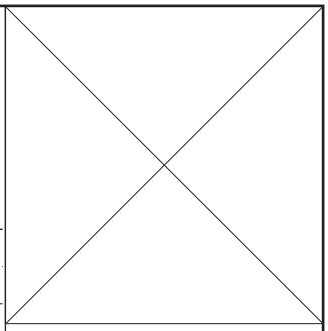
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節		No.	形状	統合面数 近接する	基点
Co	コンコース	○	―	239	小	4	F	○	2	■, ―	性質		同一	二		F			階層	1	・

aki16 区立公園

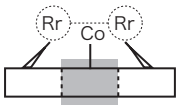


隣接形式		
	短手	(N)
	長手	AF
上部覆い		
隣接する用途		Rr, Co
隣接する形状		−−

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pa	公園	○	■	764	小	1	A, F	×	2	−	構成	上方	イ				階層		

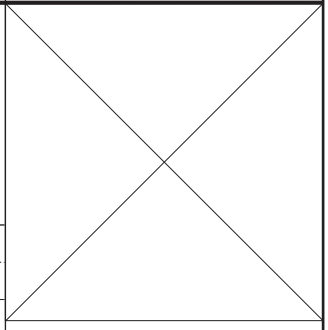


aki17 道路 4

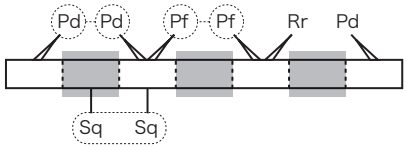


隣接形式		
	短手	F
	長手	A A
上部覆い		○
隣接する用途		Rr Co Rr
隣接する形状		− | −

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	−	1807		3	A, F	混	2	−, |	構成	上方	二				階層		



aki18 道路 3



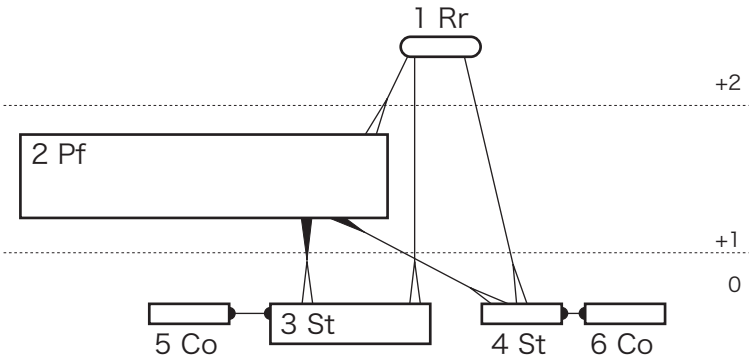
隣接形式								
	短手	(N)	F	F	N	(N)	N	(N)
	長手	A		A・A		A・A		A
上部覆い			○		○		○	
隣接する用途		Pd	Sq	Sq, Pd, Pf		Pf, Rr		Pd
隣接する形状		−	■	■−−		−−		−

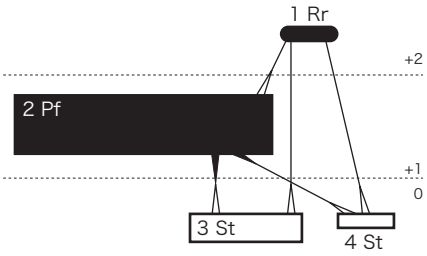
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	−	3671		7	A, F	混	4	■, −	両方	上方	ハ	●	FC		階層	5	



-1

No.24　神田駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
神田	4 面／基点分散型	3(3)	●	●		●		●		●	△△			◆		●	

kan1　JR 東北・上越新幹線



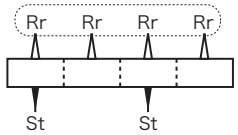
+2

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
Rr	線路	×	—	2779		-									Z		分散	3	●

kan2　JR 山手線・京浜東北線・中央線〈快速〉神田駅ホーム



+1



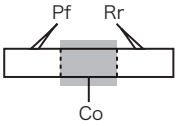
隣接形式	短手	A・B　A　A・B　A
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr　Rr　St, Rr　Rr
隣接する形状		—|　—　—|　—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
Pf	ホーム	○	—	13127	大	4	A, B	×	2	—, |	構成	上下	ロ		U		分散	3	●

kan3　中央通り



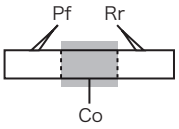
0



隣接形式	短手	(N)　Co　(N)
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Pf　Co　Rr
隣接する形状		—　—　—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
St	道路	○	—	5142		3	A, F	混	3	—	両方	上方	二		F		分散	2	

kan4　多町大通り

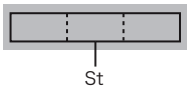


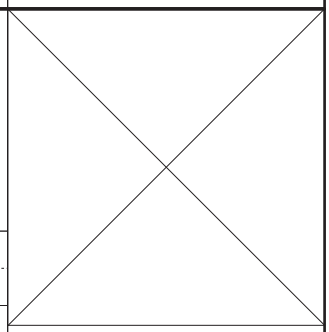


隣接形式		
	短手	(N)　Co　(N)
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Pf　Co　Rr
隣接する形状		―　―　―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合近接面数	基点
St	道路	○	―	2030		3	A, F	混	3	―	両方		上方	二		F			分散	2	

kan5　北口コンコース

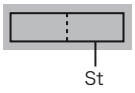


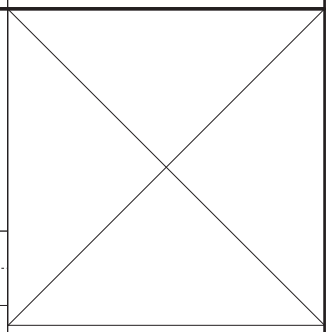


隣接形式		
	短手	N　St　N
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合近接面数	基点
Co	コンコース	○	―	309	小	3	F	○	1	―			同一	二					分散		

kan6　南口コンコース

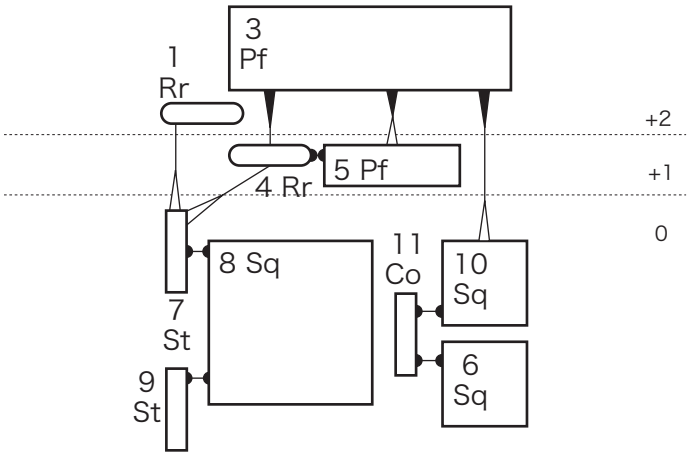


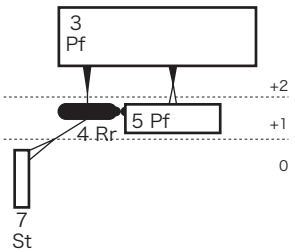


隣接形式		
	短手	N　St
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合近接面数	基点
Co	コンコース	○	―	755	小	2	F	○	1	―			同一	二					分散		

No.25　東京駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
東京	3 面／基点集中型	3(3)	○	○	●	●	○	○		●				▽	△	●	

tok1　JR 中央本線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い 上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Rr	線路	×	—	1411	小	-												集中		

tok2　JR 中央線〈快速〉東京駅ホーム



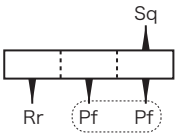


隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い 上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	3855	小	1	N	×	0	×			なし	イ			×	集中		

tok3　JR 東北・山形・秋田・上越・長野新幹線・東海道・山陽新幹線東京駅ホーム





隣接形式		
	短手	B　B　B・B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr　Pf　Sq, Pf
隣接する形状		—　■　■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い 上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pf	ホーム	○	■	44355	大	3	B	×	0	■, —	性質		下方	ロ		U		集中	1	

tok4　JR 山手線・京浜東北線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い 上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Rr	線路	×	—	5854	小	-										Z		集中	2	●

tok5　JR 山手線・京浜東北線・東海道線東京駅ホーム





隣接形式	短手	A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf, Rr
隣接する形状		■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点	
Pf	ホーム	○	■	24262		1	A, F	×	2	■, |	両方		上方	イ				集中			

tok6　日本橋口ロータリー





隣接形式	短手	(N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Co
隣接する形状		|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点	
Sq	駅前ロータリー	○	■	8116		1	F	×	1	|			同一	イ				集中			

tok7　道路 1

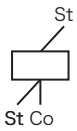




隣接形式	短手	AA
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Rr, Rr
隣接する形状		■−−

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点	
St	道路	○	ー	3703	小	1	A, F	×	2	■, ー	両方		上方	イ		S		集中	1		

tok8　丸の内口ロータリー



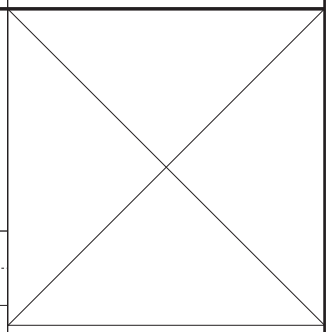


隣接形式		
	短手	F
	長手	F・F
上部覆い		
隣接する用途		St, St, Co
隣接する形状		| | |

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	43594	大	1	F	×		1	|		同一		イ					集中		

tok9　道路2

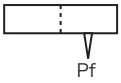




隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	ー	3161	小	1	F	×		1	■		同一		イ					集中		

tok10　八重洲口ロータリー

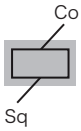




隣接形式		
	短手	N　A
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pf
隣接する形状		■

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	24228		2	A, F	×		2	■, ー		両方	上方		二				集中		

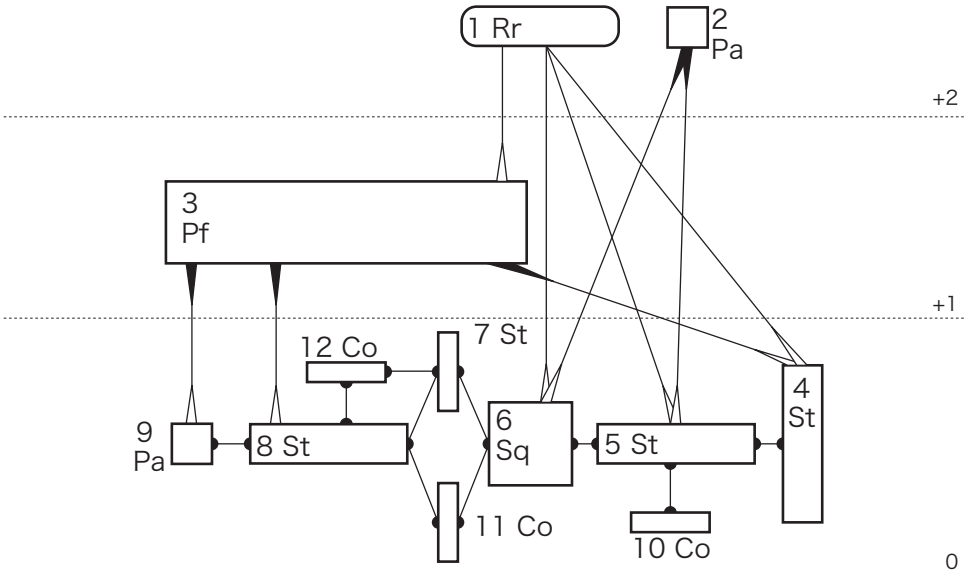
tok11　日本橋口コンコース

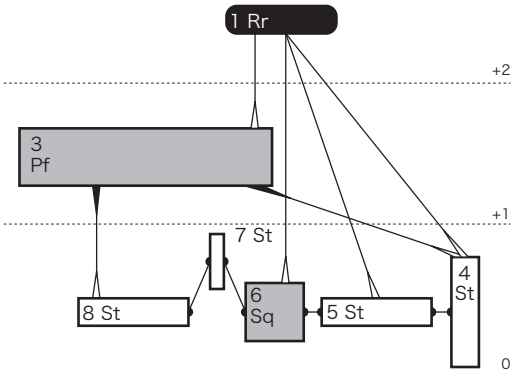


隣接形式	短手	(N)
	長手	F・F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Co
隣接する形状		■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	4944	小	2	F	○		1		■		同一	二				集中		

No.26　有楽町駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
有楽町	7面／基点階層型	3(3)	◎	◉	○	◉	◎	◎		◉	△□□			◆□		●	■

yur1　JR 東海道新幹線



+2

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Rr	線路	×	—	2508		-													Z		階層	4	●

yur2　東京交通会館３F 広場





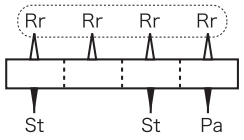
隣接形式	短手	B
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		Sq, St
隣接する形状		■—

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pa	屋上広場	○	■	1424		1	B	×	2			■, —	性質	下方	イ						階層		

yur3　JR 山手線・京浜東北線有楽町駅ホーム



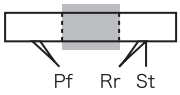
+1



隣接形式	短手	A・B　A　A・B　A・B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr　Rr　St, Rr　Pa, Rr
隣接する形状		—|　—　—|　■—

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーヌ	○	—	9832	大	4	A, B	×	3			■, —, |	両方	上下	ロ				U		階層	3	○

yur4　道路 1

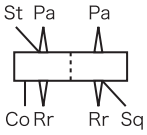




隣接形式		
短手	(N)　N　F
長手	A　A
上部覆い	○
隣接する用途	Pf　St, Rr
隣接する形状	ー　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	2746		3	A, F		混	3	ー, |	両方	上方		二		F		階層	3	

yur5　道路 2

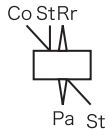




隣接形式		
短手	A・AF　A・A
長手	F　F
上部覆い	
隣接する用途	St, Pa, Rr, Co　Sq, Pa, Rr
隣接する形状	■ーー|　■ーー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	2267		2	A, F		×	5	■, ー	両方	同一		口		U		階層	3	

yur6　中央口広場

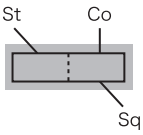




隣接形式		
短手	A・AF
長手	F・F
上部覆い	
隣接する用途	Pa, St, St, Rr, Co
隣接する形状	■ーー| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	2479	小	1	A, F		×	4	■, ー, |	両方	同一		イ		S		階層	3	○

yur7　道路3

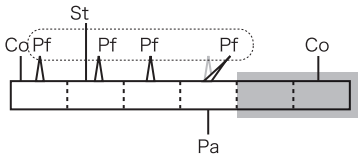


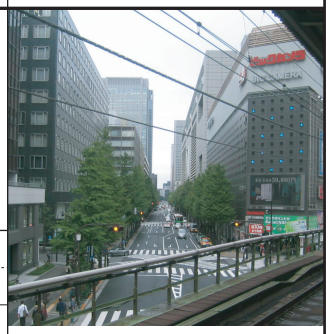


隣接形式		
短手	(N)	F
長手	F	F
上部覆い	○	○
隣接する用途	St	Sq, Co
隣接する形状	―	■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数る	基点	
St	道路	○	―	749	小	2	F	○	3	■, ―, |	性質	同一	二		F		階層	2	・	

yur8　都道 402 号





隣接形式		
短手	AF AF A F N F	
長手	A	
上部覆い	○	
隣接する用途	Pf, Co	Pf, St　Pf　Pa, Pf　Co
隣接する形状	― |	― |　―　■―'　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数る	基点	
St	道路	○	―	3507		6	A, F	混	4	■, ―, |	両方	同一	ハ		F		階層	2	・	

yur9　有楽町電気ビルヂング

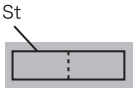




隣接形式		
短手	F	A
長手		
上部覆い		
隣接する用途	St	Pf
隣接する形状	―	―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数る	基点	
Pa	広場	○	■	1205	小	2	A, F	×	2	―	構成	上方	二				階層			

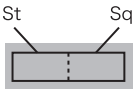
yur10 北口コンコース



隣接形式		
隣接形式	短手	(N) N
	長手	F
上部覆い		○ ○
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Co	コンコース	○	―	641	小	2	F	○		1	―			同一	二				階層		

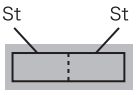
yur11 中央コンコース



隣接形式		
隣接形式	短手	(N) (N)
	長手	F F
上部覆い		○ ○
隣接する用途		St Sq
隣接する形状		― ■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Co	コンコース	○	―	245	小	2	F	○		2	■, ―		性質	同一	二				階層		

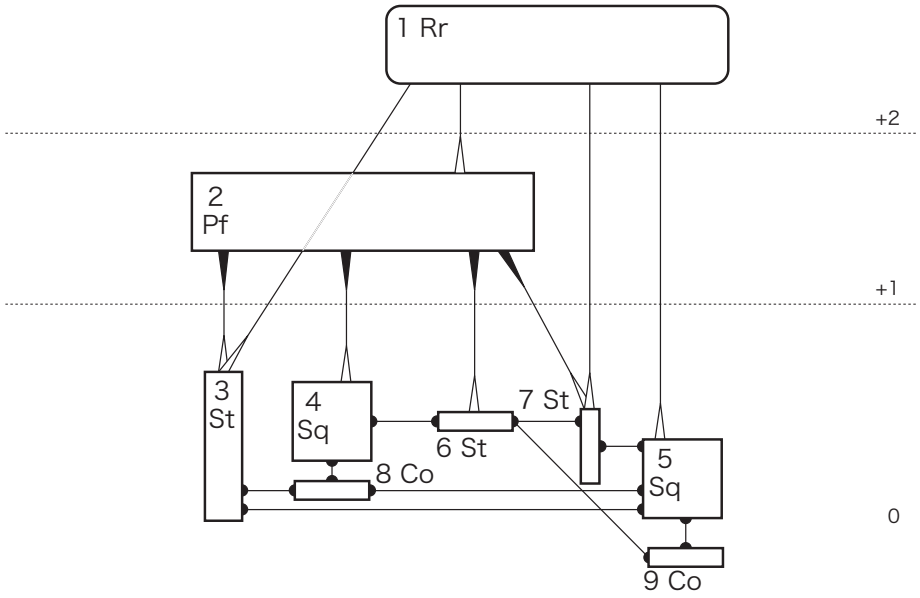
yur12 南口コンコース

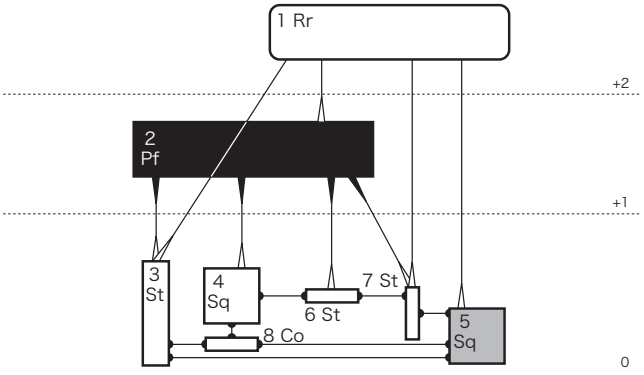


隣接形式		
隣接形式	短手	(N) (N)
	長手	F F
上部覆い		○ ○
隣接する用途		St St
隣接する形状		― ―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Co	コンコース	○	―	824	小	2	F	○		1	―			同一	二				階層		

No.27　新橋駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
新橋	8 面／基点階層型	3(3)	●	◎	◎	◉	○	●		◎	△△□	▲	□	◆	△	○	

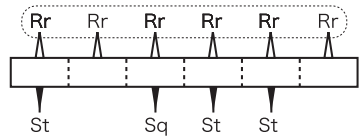
snb1　JR 東海道新幹線



+2

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接する面数	基点
Rr	線路	×	—	2655		-									Z		階層	4	○

snb2　JR 山手線・京浜東北瀬・東海道線新橋駅ホーム



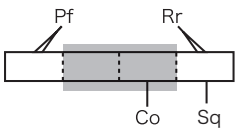


+1

隣接形式						
	短手	A・B	A	A・B	A・B	A・B	A
	長手						
上部覆い						
隣接する用途		St, Rr	Rr	Sq, Rr	St, Rr	St, Rr	Rr
隣接する形状		ー|	ー	ー■	ーー	ー|	ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接する面数	基点
Pf	ホーム	○	—	14262	大	6	A, B	×	3	■, ー, |	両方	上下	口		U		階層	5	●

snb3　外堀通り





0

隣接形式						
	短手	(N)	N	F	F
	長手	A			A
上部覆い			○	○	
隣接する用途		Pf		Co	St,Rr
隣接する形状		ー		ー	ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接する面数	基点
St	道路	○	—	3762		4	A, F	混	3	ー	両方	上方	二		F		階層	4	

snb4　日比谷口広場（SL 広場）



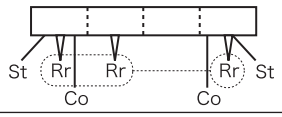


隣接形式		
	短手	AF
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf, St, Co
隣接する形状		ー| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	3895		1	A, F	×			3	ー, |	両方	上方		イ		S		階層	2	

snb5　汐留口広場



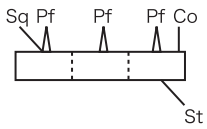


隣接形式		
	短手	AF　A　N　AF
	長手	F　F
上部覆い		
隣接する用途		St,Rr,Co　Rr　St, Rr, Co
隣接する形状		ー| |　ー　ーー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	7181		4	A, F	×			3	ー, |	両方	上方		二	○	FC		階層	4	・

snb6　道路

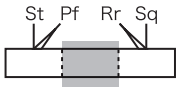




隣接形式		
	短手	A　A　AF
	長手	F　F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Pf　Pf　St, Pf, Co
隣接する形状		■ー　ー　ーー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	1234	小	3	A, F	×			4	■, ー, |	両方	同一		口	○	C		階層	3	

snb7　烏森通り

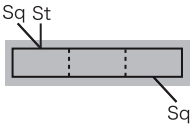




隣接形式				
短手	F	N	F	
長手	A		A	
上部覆い	○			
隣接する用途	St, Pf		Sq, Rr	
隣接する形状	ー |		■ー	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	ー	1205	小	3	A, F		混		4	■, ー, |	両方	上方		二			F			階層	4	○

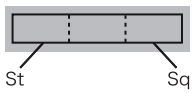
snb8　銀座口コンコース



隣接形式				
短手	F	N	(N)	
長手	F			
上部覆い	○	○	○	
隣接する用途	St, Sq		Sq	
隣接する形状	ーー		■	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	980	小	3	F		○		2	■, ー	性質	同一		二			F			階層	3	

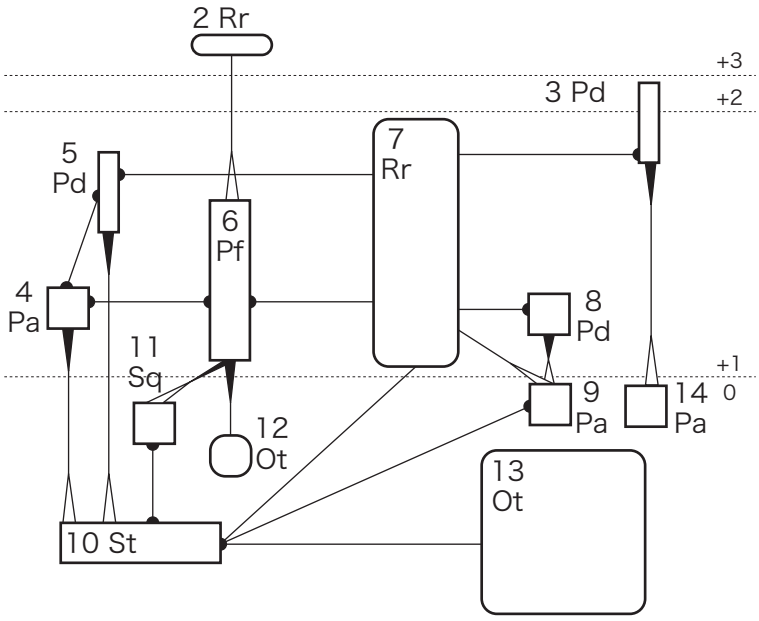
snb9　烏森口コンコース

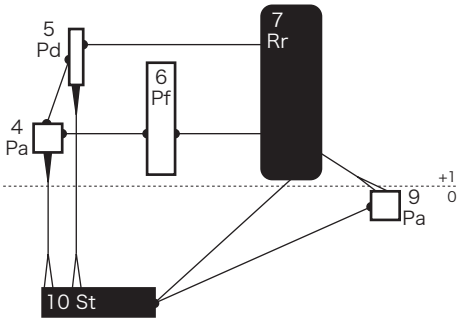


隣接形式				
短手	(N)	N	(N)	
長手	F		F	
上部覆い	○	○	○	
隣接する用途	St		Sq	
隣接する形状	ー		■	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	722	小	3	F		○		2	■, ー	性質	同一		二						階層		

No.28　浜松町駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
浜松町	5 面／基点分散型	4(2)	●	●	○	●	○	○		●		■	△	▽▽		●	

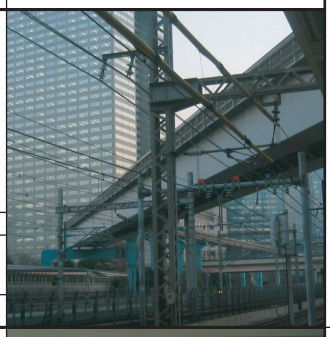
ham1　東京モノレール浜松町駅



+3

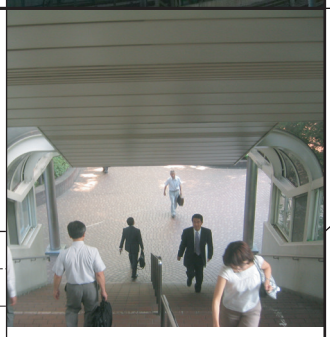
隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pf	ホーム	○	―	1359	小	1	N	○	0	×			なし	イ			×	分散		



ham2　東京モノレール

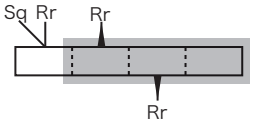
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Rr	線路	×	―	1579	小													分散		



+2

ham3　歩行者デッキ

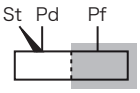
+3 / +2

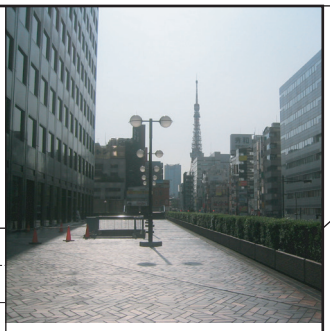


隣接形式		
	短手	F　B　B　N
	長手	F
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		Sq, Rr　Rr　Rr
隣接する形状		■, ―　―　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	―	856	小	3	B	○	2	■, ―, |	性質		下方	二				分散		

ham4　世界貿易センタービル２F 広場

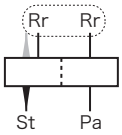




隣接形式		
	短手	F　F
	長手	B
上部覆い		○
隣接する用途		Pd, St　Pf
隣接する形状		−−　−

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pa	屋上広場	○	■	1822	小	2	B, F		混		3	−	両方	下方		ロ		U		分散	3	

ham5　文化放送メディアプラス・世界貿易センタービルペデストリアンデッキ

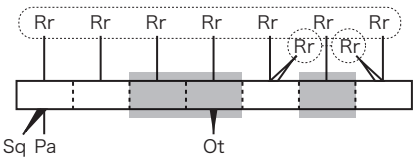




隣接形式		
	短手	B・F　F・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St, Rr　Pa, Rr
隣接する形状		−+　■−

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	−	359	小	2	B, F		×		3	■, −, |	両方	下方		ロ		U		分散	3	

ham6　JR 山手線・京浜東北線浜松町駅ホーム





隣接形式		
	短手	BF・F　F　F　B・F　F　F　F
	長手	A　A
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		Sq, Pa, Rr　Rr　Rr　Rr, Ot　Rr, Rr　Rr　Rr, Rr
隣接する形状		■■−　−　−　■−　−−　−　−−

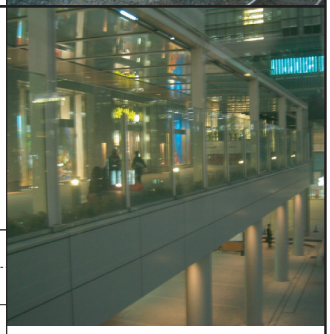
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pf	ホーム	○	−	7204		7	A,B,F		混		4	■, −	両方	上下		ロ	○	C		分散	2	

ham7　JR 山手線・京浜東北線・東海道本線・東海道新幹線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	16766	大	-									Z		分散	4	●

ham8　汐留芝離宮ビルディングペデストリアンデッキ



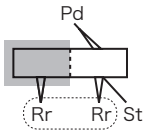


隣接形式	短手	B
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pa, Rr
隣接する形状		■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	■	932	小	1	B, F	×	2	■, ー	両方	下方	イ				分散		

ham9　汐留芝離宮ビルディング

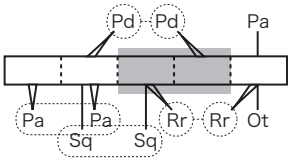




隣接形式	短手	A　A
	長手	A・F
上部覆い		○
隣接する用途		Rr　Pd, St, Rr
隣接する形状		ー　■ーー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pa	広場	○	■	2947	小	2	A, F	混	3	■, ー	両方	上方	ロ	○	C		分散	2	

ham10 竹芝通り





隣接形式	A	AF	F	(N)	F・F
短手					
長手		A	A	A	A
上部覆い			○	○	
隣接する用途	Pa	Sq, Pa, Pd	Sq, Rr	Pd	Pa, Rr, Ot
隣接する形状	■	■■–	■–	–	■■–

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合する近接面数	基点
St	道路	○	–	6550		5	A, F	混合	5	■, –	両方		同一	ハ	●/○	FC			分散	4	●

ham11 北口ロータリー





隣接形式	A
短手	
長手	F
上部覆い	○
隣接する用途	Pf, St
隣接する形状	––

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合する近接面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	1962	小	1	A, F	○	2	–	構成		上方	イ					分散		

ham12 浜松町バスターミナル



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	統合する近接面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	1900	小														分散		

ham13 都立旧芝離宮恩賜公園



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成／性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Ot	他(有料施設)	×	■	45005	大																分散			

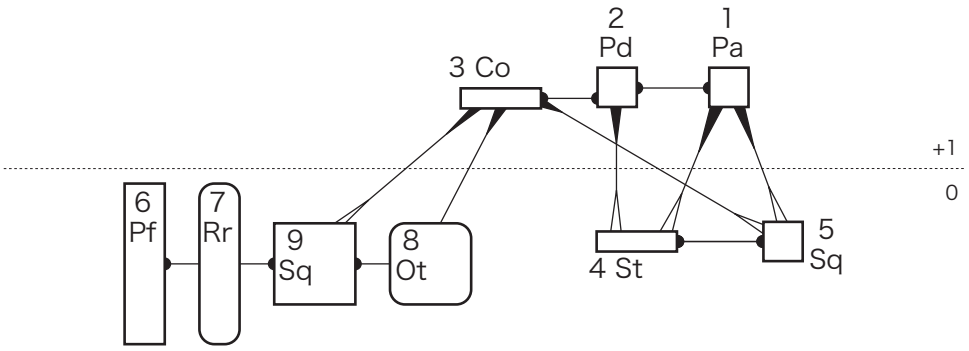
ham14 公開空地広場

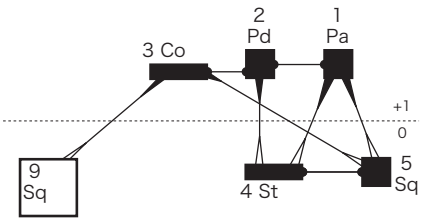


隣接形式		
隣接形式	短手	F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Rr, Co
隣接する形状		ー |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成／性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Sq	駅前広場	○	■	2947	小	1	A, F			2	ー, |		構成	同一	イ					分散			

No.29　田町駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
田町	6面／基点分散型	2(2)		○	●	●	●		●	●	△▼				▲▼▼		▲

tam1　森永プラザビル３F 広場



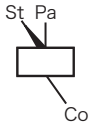


隣接形式		
	短手	BF
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Pd, St
隣接する形状		■■–

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点	
Pa	屋上広場	○	■	2146	小	1	B, F	×	3	■, –	両方		下方	イ		S		分散	3	●	

tam2　田町駅西口歩行者デッキ



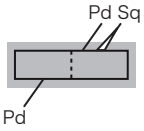


隣接形式		
	短手	F
	長手	B・F
上部覆い		
隣接する用途		Pa, St, Co
隣接する形状		■– |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点	
Pd	ペデストリアンデッキ	○	■	1029	小	1	B, F	×	3	■, –, |	両方		下方	イ		S		分散	3	●	

tam3　中央コンコース



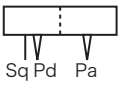


隣接形式			
	短手	(N)	(N)
	長手	F	AF
上部覆い		○	○
隣接する用途		Rr	Pd, Sq
隣接する形状		–	■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点	
Co	コンコース	○	–	1771	小	2	B, F	○	3	■, –	両方		下方	二		F		分散	3	●	

tam4　第一京浜





隣接形式		
	短手	AF　A
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Pd　Pa
隣接する形状		■　■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	―	1982	小	2	A, F	×	3	■	両方	上方	ロ		U		分散	3	●

tam5　三田口ロータリー



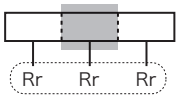


隣接形式		
	短手	A
	長手	A・F
上部覆い		○
隣接する用途		Pa, St, Co
隣接する形状		■―

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	2243		1	A, F	○	3	■, ―	両方	上方	イ		S		分散	3	●

tam6　JR 山手線・京浜東北線田町駅ホーム





隣接形式		
	短手	F　F　F
	長手	
上部覆い		○
隣接する用途		Rr　Rr　Rr
隣接する形状		―　―　―

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	6709		3	F	混	1	―	構成	同一	ロ				分散		

tam7　JR 東海道本線・東海道新幹線



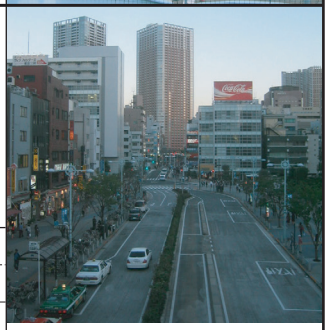
構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接	基点
Rr	線路	×	ー	8072		-																分散			

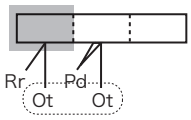
tam8　東京工業大学工学部付属工業高等学校



構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接	基点
Ot	他(庭)	×	■	7658		-																分散			

tam9　芝浦口ロータリー

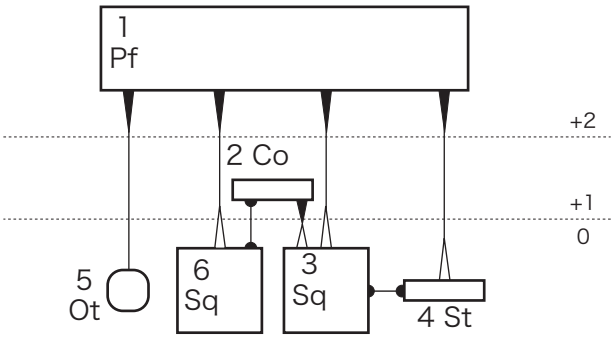


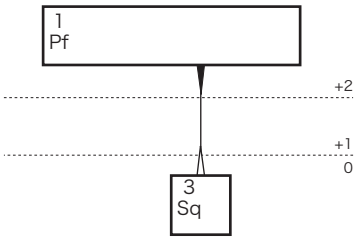


隣接形式		
	短手	F　F　N
	長手	F　A
上部覆い		○
隣接する用途		Rr, Ot　Pd, Ot
隣接する形状		■ー　■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	8710		3	A, F	混		3	■, ー, |	両方	上方	ハ		F			分散	1				

No.30　小岩駅

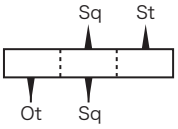




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
小岩	2 面	3(3)	○	○		○	○	○		○	▽				△		

koi1　JR 総武線〈各駅停車〉小岩駅ホーム





+1

隣接形式		
	短手	B　B・B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot　Sq, Sq　St
隣接する形状		■　■■　—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	6046	大	3	B	×		2	■, —	性質	下方	ハ		F		2つ	1	

koi2　コンコース



隣接形式		
	短手	(N)　N　(N)
	長手	F　B
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		Sq　Sq
隣接する形状		■　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合面数	基点
Co	コンコース	○	—	576	小	3	B	○		1	■		下方	二				2つ		

koi3　北口広場





0

隣接形式		
	短手	AF
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf, St, Co
隣接する形状		—| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	2581		1	A, F	×		3	■, —		両方	上方	イ		S		2つ	1	

koi4　道路





隣接形式		
	短手	A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Pf
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合面数近接する	基点
St	道路	○	ー	525	小	1	A, F	×	2	■, ー	両方		上方	イ					2つ		

koi5　小岩駅南口駐輪場



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合面数近接する	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	1025	小	-													2つ		

koi6　南口ロータリー

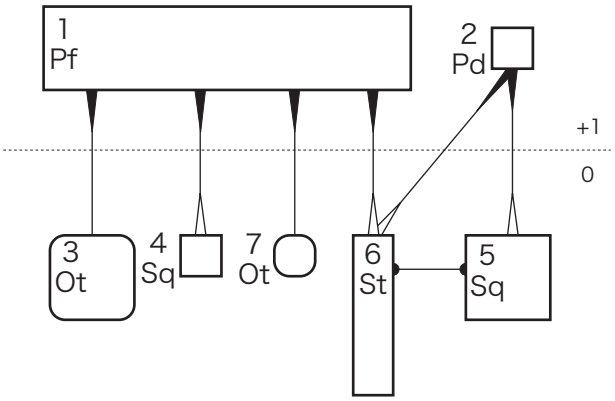


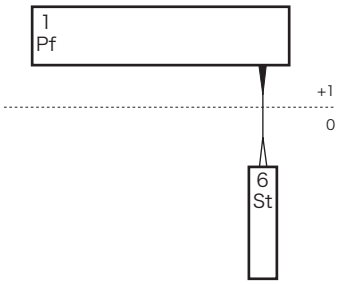


隣接形式		
	短手	AF
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pf, Co
隣接する形状		ー |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合面数近接する	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	4358		1	A, F	×	2	ー, |	構成		上方	イ					2つ		

No.31　新小岩駅

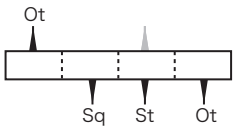




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
新小岩	2面	2(2)	○	○		○		○		○	△▽						

snk1　JR 総武線〈各駅停車・快速〉新小岩駅ホーム





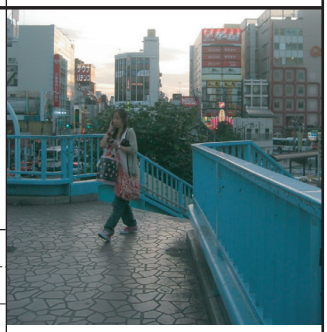
+1

隣接形式		
	短手	B　B　B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot　Sq　St　Ot
隣接する形状		■　■　+　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	近接 方向	複合 パタン	集中場	分節 パタン	No.	形状	近接する 統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	13533	大	4	B	×	3	■, |	性質	下方	ハ		F		2つ	1	

snk2　新小岩駅前歩道橋





隣接形式		
	短手	B
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		Sq, St
隣接する形状		■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	近接 方向	複合 パタン	集中場	分節 パタン	No.	形状	近接する 統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	■	146	小	1	B	×	2	■, |	性質	下方	イ				2つ		

snk3　西井堀自転車駐車場



0

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	近接 方向	複合 パタン	集中場	分節 パタン	No.	形状	近接する 統合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	8749		-											2つ		

snk4　北口広場





隣接形式	短手	A
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pf
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前広場	○	■	1701	小	1	A		×		1	―		上方		イ				2つ		

snk5　南口ロータリー



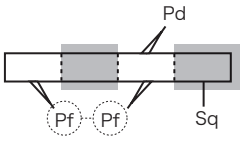


隣接形式	短手	(N)
	長手	AF
上部覆い		
隣接する用途		Pd, St
隣接する形状		■―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	6390		1	A, F		×		2	■, ―	両方	上方		イ				2つ		

snk6　平和橋通り





隣接形式	短手	(N)	N	(N)	F
	長手	A		A・A	
上部覆い			○		○
隣接する用途		Pf		Pd, Pf	Sq
隣接する形状		―		―■	■

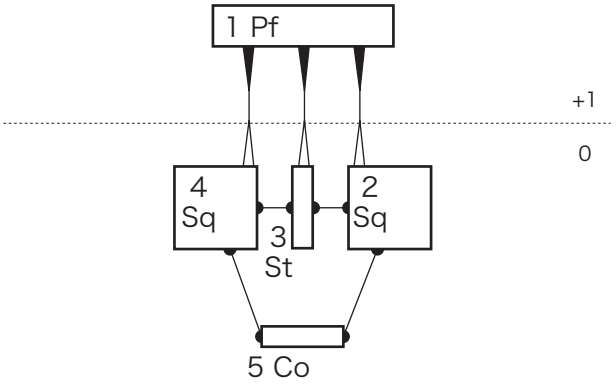
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	―	2843		4	A, F		混		3	■, ―	両方	上方		二		F		2つ	1	

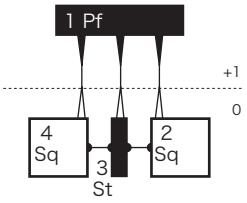
snk7　未利用地



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点
Ot	他(未利用地)	×	■	904	小	-												2つ		

No.32　平井駅

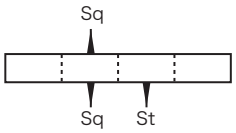




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
平井	4面／基点分散型	2(2)	●	●		●	○	●		●	▲▼		△				△

hir1　JR 総武線〈各駅停車〉平井駅ホーム



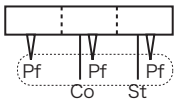


+1

隣接形式		
	短手	B・B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Sq　St
隣接する形状		■■　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接合面数する	基点
Pf	ホーム	○	ー	5773	大	4	B	×	2	■, |	性質	下方	ハ		F		分散	3	●			

hir2　北口ロータリー



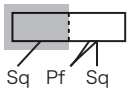


0

隣接形式		
	短手	A　AF　AF
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pf　Pf, Co　Pf, St
隣接する形状		ー　ー|　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接合面数する	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	4132		3	A, F	×	3	ー, |	両方	上方	ロ		U		分散	2				

hir3　平井駅通り

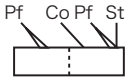




隣接形式		
	短手	(N)　F
	長手	F　A
上部覆い		○
隣接する用途		Sq　Sq, Pf
隣接する形状		■　■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統近接合面数する	基点
St	道路	○	ー	1484		2	A, F	混	2	■, ー	両方	上方	二		F		分散	3	●			

hir4　南口ロータリー

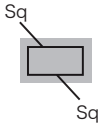




隣接形式		
	短手	(N)　F
	長手	A　AF
上部覆い		
隣接する用途		Pf　Pf, St, Co
隣接する形状		ー　ーー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	近接 方向	複合 パタン	集中場	分節 パタン	No.	形状	統合する 面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	2284		2	A, F	×	3	ー	両方	上方	ロ	○	C		分散	2	

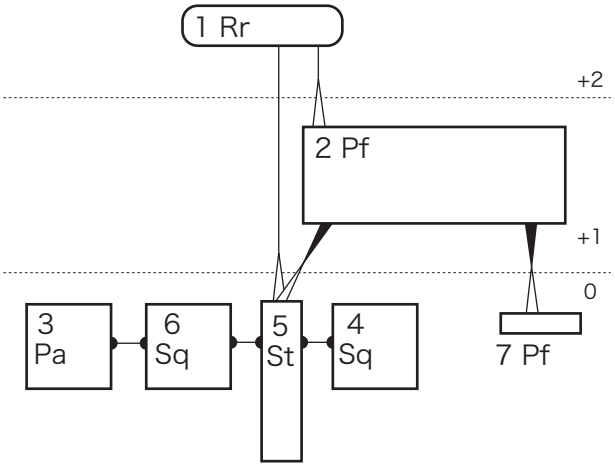
hir5　コンコース

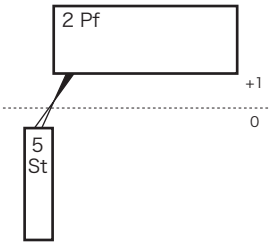


隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F・F
上部覆い		
隣接する用途		Sq
隣接する形状		■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質	近接 方向	複合 パタン	集中場	分節 パタン	No.	形状	統合する 面数	基点
Co	コンコース	○	ー	323	小	1	F	○	1	■		同一	イ				分散		

No.33　亀戸駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
亀戸	2面	3(2)		○		○		○		○	△			◇			

kam1　JR 貨物支線



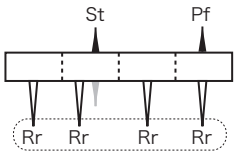
+2

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	—	3374															2つ		

kam2　JR 総武線〈各駅停車〉亀戸駅ホーム



+1



隣接形式	短手	A	A・B	A	A・B
	長手				
上部覆い					
隣接する用途		Rr	St, Rr	Rr	Pf, Rr
隣接する形状		—	—+	—	——

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	6846		4	A, B	×	3		—, |	両方	上下	ロ		U		2つ	1	

kam3　区立亀戸駅前公園・区立かめ・うさぎ児童遊園



0



隣接形式	短手	F			
	長手				
上部覆い					
隣接する用途		Sq			
隣接する形状		■			

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pa	公園	○	■	3590		1	A, B	×	3		—, |		同一	イ		U		2つ		

kam4　北口ロータリー1



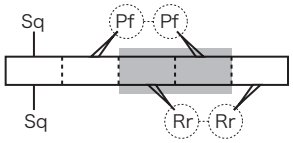


隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合する近接面数	基点	
Sq	駅前ロータリー	○	■	1947		1	F	×	1	―			同一	イ				2つ			

kam5　明治通り



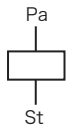


隣接形式						
	短手	F・F	(N)	(N)	(N)	(N)
	長手		A	A	A	A
上部覆い				○	○	
隣接する用途		Sq, Sq	Pf	Rr	Pf	Rr
隣接する形状		■■	―	―	―	―

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合する近接面数	基点	
St	道路	○	―	3808		5	A, F	混	3	■, ―		両方	上方	二		F		2つ	1		

kam6　北口ロータリー2





隣接形式		
	短手	F・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St, Pa
隣接する形状		■―

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	複合パターン	集中場	分節パターン	No.	形状	統合する近接面数	基点	
Sq	駅前ロータリー	○	■	1847		1	F	×	2	■, ―			同一	イ				2つ			

kam7　東武亀戸線亀戸駅ホーム

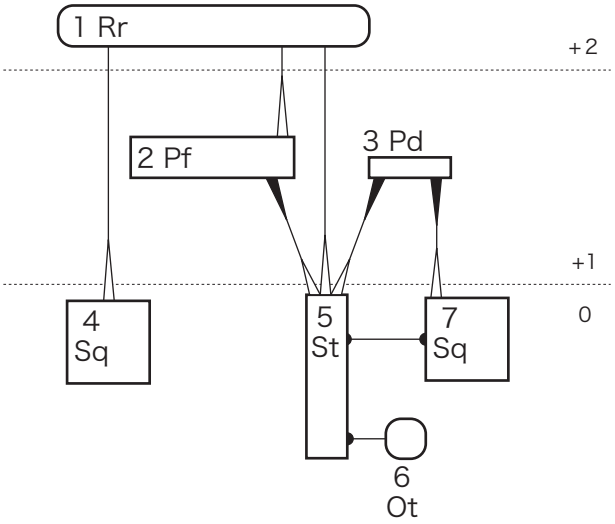


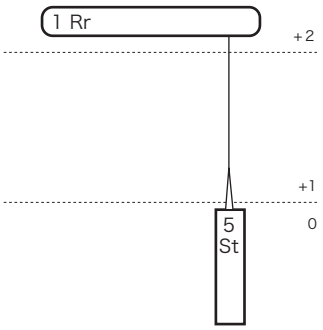


隣接形式	短手	A
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pf
隣接する形状		—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	1337	小	1	A	×	1	—			上方	イ				2つ		

No.34　錦糸町駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
錦糸町	2 面	2(2)		○		○				○	△					○	

kin1　JR 総武本線

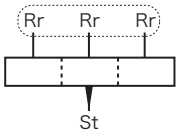


+1

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い	上部用途	形状	構成性質			近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	ー	8347		-	A	×	1	ー				上方	イ				2つ	1	

kin2　JR 総武線〈各駅停車・快速〉錦糸町駅ホーム





隣接形式		
	短手	F　B・F　F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr　St, Rr　Rr
隣接する形状		ー　ー|　ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い	上部用途	形状	構成性質			近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	13725		3	B, F	×	2	ー, |	構成			下方	ロ				2つ		

kin3　錦糸町駅前歩道橋





隣接形式		
	短手	B
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		Sq, St
隣接する形状		■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い	上部用途	形状	構成性質			近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	ー	353	小	1	B	×	2	■, ー	性質			下方	イ				2つ		

kin4　北口ロータリー



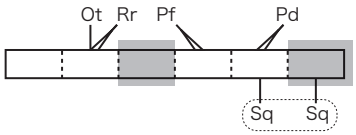


0

隣接形式	短手	A
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr
隣接する形状		ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	7882		1	A	×	1	ー		上方	イ				2つ		

kin5　四ツ目通り





隣接形式	短手	N	F	N	(N)	F	F	
	長手		A		A	A		
上部覆い				○			○	
隣接する用途			Rr, Ot		Pf	Sq, Pd	Sq	
隣接する形状			■ー		ー	■ー	■	

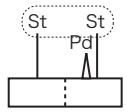
構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	ー	13844		6	A, F	混	5	■, ー	両方	上方	ハ		F		2つ	1	

kin6　（仮称）新ロッテプラザ計画建設工事



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他（工事現場）	×	■	3049	小												2つ		

kin7　南口ロータリー

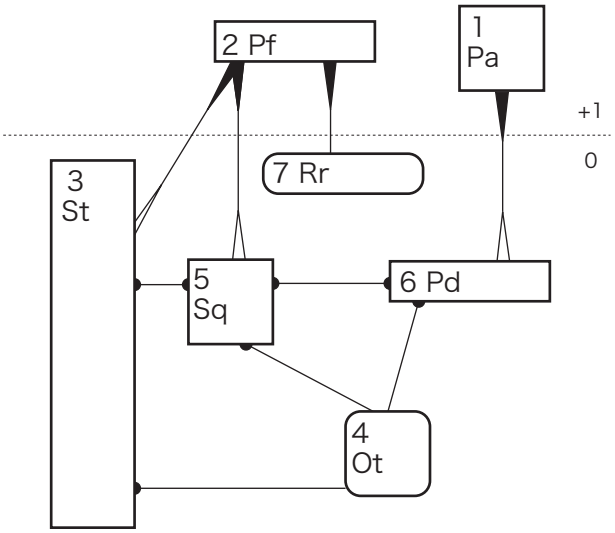


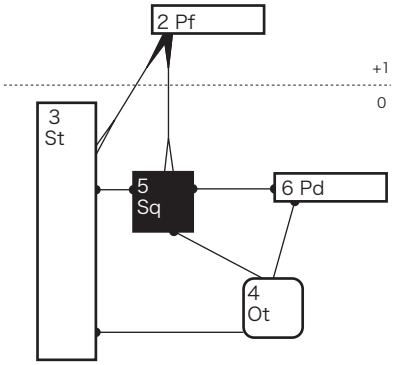


隣接形式		
	短手	F　A・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Pd, St
隣接する形状		ー　ーー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	8768		2	A, F	×	2	ー	構成		上方	ロ					2つ		

No.35　両国駅

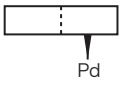




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
両国	5 面／基点集中型	2(2)	○	○	●	○	●	○		●	△△▽		■			○	

ryo1　東京都江戸東京博物館３F 広場



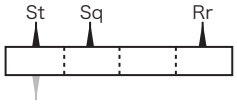


+1

隣接形式		
	短手	N　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Pd
隣接する形状		|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上覆い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	近接統合面数	基点
Pa	屋上広場	○	■	3376		2	B	×	1	|			下方	二					集中		

ryo2　JR 総武線〈各駅停車〉両国駅ホーム

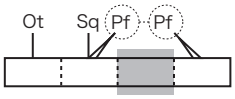




隣接形式		
	短手	B　B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Sq　Rr
隣接する形状		+　■　–

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	上覆い部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン		No.	形状	近接統合面数	基点
Pf	ホーム	○	–	5148		4	B	×	3	■, –, |	性質		下方	ハ		F			集中	2	

ryo3　国技館通り





0

隣接形式		
	短手	F　F　N　F
	長手	A　A
上部覆い		○

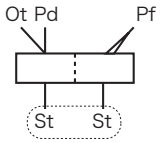
ryo4　国技館



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容		視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	性質構成	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合接する面数	基点
Ot	他(庭)		×	■	6884		-									Z		集中	3	

ryo5　西口ロータリー

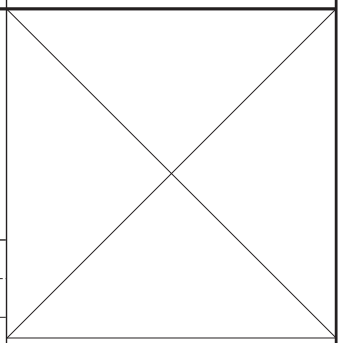


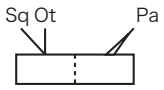


隣接形式		
	短手	F・F　F
	長手	F　A
上部覆い		
隣接する用途		St, Pb,Ot　Pf, St
隣接する形状		■■ー　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容		視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	性質構成	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合接する面数	基点
Sq	駅前ロータリー		○	■	2167	小	2	A, F	×	4	■, ー	両方	同一	ロ	○	C		集中	4	●

ryo6　江戸東京博物館アプローチ歩道

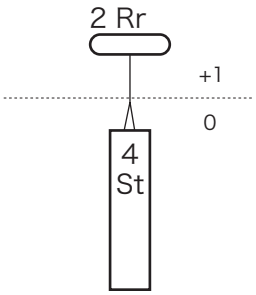




隣接形式		
	短手	F　(N)
	長手	F　A
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Ot　Pa
隣接する形状		■■　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容		視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	性質構成	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合接する面数	基点
Pd	歩道		○	■	2880		2	A, F	×	3	■	両方	上方	二		F		集中	2	

No.36　浅草橋駅



ask1　JR 総武線〈各駅停車〉浅草橋駅ホーム



+1

隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	3909		1	N	×	0	×			なし		イ				×				

ask2　JR 総武本線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Rr	線路	×	―	690	小																			

ask3　浅草橋自転車駐車場

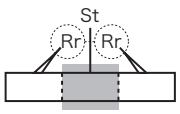


0

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	1600																	×			

ask4　江戸通り

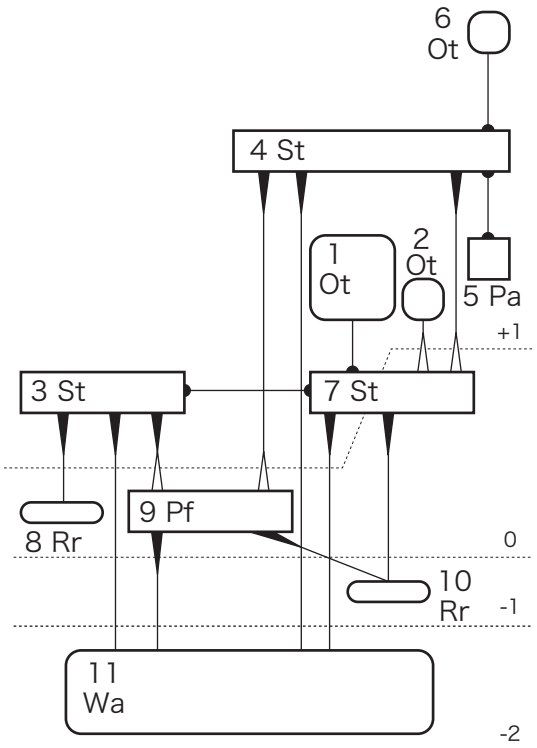


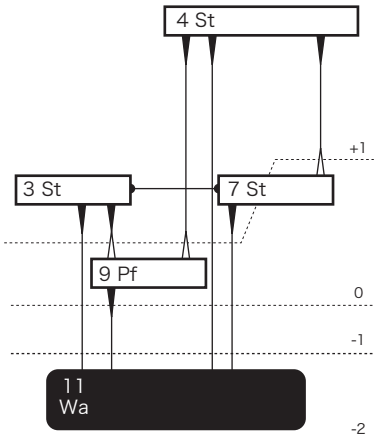


隣接形式		
	短手	(N)　F　(N)
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Rr　St　Rr
隣接する形状		―	―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	2441		3	A	混	1	―	構成		上方		二									

No.37　御茶ノ水駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
御茶ノ水	5 面／基点集中型	4(4)	●	○		●		○		●	◇▽▽	◇				●	

och1　東京医科歯科大学病院１



+1

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Ot	他(庭)	×	■	3285		-											集中		

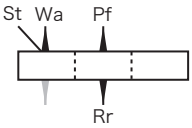
och2　東京医科歯科大学病院２



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Ot	他(庭)	×	■	1816	小	-											集中		

och3　明大通り



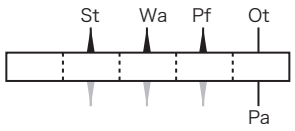


隣接形式	短手	B　B・B　N
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Wa, St　Pf, Rr
隣接する形状		−+　| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	−	3120		3	B, F	×	4	−, |	両方	下方	ハ		F		集中	3	

och4　本郷通り





隣接形式	短手	N　B　B　B　F・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Wa　Pf　Pa, Ot
隣接する形状		+　+　+　■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆上い部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	−	5649		5	B, F	×	5	■, −	両方	下方	ハ		F		集中	3	

och5　新御茶ノ水ビルディング

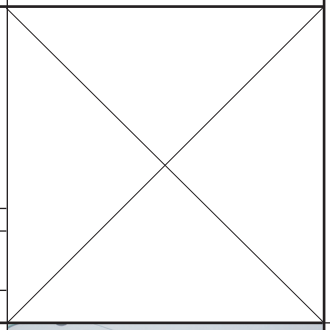




隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		—

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Pa	広場	○	■	1217	小	1	F	×	1	—		同一	イ				集中		

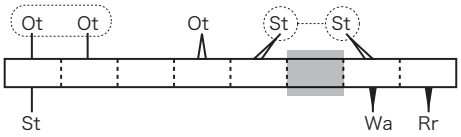
och6　御茶ノ水セントラルビル



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Ot	他(庭)	×	■	1252	小	-											集中		

och7　外堀通り

+1 / 0

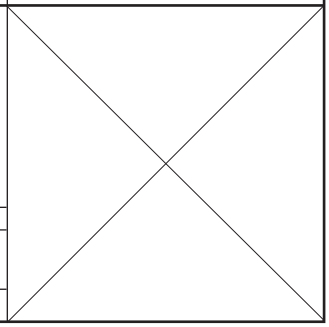




隣接形式		
	短手	F·F　F　N　A　(N)　N　B　B
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		St, Ot　Ot　Ot　St　St, Wa　Rr
隣接する形状		■ |　■　■　—　——　—

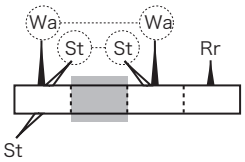
構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	—	6242		8	A,B,F	混	4	■, —, |	両方	上下	ハ		F		集中	3	

och8　JR 中央本線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Rr	線路	×	—	1788	小	-											集中		

och9　JR 中央総武線〈各駅停車〉・中央線〈快速〉御茶ノ水駅ホーム





0

隣接形式		
短手	B　N　B　B	
長手	A・A　A	
上部覆い	○	
隣接する用途	St, St, Wa　St, Wa　Rr	
隣接する形状	―――　――　―	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	6517		4	A, B	混	3	―	両方		上下	ハ	○	FC		集中	3	

och10　東京メトロ丸ノ内線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	―	664	小	-												集中		

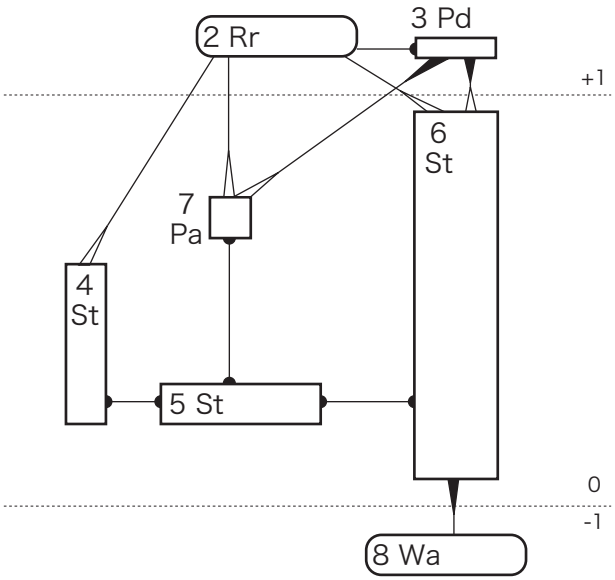
och11　神田川

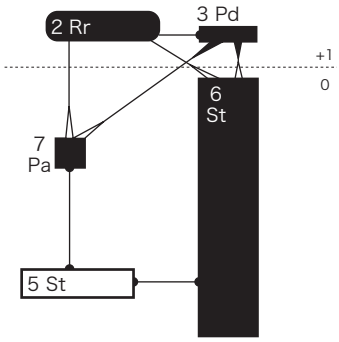


-1

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	上部覆い	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Wa	河川	×	―	12915	大	-										Z		集中	4	●

No.38　水道橋駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
水道橋	6 面／基点分散型	3(2)	●	●	●	●	●			●	◆□				▲▼	●	◇

sui1　JR 中央総武線〈各駅停車〉水道橋駅ホーム



+1

隣接形式		
	短手	N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合接する面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	3969		1	N	×	0	×			なし	イ			×	分散		

sui2　JR 中央本線



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合接する面数	基点
Rr	線路	×	ー	5291		-										Z		分散	3	●

sui3　水道橋東口歩道橋

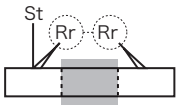




隣接形式		
	短手	B・F
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		Pa, St, Rr
隣接する形状		■ー+

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合接する面数	基点
Pd	歩道橋	○	ー	109	小	1	B, F	×	3	■, ー, |	両方		下方	イ		S		分散	3	●

sui4　水道橋西口通り

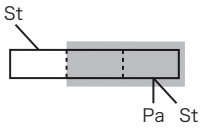




隣接形式		
	短手	F　N　(N)
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		St, Rr　Rr
隣接する形状		｜ー　ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	ー	1452	小	3	A, F	混	2	ー, ｜	構成	上方	二				分散				

sui5　道路

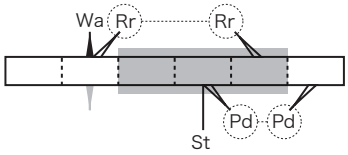




隣接形式		
	短手	(N)　N　F
	長手	F　F
上部覆い		○　○
隣接する用途		St　Pa, St
隣接する形状		ー　■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	ー	3656		3	F	混	2	■, ー	両方	同一	二		F		分散		2		

sui6　白山通り





隣接形式		
	短手	N　B　N　F　(N)　(N)
	長手	A　A　A　A
上部覆い		○　○　○
隣接する用途		Wa, Rr　St, Pd　Rr　Pd
隣接する形状		+ー　ー｜　ー　ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	ー	7554	大	6	A,B,F	混	4	ー, ｜	両方	上方	二		F		分散		3	●	

sui7　東京歯科大学水道橋病院

StRr Pd



隣接形式		
	短手	AF
	長手	A
上部覆い		
隣接する用途		Pd, St, Rr
隣接する形状		ーー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pa	広場	○	■	422	小	1	A, F	×		3	ー, |	両方	上方	イ		S		分散	3	●

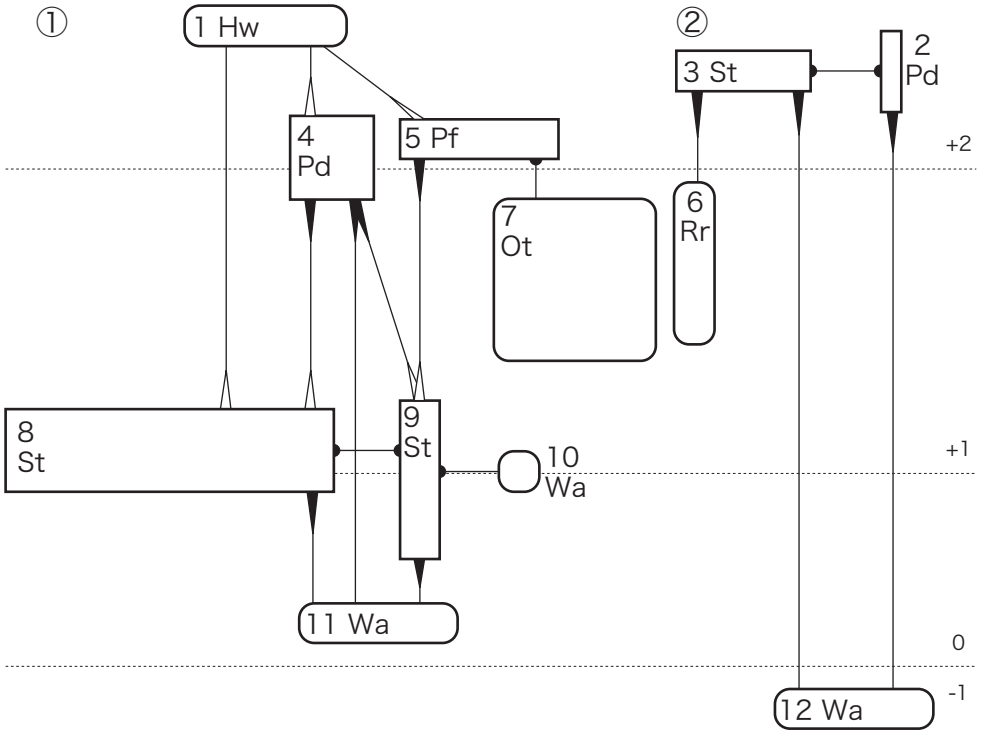
sui8　神田川

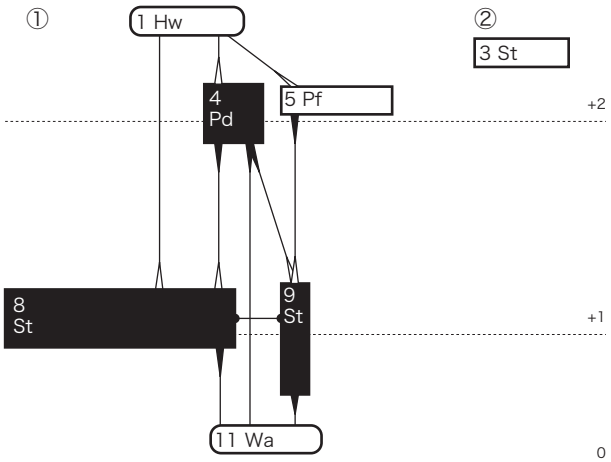


-1

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Wa	河川	×	ー	2996															分散		

No.39　飯田橋駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
飯田橋①	6 面／基点分散型	4(3)	●	●	○	●	●	○		●	◇	◆◆◆				○○	

iid1　高速５号池袋線



+2

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い部	用途	形状	構成要件	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Hw	高速道路	×	―	1649	小	-											Z	①	分散	3	

iid2　みやこばし



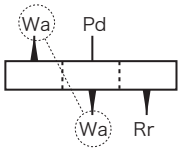


隣接形式	短手	B
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Wa
隣接する形状		回―

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い部	用途	形状	構成要件	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	歩行者専用橋	○	―	159	小	1	B, F	×	2	■, ―		両方	下方	イ				②	一つ		

iid3　早稲田通り

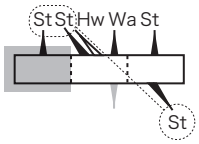




隣接形式	短手	B　B・F　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Wa　Pd, Wa　Rr
隣接する形状		■　■|　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い部	用途	形状	構成要件	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	―	1866		3	B, F	×	3	■, |		両方	下方	ハ			F	②	1つ	0	

iid4　飯田橋歩道橋

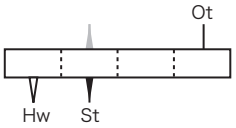




隣接形式		
	短手	B　B　B
	長手	AB　B
上部覆い		○
隣接する用途		St　St, Wa, Hw　St, St
隣接する形状		―　―|+　| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	■	2734		3	A, B		混	3		―, |	両方	上下		ハ	●	FC	①	分散	4	●

iid5　JR 中央総武線〈各駅停車〉飯田橋駅ホーム





隣接形式		
	短手	A　B　N　F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Hw　St　Ot
隣接する形状		―　+　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	5800		4	A,B,F		×	3		■, ―, |	両方	上下		二		F	①	分散	2	

iid6　JR 中央本線



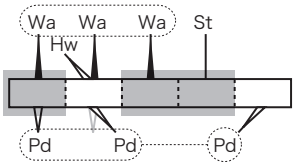
構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
Rr	線路	○	―	3989		-														②	1つ		

iid7　（仮称）富士見二丁目北部地区第一種市街地再開発ビル建設工事



構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成面	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
Ot	他（工事現場）	×	■	6361		-														①	分散		

iid8 外堀通り



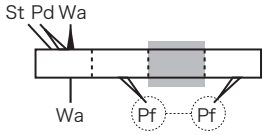


0

隣接形式						
	短手	A・B	B	B	F	N
	長手	A・A				A
上部覆い		○		○	○	
隣接する用途		Pd, Wa	Pd, Wa, Hw	Wa	St	Pd
隣接する形状		■–	■'––		|	■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	–	7605	大	5	A,B,F	混	4	■, –, |	両方		上下	ハ	●	FC	①	分散	4	●

iid9 目白通り

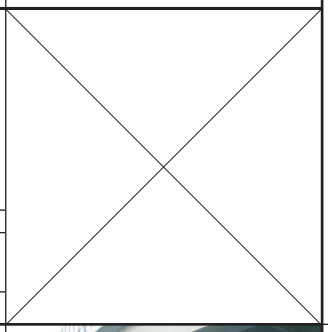




隣接形式						
	短手	B・F	(N)	N	(N)	
	長手	AF	A		A	
上部覆い			○			
隣接する用途		Pd, St, Wa, Wa	Pf		Pf	
隣接する形状		■■– |	–		–	

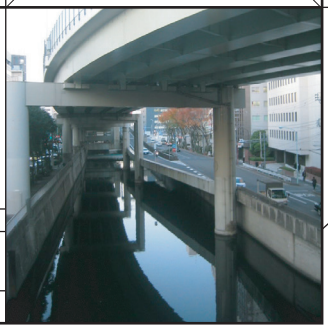
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
St	道路	○	–	4411		4	A,B,F	混	4	■, –, |	両方		上下	二	○	FC	①	分散	4	●

iid10 飯田橋セントラルプラザ



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Wa	池	×	■	524	小												①	分散		

iid11 神田川



-1

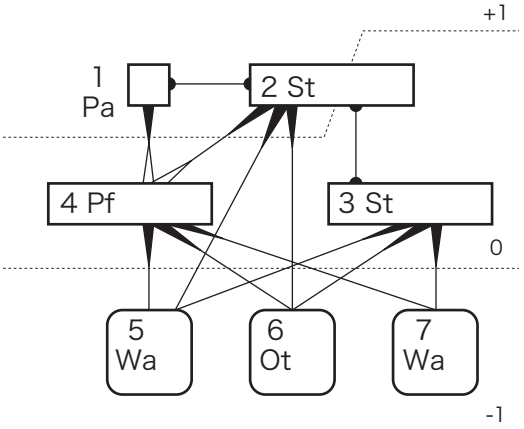
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数	基点
Wa	河川	×	–	2937		-										Z	①	分散	3	

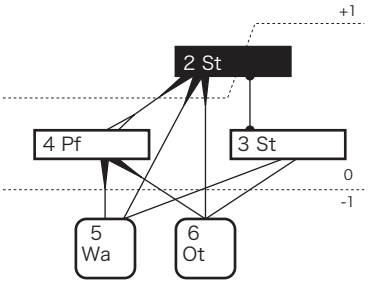
iid12　外濠



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点
Wa	堀	×	■	1873		-												②	1つ		

No.40　市ヶ谷駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
市ヶ谷	3 面／基点集中型	3(3)		●		●	○	○		●	◇	◇					▼

sui7　東京歯科大学水道橋病院





隣接形式		
	短手	AF
	長手	A
上部覆い		
隣接する用途		Pd, St, Rr
隣接する形状		ーー |

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
Pa	広場	○	■	422	小	1	A, F		×		3	ー, |	両方	上方		イ			S			分散	3	●

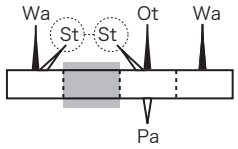
sui8　神田川



-1

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
Wa	河川	×	ー	2996																		分散		

ich4　JR 中央総武線〈各駅停車〉市ヶ谷駅ホーム





隣接形式					
短手	B	N	A・B	B	
長手	A		A		
上部覆い	○				
隣接する用途	St, Wa		Pa, St, Ot	Wa	
隣接する形状	■–		■■–	■	

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Pf	ホーム	○	–	5781		4	A, B		混		4	■, –		両方	上下		ハ		●	FC			集中	3		

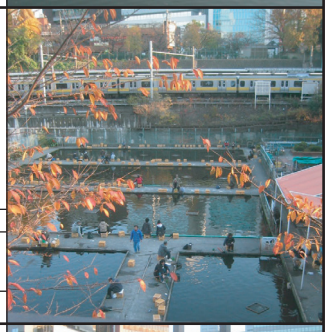
ich5　外濠 1



-1

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Wa	堀	×	■	5018		-														Z			集中	3		

ich6　三京水産（株）市ヶ谷フィッシュセンター



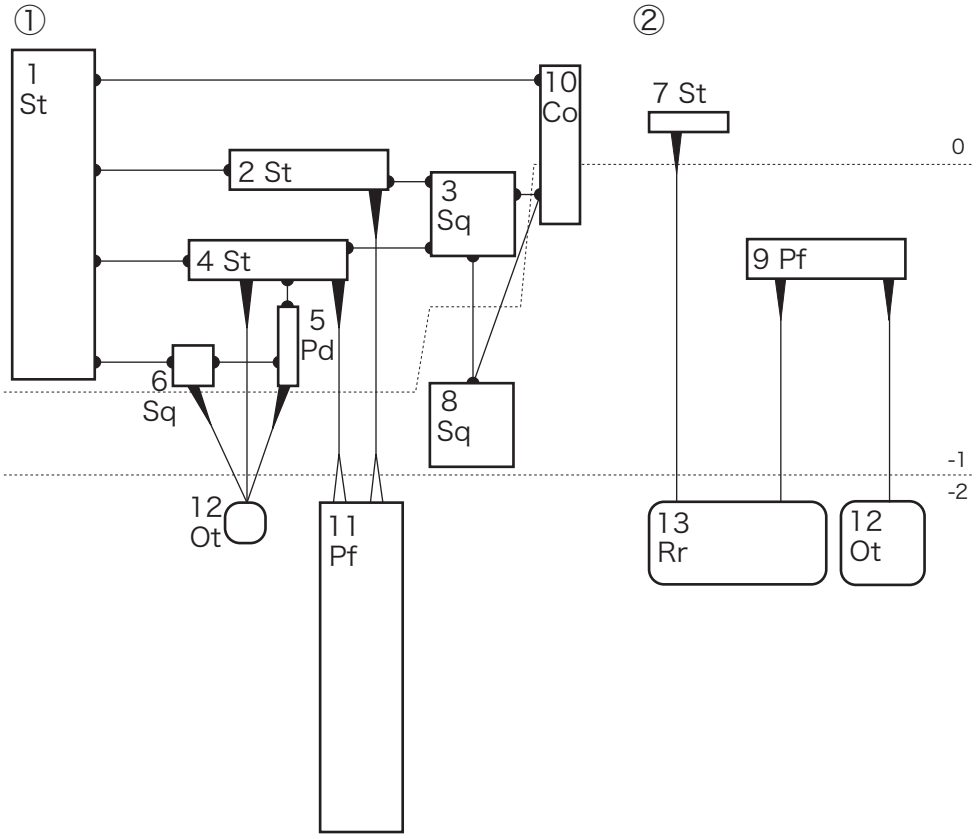
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Ot	他（有料施設）	×	■	3014		-														Z			集中	3		

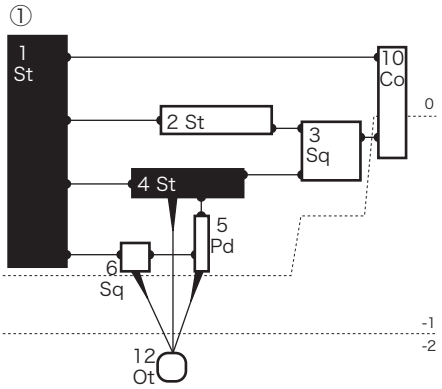
ich7　外濠 2



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Wa	堀	×	■	3614		-																	集中	2		

No.41　四ッ谷駅

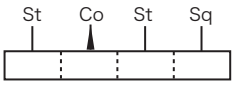




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
四ッ谷①	8 面／基点分散型	3(3)	●	●	○	●	○		○	●	△▽■■			□	▽▽	○	

yot1　外濠通り１



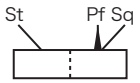


0

隣接形式	短手	F　B　F　F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Co　St　Sq
隣接する形状		|　|　|　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成／性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	ー	8660	大	4	B, F	×	3	■, ー	両方	同一	ハ		F	①	分散	4	●

yot2　その他の道路

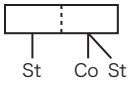




隣接形式	短手	(N)　B
	長手	F　F
上部覆い		
隣接する用途		St　Sq, Pf
隣接する形状		ー　■|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成／性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	ー	2173		2	B, F	×	3	■, ー, |	両方	下方	二		F	①	分散	2	

yot3　麹町口ロータリー（サンサン広場）

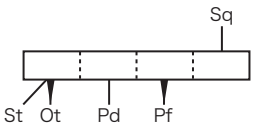




隣接形式	短手	F　F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St　St, Co
隣接する形状		|　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成／性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	3201		2	F	×	2	ー, |	両方	同一	ロ		U	①	分散	3	

yot4　新宿通り

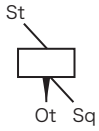




隣接形式		
	短手	B　F　B　F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Ot　Pd　Pf　Sq
隣接する形状		■–　|　|　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	–	5197		4	B, F	×			5	■, –, |	両方	同一		二		F	①	分散	4	●

yot5　歩行者専用橋

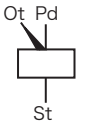


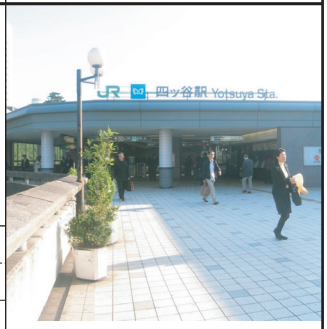


隣接形式		
	短手	B
	長手	F・F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, St, Ot
隣接する形状		■■–

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	歩行者専用橋	○	–	437	小	1	B, F	×			3	■, –	両方	下方		イ		S	①	分散	3	

yot6　赤坂口広場





隣接形式		
	短手	F・F
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		Pd, St, Ot
隣接する形状		■––

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	関前広場	○	■	955	小	1	B, F	×			3	■, –	両方	下方		イ		S	①	分散	3	

yot7　外堀通り２





隣接形式		
	短手	B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr
隣接する形状		|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合面数近接する	基点
St	道路	○	―	1513	小	1	B	×	1	|			下方	イ				②	分散		

yot8　四ッ谷口ロータリー



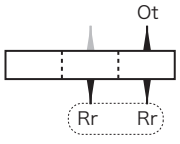


隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		▼
隣接する用途		Co
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合面数近接する	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	955	小	1	F	○	1	―			同一	イ				①	分散		

yot9　東京メトロ丸ノ内線四ツ谷駅ホーム

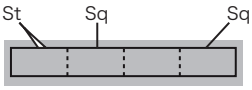




隣接形式		
	短手	N　B　B・B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Rr　Rr, Ot
隣接する形状		=　■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合面数近接する	基点
Pf	ホーム	○	―	2968		3	B	×	2	■, ―, |	性質		下方	ハ				②	分散		

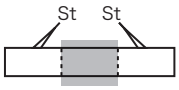
yot10 コンコース



隣接形式					
	短手	(N)	F	N	(N)
	長手	A			F
上部覆い		○	○	○	○
隣接する用途		St	Sq		Sq
隣接する形状		―	■		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Co	コンコース	○	―	850	小	4	A, F	○	2	■, ―	両方	上方	二		F	①	分散	2	

yot11 JR 中央総武線〈各駅停車〉・中央線〈快速〉四ツ谷駅ホーム





-2

隣接形式					
	短手	(N)	N	〈N〉	
	長手	A		A	
上部覆い			○		
隣接する用途		St		St	
隣接する形状		―		―	

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	6813	大	3	A	混	1	―	構成	上方	二			①	分散		

yot12 空地



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(未利用地)	×	■	692	小	-									Z	①	分散	3	

yot13 JR 中央本線



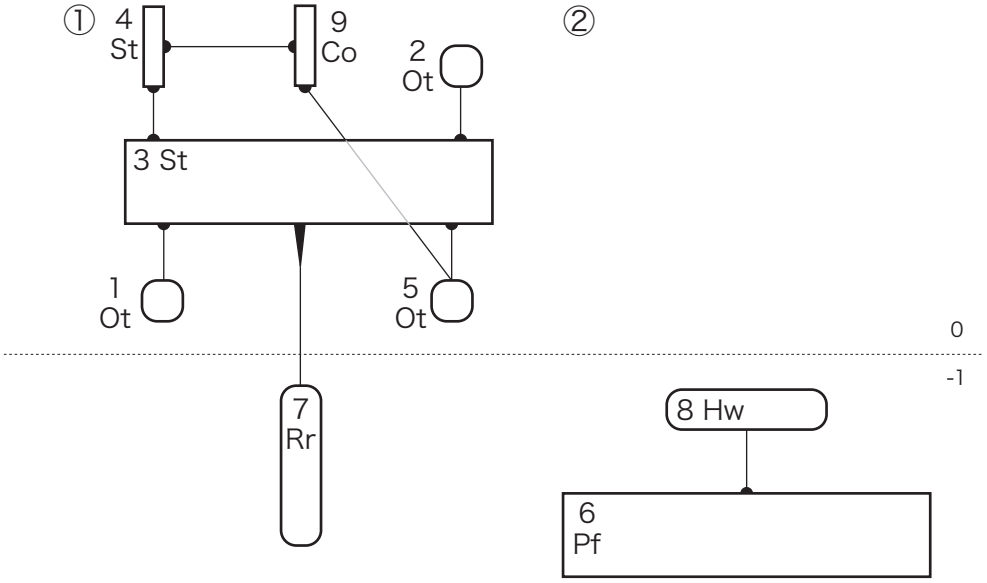
構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	―	6575	大	-										②	分散		

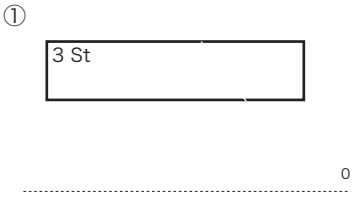
yot14　上智大学新田堀グラウンド



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(庭)	×	■	3176		-											②	分散		

No.42　信濃町駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
信濃町①	1 面	2(1)	○			○				○	□						

snm1　慶応義塾大学病院



+2

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	680	小																	①	1つ			

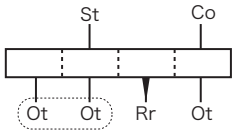
snm2　信濃町交番



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	483	小	-																①	1つ			

snm3　外苑東通り

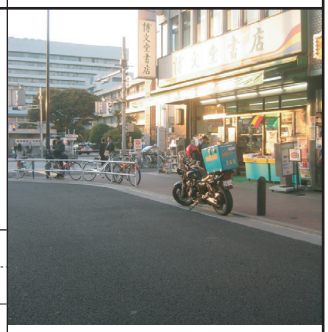




隣接形式	短手	F　F・F　B　F・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot　St, Ot　Rr　Co, Ot
隣接する形状		■　■ |　|　■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
St	道路	○	ー	6307	大	4	B, F		×		4	■, |		両方	同一		ハ			F		①	1つ	0		

snm4　道路





隣接形式	短手	F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Co
隣接する形状		ー |

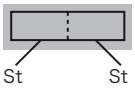
構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接する	基点
St	道路	○	ー	610	小	1	F		×		2	ー, |			同一		イ					①	分散			

snm5　信濃町駅自転車等整理区画



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(駐車場)	×	■	639	小	-												①	分散		

snm6　コンコース



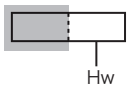
隣接形式			
	短手	(N)	(N)
	長手	F	F
上部覆い		○	○
隣接する用途		St	St
隣接する形状		—	—

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Co	コンコース	○	—	548	小	2	F	○	1	—		·	同一	二				①	分散		

snm7　JR 中央総武線〈各駅停車〉信濃町駅ホーム



+1



隣接形式			
	短手	N	F
	長手		
上部覆い		○	
隣接する用途		Hw	
隣接する形状		—	

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	4875	大	2	F	混	1	—		構成	同一	二				②			

snm8　JR 中央本線



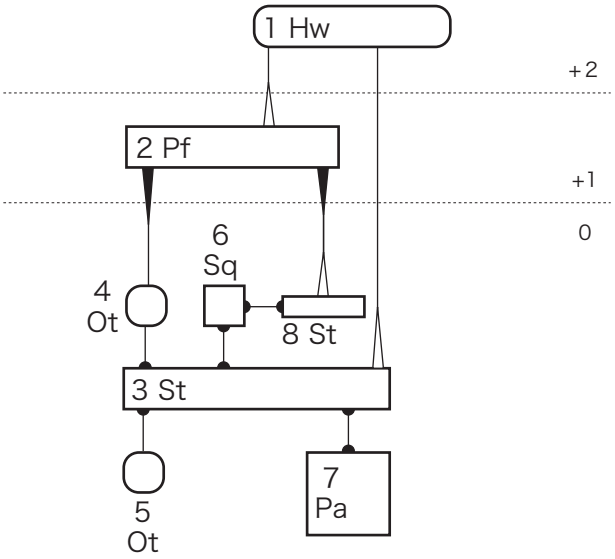
構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部用途	形状	構成性質	方向	近接パタン	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Rr	線路	×	—	2073		-												①	1つ		

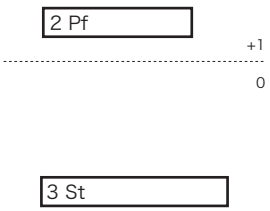
snm9　高速４号新宿線



構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		断面形式	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Hw	高速道路	×	ー	3408		-										②			

No.43　千駄ヶ谷駅





構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
千駄ヶ谷	2面	3(2)		○		○		○		○				◇□			

sen1　高速４号新宿線



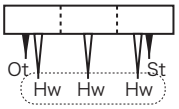
+2

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統近合接面する数	基点
Hw	高速道路	×	ー	6825															2つ		

sen2　JR 中央総武線〈各駅停車〉千駄ヶ谷駅ホーム



+1



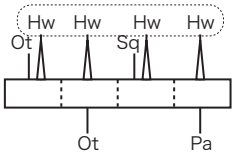
隣接形式	短手	AB　A　AB
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Hw, Ot　Hw　St, Hw
隣接する形状		■ー　ー　ーー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統近合接面する数	基点
Pf	ホーム	○	ー	6936		3	A, B	×	3	■, ー	両方		上下	ロ		U			2つ	0	

sen3　道路１



0



隣接形式	短手	AF　A・F　AF　A・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot, Hw　Ot, Hw　Sq, Hw　Pa, Hw
隣接する形状		■ー　■ー　■ー　■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統近合接面する数	基点
St	道路	○	ー	6825		4	A, F	×	4	■, ー	両方		同一	ロ		U			2つ	0	

sen4　千駄ヶ谷駐車場



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面式	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統近合接面する数	基点
Ot	他（駐車場）	×	■	814	小														2つ		

sen5　津田ホール・津田スクールオブビジネス



構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Ot	他(庭)	×	■	1274	小															2つ		

sen6　駅前ロータリー





隣接形式	短手	F
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		St, St
隣接する形状		

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	1240	小	1	F	○	1	ー, |		同一	イ						2つ		

sen7　東京体育館





隣接形式	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pa	広場	○	■	5863		1	F	×	1	ー		同一	イ						2つ		

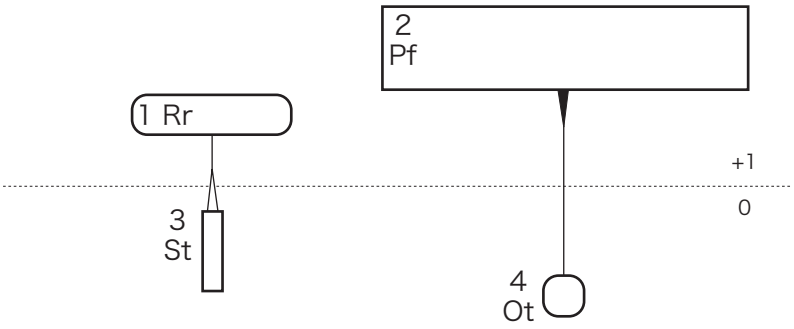
sen8　道路2



隣接形式		
	短手	A
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		Sq, Pf
隣接する形状		■ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
St	道路	○	ー	1356	小	1	A, F	○		2	■, ー	両方	上方	イ				2つ		

No.44　大久保駅



ook1　JR 中央本線

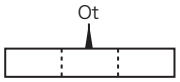


+1

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	近接する合面数	基点
Rr	線路	×	ー	1623		-										①			

ook2　JR 中央総武線〈各駅停車〉大久保駅ホーム





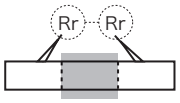
隣接形式	短手	B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Ot
隣接する形状		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	近接する合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	6816	大	3	B	×	1	■		下方	二			②			

ook3　大久保通り



0



隣接形式	短手	(N)	N	(N)
	長手	A		A
上部覆い			○	
隣接する用途		Rr		Rr
隣接する形状		ー	ー	ー

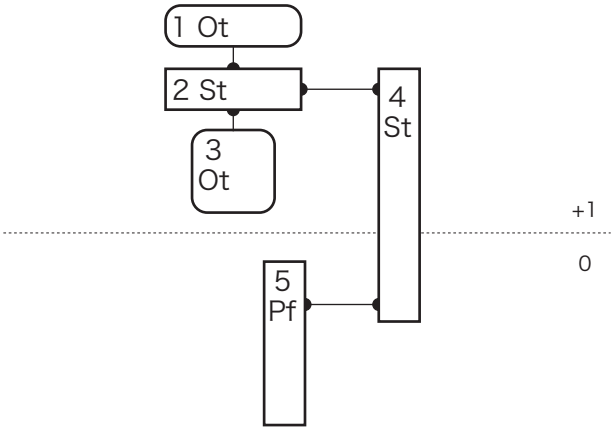
構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	近接する合面数	基点
St	道路	×	ー	1184	小	3	A	混	1	ー	構成	上方	二			①			

ook4　宗教法人ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会



構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	近接する合面数	基点
Ot	他(庭)	×	■	615	小	-											②		

No.45　東中野駅



2 St

+1

構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
東中野	1面	2(1)		○		○				○				□			

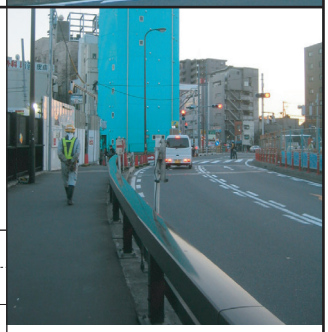
hig1　JR 中央線中野駅付近桜川橋改築・首都高交差部建設工事 1

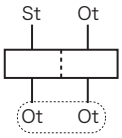


+1

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
Ot	他(工事現場)	×	—	2469																		1つ		

hig2　山手通り





隣接形式	短手	F・F　F・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St, Ot　Ot, Ot
隣接する形状		■ |　■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	—	1904		2	F		×		2	■, |	性質	同一		ロ			U			1つ	0	

hig3　JR 中央線中野駅付近桜川橋改築・首都高交差部建設工事 2

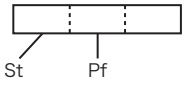


構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
Ot	他(工事現場)	×	■	2466																		1つ		

hig4　道路



0



隣接形式	短手	(N)　F　N
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St　Pf
隣接する形状		—　—

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	—	2581		2	F		×		2	—		同一		ニ						1つ		

hig5　JR 中央総武線〈各駅停車〉東中野駅ホーム

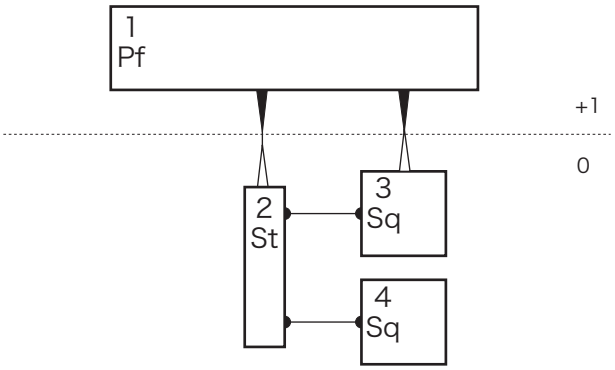


St

隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Pf	ホーム	○	―	4761		1	F	×	1	―		同一	イ				1つ		

No.46　中野駅

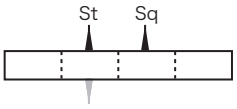




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
中野	1面	2(1)		○		○				○	△						

nak1　JR 中央総武線〈各駅停車〉・中央線〈快速〉・東京メトロ東西線中野駅ホーム



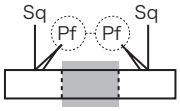


+1

隣接形式		
	短手	N　B　B　N
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Sq
隣接する形状		+　■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
Pf	ホーム	○	■	18999	大	4	B	×	2	■, |	性質	下方	ハ				1つ		

nak2　中野通り





0

隣接形式		
	短手	F　N　F
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Sq, Pf　Sq, Pf
隣接する形状		■–　■–

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
St	道路	○	–	3695		3	A, F	混	2	■, –	両方	上方	ニ		F		1つ	0	

nak3　北口ロータリー





隣接形式		
	短手	A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf, St
隣接する形状		––

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節	No.	形状	統合面数近接する	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	2863	小	1	A, F	×	2	–	構成	上方	イ				1つ		

nak4　南口ロータリー

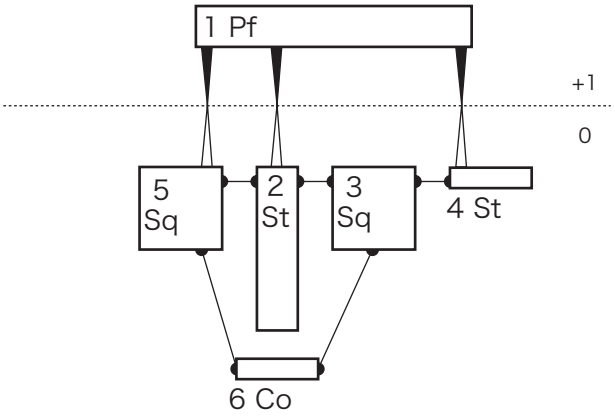


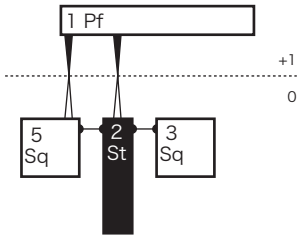


隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		―

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	3707		1	F	×	1	―		同一	イ				1つ		

No.47　高円寺駅

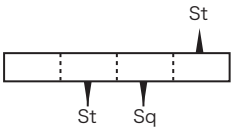




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
高円寺	5 面／基点集中型	2(2)	○	●		●	○	○		●	▲▽						△□

koe1　JR 中央総武線〈各駅停車〉・中央線〈快速〉高円寺駅ホーム



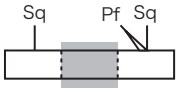


+1

隣接形式		
	短手	N　B　B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St　Sq　St
隣接する形状		+　■　—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
Pf	ホーム	○	—	6141	大	4	B	×	2	■, —, |	性質	下方	ハ		F		集中	2			

koe2　道路 1





0

隣接形式		
	短手	F　N　F
	長手	A
上部覆い		○
隣接する用途		Sq　Sq, Pf
隣接する形状		■　■—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
St	道路	○	—	3640		3	A, F		混	2	■, —		両方	上方		二		F			集中	3	●

koe3　北口ロータリー





隣接形式		
	短手	F・F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, St, Co
隣接する形状		—| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パタン	集中場	パタン	No.	形状	統合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	3761		1	F		×	2	—, |		同一		イ		S			集中	1	

koe4　道路2



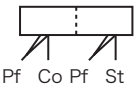


隣接形式		
	短手	A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Pf
隣接する形状		ー |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合近接する面数	基点
St	道路	○	ー	623	小	1	A, F	×	2	ー, |	構成		上方	イ					集中		

koe5　南口ロータリー

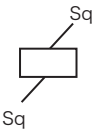




隣接形式		
	短手	F　F
	長手	A　A
上部覆い		
隣接する用途		St, Pf　Pf, Co
隣接する形状		ーー　ー |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合近接する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	3002		2	A, F	×	3	ー, |	両方		上方	ロ		U			集中	2	

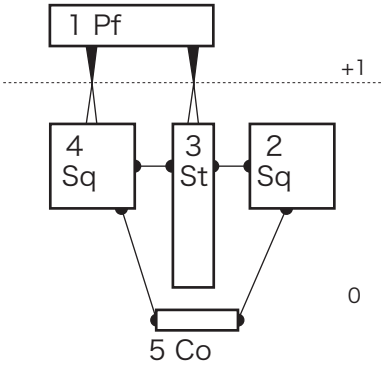
koe6　コンコース

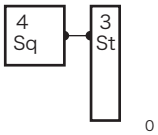


隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F・F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Sq
隣接する形状		■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		方向近接	パタン複合	集中場	パタン分節		No.	形状	統合近接する面数	基点
Co	コンコース	○	ー	761	小	1	F	○	1	■			同一	イ					集中		

No.48　阿佐ヶ谷駅

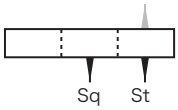




構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	
阿佐ヶ谷	2面	2(1)		○		○	○			○	△				△		

asg1　JR 総武線〈各駅停車〉・中央線〈快速〉阿佐ヶ谷駅ホーム





隣接形式		
	短手	B　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq　St
隣接する形状		■　+

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	6562		3	B	断面	×	上部	2	■, |	性質	下方	近接	ハ				2つ		

asg2　北口ロータリー

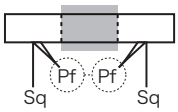




隣接形式		
	短手	F
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Co
隣接する形状		ー |

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	2290		1	F	断面	×	上部	2	ー, |		同一	近接	イ				2つ		

asg3　中杉通り

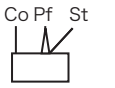




隣接形式		
	短手	F　N　F
	長手	A　A
上部覆い		▼
隣接する用途		Sq, Pf　Sq, Pf
隣接する形状		■ー　■ー

構成面の性質					視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する面数	基点
St	道路	○	ー	3777		3	A, F	混			2	■, ー	両方	上方		ニ		F		2つ	1	

asg4　南口ロータリー

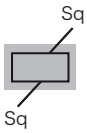




隣接形式		
	短手	AF
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf, St, Co
隣接する形状		ーー |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する近接面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	4389		1	A, F		×	3	ー, |		両方	上方		イ		S		2つ	1	

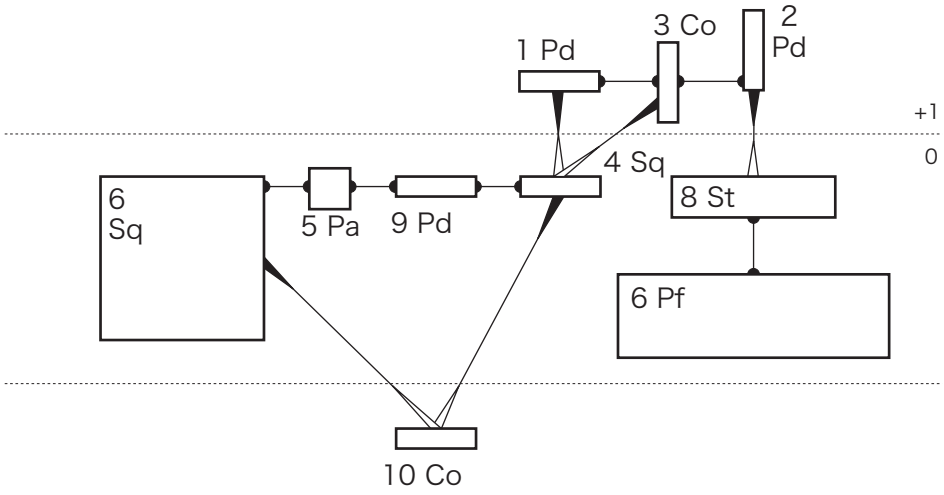
asg5　コンコース

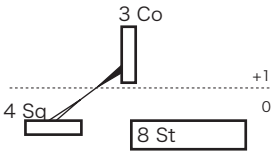


隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F・F
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Sq
隣接する形状		■■

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	統合する近接面数	基点
Co	コンコース	○	ー	445	小	1	F		○	1	■			同一		イ				2つ		

No.49　荻窪駅





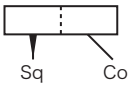
構成面の分節パタンとネットワーク

資料名	主要な構成面の数とネットワークの形状	層構成	規模			形状		用途			主要な構成面の分節パタンの組合せ						
			大	中	小	線	面	Pf	Co	外	F	FC	C	U	S	Z	／
荻窪	3 面／均質重層型	3(2)		○	○	○			○	○	◇▽		△				

ogi1　荻窪タウンセブン・ルミネ荻窪店・西友荻窪店ペデストリアンデッキ



+1



隣接形式		
	短手	B　(N)
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Sq　Co
隣接する形状		ー　|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パターン	集中場	パターン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	ペデストリアンデッキ	○	ー	568	小	2	B, F		×		2	ー, |	構成	下方		二				均質		

ogi2　荻窪西口連絡橋

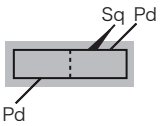




隣接形式		
	短手	B
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		St, Co
隣接する形状		| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パターン	集中場	パターン	No.	形状	統合面数	基点
Pd	歩道橋	○	ー	134	小	1	B, F		×		2	|	構成	下方		イ				均質		

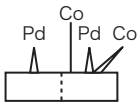
ogi3　西口コンコース



隣接形式		
	短手	(N)　(N)
	長手	F　BF
上部覆い		○　○
隣接する用途		Pd　Pd, Sq
隣接する形状		|　| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	構成性質	方向	近接	パターン	集中場	パターン	No.	形状	統合面数	基点
Co	コンコース	○	ー	142	小	2	B, F		○		2	|	構成	下方		二		F		均質	1	

ogi4　西口広場

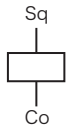




隣接形式	短手	A　AF
	長手	A
上部覆い		
隣接する用途		Pd　Pd, Co, Co
隣接する形状		ー　ー| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数する	基点
Sq	駅前広場	○	ー	475	小	2	A, F	×	2	ー, |	構成	上方	ロ	○	C		均質	1	

ogi5　荻窪タウンセブン・ルミネ荻窪店・西友荻窪店

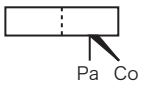




隣接形式	短手	F・F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq, Co
隣接する形状		■ |

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数する	基点
Pa	広場	○	■	350	小	1	F	×	2	■, |	性質	同一	イ				均質		

ogi6　北口ロータリー

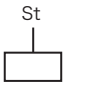




隣接形式	短手	N　F
	長手	B
上部覆い		
隣接する用途		Pa, Co
隣接する形状		■|

構成面の性質						視点場数	複合の水準							統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質	方向近接	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接合面数する	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	5143	大	2	B, F	×	2	■, |	両方	下方	二				均質		

ogi7　JR 中央総武線〈各駅停車〉・中央線〈快速〉荻窪駅ホーム

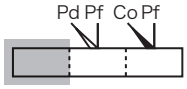




隣接形式		
	短手	F
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		St
隣接する形状		—

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合する 近接面数	基点
Pf	ホーム	○	—	6683	大	1	F	×	1	—			同一	イ				均質		

ogi8　道路

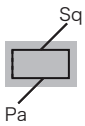


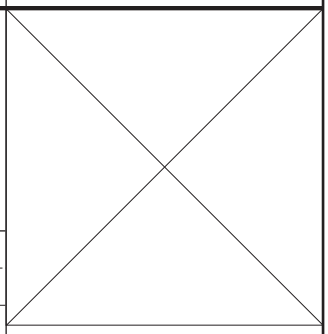


隣接形式		
	短手	N　F　F
	長手	A　B
上部覆い		○
隣接する用途		Pd, Pf　Pf, Co
隣接する形状		——　—|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合する 近接面数	基点
St	道路	○	—	3473		3	A,B,F	混	3	—, |	両方		上下	ハ		F		均質	0	

ogi9　北口コンコース



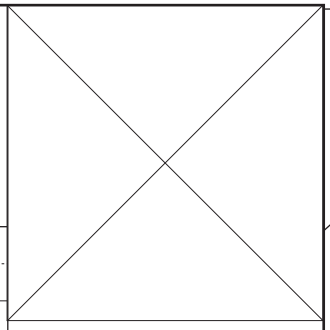


隣接形式		
	短手	(N)
	長手	F・F
上部覆い		○
隣接する用途		Pa, Sq
隣接する形状		| |

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面					ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式 断面	覆い 上部	用途	形状	構成 性質		方向 近接	パタン 複合	集中場	パタン 分節	No.	形状	統合する 近接面数	基点
Pd	自由通路	○	—	509	小	1	F	○	2	|			同一	イ				均質		

ogi10　東口コンコース



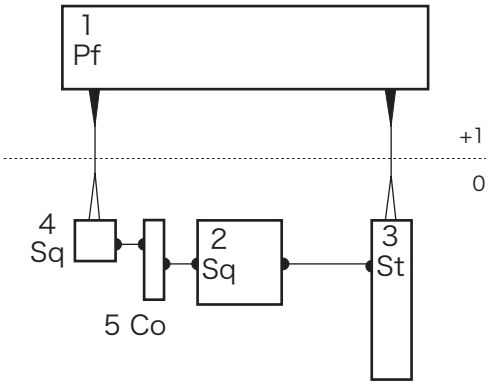


-1

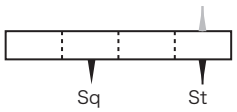
隣接形式	短手	(N)	N	(N)
	長手	B		B
上部覆い		○	○	○
隣接する用途		St		Sq
隣接する形状		―		■

構成面の性質						視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	上部覆い	用途	形状	構成／性質	近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接統合面数	基点
Co	コンコース	○	―	531	小	3	A	○		2	■, ―	性質	上方	二				均質		

No.50　西荻窪駅



nio1　JR 中央総武線〈各駅停車〉・中央線〈快速〉西荻窪駅ホーム



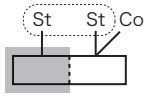


+1

隣接形式		
	短手	N　B　N　B
	長手	
上部覆い		
隣接する用途		Sq　St
隣接する形状		■　+

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する合面数	基点
Pf	ホーム	○	ー	8187	大	4	B	×	2	■, |	性質		下方	二						

nio2　北口ロータリー



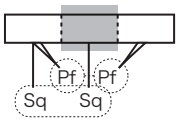


0

隣接形式		
	短手	F　F
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		St　St, Co
隣接する形状		ー　ー|

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する合面数	基点
Sq	駅前ロータリー	○	■	1815		2	F	混	2	ー, |	構成		同一	ロ						

nio3　道路

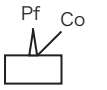




隣接形式		
	短手	F　F　(N)
	長手	A　A
上部覆い		○
隣接する用途		Sq, Pf　Sq　Pf
隣接する形状		■ー　■　ー

構成面の性質						視点場数	複合の水準						統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形成断面	覆い上部	用途	形状	構成性質		近接方向	複合パタン	集中場	分節パタン	No.	形状	近接する合面数	基点
St	道路	○	ー	893	小	3	A, F	混	2	■, ー	両方		上方	ハ						

nio4　南口広場

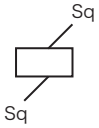




隣接形式		
	短手	A
	長手	F
上部覆い		
隣接する用途		Pf, Co
隣接する形状		ー |

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接	基点
Sq	駅前広場	○	■	532	小	1	A, F	×		2	ー, |		構成	上方		イ									

nio5　コンコース



隣接形式		
	短手	F
	長手	F
上部覆い		○
隣接する用途		Sq, Sq
隣接する形状		■■

構成面の性質					視点場数	複合の水準					統合面				ネットワーク図			
用途	用途の内容	視点	形状	面積	規模		形式	断面	覆い	上部	用途	形状	性質	構成	方向	近接	パタン	複合	集中場	パタン	分節	No.	形状	統合面数	近接	基点
Co	コンコース	○	ー	670	小	1	F		○		1	■			同一		イ									